

わが国唯一の空飛ぶ円盤専門誌

UFOと宇宙 第21号 昭和51年12月1日発行(年6回刊) 第4巻第21号 昭和50年2月28日国鉄首都特別携帯認証雑誌第2170号

UFOと宇宙

UFOと宇宙科学

No.21

UFOs & SPACE
隔月刊・1976・12月号

特集・UFO研究の現状と展望

- ①いまこそ本格的科学的研究を/高梨純一
- ②日本資料センター設立を計画/並木伸一郎
- ③UFO研究は人間研究/久保田八郎

▷精密UFO大図鑑

▷UFO事件完全年譜

チューリッヒ郊外
驚異の近接撮影(詳細口絵)

▷空飛ぶ円盤の推進原理を探る

四次元航法の仮説/橋本健 複素重力場機関/清家新一

▷私は宇宙人に身体検査をされた

▷デニケンの先史宇宙飛行士説考察

▷(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)/L・クランフ

UFO資料
保存版

好評新刊

天文手帳 '77

天文と気象編・A6・192頁・¥480円120

古畑正秋先生のご指導により天文ファン待望の天文手帳'77ができあがりました。休日や祭日などで海や山へおでかけのときには、ぜひ天文手帳をご携帯ください。季節の星座はぐるぐる回る星座早見盤でさがしだせるし、惑星の動きは月ごとの東西天図に示され、また天体写真に関係の深い月の状態は月相図に表わされているなど、観測に役立つことがいっぱいです。さらにスケッチページを使えば観測野帳となります。天体観測に役立ち、記録するのに便利で、持っているだけで楽しい天文手帳なのです。

11月発行

天文観測年表 '77

編集委員会編・B5・192頁・予価¥1000円160

年表は天体の時刻表として天文ファンに親しまれ、詳しい星の動きは天体観測者にとって、なくてはならない座右のデータです。

好評新刊

未知の宇宙

—そのナゾにいどむ
I.M.リービット著 齋田 博訳

B5変型・210頁・カラー48頁・¥2000円200

7千万度で固体の中性子星、1秒間に30回点滅するパルサー、アスピリン1錠に地球の全人口を詰めこんだブラックホールなど不思議な天体のナゾを独創的な解説でとく。

好評新刊

'77 天体望遠鏡 のすべて

天文と気象編・B5・190頁・¥1000円160

天体望遠鏡は直販されているので、注文するにも自分の希望する機種をさがすまで、カタログ集めが大変。本書は各メーカーが今売出し中の160機を口径別に写真や性能をまとめて掲載、比較検討しやすくしました。

■ たまベストセラー ■

ソ連圏の四次元科学

(上・下巻) 各1150円 ￥200円
S・オストランダー他共著

ノストラダムス 大予言原典(諸世纪)

2400円 ￥200円
ヘンリー・C・ロバーツ編

(第4回 51年度)

四次元研究促進大会

日時 昭和51年12月4日(土)
午後1時より5時まで

場所 機械振興会館・地下大ホール
(港区芝公園3-5-8) 東京タワー真正面

会費 1000円

内容 映画『実験四次元科学』内田秀男氏解説
「フィリピン心靈手術=今夏撮映=」
ローラン氏(仏)解説
報告『アメリカ四次元超心理の旅』

宇宙を支配する未知のエネルギーを発見しよう!

最新刊

PSI(超常現象)HANDBOOK

12月発売

実験四次元科学

S・オストランダー, L・スクロウダー共著 上・下巻
照洲みのる, 森島三郎 各巻
(各1300円
(￥各160円)

超能力ブームの引き金となった『ソ連圏の四次元科学』の著者が久々に放つ、超常的エネルギーの実在性を確証するあなたのための実験証明のカギ。

上巻

- ◎植物編▷人間の思念と植物育成の関係
音楽と植物・植物とのテレパシー交信
- ◎エネルギー編▷探知機一覧・オーラ直視法・キルリアン装置の作製と応用
- ◎テレパシー編▷テレフラッシャー増幅機・ゲーム式実験開発法・暗号通信法

下巻

- ◎念力編▷PK鍛練法・占い棒実験法
ピラミッドパワー実験・各種超能力発生器
- ◎霊界ラジオ編▷テープレコーダーによる超常的音声の受信・音声現象と死後生存説の関係・ダイオード回路と錄音法
- ◎資料編▷世界の研究資料と団体名

UFO IN COLOR
■ SPAIN

ピ
レ
の
怪
い
ネ

フランス / スペインの国境沿いを走るピレ
ネー山脈上空に白いレンズ型の物体が浮遊し
ている。冬、外気の温度は氷点下まで下がっ
ているが視界は良好である。

UFO IN COLOR

■ SWITZERLAND



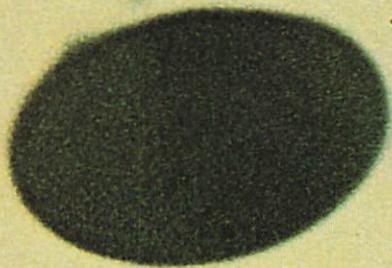
驚くべき鮮明度で飛行物体をとらえたこの2点の写真は1975年、スイスのチューリッヒ近郊で撮影された。豊かな田園風景の上を低空で飛行する物体が何であるかは不明であるが、金属的な質感、そしてドーム部分から突き出したアンテナ様の構造物まで確認することができる。



驚異の
近接撮影！

UFO IN COLOR

■U.S.A./PERU



1967年12月29日、ルイジアナ州ニューオリンズでレオナード・エバンスさんが撮影したUFO。上部の構造物がかすかに見える。左上の写真もアメリカ（ペンシルバニア州ジャネット）で撮られたもの。1973年7月18日夜8時50分、天体観測中のデビッド・ベーカーさんの望遠鏡内に光体が現れ、ベーカーさんは見事に写真撮影に成功した。

■UFO写真を募集します

本誌ではUFO写真を募集しています。
信ぴょう性が高いと判断された写真是本
誌誌上に掲載し、謝礼を差し上げます。本
送り先〒107 東京都台東区上野五丁目
六ヤマトビルユニバース出版社
Oと宇宙 資料調査部 U.F.O.

急上昇

1967年3月、ペルーのヨンゲイに現れた飛行物体。60度近い急角度で上昇中を付近に住むオーギュスト・アランダさんが撮影したものの。時刻は夕方5時半。

航空自衛隊入間基地(埼玉県)

航空宇宙ショー開催

1976/10・17～24

1976 国際航空宇宙ショー

JAPAN INTERNATIONAL



▲初日だけで24万人が入場した。

10月17日から24日までの8日間、埼玉県の航空自衛隊入間基地で第5回国際航空宇宙ショーが開かれた。このショーはアジア地域では唯一最大のもので、1966年の第1回以来、2、3年に一度開催されている。今回は地元日本のほかアメリカ、イギリス、フランスなど8カ国から新型航空機76機が出品されたが、初日だけで24万人もの入場者が押し寄せた会場で人気の的はやはり航空自衛隊のFX（次期主力戦闘機）候補のグラマンF14トムキャットとマクダネル・ダグラスF15イーグル。この2機は大観衆の頭上で見事なデモンストレーション飛行もやって見せ、その高性能ぶりを披露した。

▼ミグ25着陸事件で航空機への関心が高まった？





▲推力九・五tのエンジン二基を全開にし、可変主翼を後退させて垂直上昇するF14。最大速度マッハ二・三四(時速二四八〇キロ)。F14と並んで機動性を優れ、最高性能をもつといわれるF15。空中戦を重視した制空戦闘機で、水上用はマッハ二・五四。陸上用はマッハ二・五四。F14は、対潜哨戒機として世界で最も多く採用されている。

◆日本が新規開発した四発飛行艇として、世界で初めて実用化されたのが、F14の前身であるF86Fである。この機体は、日本が開発した最初の戦闘機であり、世界で初めて実用化された飛行艇である。



5機のF86Fで大観衆の目を奪った航空自衛隊のアクリバットチーム“ブルーインパルス”的妙技。



▲▲子供たちに大人気の操縦席。
▲F15イーグル。胴体の中は
電子機器がギッシリつまつ
ている。



キリモミ状態で落下する民間アクロバットチーム“レッドイーグル”の曲技飛行。

UFOと宇宙

No. 21

隔月刊 1976/DECEMBER 目次

口絵

ピレネーの怪	1
驚異の近接撮影	2
急上昇	4
第5回航空宇宙ショー開催	6

特集・UFO研究の現状と展望

日本を代表するUFO研究家3人の主張展開

①いまこそ本格的科学的研究を	高梨純一	16
②日本資料センター設立を計画	並木伸一郎	22
③UFO研究は人間研究	久保田八郎	25

UFO科学

空飛ぶ円盤の推進原理を探る

四次元航法の仮説	橋本健	28	複素重力場機関	清家新一	32
----------	-----	----	---------	------	----

UFO資料

精密UFO大図鑑 38 UFO事件完全年譜

デニケンの先史宇宙飛行士説考察	竹中弦	64
-----------------	-----	----

月世界はUFOの中継基地か(完)	ドン・ウ ィルソン	58
------------------	--------------	----

最新情報 アルゼンチン沖合の海底にUFO基地?	88
-------------------------	----

私は宇宙人に身体検査をされた	ケルヴィン ・ランドル	10
----------------	----------------	----

連載科学記事 レナード・クランプ

(続) 宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)	91
--------------------	----

千葉県館山市にUFO現れ

小学生がカメラでパチリ!	56
--------------	----

日本初の「UFOフェスティバル」開催!	57
---------------------	----

UFO目撃レポート	70
-----------	----

UFO情報(国内・海外)	74
--------------	----

科学ニュース	82
--------	----

声・OPINION	102
-----------	-----

蚤の市	108
-----	-----

表紙デザイン / 中村省三 + 福沢潤

レイアウト / 福田忠雄 カメラ /

菅原史崇 イラスト / 中川恵司 +

内山洋見 + 松岡吉樹 + 石坂清



●一九七三年ミシシッピー・バスカグーラの漁師二人がUFOに誘拐され全米を驚かせたが、その事件の六日後には中西部で一家四人がUFOに誘拐されていた。逆行催眠術をかけられて記憶をもどした母親は、自分がUFO内で数人の“怪人”に身体検査されたことなどを次々と語り始めた――

バット・プライスと彼女の家族は、

一九七三年のヒクソンとパークーの事件については何も聞いたことはなかつた。彼らは中西部の小さな町の新居に移転して来たばかりで、その付近に出現したUFOについてのニュースも聞いてはいなかつた。地球の外から来た宇宙船に出会う体験など、彼らには全

く予想もしない出来事だった。

一九七三年十月十六日の夜、バットは居間の長椅子の上で眠り込んでしまつた。子供たちはベッドで寝ていた。すると、突然一番小さいケントが悲鳴をあげて飛び起きた。部屋の隅に骸骨を見たというのだ。

「猫はうなつっていたし、お向かいでは

あれは宇宙人よ

警官が帰つてから一番上の姉のボニーが空巣ねらいなんかになかつたと言つた。「あれは宇宙人よ」と彼女は断言したのである。まだあまり夜の更けぬころ極めて明るい光がさしたことと戸外でサラサラいう音が聞こえたことはバットも記憶しているが、それ以外の

ことはあまりよく覚えていなかつた。この十月で六歳になつたばかりの末トは語つた。空巣ねらいがうろついているという報告があつたし、そいつが家中に入り込んだのに違ひないとバットは思った。十月十七日午前零時十分に彼女は警察に電話した。警官が到着して家族の何人かにいろいろ質問したが、何の異常も見つからぬまま早々に立ち去つた。

バットは、デビーの話の大半分は空想の産物に違いないと思った。何か不思議なことが起こつたのは確かだが、宇宙人とは関係ないだろう。というのが彼女の意見だつた。「デビーは船内に連れて行かれた話をしました。事件後数日はそんな話が本当だとは思えませんでした。普通の人の上に起つて出来事ではありませんから」

それから約二年間、この事件は彼らの生活に不気味な影を落としていたが、彼らは事件を別にどうしようとも考えなかつた。家族で話し合つてはみたものの、だれに助けを求めるべきのかわからぬし、結論は出なかつた。その後、「UFOレポート」誌で不思議な失踪事件やディオニシオ・ランカの経験についての記事を読んだバットは、同誌に手紙を書いた。「私は何が起つたのかと、うことだけが知りたかったのです。私は自分がUFOを見たのだとかそれに乗つたのだとか思つていません。でもデビーの話もあるし

私は宇宙人に

現地レポート

身体検査をされた!

ケルヴィン・ランドル

アメリカ中西部で起きた
奇怪な誘拐事件を探る

自分で確かめてみたかったのです』

ハーダー博士調査に乗りだす

空中現象調査団（A.P.R.O.）の調査

部長ジエームズ・A・ハーダー博士は、チャールズ・ヒクソンとカルヴィン・バーカーの記憶を呼び起すときにも催眠術を利用した。彼はUFOとのコントакト事件に関しては経験豊かなべランであり、成果を挙げるためにはそのような事件になじみのない催眠術者よりも彼の方が適任だろうという变成了った。ブライス一家に何が起こったのかを発見するための催眠術調査にそなえて私たちと会うことに彼は同意した。

一九七五年七月八日、私たちはバット家に集まつた。ハーダーがバットや関係者の子供たちと話したり、私の準備調査の結果を聞いたりしているうちに一時間が経過した。彼の必要としていた情報がそろい、催眠術に取り掛からうと決心したのは正午過ぎだった。彼は気を楽にするように言つてから彼女を軽い昏睡状態に導いた。「あの日の感じ……集中感を取りもどしてください。さあ、目が覚めたときのこと思い出しましたね。話してください。どんな感じでしたか？」

「私は驚いたのです」と彼女はただちにはつきりと答えた。

「驚いたのですね。それから目が覚めたのですか？」

「起きたとき……明るい光がさしまし。ケントがそばにいました。私の上に二人の人物が立っていました。少しがちが部屋の隅にだれか一人いただけ言つていてるのに彼女は二人だと言つた。このことは、彼女が自分の身の上に起つた出来事を思い出しているのであって、子供たちの話に影響されているのではないことを意味する。

彼らは制服を着ていた

「怖いというほどではありませんでした。あんなことをするなんて、と思っていたのでしょうか？」

「それからどうなりました？ あなたは思い出せるのですよ。もう一度現場にいる気になつてください」。ハーダーはマイクが彼女のすぐ前まで届くようテープレコーダーを動かした。

「私は見上げたのです。彼らは利口そうでやせていました。他のことはとにかく、やせていました……軍人のような服を着ていました」

「どうしてそう思つたのですか？」

「制服です。彼らは、組織されているよう見えました。一緒に行きたくありませんでした」。彼女は額にしわを寄せ、汗をかき始めた。「腕が痛いわ」

彼女は二の腕を軽くもんだ。「子供のことが心配でした。皆、部屋にいたのでした。いえ、皆ではなかつたわ」

被害者というか、目撃者は私たちがすでに知つて以上、数だつたこと



はこれで明らかだ。私たちはその名前が知りたかった。

「部屋の中をひと回りしてだれがいたか見ましょう。見えますね？　あのと聞きの感じを思い出してください。だれがいたか、頭の中に描いて……」

「ボニーがそこに立っています。デビ

ーはそこ、でもケントが見えないわ」。

彼女は彼をさがすような身振りをしてみせた。「だれかがケントを運んでいるようね。でもどうしてそんなことになったのかわかりません。彼らはケントを捕まえています。皆も捕まえられて、います」

「シヨーンはそこにいますか？」とハーダー博士は質問した。シヨーンとは

ハーダー博士の息子の一人である。

「シヨーンも見えます。彼らは何人かのグループで隅の一人が近寄って来ます。彼は私たちのそばに立ちます」。ハーダー博士は恐ろしくなったようでは、物語を続けることをためらった。「何が起こったかよく覚えていません」

私をモルモットのように扱う

ハーダーは催眠状態をもつと強めな

くはならなかつた。「思い出せるでしょう？　何が起こったか教えてくれませんか。忘れたと言えと命令されたのですか？」

「彼らは機械のようなものを持ち歩いています（あとでボニーが、それは短い三本足のついた書類カバンほどの大

きさだと説明した。ボニーは母が機械の話をしたのを聞いたのではなくて、

全然別個に覚えていたのである。それ

が何に使われるものかは二人とも知らなかつた。それはただ、彼らがプライ

ス一家を家にもどして立ち去るまで居間にあつたのである」

バットは居間で起こった事件の続きを話しかけた。「彼らはたいへん事務的で、私がいやがつてどこにも行かないで、私の腕を痛めてしまったので、私はしばらく口を閉じた。また怖くなつたような様子がはつきり見えた。彼らは私の両腕を捕まえました」そこで彼女はまた黙り込んだ。「子供たちも身をもがいでいるのが見えます」

ハーダーは何もかも大丈夫なのだと彼女をなだめようとした。「皆、助かりますとも。すこし怖い経験だったが思ひ出せるでしょう？　あなたは後では何も危険はなかつたでしょうか？」だから思ひ出しても大丈夫なのです」

「明るい部屋が見えます」。バットは話しかけた。「大きな、明るい部屋です。彼らが周囲に立っています」

「何人見えますか？」とハーダー。

「四、五人です。皆、制服を着ていま

す。本当にこんなことが皆見えたのか

しませんか。忘れたと言えと命令されたのですか？」

「彼らが冷血漢だと思えるような出来事があつたですか？」

「彼らは私をモルモットのように扱い

す。ただ私に知られたくないのです」
「彼らが冷血漢だと思えるような出来事があつたですか？」

「彼らは私をモルモットのように扱いました」

きさだと説明した。ボニーは母が機械の話をしたのを聞いたのではなくて、

全然別個に覚えていたのである。それ

が何に使われるものかは二人とも知らなかつた。それはただ、彼らがプライ

ス一家を家にもどして立ち去るまで居間にあつたのである」

バットは居間で起こった事件の続きを話しかけた。「彼らはたいへん事務的で、私がいやがつてどこにも行かないで、私の腕を痛めてしまったので、私はしばらく口を閉じた。また怖くなつたような様子がはつきり見えた。彼らは私の両腕を捕まえました」そこで彼女はまた黙り込んだ。「子供たちも身をもがいでいるのが見えます」

ハーダーは何もかも大丈夫なのだと彼女をなだめようとした。「皆、助かりますとも。すこし怖い経験だったが思ひ出せるでしょう？　あなたは後では何も危険はなかつたでしょうか？」だから思ひ出しても大丈夫なのです」

「明るい部屋が見えます」。バットは話しかけた。「大きな、明るい部屋です。彼らが周囲に立っています」

「何人見えますか？」とハーダー。

「四、五人です。皆、制服を着ていま

す。本当にこんなことが皆見えたのか

しませんか。忘れたと言えと命令されたのですか？」

「彼らが冷血漢だと思えるような出来事があつたですか？」

「彼らは私をモルモットのように扱い

す。ただ私に知られたくないのです」
「彼らが冷血漢だと思えるような出来事があつたですか？」

「彼らは私をモルモットのように扱いました」

ハーダーは質問をやめて私を見た。そ

れに続く十五分間、彼はバットがすでに話したこといろいろと問い合わせた。それから彼は本題に入つて、宇宙人のした身体検査のことにつれようとした。怪人の話になるとバットは

ハーダーは質問を他の方面に向けるよ

うとした。怪人の話になるとバットは

検査のことは思ひ出したくない

ハーダーは質問を他の方面に向けるよ

うとした。怪人の話になるとバットは

「検査されたことは覚えていません。でも私にはわかつているんです」

「彼らが冷血漢だと思えるような出来事があつたですか？」

「これには私たちも一瞬面くらつた。ハーダーは質問をやめて私を見た。そ

れに続く十五分間、彼はバットがすでに話したこといろいろと問い合わせた。ハーダーは質問をやめて私を見た。そ

れに続く十五分間、彼はバットがすでに話したこといろいろと問い合わせた。ハーダーは質問をやめて私を見た。そ

れに続く十五分間、彼はバットがすでに話すこといろいろと問い合わせた。ハーダーは質問をやめて私を見た。そ

眼は大きくつり上がつていた

それに続く数分間、ハーダーは彼女

を問い合わせて怪人たちの様子を物語ら

せた。彼らの身長は一・四メートルぐ

らいで、とてもやせていた。眼は大きくてつり上がっていた。腕は長くて先端は鳥のようなかぎ爪になつており、

「親指」のようなものがあつた。ベルトのついた、螢光を発する服を着ており、手袋をはめていたようだつた。

その後で彼女は、自分たちが「空中を漂うように」家中へ連れもどされ続いてケントが骸骨に驚いて悲鳴をあげて飛び起きた話をした。

ハーダーは彼女を落ち着かせようとした。「子供たちも知りたいでしよう。思ひ出して皆に話してやりなさい。怪人たちほどどんな情報をほしがつていたのですか?」

「彼らは、私たちの心の動きを知らうとしました。私たちの心に、私たちが今まで知らない何かの知識を教え込もうとしたのです」

「彼らがどんな情報を求めていたのかわかると、科学者として非常に助かるのですが」とハーダー博士は言つた。

「私たちの物の考え方、感じかた、私たちの感情などです」

「それは面白い。それを知つて彼らも興味深そうでしたか?」

「いいえ。彼らの望みがどうも気になります」。バットはまた腹を立てた。

「心中へ踏み込まれたような気がするのですね?」

「そうです」。彼女はとげとげしい声を出した。「彼らは私たちの感情にはちつとも理解がありません。だから思

いやりがないのです」

バットは突然催眠状態から目覚め、しばらくじっと座つていたが、やがて

月をこすつた。十月の夜の事件はもはや謎ではなくなつた。しかしそれは彼女が想像していたようなすばらしい経験ではなかつた。それは恐怖に満ちた夜だったのだ。私たちは彼女の物語について議論し、彼女は二、三もつと詳しいことを思ひ出してくれた。

UFOに連れ込まれたのはケントではなく、デビー、ボニー、それにショーンの三人だつた。

それからまた新しい事実が一つ明らかになつた。バットが、続いてボニー

が、二の腕に並んだ、針で突いたような傷跡の話をしたのだ。逆三角形の形に並んだ三つの傷跡は怪人たちが付けたものだとバットは考えていた。彼女はそれを見ることさえ怖がつた。数日たつてから傷跡が治ると彼女はすっかり気が楽になつたようだつた。隣人の一人も、バットとボニーの左腕に傷があつたことを覚えており、医者に見せたらと勧めたが、バットは彼女を押しのけてしまつた。どちらみち傷跡は小さなもので、そのためだれも大けがをしたとは思つていない。医者に見せることも考えたのだが面倒だつた、とバットは語つた。

ボニーは午後よりも早く昏睡状態に入つた。彼女が容易に服従したので、ハーダーはUFO事件とは関係ない質問を二、三した。ボニーは返事をしなかつたが、催眠状態から目覚めはしなかつた。質問が怪人のことに触れるところは頗りしわをよせ、目を覚まして、怪人たちは他の人々をも宇宙船の

パットの体験についてハーダー博士と話し合つた。私は六週間もこの事件の調査に従事しており、事件を客観的に見るには少し深入りしすぎたのではな

いかと心配だつたのだ。第一印象はどうか、と私は博士に尋ねた。

「断言するにはまだ少し早いが、良い例になりそうだ。二、三チェックした点もある。子供たちがどんな話をす

るか、待つことにしよう」

次の実験は散々だつた。高校生のボニーはどんなことを思ひ出すか心配で催眠術をかけられることを恐れた。ハーダーは彼女を落ち着かせ、彼女は軽い昏睡状態に入り始めた。だが、気が散るようなことがいろいろ持ち上がり

催眠術をかけられた。ハーダーは黒くて長い服を着ていたもの

「彼らはあなたに話しかけたと言つたね」とハーダー博士。「どんなことを

言つたか覚えているかね?」

「隅に立つてた人は私の名前を聞いたわ。それから、君はもう病気じゃなくなる」と彼女の病気は治つてしまつた。私はもう一度やつてみた。しかし何だか騒々しくて彼女はまた目覚めてしまつた。

夕食が済んでからもう一度やつてみよう、ということになり、パット、ボニー、デビーに近くのモーテルで会うよう手配をした。

デビーは私に、何人かの人が「機械」に乗るため行列を作つて立つていてと話してくれた。その機械が何であるか

彼女にはわからなかつたが、いろいろなダイヤルの付いたテーブルが空中に浮かんでいるように見えたそだ。行列の中には姉のボニーがいた。近所の男の子も二人いた。だから、事件に関係したのはブライス一家だけではなく

だが結果は同じことだつた。

君はもう病気じゃない

デビーはもつと協力的だつた。UFO事件が起こつたとき彼女はまだ六歳だつたが驚くほど利口な少女である。

私は、事件について覚えていることは何でも話してくれとデビーに頼んだ。彼女は円盤の中に「インディアンの女の子」がいたことを覚えていた。

どうして彼女がインディアンとわかるか、と私は尋ねた。

「色が黒くて長い服を着ていたもの」

「彼らはあなたに話しかけたと言つたね」とハーダー博士。「どんなことを

言つたか覚えているかね?」

「隅に立つてた人は私の名前を聞いたわ。それから、君はもう病気じゃなくなる」と彼女の病気は治つていたのである。

デビーは私に、何人かの人が「機械」に乗るため行列を作つて立つていてと話してくれた。その機械が何であるか

彼女にはわからなかつたが、いろいろなダイヤルの付いたテーブルが空中に浮かんでいるように見えたそだ。行

列の中には姉のボニーがいた。近所の男の子も二人いた。だから、事件に関

係したのはブライス一家だけではなく

★世界のミステリーと驚異「エニグマ」創刊号発売中!!

高校生ボニー、催眠術を恐れる

ボニーに催眠術をかける前に、私は

四三〇円

中に連れ込んだのである。私たちはデビーの見た人たちの名前をすべて知ることができた。

もう遅くなるので、その夜の調査は打ち切らねばならなかつた。

次の朝早く私たちはブライス家を訪れた。デビーが迎えてくれたので私たちはバットを待つ間彼女と話をした。

いろいろな話題が出たが、私はその中でUFOに関する質問を二、三混ぜてみた。彼女はもう病氣ではないと言つたのはどの怪人だつたかが知りたかったのである。

「家中に入つて来た人よ」と彼女は私が忘れたのが不思議そうに答えた。

「隅に立つていた人かね？」

「違うわ。別の人よ」

「家中にいたのは一人だけじゃなかつたの？」

「一人は隅に、一人は長椅子のそばに立つていたのよ」

バットの言葉は正しかつたことが証明された。バットが催眠状態で証言するまではだれも家中に二人目の怪人がいたことを話した者はなかつたし、私たちはそれを子供たちの耳に入れないよう気を配つていたのである。

婦人科の検査もありました

バットが出て来たので、私たちは次の調査に移つた。まだいろいろと興味深い問題が残つてゐる。

ハーダーは、今度は彼女を昨日より

もずっと深い昏睡状態に入れた。彼は低い単調な声で問い合わせた。「時がたつにつれてあなたの記憶は次第に強いものとなり、忘れよと命令されたことも抵抗できるようになります。さあもう話せますね、彼から得た第一印象を聞かせてください」

「一緒に来い、と言いました」

「自分から進んで行きましたか？」

「最初はね」円盤は家から五十メートルも離れていない近くにいた。牧場の周囲の低い木立の上空にうまく人からは見えないように滯空していた。

それから数分間バットは黙り込んでいた。ハーダーは力を強めた。「思い出すのは困難でしょうし、不安でもあります。あなたは思い出せるのです。あなたは無事に脱出できたし、デビーもそのあとすっかり良くなりました。そのときの気分になつて思ひ出してください」

「彼は私をテーブルに乗せて片方の手足を金具で止めました」バットはためらつたあと、怒ったように付け加えた。「あんな検査は大きいです」

「婦人科の検査のようなものでしたか？」

「それもありました……頭にされた検査もいやす。私の考えていることを取り出したのです」

「考えていることを取り出す？」

「そうです」

「どうしてわかりました？」

「感じでわかります」。彼女は低い声で答えた。それからまた怒つたようになつつれてあなたの記憶は次第に強いものとなり、忘れよと命令されたことも抵抗できるようになります。さあもう話せますね、彼から得た第一印象を聞かせてください」

「もちろん、ありません」ハーダーは彼女をなだめようとした。「あなたが思考を取り出すのにどんなことをしましたか？」

「針を刺して私の心や思考を取り出すんです」聞き取れないほど低い声だ。

「針はどこにありましたか？」

「私に向かって近付いて来るのが見えました」。彼女は身震いして額にしづをよせた。「どこに刺さったかは知りません」

「いや、覚えているはずです。思い出しますとも。あなたは十分強い。意思の力で思い出してください」ハーダーはリズミカルな慰めるような口調になつた。「彼らが何をしたか、思い出せますよ」

「いや、覚えているはずです。頭ははげていますとも。あなたは十分強い。意思の力で思い出してください」ハーダーはリズミカルな慰めるような口調になつた。「彼らが何をしたか、思い出せますよ」

「背が高かつたですわ。頭ははげています」

「その男が検査をしたのですか？」

「彼は手伝いをしていました」

「彼と他の怪人たちとはつきり区別がつきましたか？」彼が人間であると

「その男が検査をしたのですか？」

「彼は手伝いをしていました」

「彼と他の怪人たちとはつきり区別がつきましたか？」彼が人間であると

「ごく普通の人のように見えたからですわ。ずっと私の上にかがみ込んでいました」

「彼はその男のことを詳しく述べました」

「彼はその男のことを詳しく述べました」

「彼女は何ものかと戦つてゐるようだつた」ハーダーは彼女を安心させてやつた。「もう済んだことです。あなたは無事に出て來たのだ。さあ今度は何

「私が衣服を着ているところです。彼らは知りません」

「人間とはどんなものかということを知らないとは、何を？」

「彼らは怒りはしませんでした。彼らはただ、したいことをするんです。男

「それに対して何か言いましたか？」

「これは私たちが思いもよらぬ言葉だつた」

「何ですって？ それは何ですか？」

「そこには普通の人間もいたといふんですか？」

「そうです」

「背が高かつたですわ。頭ははげています」

「その男が検査をしたのですか？」

「彼は手伝いをしていました」

「彼と他の怪人たちとはつきり区別がつきましたか？」彼が人間であると

「その男が検査をしたのですか？」

「彼は手伝いをしていました」

「彼と他の怪人たちとはつきり区別がつきましたか？」彼が人間であると

「ごく普通の人のように見えたからですわ。ずっと私の上にかがみ込んでいました」

「彼はその男のことを詳しく述べました」

「彼はその男のことを詳しく述べました」

「彼女は何ものかと戦つてゐるようだつた」ハーダーは彼女を安心させてやつた。「もう済んだことです。あなたは無事に出て來たのだ。さあ今度は何

が起きました？」

「それについてどう思いましたか？」

「他に仕方がありませんでした」

「彼らはどんな情報をほしがっていたのだと思いますか？」

「私たちが必要だったのです」

「何ですって？」ハーダーは体を乗

り出した。

「なぜかは知りません」彼はしばら

く待つたが、バットは黙り込んだままで

だつた。しかしどう口を開いた。

「彼らはとても熱心です。早く情報が

必要なのです。これは私の想像かもし

れませんが、時間に制限があるのでし

ょう」

これはわかりにくい。もう一度言つ

てくれとハーダーは彼女に頼んだ。

「彼らは時間に制限があるし、私たち

にはないのです」

「どうしてそのような印象を受けまし

たか？」

バットは彼をさえぎつた。「時間の

量のことではありません。その意味は

私もよくわからないのですけど」

船内の検査は終わり、彼女は衣服

を着たことを覚えている。怪人たち

手伝おうとはしないで立っているだけ

だつた。バットは子供たちのことが心

配になつてきた。どこにいるのがと尋

ねても怪人たちは何も言わない。けが

でもしたのではないかと気になつた。

彼女はとうとう泣きだして子供たちの行方を尋ねた。ハーダーは、子供たち

説明した。そこで彼女は昏睡から目覚めたのである。

バットはじきに平静を取りもどし、

彼女の体験の話を続けたいと希望して

くれた。それから彼女は例の男のこと

を詳しく話した。彼は五十五歳くらい

で、髪は少し白くなつていて、眼鏡を

かけ、黒い服を着て手にはゴム手袋を

はめていた。彼女の言うところでは彼

は親切だつた。しかし、彼女を船内に連れ込んだのは彼であると彼女に思ひ込ませようとなつめていたそうだ。

母は何も身に

つけていなかつた

その夜私たちは、バットとボニーに

ついて最後の調査をすることにした。

私たちは二人を同時に深い昏睡状態

に入れた。ボニーはそのままにしてお

いて宇宙船と彼女に起こつた出来事に精神を集中させ、バットには紙とペン

を与えて怪人たちのスケッチをさせる

こととした。バットは長椅子に座つて

何かを見つめているようだつたが、

数分間見つめてからペンを動かし始め

たのである。スケッチは彼女の言葉通りだつたが、それよりもずっと詳しいものだつた。

それから数分間、私たちはバットを

見ていた。彼女は船内に沢山針の

ある時計を見たという。「ぐるぐる回つ

なかつた」という。それから彼女は爆弾

を落とした。

「怪人と一緒に人がいるわ！」

なかつたので“時計”的文字板がよく見えなかつたのだと話してくれた。

ハーダー博士は尋ねた。「その他に

何が見えましたか？」

「ガラスのケースです」

「何が中にありましたか？」私は息

を詰めた。標本ケースではないかと思つたからである。

「それらは壁に並んでいて、色の付いた液体が入つてゐるようでした。眼鏡

はないし、明るすぎるのですよく見えなかつたのです……。もう降ろしてくださいませんか」

検査台から降りた後は布で体をふかれ、着ていた物を返してもらつた。宙に浮いたまま家に連れもどされるまで

はだれも手伝つてはくれなかつた。彼女は子供たちのことが心配になつて泣きだして、私たちの準備ができないうちに目を見ましてしまつた。そして針が胃に刺し込まれたことを初めて思い出した。

ボニーも目を覚まして、船内にいたことを思い出した。彼女は壁のそばに立つていて、怪人たちが宙に浮いたテーブルの周りに集まつてゐるのを見ていた。テーブルの上には母がいた。ボニーは言うことをためらつたが、母は

何も身につけていなかつたのである。

しかしながら、得ることのできなかつた答

えも沢山ある。それを手に入れるためには何度も調査を繰り返さなくてはならないだろう。その上、その他にも何人かが町から宇宙船に連れ込まれてい

る。バットを調べただけではそのことはわからなかつた。彼らの証言が得られればプライス一家の物語は一層信頼

性の高いものとなり、その価値はばく

大なものであろう。調査はまだ続いて

いる。私たちはバット、ボニーをうそ

発見機にかける計画があるし、心理学者を呼んで催眠調査を継続したい。こ

ういった調査は事件の信頼性をますます高めることに役立つことだろう。

ハーダーが私を見た。私は背筋がうすくような気がした。昏睡中に例の人

物のことを言つたのはバットだけ、ボニーが知つてゐるはずがない。それ

が人間であることは「背が高くて人間の耳をしていたから間違いない」と彼女は言つた。彼女は紙片一枚取つて

覚えてゐる光景をサラサラと描いてみせたが、それはバットの物語通りのものだつた。数も位置も正確なのだ。その後も私たちは質問を続けたが、目新しい事実は何も得られなかつた。手に入るだけの資料はすべてそろつたよう

に見えた。

調査はまだ続いている

しかし、得ることのできなかつた答

えも沢山ある。それを手に入れるためには何度も調査を繰り返さなくてはな

らないだろう。その上、その他にも何

人かが町から宇宙船に連れ込まれてい

る。バットを調べただけではそのことはわからなかつた。彼らの証言が得られればプライス一家の物語は一層信頼

性の高いものとなり、その価値はばく

大なものであろう。調査はまだ続いて

いる。私たちはバット、ボニーをうそ

発見機にかける計画があるし、心理学

者を呼んで催眠調査を継続したい。こ

ういった調査は事件の信頼性をますま

す高めることに役立つことだろう。

日本を代表するUFO研究家3氏の主張展開

究の現状と展望

UFO研究は誰によってどのように行われているのか——。その実体は、研究の当事者以外にはなかなかつかみにくい。そこでこの特集では、日本の代表的UFO研究グループを率いる3氏(近代宇宙旅行協会・高梨純一/日本宇宙現象研究会・並木伸一郎/日本GAP・久保田八郎)にそれぞれの立場からUFO問題に対する現状認識と研究に対する今後の展望を率直に披瀝していただいた。

1

今こそ本格的科学的研究を

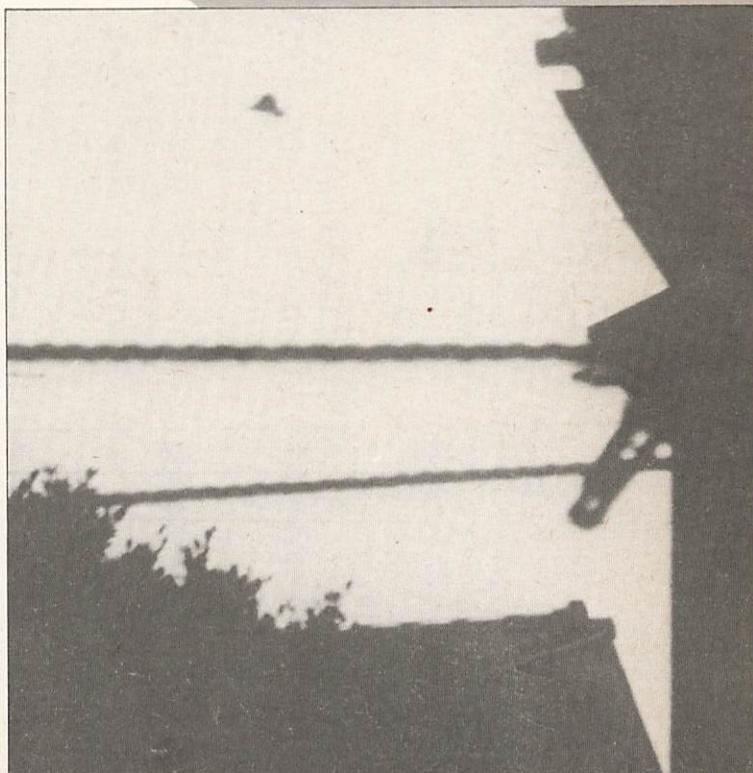
近代宇宙旅行協会会長 高梨純一



空飛ぶ円盤というものは、本当に実在するものであろうか？一九四七年六月二十四日にこの“円盤騒ぎ”が始まって以来、もう半年ばかりで満三十

年を迎えるというのに、この最も根本的な問題にさえも最終的な確定的な結論が出されていない。

というのは、それ以来世界各地で起きたてきたUFO目撃は、何万、いや何十万件にも及ぶであろうけれども、その内容が複雑多岐で、また他のものの誤認の可能性が非常に高く、その中



特集

UFO 研



OCCUPANT TYPE 1

1969年に画家のハル・クロフォードが円盤搭乗者の中で最も典型的な三つのタイプとして描いた図の一つ。トラビス・ウォルトンやムーディ軍曹を円盤の中に連れこんだ宇宙人はまさにこの型に当てはまる？

のどれとどれとがそういう誤認でなくして、本物なのか、識別するのが非常に困難だからである。

その上、そういう誤認では絶対あり得ないような外見や構造を見たとか、それがひき起こしたいろんな出来事を見たとか、あるいはその中から出て来た搭乗者を目撃した、というようなハッタキリした出来事の場合には、今度は意識的にそういう出来事をデッチ上げて、人目についたり、いろんな利益にありつこうと考える人がまじつてくる可能性があるので、厄介である。

その上、精神病者や、そうでなくとも余りにも一つのことに熱中しすぎる人などは、どうしても円盤が見たいといふようなことになると、何らかの動機でそういうような体験をしたような妄想——いわゆる白昼夢的なもの——を見ることが非常に起こりやすい。

そこで、そういうものをよく識別して、しかも本当の体験と思われるものの中から、空飛ぶ円盤というものがたしかに実在するという証拠をつかみ出していくことは決して簡単なことではない。

ことにわが国での最近の状況のように、中学生や高校生ばかりではなく大人までが、次々に一目でトリックとわかるような円盤写真をこしらえ上げて、それを堂々と新聞記者などに公開しているのを見ると、一体、他の体験にしてもどの程度本物なのだろうか？

しかし、実際は、そういう困難な状況下にあっても、今ここで目撃されたものが一時間後にまた別の所で見られる、そしてそれがその半時間後によく離れた所で見られる……というように、目撃された物体の形状や何かがピッタ

リと一致しており、また、その速度から考えて、そういう所へ現れるのが丁度理屈が合っている、というような実例がひんぱんに起こってくるのならば——また、それが、日本で目撃されたものが、また米国で目撃され、次にヨーロッパで目撃される、というようになり、世界をまたにかけた大規模なものであり、またそれぞれ写真にでもキャッチされているのであれば——空飛ぶ円盤が実在するということを立証することは、非常に簡単である。

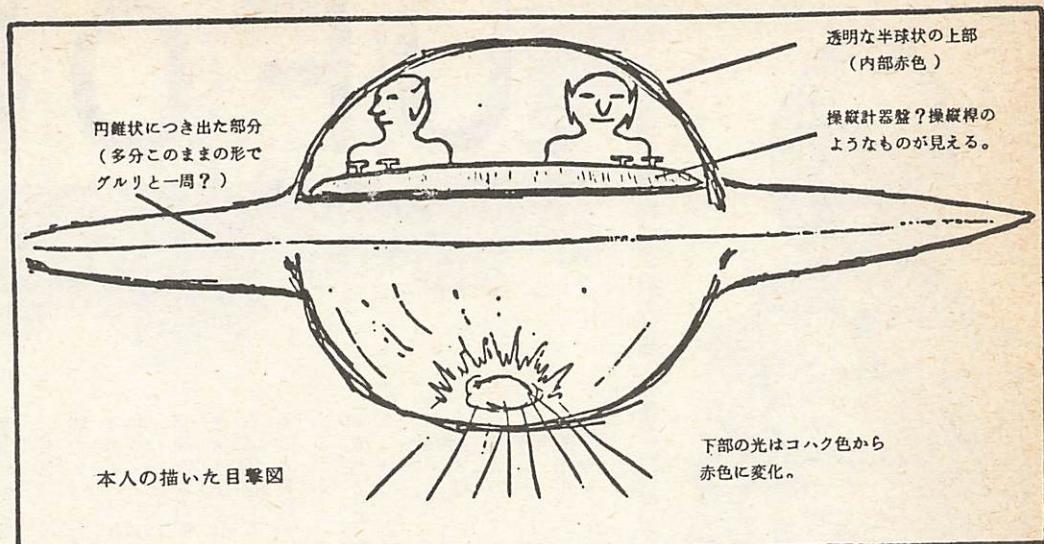
だが、なかなかそういう出来事は起こってこない。たまたま、そういう風にあっちでも見られ、こっちでも見られたものの形状が一致しその進行経路が割り出せる、というような出来事の場合には、たいていが流星か、人工衛星の破片の大気圏内突入か、迷走気球などである。（例えば、昨年一月十五日の全日空機のパイロットのUFO編隊目撃や、昭和四十七年九月二十二日夜の沖縄全土でのUFO目撃など）

しかし、では、空飛ぶ円盤の目撃というものは皆、誤認か妄想なのか、というと、そうでもないようなので、そういうこととは別に、空飛ぶ円盤がたしかに実在するという証拠と考えられることがいろいろある。

これは私が、著書『空飛ぶ

★世界のミステリーと驚異「エニグマ」創刊号発売中!!

四三〇円



た円盤の図。
グフォード・ロード上で工員アロイス・オールニさんが目撃し
一九七五年五月三日、米国テキサス州サン・アントニオのモ

「円盤実在の証拠」(高文社)をはじめ、いろいろなところに書いたり、またいろんな機会に言ってきているが、次のようなものである。

空飛ぶ円盤の着陸
痕・滯空痕
空飛ぶ円盤の追跡
行動
地上からの光への
反応
空飛ぶ円盤に拳銃
やライフル銃で
弾丸を発射した
時の手応え
空飛ぶ円盤の物理的効果
空飛ぶ円盤の生理的効果、後遺症
空飛ぶ円盤の偵察
行動の変化
特殊な飛行様式
動物類の反応
等々、である。

こういうようなものが、世界の各地で同じような具合に起こっているのである。これまで公表された実例の中でも、最も確実と思われるものだけを取り出し、比べてみると、その度に、円盤それ自体や、それと共に目撃された搭乗者の外形や服装などが、異なっているようと思われる。

そこへもってきて、テレパシーとか、幻の声とかいった、奇怪至極な心靈現象的随伴物を伴った実例がいくつか現れてきて、これが一体この世の現実の出来事なのだろうか? と我々を大いに戸惑わせる。

そこで、こんなことでは、到底現実の出来事とは解釈出来ない、つまり、一定の普遍的な法則、またはバターンを見出すことは不可能だ、とあきらめた研究者たちが、早くも「非現実説」

る。ことに、着陸痕・滯空痕というの

とも「超常現象説」ともいべきものを唱え始めている。

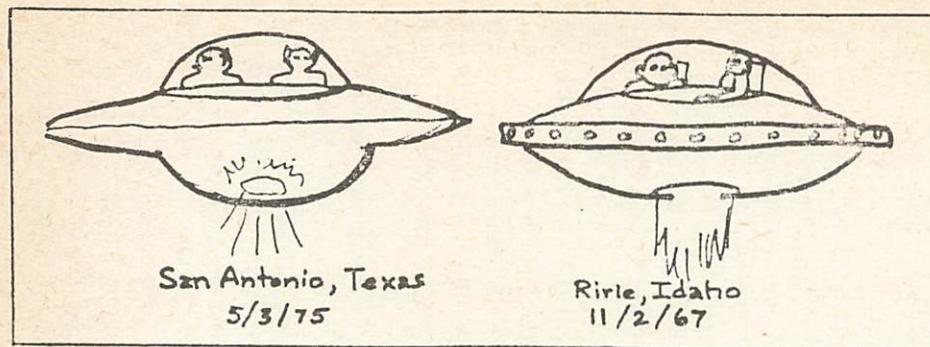
つまり、UFO現象そのものは現実に起ころっているのだけれども、その実態は、他の惑星からの知的生物の乗った宇宙船などという現実のものではなく、各種の奇怪な心靈現象などと同様に、科学がまだつきりとその本性を解明することが出来ず、いる人間の神秘な本性に基づいて起こる超常現象だ、というのである。

この考え方の根拠となつたものは、昔は空飛ぶ円盤の着陸だと、その中から宇宙人の出現などといふものはなかつたけれど(そういうものとして騒がれた出来事は殆んどなかつたけれど)、その代わりに、エルフとかグノームとかフェアリーなどという土地によっていろいろな名前で呼ばれる妖精類の目撲や、天使の出現や、聖母マリアの顕現などという、とても現実とは思えぬことが世界各地で起こつており、しかもそれらと同じような現実の出来事として語り伝えられている。

だが、これらはどうしても到底現実の出来事だったとは思えぬ出来事で、しかも、各々の土地の信仰・言い伝え・先入観に基づいたような形で現れている。だから、空飛ぶ円盤現象とその乗組者の活動とともに、人それぞの内面の潜在意識と願望とに基づいて、あたかも現実のようにして現れる超常現象ではあるまいか、というわ

けである。

そして、着陸痕や落下物や遺留物などというのも、心霊現象や物理的現象



一九六七年十一月二日、アイダホ州ラ
一九六七年十一月二日、アイダホ州ラ
一九六七年十一月二日、アイダホ州ラ

象のように、そういう人間の未知の具象化能力が外に発散してできたものではないか、というわけである。一つの出来事の集団目撃などというものは無論、テレパシー的に各人の潜在意識が連なつて、作り出されたものではないか、というわけである。

これはうまい考え方である。こう考えれば、どんな複雑怪奇な出来事も簡単に片づいてしまう。

その上、かなり客観性があると思われる出来事も、明らかに単純な妄想と判断できる現象も、更に又、誰かがデ

ッチ上げで作り上げた出来事も、全部一くるめに認めてしまうことになる。だが、こんな考え方は、正しいのであろうか？

実は、世界的なUFO研究家として数えられるアレン・ハイネック博士やジャック・パレー、それにエイメ・ミシェルまで、これ流の考え方方に傾いているのを見ると、やれやれ三十年近い大騒ぎの結果、こんな曖昧模糊たる解釈にしか到達できなかつたのだろうか？と暗たんたる気持ちになつてしまふ。

ただ人によって、すべてを人間の神秘不可思議な、オールマイティな潜在能力の活動に押しつけてしまうのと、それ以外に、未知の世界の超自然的な

力の干渉を絶対不可欠な要素として認めると、二種類あるわけである。

だが、どちらにしても、遠い他の天体からの訪問者という、過去三十年間円盤ファンが抱きつづけてきたロマンチックな夢は、朝の日光に当たつた夜露のように、非情な科学的解釈のもとに雲散霧消してしまうわけである。だが、こういう考え方は、本当に正しいのであるうか？

データ分析が 出来る段階

出来的段階

こういう考え方では、私は言わせると

これらの人たちの考え方には甘さがあり、研究の仕方が厳密さに欠けるために——それに、人によつては神秘的なものへの嗜好が強すぎるために——途中で先の見通しが全くきかなくなり、結論をあせつたために、こういう中途半端な曖昧な考え方には頼らざるを得なかつたのではないか、と思う。

しかし、これまでに円盤研究者たちによって世界各地に発見されてきた、前述の着陸痕や滯空痕や、空飛ぶ円盤の物理的効果や、生理的効果や、後遺症などといったものは極めて現実的であり、またお互いに関連があり、普遍的な原理によって裏づけられている

ようであつて、到底各個人の潜在意識の働きや、別次元の世界からの魑魅もうりようの干渉によつて作り出されたものとは考えられない。

そこで、私が考えるのは、これまで報告してきた出来事の中には、さきにも述べたように、本当に体験されたものと、つくりものの出来事とがある、また本当に体験をされたものの中にも、誤認に基づくものと、妄想に基づくものとが混ざつてるのであるから、この四つ——つまり、簡単に言えば、空飛ぶ円盤の真相は解明されないのではないか、と思う。

ところが、前述のような人たちは、こういう区別がはつきりと出来ず、それを曖昧に残したままで、結論を出そうとするから、前述のような、現実の複雑さに妥協したような結論にならざるを得ないのではないか、と思う。そこで、そういう本物の客観的なものだけを選び出して（本当の体験の中の妄想的なものについては、前述のジエローム・クラークのような考え方、ピタリとよく当てはまると思うが）それらを厳密に研究して行けば、たしかに空飛ぶ円盤の真相は解明されて行くのだろうか？ というと、私はたしかにそれが出来る、と確信する。

というのは、この空飛ぶ円盤の現象は非常に複雑であり、これまでの状況から見て、いろんな天体からのいろんな乗物が飛来しており、またその中に乗っているものも、それに応じて、そ

ういう活動のはんの一部しか我々の目に触れない、ごく断片的な（それに、目撃者によつて観察力が異なり、またとつさの場合なので正確に記憶している方が不思議なくらい）データの分析によつてそれをしなければならないのであるから、相当の年月を経て、相当前のデータが集積しないかぎり、似たようなデータを見つけて、それらを分類し、整理し、関係づけて行くのは困難なはずであるが、空飛ぶ円盤騒ぎが始まつて以来約三十年、ようやくにしてそういう分析が出来る段階にきた、と私は考える。

例えば、昨年（一九七五年）五月三日の午後九時十五分ごろ、米国テキサス州サン・アントニオの南にあるモグフォード・ロード上を走つていた四十八歳の工員アロイス・オーレルニックさんの操縦するピックアップ・トラックの上方に、道に沿つて牧場の彼方にあら立木の向こうから突然現れて来て、ぐんぐん降下して来た「灰皿を二つ向かい合わせにくつつけたような形」をした物体は、下方は金属でできているようと思われたが、上部に透明なドーム状の部分があり、その中に二人の搭乗者の姿がみとめられた。その中の一人は、こちらをジッとみつめているようであつたが、もう一人は、その横で操縦をつかさどつてゐるよう見えた。そして、下部の中央あたりからは、赤い光が輝き出していた。

ところが、こんな風に上半分に透明な操縦室のようなものがあり、その中に二人の搭乗者が認められ、しかもその中の一人は操縦に任じているようである方が不思議なくらい）データの分析によってそれをしなければならないのであるから、空飛ぶ円盤の形状にも、その搭乗者の外見にも、科学的に見て系統的に分類出来る類型的なものが、これまでの考え方のように、全くないのである！

だから、空飛ぶ円盤の形状にも、その搭乗者の外見にも、科学的に見て系統的に分類出来る類型的なものが、これまでの考え方のように、全くないのである！

そこで、紹介したいのが、米国の世界的UFO研究団体APPRO（空中現象研究機構。私はその日本特別代表）の主宰者ジムとコラルのロレンゼン夫妻の著した最新著『UFO搭乗者との遭遇』（Encounters with UFO Occupants, by Jim and Coral Lorenzen, Berkley Medallion Book, 1976）である。

この二人には、これまで何冊かの著作があるが、この本を手にしてびっくりしてしまつた。

小型のポケット・ブックであるが、作があるが、この本をしてびっくりしてしまつた。

だから、この本一冊あれば、これまでの信頼出来るUFO搭乗者の目撃おとぎ遭遇事件のすべてが、他のどの資料を見なくても全部わかるのである！

まさに、私などその業績に垂涎を禁じ得ないほど、見事な完璧な出来ばえである！今日のUFO研究者の中でも最も事実の収集に重点をおいた現実的な科学的な研究者として知られるロレンゼン夫妻は、この一冊でまさに、UFO研究界古今不滅の大金字塔を築き上げたことになる！

さて、こういう、全世界各地でこれまで起こつた全部の（といつてもよいか見えない……といった円盤搭乗者の姿は、これまで世界各国で度々目撃されており、そのつもりになつて過去の実例を吟味してみると、かなり多くの実例がその特徴に当てはまつてくるのである！

だから、空飛ぶ円盤の問題もあるし、それは、こんなことが出来るとは思えなかつた。世界中の全実例を詳しく見て、いろいろバターンを見つけて、それによって吟味してみると、たしかにそういう分析法で納得出来る客観性を持つていることがはつきりわかる時代になつてきたのである！

そこで、紹介したいのが、米国の世界的UFO研究団体APPRO（空中現象研究機構。私はその日本特別代表）の主宰者ジムとコラルのロレンゼン夫妻の著した最新著『UFO搭乗者との遭遇』（Encounters with UFO Occupants, by Jim and Coral Lorenzen, Berkley Medallion Book, 1976）である。

この二人には、これまで何冊かの著作があるが、この本をしてびっくりしてしまつた。

だから、この本一冊あれば、これまでの信頼出来るUFO搭乗者の目撃おとぎ遭遇事件のすべてが、他のどの資料を見なくても全部わかるのである！

まさに、私などその業績に垂涎を禁じ得ないほど、見事な完璧な出来ばえである！今日のUFO研究者の中でも最も事実の収集に重点をおいた現実的な科学的な研究者として知られるロレンゼン夫妻は、この一冊でまさに、UFO研究界古今不滅の大金字塔を築き上げたことになる！

さて、こういう、全世界各地でこれまで起こつた全部の（といつてもよいか見えない……といった円盤搭乗者の姿は、これまで世界各地で度々目撲されており、そのつもりになつて過去の実例を吟味してみると、かなり多くの実例がその特徴に当てはまつてくるのである！

だから、空飛ぶ円盤の問題もあるし、それは、こんなことが出来るとは思えなかつた。世界中の全実例を詳しく見て、いろいろバターンを見つけて、それによって吟味してみると、たしかにそういう分析法で納得出来る客観性を持つていることがはつきりわかる時代になつてきたのである！

そこで、紹介したいのが、米国の世界的UFO研究団体APPRO（空中現象研究機構。私はその日本特別代表）の主宰者ジムとコラルのロレンゼン夫妻の著した最新著『UFO搭乗者との遭遇』（Encounters with UFO Occupants, by Jim and Coral Lorenzen, Berkley Medallion Book, 1976）である。

の資料収集網の行きとどいてない国がまだ沢山あるので、そこでもつといろの出来事が起こっていることが考えられる) 目撃・遭遇談を一冊にまとめたものを慎重に読んで行くと、今まであちこちの資料にちらばつてゐるのを読んでいただけではわからなかつた目撃物の外形や行動や、その他いろいろな点に、いろんな共通性があることがわかつてきて、これらの体験談が各々バラバラの妄想的内部問題でないことがわかつてくる。

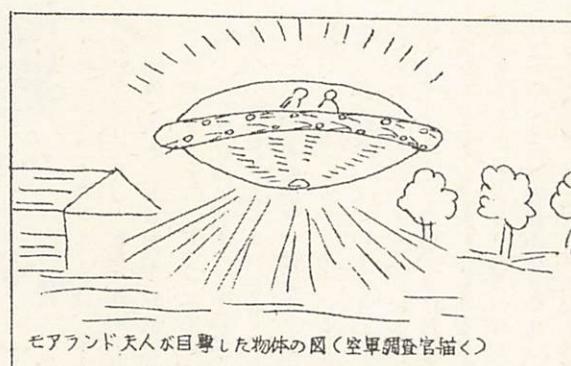
証拠としての 誘拐事件

そこで、私は、ここではつきりと申し上げることが出来ると思う——UFO現象は、決して誤認と妄想と作り話だけのごたまぜ現象ではなく、その中にはつきりと現実の客観的な現象がひそんでおり、しかもそれを科学的に分析する時、地球外の天体から飛来した宇宙艇とその搭乗者の活動という以外の結論に到達することは、どうしても出来ない——ということである。

ところで、この地球外の天体から飛來した宇宙艇ということで、最近もつともノッピキならぬ証拠として起きてきていることは、読者もよくご存じの通り、人間の誘拐事件である。

この問題については、ロレンゼン夫妻の著は昨年秋で筆が止まっているので、その後に起つたトライビス・ウ

ドのブレンハイムでモアランド夫人が目撲した円盤の図。



モアランド夫人が目撲した物体の図(空軍調査官描く)

オルトン事件には触れていないけれども、ムーディー軍曹の誘拐事件については、すでに当時 APRO は本人から詳しい体験談を聴取しているので、そのことは最後に述べてある。しかし、この種の事件としては、その前に、一九六一年のヒル夫妻の体験があり、一九六七年十二月三日のネブラスカ州アッシュランドで起つたペトロール警官ハーバート・シャーマンの同様の体験があり、また一九五七年十月十五日のブラジルのアントニオ・ビラス・ボアスの誘拐・強制セックス実験事件が

あるので、それらを詳しく述べているのは当然であるが、その他に、その後起つたこととして同会報上に簡単には触れてあつたが、まだ詳細の発表されてなかつた一九七三年十月十七日の P 夫人一家の全く同種の誘拐事件 (P 夫人と四人の子供が円盤の中へ連れこまれ、P 夫人は他の実例同様全裸にされて診察台の上へ横たえられ、徹底的な検査を受けている) の詳細を述べ、さらにこれまで一九六七年十二月に起つた同種の実例らしい二人の青年の体験談 (ただし、まだ催眠術をかけての記憶の回復が行われていないので、詳細はわかつてない) なども述べ、こういう事件はこれまで余り知られていないけれども、本当はもつともっと頻繁に起つてゐるけれども、人が世間体をはばかりて公表しなかつたり、あるいは (この方が主な理由かもしれないが) 体験中の記憶の消去が完全なために、我々に知られるようになつていいのではないか、という憶測を公表している。

そして、今後、そういう事件が更に沢山起つてくるのではないか、といふ予測を述べている。

全くその予測通りに、今やそういう事件が、前よりも頻繁に起り始めてることが、目下第一の肝要事である。

いまや、あらゆるまやかしものを除して、本格的な科学的研究を推進することが、目下第一の肝要事である。

さいわい、海外では、前記のロレンゼン夫妻の他、物的痕跡の専門家であるテッド・フィリップ氏など、たくさんの人たちが克明な科学的な資料収集と分析研究に励んでいる。

我々も、その範囲に従わねばならぬので、まさに、宇宙人は今までよりも活潑に活動し始めたようみえる。もうこうなれば、UFO 現象は誤認か妄想か作り話だなどという考えは、な勢いで活動し始めたようである。もうこうなれば、UFO 現象は誤認か妄想か作り話だなどという考えは、全く当てはまらぬこととなる。

それはまさに、我々人類にとってこれまで余り知られていないけれども、本当はもつともっと頻繁に起つてゐるけれども、人が世間体をはばかりて公表しなかつたり、あるいは (この方が主な理由かもしれないが) 体験中の記憶の消去が完全なために、我々に知られるようになつていいのではないか、という憶測を公表している。

しかも、彼らは、人類と対等につき合うなどということは、今のところ全く考えていない。ひそかに (いろんなカムフラージュ手段も講じて) 一方的に地球と人類の調査を続けているだけらしいのである。

いまや、あらゆるまやかしものを除して、本格的な科学的研究を推進することが、目下第一の肝要事である。

さいわい、海外では、前記のロレンゼン夫妻の他、物的痕跡の専門家であるテッド・フィリップ氏など、たくさんの人たちが克明な科学的な資料収集と分析研究に励んでいる。

我々も、その範囲に従わねばならぬので、まさに、宇宙人は今までよりも活潑に活動し始めたようである。

まさに、宇宙人は今までよりも活潑に活動し始めたようみえる。もうこうなれば、UFO 現象は誤認か妄想か作り話だなどという考えは、全く当てはまらぬこととなる。

それはまさに、我々人類にとってこれまで余り知られていないけれども、本当はもつともっと頻繁に起つてゐるけれども、人が世間体をはばかりて公表しなかつたり、あるいは (この方が主な理由かもしれないが) 体験中の記憶の消去が完全なために、我々に知られるようになつていいのではないか、という憶測を公表している。

しかも、彼らは、人類と対等につき合うなどということは、今のところ全く考えていない。ひそかに (いろんなカムフラージュ手段も講じて) 一方的に地球と人類の調査を続けているだけらしいのである。

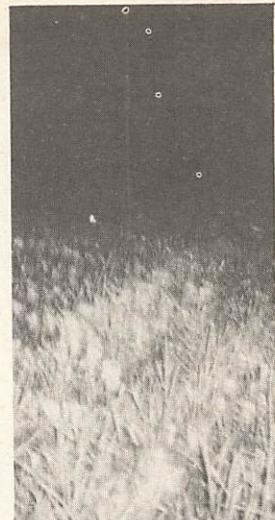
いまや、あらゆるまやかしものを除して、本格的な科学的研究を推進することが、目下第一の肝要事である。

さいわい、海外では、前記のロレンゼン夫妻の他、物的痕跡の専門家であるテッド・フィリップ氏など、たくさんの人たちが克明な科学的な資料収集と分析研究に励んでいる。

我々も、その範囲に従わねばならぬので、まさに、宇宙人は今までよりも活潑に活動し始めたようである。

日本宇宙現象研究会代表 並木伸一郎

UFO資料センターの設立を計画



1枚だけ遠まきに撮影
たった田んぼの中のUFO

のタイプがあつた。(こういうと、

読者諸氏は、コンタクト支持派とアンチ・コンタクト派だろう、と思うだろが、ここではその件について

は扱わない)二つのタイプとは、個人

誌的会誌発行団体と、投稿主体的会誌発行団体である。前者の個人誌的会誌というのは小グループによくみられる形で、多くは代表者がそのまま編集者

であり、執筆者であるという形をと

り、その代表者の研究や翻訳を会員が購読していくというやり方である。事

実上、代表者が一人で何もかも処理しているわけだから、その人がやる気をなくしてしまえば、当然、会は解散をなことになりがちである。個人誌型に

おける代表者も大変であるが、投稿者型の代表者もこれまた大変で、通常の編集業務に加えて、うまく励まして原稿を(しかもアマチュアの研究会は常に赤字運営なので、稿料などといふのは全く支払うこととはできない)執筆さえあれば、たとえ会員が五人や十人になってしまっても根性で頑張って会誌の発行だけは統けていくことが出来

るという利点もある。

これに対し、後者の投稿主体的会誌発行団体というのは、会員からの投稿原稿を主体とした会誌を発行していくというやり方で、執筆メンバーが多いだけに内容もバラエティーに富み、また会員間で誌上討論を行なうなど、会員同士啓発していくことができる理想的な形である。

しかし、最近徐々にではあるが日本でも海外のそれにひけをとらないような事件がボチボチ発生してくるようになつた。それによって当然第三のタイプの登場が要請されてきた。冒頭で私が最近の新しい動きといったのは、実はこの第三のタイプの登場なのである。



この意味でもまた“理想的”といえるわけで、多くの会がこの形を目指しながらも思うようにならないというが現状である。

ところで、右のような二つのタイプが生まれてきた原因は一体何であつたのだろう。それは、これまで日本ではこれといって目ぼしい事件がなかつたため、ほとんどの資料を、興味深い事

件が豊富で研究内容も数段進んでいるのだろう。それは、これまで日本では海外に求めなければならなかつたということに依つてゐるのである。ただそれが代表者一人が扱うか、投稿者といふ複数の人間が扱うか、ということによつて前記二種のタイプが現れてくるにすぎなかつたのである。

海外のUFO研究の現状については最近他のところでも度々伝えられていよいである。ここでは日本の場合について述べてみたいと思う。

しかし、私のような若輩者が他の先輩格に当たる研究会の様子をとりあげて論評するというのもおこがましいので、最近我々の会(「日本宇宙現象研究会」JSPS)で起きつある新しい動きを中心に話を展開していきた

誌的会誌発行団体と、投稿主体的会誌発行団体である。前者の個人誌的会誌というのは小グループによくみられる形で、多くは代表者がそのまま編集者であり、執筆者であるという形をとり、その代表者の研究や翻訳を会員が購読していくというやり方である。事実上、代表者が一人で何もかも処理しているわけだから、その人がやる気をなくしてしまえば、当然、会は解散をなことになりがちである。個人誌型における代表者も大変であるが、投稿者型の代表者もこれまた大変で、通常の編集業務に加えて、うまく励まして原稿を(しかもアマチュアの研究会は常に赤字運営なので、稿料などといふのは全く支払うこととはできない)執筆さえあれば、たとえ会員が五人や十人になつてしまつても根性で頑張つて会誌の発行だけは統けていくことが出来

る。

国内における二大UFO 事件の登場

1. 介良事件

一九七二年八月下旬から九月にかけて高知市の介良で発生した、いわゆる介良事件についてはマスコミでも度々とりあげられているので、読者の方々は既によくご存知のことかと思う。

直径二十センチ足らずの小型円盤の

捕獲に何度も成功した、というこのショッキングな事件については当会も今回近く現地へ赴き、目撃体験者の九人の少年（といつても今では高校生であるが）に会って詳しく調査を行つてい



目撲者たちの証言により作成された小型UFOの模型。

るが、その都度痛感することは、もつと早くこの事件の情報を入手することができたなら、より完璧な調査が行えたのに、という情報網の不備に対する大きな後悔の念であった。

我々は少年たちに会つて充分に彼らの証言のくい違いのないことを確認してはいるのだが、肝心の物体が既に逃げ飛んでしまっている上に、たまた一枚撮影された物体の写真も判然とせず、調査開始時期が遅かつたことが重なって、第三者に説明する上で、どうしても今一つ説得力に欠けるのであ

る。

しかし、間もなく介良事件にばかり驚いていたわけにいかなくなつた。もつとショッキングな事件、そう、あの

甲府事件が発生したのである。

進展はなく、これまた他のUFO事件同様ウヤムヤになつてしまふと思われた。

ところが偶然なことから、事件は新しい展開をみせたのである。

2、甲府UFO着陸事件

昨年の二月下旬、甲府市内のはずれのブドウ畑にUFOが着陸、中から宇宙人らしきものが現れ、それに二人の少年が遭遇した事件は、読者諸氏の記憶にまだ新しいことかと思う。

当初、当会では単なる子供の作り話くらいにしか考えてはなかつたが、実際に調査し、二人から非常に客観的な内容をもつ証言が得られていくうちに、この事件は先の介良事件とともに、J S P S の U F O 資料第一級にランクされ、度重なる調査が続けられた。しか

新聞記事により現場にかけつけた人たちの中にも、第一種放射線取扱い主任者の一種放射線取扱い主任者の資格を持つ、同市機山工校理科教諭の前田進氏がおり、興味本位から着陸したとおぼしき現場の土を採取し、

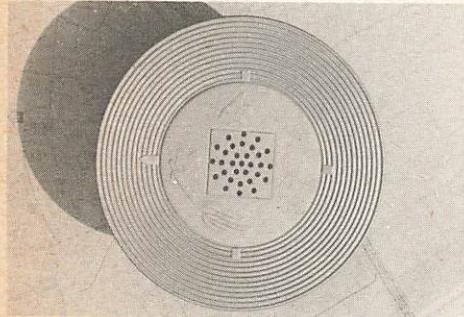
ガイガーミュラー放射線検出器にかけてみた。その結果、なんとそこに微量ではあるが、バックグラウンドより確かに高い放射線を検出したのである。さらにこの資料は非公式ながら、ある原子力研究所の分析装置にかけられ、その放射線のエネルギースペクトルが調べられた。そして、バックグラウンドによく似たスペクトルだが、それよりもわずかに高い放射能が検出されたのである。

しかし、日本ではまれな宇宙人らしきものを伴つたUFO着陸事件もさることながら、初めてUFO事件に科学のメスが導入されたことは大変意義深いことだつた。

だが反面、土壤の分析調査が関係者からの依頼ではなく、個人によつて偶然に行われたことは、日ごろ「科学



着陸現場？から放射線が検出された。



UFOの底面は奇妙な模様と小さな無数の穴があっていたという。

壁な調査ができる体制を整えておかなくてはいけないということを身にしみを感じるとともに、これまで海外の情報にあまりにも頼りすぎていたために国内で発生した事件に対処するための調査体制がおろそかにされていたことに気づいたのである。

本業を別にもち、資金面のバックアップもなければ、専門の調査機関すらもたないわれわれの活動にもたしかに限界があり、会誌の発行のみに追われているのが現状なのだが、この辺で国内のUFO事件に目を向け、これまで非常にあいまいだったUFOの組織的観測および各種器材を使っての現地調査をもつと徹底して行い確実なデータを収集し記録して残しておくべきだと思う。

たとえば、UFO出現の際の飛行経路を測定するための三点観測、分光撮影、磁場変化の有無などの記録程度は我々でも実施可能なのである。一九七〇年後半より急激にUFO目撃報告が増えている。いつまた、第二、第三の介良および甲府事件が起きた事件でもあった。

「」を看板にしているわれわれ研究グループの研究体制の不備を如実に示した事件でもあった。

情報網の完備と

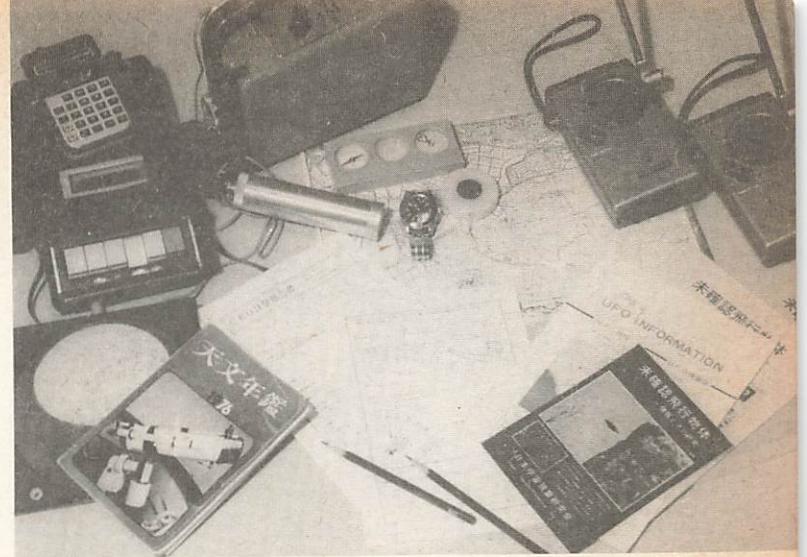
調査研究体制の確立

介良および甲府事件に直面して、私はUFO現象の調査活動を続けていく上で、常に情報を早くキャッチし、マスコミ等に毒される前に現地へ赴き完

UFO資料センター の設立

つぎにこれは私の遠大な計画の一つ

ガイガーカウンターをはじめとする主な調査用器材。



UFO研究を志す 若き諸君へ

最近本誌「声」欄に研究会結成の呼びかけが出ていて、最後にそういう日の日本UFO研究の基盤を築くことが急務だと私は思うのである。

「」を看板にしているわれわれ研究グループの研究体制の不備を如実に示した事件でもあった。

介良および甲府事件に直面して、私はUFO現象の調査活動を続けていく上で、常に情報を早くキャッチし、マ

で、他の研究団体の協力も仰ぐことにしてはいけないということを身にしみを感じる。しかし、これは象研究のための各種資料がとり揃えられすべて完備された資料センターを設け、親身になってUFO研究を志す人たちのために自由に出入りできるよう開放し、後に続く優秀な人材を育成し、日本のUFO研究発展に寄与したことを考えている。別に大言壯語するつもりは毛頭ないが、単に会誌発行中心の活動だけでは研究会としての発展はありえないと痛感したからである。

さいわい、ここ数年来のUFO研究界の動向は、我が国初の円盤雑誌である本誌が創刊されたことも重なり、いい意味でお互い刺激し合い活発化している。研究内容をみても、海外に優るとも劣らない綿密で丹念な分析に基づいた優秀な研究レポートが生まれている。このままの状態が維持できれば徐々に研究面がレベルアップし、斯界の将来は大変明るいものとなってくれるだろう。

F.Oのことならなんでも手をつけて、広げようとする。しかし、これはあまり利口なやり方ではなく、かえって混乱を招くだけなのである。

私がお勧めしたいのは、UFOはUFOでも、観測法とか、推進機関の研究とか、写真分析とか、ある程度自分の研究の方向を定めることである。そしてそれに関わる一般科学の情報にも広く目を向けることだ。もちろん、そういういわば自分の専門外の情報を集めるなどいうわけではないが、二兎追う者一兎を得ずで、自分の研究の方向が定まらない人は、いずれも中途半端になってしまることが多いので注意してほしいということである。

では、自分の専門以外の知識をどうするか、ということだが、それは、自分と専門分野が異なる友人をもつことによって充分に補うことができるはずである。お互いに知識の交換もできるし、専門以外の資料を交換することも可能なまたとない友人をもつことである。しかも他の人たちの考え方を知ることによって自ら啓発されることもある。こうして形成された人々の集団は、もはや一つのシンクタンクといつても過言ではない。

若い諸君の研究法について、自らの反省をチョッピリ込めて述べてみると、人々はうまく親睦を深め、将来我々に追いつき追い越して、日本のUFO研究を背負って立つようになっていた。これからUFO研究会を結成される人々は、まずは親睦を深め、将来我々に追いつき追い越して、日本のUFO研究を背負って立つようになっていた。

UFO研究は人間研究

日本GAP主宰者 久保田八郎



人間は他人の体験を
容易に信じない

大戦末期、私は陸軍航空隊に所属して新鋭爆撃機キ-67（秘匿名称は“飛龍”）の整備部隊にいた。場所は長野県松本市郊外の芳川村である。しかし作業には出ないで部隊本部付として事務関係の仕事をやっていた。

ある晴れた日、上官のS中尉が呼びかけた。「おい久保田。今日は面白い物を見せてやるから、ついて来い」

二人は隊のトラックに乗って松本航空隊基地へ飛ばした。碧空の彼方にアルプスの峰々が夢のように浮かぶ。

飛行場へ着いて数棟の格納庫を通過し、端にある格納庫の付近まで来て私はハッとした。ここだけが敵重に遮蔽されれて内部が見えなくしてあり、銃を持った衛兵が立っている。何かあるぞ、と高鳴る胸を押さえながら内部に入ったとたん、アッと驚いた。なんとそこには双発の小型戦闘機が置いてあるのだ！ 翼幅十メートルにも満たない（と思われた）不安定な小さな機体に四枚ペラをつけたエンジンを二基も

搭載する戦闘機が存在したとは夢想もしなかつたことである。最高時速八百五十キロで、世界最高の戦闘機だ、今は試作の段階で数機しかないが、こいつが量産されれば陸軍航空隊は無敵になる筈だと、凜々しい若武者のように見える可愛い機体の前で茫然としている私、中尉が熱っぽく語りかけていた。

これがついに陽の目を見ずに消え去った“幻の戦闘機”キ-83であつた。

問題は戦後である。すごい新兵器をこの眼で目撃したと、航空機ニアや研究家に話しても、信じてくれる人がほとんどいないのだ。設計の段階で終戦になつたので、製作されていた筈はないとか、おまえのような下つ端が見られるわけがない等々、力説するほどだめなので、あきらめて話さないことにした。親しくもなかたS中尉がなぜ私に超秘密兵器を見てくれたのか、これも謎だが、とにかく目撃したこと間に違ひはない。人間というものは他人の珍しい体験を容易に信じないものだということをイヤといふ程感じたが、

あらゆる現象が
研究の対象となる

捏造者を追求している暇があれば、自分でもっと学習をやりたい。物理学、生物学、写真工学、哲学、語学、その他――。多忙なため気がせきばかりで今はどうにもならないが、学問らしいものを始めた少年の頃の熱意と純粋さだけは失いたくないと思う。

また、「存在する」という主張に対して「存在しない」と否定する自由もあるので、この自由をおかすわけにもゆかない。したがつて我々UFO専門家が認めるところである。

かなり昔のことだが、米国のある女子大学生が、女性の脚線美に関する研究を卒論に書いて、めでたく卒業したというトピックを新聞で読んだことがあ

る。当時若年であった私は、米国の大

学生はとんでもないことを研究するものだと一笑に付した記憶があるが、後にこの件をある学者に話したところ、これは医学、心理学、造形等についてよほどの知識がなければ書けないテーマであると言われ、私は身の不明を感じた。

★世界のミステリーと驚異「エニグマ」

創刊号発売中!!

四三〇円★

対象にするおそれがある。

心証も大切である

科学万能の現時代では犯罪の捜査も物証第一主義となり、何においても証拠物件を発見することが重要とされている。しかし心証（注）法律用語で、裁判官が訴訟事件の審理において、事實認定について心の中に得た確信または認識）を一切無効として物証だけに頼らうとすれば、判定はきわめて困難となり、むしろ混乱が生じて犯罪も増加するだろう。

UFO問題にしても、ある目撃者の体験談の真偽を判断するのは、絶対に確実な物証がない限り困難であるが、本人に社会的地位があり、日頃の性格・態度等が多数者の証言により間違いないものと断定されれば、大体に真実を語っていると認められる。これは要するに認めた人の心証によるのである。この心証までも排除すれば、UFOの調査活動は進展しないだろう。

いわゆるUFO写真にしても、何らかの絶対的な科学的証明法が開発されない限り、真偽の判定は实际上不可能である。なぜなら、通常写真撮影から発表までのプロセスは厳密に言えば暖昧であるからだ。「疑えばキリがない」という法則を応用すれば、高名な写真家が立派な芸術写真を撮って個展で発表しても、果たして本人が撮影したか

どうかは疑わしいということになる。そこで「本人撮影の写真」に間違いないことを立証するためには、Aという撮影者がBという被写体を写す前に、Cという一群の証人が必要になる。しかもCは社会的地位や信頼度の高い人々の集団である方がよい。かりに十名のCがいるとする、この全員が写真材料店へ行って一本の未露光フィルムを購入し（これが未露光であることを

フィルムメーカーに立証してもらう必要もある）、それを撮影場所でAに手渡してAがカメラに装填する場面をC全員が確認し、撮影する光景と被写体とを全員が目撃した後、そのフィルムをCの代表者が抜き取り、（その様子も他の全員が確認する）一同が持ち帰つて暗室内に全員が入り、一人が現像する光景を他の九名が注視する——といふような方法をとらざるを得なくなる。

ところで、フィーリングといつても誤ったフィーリングが発生する可能性もあるので、自己の印象がどこまで正確かを判断するのは困難である。日常生活の茶飯事ならばすぐに解答が出るので

自分の誤りに気づくが、UFO問題になると事は複雑で面倒である。たとえば郵便物が来た場合、封を切る前に、

その手紙の内容や記されている用件などをテレパンシックな直感力により感知しようとする場合、あるフィーリングが湧き起つたあとで開封して読んで

みれば、自分のフィーリング内容の正誤はすぐに判明する。しかし、どこそ

UFOの正体や推進原理等の科学的研究も重要であるが、足元を直視することも大切である。天空ばかりを見上

つけたのでは研究は前進しないし、心証のみに頼って物証のキメ手を無視すれば落とし穴に落ちかねない。

心証とは「眞実であろう」あるいは「虚偽であろう」という内界の印象またはフィーリングである。いかなるUFO研究者といえども、この印象またはフィーリングを起こさぬ人はない筈である。そしてどのようなフィーリングを持つとも、それは本人の自由で

あり、他から拘束されたり妨害を受けたりするいわれはない、また自己のフィーリングにより他を妨害してよいというルールもない。

しかし多年にわたるUFO研究で感じたのは、UFO研究とは実は人間研究なのだとということである。これまで多くの奇妙な事件を見聞してきたが

これらはすべて人間を土台にしたものであった。不可思議な事柄を探求すればするほど、事件そのものよりも関与する人間というものの存在の不思議さを感じるのである。我々人間の思考・推理・意識というようなものの実体は何なのか？ 人間が創造された意義は？ 自身がここに実在することを一體何者が説明するのか？ そして宇宙空間といかかる関連を有するのか？

UFO問題を追跡するにしたがつて私の内奥にこのような疑問が果てしなく展開する。それらはUFOという神秘の物体を包むベールのごとくにも感じられ、「永遠の謎」として常に内界に存在するのである。

UFO研究は人間研究

だからといって、科学的実証法を二

げて大地の穴に落ちてはいけない。地球という混乱した現実の世界を認識し、まず人間関係を考えることがUFO研究以前の問題ではないかと思うのである。

その意味で、私が個人的に主宰する日本GAPは、単にUFOの追跡調査のみにとどまらず、人間の精神と肉体との関連や生き方などの哲学的な探求も行っているのである。宗教的なグループではない。

日本人には宗教・哲学・心理学等の区別のつかない人が多い。精神に関する問題をとりあげれば、すぐに「宗教的」だとくる。これは教育の欠陥にもとづくものであろう。宗教的バックボーンのない国で科学教育のみを重点をおく結果、精神面に対する知識が浅薄となり、この分野を非科学的だと思い込んだりする。

UFOについても、オーソドックスな科学で認められていないという理由だけで、簡単に否定し、嘲笑的的にしる。しかし、いかなる発明・発見しても、当初から科学的に認められた上で開発に着手したとは限らない。雲をつかむような漠漠とした内容に敢然と挑んで新事実を発見したという例もある。UFO研究者にとってしおり込みは禁物である。良い意味でのバイオニア精神が必要だと思う。

世界の裏面も認識しよう

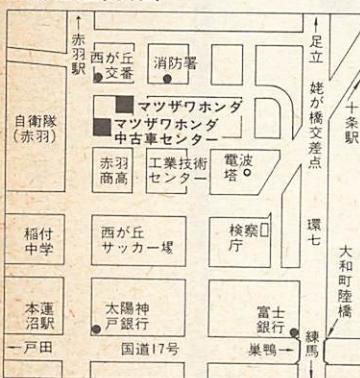
UFO問題を一種の現代の神話であるとしても、大人の童話にたとえたりする学者・評論家がいる。しかし、こうした人はおおむね事実を直接に調査しないで、観念論を述べている場合が多い。また、米ソの宇宙ロケットにより、この太陽系の惑星には生物がないことが判明したので、知的生物が存在するという説はウソだと言う人もいる。一体、米ソ政府が膨大な国費をかけて軍事目的でやっている大実験の成果がありのままに発表していると考えて差し支えないほど我々は単純になつてよいものだろうか。

国際的な政争の裏面にはすさまじい陰謀と策略が渦巻いている事実を認識してかかることも、UFO研究者には重要である。政府公表なるものを鵜呑みにしてならないことは、戦時中の“大本営発表”的骨身にしみるほど思い知らされたが、これは現在も変わりない。大国政府がUFO問題の真相を隠したがるのは、一大恐慌の発生を警戒しているからだという説は充分に考えられることがある。そして、これも人間の心理面に密接な関連を有することであれば、やはりUFO研究は人間研究になると思うのである。

アコード



ご来社道案内図



ただ今アコードをお求めのお客様には、アメリカでもすでにブレミア付になつた建国200年祭記念50州旗切手をシートでプレゼント中です。
お早めにお問合せ下さい。



UFOの実在を肯定する
お客様へ、特別のサービスが用意してございます。(下取大歓迎)

お電話下さればお迎えに参ります 日本国中 どこへでも
●京浜東北線 赤羽駅西口
●都営地下鉄6号線 もと蓮沼駅 当社は納車に参ります

マツザワホンダ販売(株)

東京都北区西が丘1-45-18

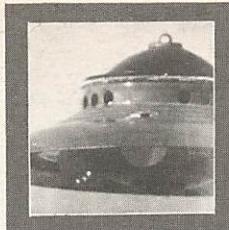
☎ 03-900-1310(代)

無音で、信じ難いスピードを出し、急角度ターン、ジグザグ飛行、急旋回、急上昇・急降下など、航空理論をまるで無視して飛び回るUFO。UFOはいつたいどのような推進原理によつて飛行しているのだろうか。

○空飛ぶ円盤の推進原理を探る

(1)

四次元航法の仮説



円盤の推進原理を理解するには、従来の概念を全く変える必要がある！

物理学的推進法では
超光速は不可能

の二者は問題なく落第である。まず、電気。よく展覧会などで実験されていいるイオンクラフトが電気でとぶわけであるが、通常は空気をイオン化させ、イオン風を起こし、その反動で飛ぶわけであるから、星間の真空中は飛ぶことができない。真空中でも、宇宙電界があれば飛ぶことができるが、極めて弱い。次の磁気も同様。地球の磁場は0・何ガウスという微弱なもの。リニヤモーターカーを磁気浮上させるの

ゆる速度は光速を超えることはできないということになっている。そうするとと重力波や重力の及ぶ速度も光速である。私は前に重力エンジンなら光速を超えることができると主張したことがあるが、それは重力が他の物に及ぶ速度を無限大であるとしたときの議論であり間違いであった。

重力波の発生と検出の技術はまだ確立していないから直接重力波の速度が測定されとはいえないけれども水星の近日点の進み具合をニュートンの式で計算すると大きい誤差が出る。しかしあ

橋本電子研究所所長
工学博士

橋本 健

空飛ぶ円盤が宇宙の何処からか、わざ地球を訪問していることは、ほぼ間違いないと思われる。そうすると、我々は、その円盤はいかなる原理によって飛んでくるのか、考えてみなくてはならない。

ロケットのような噴射の反動として飛ぶとは全く考えられない。なぜならほとんどの場合無音であるからである。

次に電気、磁気、重力であるが、前

に述べたように、これらは飛行するのに万ガウスという磁力が必要であつて、それでもたかだか一センチ位しか浮上しない。ましてや地球をはなれ

る。

次に重力。これが最も魅力的であるが、これも重大な欠点がある。それは光速を超えることができないということがある。相対性理論によつて、あら

インシュタインの考えにのつとつて重

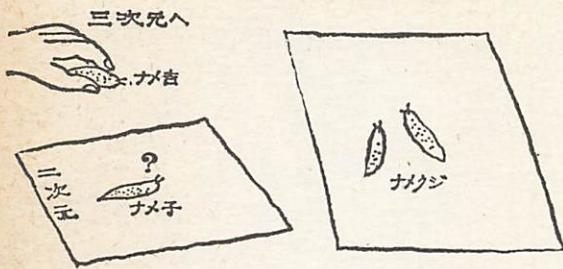


図1 二次元世界のナメ子とナメ吉

力も光速で進むとして計算すると実際に非常によく一致することから、現在重力の及ぶ速度も有限であって、光速に等しいことが物理学界一般に認められている。

電気、磁気、重力など既知のあらゆる物理学的方法による推進は決して光速を超えることはできないのである。

しかし、金星や火星に我々は直接ロケットを着陸させて調べた結果、いずれもアダムスキーの言うような高級な人間は住めない所であることがはつきりした。すなわち、金星は約四百度、鉛の溶ける温度であり、火星はマイナス八十度から、最高気温でマイナス三十度、気圧は金星が百気圧なら火星は

百分の一気圧、人間を金星または火星に立たせれば一瞬のうちに死んでしまうであろう。

さすれば、空飛ぶ円盤に乗ってくる高級な人類は太陽系外の宇宙に求めなければならない。

そうなるとここで立ちふさがるの

が、天文学的な距離の壁である。いちばん近い恒星でさえ、アルフアケンタウリの四・三光年、宇宙物理学者カール・サган博士は「わが銀河系宇宙の中に、少なくも百万個は高文明の生物の住む惑星があるだろう。だが、十万光年の直径をもつ広大な銀河系の中で、そのような文明はそれぞれ三百ないし一千光年離れて散在していると考えられる」とソ連の宇宙物理学者I・S・シュクロフスキイと共に著書に出した“Intelligent Life in the Universe”の中で言っている。大体、高等生物の住む惑星間の平均距離は五・六百光年であろうということである。となると

いちばん近いおとなりさんまで光の速度で行ってさえ五・六百年かかるのであるから、気軽に宇宙旅行するためには、超光速であることは勿論、どんな距離であってもほとんど瞬間にに行くことのできるような方法でなければならぬ。

すなわち、従来の空間を通るというような概念を全く変えた旅行方法でなければならぬ。

このような方法をかりに四次元航法

と名づけることにして、われわれは四次元航法について考えてみることにしよう。

四次元航法とは

四次元航法とは、三次元の物体が、四次元を通り、再び、別の地点にあらわれることで、三次元の我々から見て

いると、一瞬物体が消えてしまい、また、別の所に突如として物体が出現するよう見える。しかし、物体は消えたのではなく、四次元を通して移動したのである。この場合、三次元の我々から見ると、移動速度は無限大であるように見える。すなわち、どんな遠方であっても距離を超越しているかのように動作をする。

二次元世界の生物は

三次元をどう見るか

三次元の人間は四次元のことはよくわからない。そこで二次元世界の生物は三次元の我々をどう見るか考えてみることにしよう。

三次元の世界は四次元の世界によくわからない。そこには厚みのないナメクジが二匹、ナメ子とナメ吉が住んでいると仮定してみよう。二匹は三次元の生物であるから、この平面のことしか知らない。

しかし、我々三次元の人間からは、二次元のナメクジをよく見ることがで

きる。そこで我々が、あまり二匹のナメクジが仲がよいので、ちょっとやらんで、「ナメクジのくせにナメ吉合つてやがってナメーきな奴だ」ナメ吉を紙の外につまみ出したとする。そうすると、ナメ子にとつては、突如としてナメ吉が消えたと思うのである。

そこでナメ子は、ナメ吉をたずねて三千里、二次元の世界をたずね歩いたとしても、ナメ吉はもはや二次元にはいないので見つけることはできないのである。「ああ、ナメ吉は神かくしになってしまった!」とナメ子はなげき悲しむであろう。

それを見ていた人間が、あわれに思つて、ナメ吉を二次元平面の世界に返してやるとすれば、「アッ、突如としてナメ吉が出現した! 奇跡だ!」とナメ子は狂喜するであろう。

しかし不思議だ、こんなことはあるはずがないとナメ吉は物理学者になって、二次元の物理学を研究したとしても、彼は人間を見ることはできないので、二次元だけの研究ではどうしてこんな奇跡が起きたのかを知ることはできないのである。

「ああ、わが二次元の物理学行きづまり」といつてナメ吉物理学者はなげくであろう。

このように人間は物質を三次元として考えていたのでは四次元航法の謎をとくことはできないのである。



空中浮揚（レビテーション）

ストラムで食事をした。食事が終わって代金を支払おうとしたら財布を忘れていることに気が付いた。そこで人に見られないように、机の下で両手を合わせ「神様…恥をかかないように…おさつをください…」とじつと目を閉じた両手の間に千円札が一枚入っていた。そこでその千円札で支払いをすませて帰った。後からレストランの主人が千円札をよくみたら木の葉だった：

となると人をダマした事になるが、それは本物で、景山さんの家の金庫の中から千円札が一枚消えていた…という

テレポーテーションは物理的に不可能なことであった。（拙著『超物理学入门』池田書店を参照）

テレポーテーションは物体移動と訳されているが、突如として物体が或る地点から消え、他の地点に出現する現象で、通常心霊現象と考えられていて、これまでの少年少女の有名な話としては一九六八年六月一日の夜二台の乗用車が、南米アルゼンチンの首都ブエノスアイレスの郊外を疾走していた。突如、後のガードルド・ビダル博士夫妻の乗る車が消え、二日後、博士夫妻はメキシコシティにいたのであるが、この間の距離は六千キロもあり、人間だけなら飛行機で飛ぶこともできるが、乗用車ごとメキシコ

となると人をダマした事になるが、それは本物で、景山さんの家の金庫の中から千円札が一枚消えていた…というのだから、だれにも迷惑をかけてはない。閉じられた金庫の中から物品が移動するのだから、四次元を通して行ったとしか考えられない。

最近「超常現象の世界」というドキュメンタリー映画が輸入上映されているが、この中で、地面に火の輪があ

げ以来、日本にあらわれた少年少女のうち何人かは、テレポーテーションで遅れそうになつたら、バッとは学校の前に行くなどができると、週刊誌に報ぜられている。

また横浜の新興宗教、普妙寿教の教祖景山女史のまわりには頻々として物品寄せ現象が起ころ。

仏像や多宝塔などが、お祈りをしていると、突如出現するのである。（拙著『四次元世界の神秘』池田書店を参照）教祖景山女史が、ある時近くのレ

ストラムで食事をした。食事が終わって代金を支払おうとしたら財布を忘れていることに気が付いた。そこで人に見られないように、机の下で両手を合わせ「神様…恥をかかないように…おさつをください…」とじつと目を閉じた両手の間に千円札が一枚入っていた。そこでその千円札で支払いをすませて帰った。後からレストランの主人が千円札をよくみたら木の葉だった：

となると人をダマした事になるが、それは本物で、景山さんの家の金庫の中から千円札が一枚消えていた…という

テレポーテーションは物理的に不可能なことであった。（拙著『超物理学入门』池田書店を参照）

ストラムで食事をした。食事が終わって代金を支払おうとしたら財布を忘れていることに気が付いた。そこで人に見られないように、机の下で両手を合わせ「神様…恥をかかないように…おさつをください…」とじつと目を閉じた両手の間に千円札が一枚入っていた。そこでその千円札で支払いをすませて帰った。後からレストランの主人が千円札をよくみたら木の葉だった：

となると人をダマした事になるが、それは本物で、景山さんの家の金庫の中から千円札が一枚消えていた…という

テレポーテーションは物理的に不可能なことであった。（拙著『超物理学入门』池田書店を参照）

テレポーテーションができるものは誰か？

二次元平面にうごめくナメクジ、三次元の人々は簡単にヒヨイと持ち上げることができる。二次元世界の住人にとっては消えた！と思うわけである。そのように四次元世界の住人、靈界人などにとってはいとも簡単に行き来することができる。

アダムスキーは金星も、火星も、美しい街があり美しい人が住んでいると聞いて、アダムスキーがうそをついている。しかしに三次元の金星や火星は既にロケットが調べたよう、到底人の住めるような環境ではない、…とすると、アダムスキーがうそをついている。

アダムスキーは金星も、火星も、美しい街があり美しい人が住んでいると聞いて、アダムスキーがうそをついている。しかしに三次元の金星や火星は既にロケットが調べたよう、到底人の住めるような環境ではない、…とすると、アダムスキーがうそをついている。

アダムスキーは金星も、火星も、美しい街があり美しい人が住んでいると聞いて、アダムスキーがうそをついている。

たがって、テレポーテーションや空中浮揚（レビテーション）などは自由自在にできるのだ。

エネルギーはどこから来る？

四次元世界をふくめるとすれば、もはや、三次元世界で閉じられた世界だけエネルギー不滅の法則などが成立しなくとも一向かまわない。三次元だけのエネルギーだけでは、宇宙を超光速で飛行するには、無限大のエネルギーが必要となるだろうが、そのようなことは高次元……測定できない世界を含めるならば、もはや三次元だけでエネルギー不滅の法則が成立しなくてもやむを得ない。心理学者の某氏は「物体浮揚などの心靈物理現象が起こるとすれば、エネルギー不滅の法則が成立しなくなる。だから心靈物理現象は絶対に起き得ないインチキである」と言っている。何という馬鹿な事を言うのだろう。エネルギー不滅の法則は神が作った法則ではない。人間が作った法則である。そんなものはこわれたついいのだ。事実の方が大切なものである。エネルギー不滅の法則で説明できない事実が発見されたら、そんなものはこわしてしまって、新しい事実をも包含できるより正しい理論を作ればいいのである。このようにして科学は進歩して來たのである。ニュートンの方程式で説明できない事実が見つかっ

て、それをも説明できるアインシュタインの原理が出来たのである。ニュートンの理論が絶対であって、それに反する事実はインチキだなんて言つたら、それは科学ではなく、ニュートン教という宗教になってしまう。現在のいかに多くの科学者が、科学者ではなく科学宗の信者になつていて、眞の科学者を批難し、正しい科学の進歩をさまたげていることであろうか。

奇跡の原理

さて、三次元物理学を絶対と考える人は、物体が浮揚するには必ず重力に逆らうエネルギーを必要とすると考えるだろう。事実心靈実験の中で重力に逆らって机や人形を持ち上げるのにエクトプラズムという半靈半物質ともいいうべき物質が靈媒の体から出て、これで持ち上げている場合もある。しかし空飛ぶ円盤とか、母船とか、大きいものが、超光速で何百光年も離れた空間を移動する場合には、エクトプラズムで持ち上げるという説明には大分無理がある。

物質は影である

いきなり、物質は影であるといつても理解しにくいと思うが、詳細は拙著『超物理学入門』等をご参照頂くとして、この物質世界は、ちょうど、映画

館のスクリーン上に映した影のようなものである。

そうであれば、映画であれば、フィルムに細工すれば、トリックや特撮によつてどんな奇跡でも行うことができるのである。

人間も肉体は三次元であるが、心は潜在意識から四次元に通じてゐるのでも、人間の祈りや念力によつて奇跡が出現することがある。これは人間もその心：靈魂は四次元的存在であるといふことである。人間がスプーン曲げをする原理をしらべようとして、スプーンを握った指先をどんなに解剖しても、人間の指には、スプーンを曲げる放電能を出す構造は全くないのである。人間がテレパシーや予知をするけれども、

物質は影であるから、高次元の世界に住む人にとってはスライドの光の前で影絵を作るよう、あるいはトリック映画を作るよう奇跡を行うことができるのである。

宇宙問題探求者必読の書 好評発売中

なぜ空飛ぶ円盤は来るのか

フレッド・ステックリング／久保田八郎訳

¥750 送料 ¥140

宇宙人から伝えられた人間の生き方を詳述

テレパシー

ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳

¥450 送料 ¥140

生命の科学

ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳

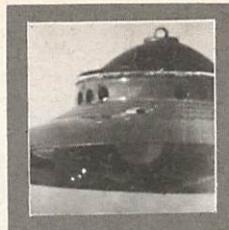
¥650 送料 ¥140

文久書林 〒113 東京都文京区白山1-29-12
振替・東京4-2521 Tel 03(812)2495

当社刊行物が書店にない場合は、振替・現金書留・低額切手等で当社宛直接ご注文下さい。代金あと払いの注文は、おことわりします。

●空飛ぶ円盤の推進原理を探る

(2)



複素重力場機関

従来の負の重力場理論をさらに深め、虚数の重力場理論を開拓する！

金星円盤の示唆するもの

拙著の『宇宙の四次元世界』、『空飛ぶ円盤製作法』及び『実験円盤浮上せり』とこの雑誌の既刊号に他の著者が解説しているように、UFOの推進機構の入門は、三個の三回対称に置かれた球型コンデンサーによって作られる回転電界を理解することである。これは、アダムスキーのコンタクトした金星のウラニデスの搭乗した円盤の球型コンデンサーの作用を理解することにより得られたものであり、この雑誌の愛読者は、その推移を理解されていると思うので、再度解説することは省略する。

ただ、地球のコンデンサーの記号で

示すと、まず図1のように示せるのであるが、これはデルタ接続の図であつて、スター・デルタ変換によつて、図2のようにスター接続に示せることを付言しておこう。つまり、図1のよう

に解釈しても、図2のように解釈しても良いということであり、図2のように書き直せば、電界の回転は理解しやすいと思われる。そのときの容量は、もちろん、 C_0 のままではなく、

$$C_1 = \frac{C_0 \times C_0}{C_0 + C_0 + C_0} = \frac{C_0}{3} \quad (U1)$$

となります。

かくて、私の初期の理論は、かなり世界的にも普及している、私の理論の原著である "The Principles of Ultra Relativity" (超相対性理論) の初版の

中に、負エネルギーに関与する負の重力場を問題としてきた。しかし、その後の実験に基づいて、負というより

は、虚数の重力場を用いて、円盤の推進力は説明さるべきであることが判明してきている。この点、この稿を読まると共に、認識を新たにして頂きた

い。それは、地球の最先端の物理学で問題としている超光速粒子タキオンと結びついて、見事な学問体系を作るのである。

清家新一

重力研究所所長

(スーパー・シングナル) の場合でも、そのエネルギーは、

$$W = \frac{mi}{\sqrt{\beta^2 - 1}}, \quad (\beta = \frac{V}{c}, c < V)$$

$$= \frac{m}{\sqrt{\beta^2 - 1}}, \quad (\beta = \frac{V}{c}, c < V) \quad (U3)$$

という実数となり、物理的に存在し得るとしたものである。元来、電磁気学では、電荷同士の間の力は、

$$f = \frac{ee'}{r^2} \quad (\text{同符号})$$

と表現して、引力は負の符号の力である。

$$f = -\frac{ee'}{r^2} \quad (\text{異符号}) \quad (U4)$$

しかれば、万有引力は、

$$F = -\frac{kmm'}{r^2}$$

読者もあるかと思うので解説すれば、
二次方程式の判別式の、

$$D = b^2 - 4ac$$

$$= \frac{kmm'}{(ir)^2}$$

という風に、虚数

$$ir = -1$$

$$(U 6)$$

を用いて表現できる訳である。(U 5)

式は、質量 m と m' の間の空間は虚数 ir で示せることを主張している。

それは、 m と m' の間に虚質量の粒子

が充満していることである。このこ

とから、重力のパラメータとしての

粒子は虚粒子ということになる。(ま

りタキオンである。虚粒子とは、静止

質量が虚数の粒子ということである。

ここで、虚数を十分に理解してない

$$(U 7)$$

が負である場合に現れる数であるたゞことを想起していただけばよい。

要するに、大小関係の存在しない数であると考えれば良い。

エンジンの周囲は、虚質量の粒子で満たされていて、円盤の静止質量は複素数となることが推定される。静止質量は、慣性の別名でもあるから、運動

方程式は、

$$(M+mi)a = \frac{W}{C_2}g$$

$$\therefore a = \frac{M-mi}{M^2+m^2} \cdot \frac{W}{C_2} \quad (U 8)$$

地球の力学は、実数のみの学問体系であるが、一方数学では、複素関数論という学術用語にもかいま見るよう

に、虚数プラス実数の美しい学問体系がある。ウラニデス(宇宙人)の力学の体系がこの数学の体系を基礎とすると考えることは、納得のゆく説明でもある。

さて、再び(U 8)式であるが、重力が大きい時に落下するものとすれば、大小関係を定義できない加速度を受ける運動は、くらげのように浮遊する複雑なものであることを理解することができる。円盤の一筋縄ではゆかぬ複雑な挙動は、まさにこの種の物であることが、次第に解明されてきたのである。

クライン瓶とメビウスの環

写真1(下) メビウスの環。写真2(上) クラインの瓶。

前著の四冊に度々登場したように、円盤の原動機は、ドイツの数学者のアウグストス・フェルディナンド・メビウス氏の発見したメビウスの環(写真1)及び同じくドイツの数学者のフレックス・クライン氏の考案したクラ

となり、加速度 a は複素数であり、大きいか小さいとか判定することはで

きない性質の物である。ここに、 M 、 mi 、 W 及び g は、円盤の慣性の実数部、虚数部、そのエネルギー(実数)

及び、

$$g = 980 \text{ cm/sec}^2$$

である。

クラインの瓶(写真2)が、設計の基礎となっているようである。最近、私の著

作に示したクライン瓶とは異なる眞のクライン瓶が発見され実験に効果のあることが判明した。それは図3のよう

なコイルの要素であり、プラスの線と

マイナスの線(マイナス)を、互いに絶

縁しつつ、同時にソレノイド卷にした

ものである。過去に使用していたクラ

イン瓶は、図4のように一回くぐらせ

る巻き方であったが、図3の方が真の

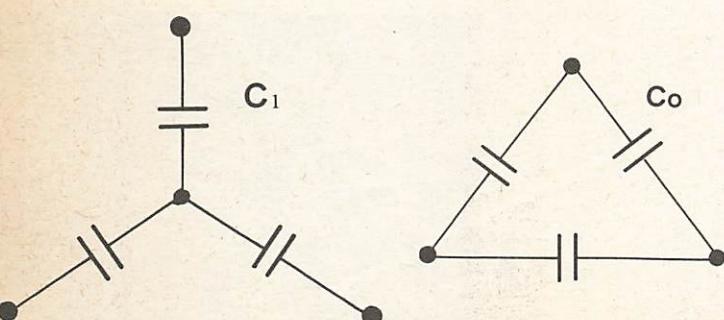


図2 スター接続

図1 デルタ接続

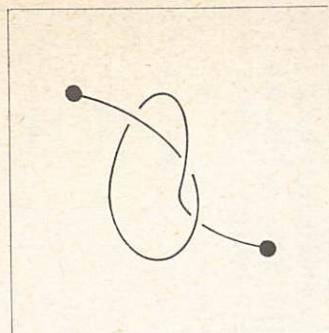


図4 従来のクライン巻

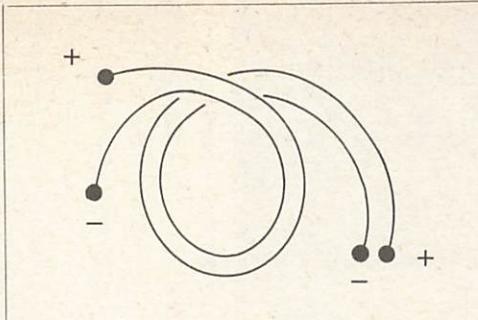


図3 完全クライン巻

クライン巻であることがその後判明した。私の本の愛読者は、その点、考えを改めて下さるようお願いする。×ビウスの環は、どこの数学書にも論じてあるように、表から裏へ抜ける、表裏の区別の無い環であるが、その裏側は、幾何学的に裏であるというより、物理的に、または電磁的的に裏であることが判明したのである。TVやラジオで、あるよう、表から裏へ抜ける、表裏の区別の無い環であるが、その裏側は、幾何学的に裏であるというより、物理的に、または電磁的的に裏であることが判明したのである。TVやラジ

オに用いてあるソレノイド・コイルはもちろん、一本の線をぐるぐると巻いたものである。空飛ぶ円盤のそれは、電磁気的に裏であるアース線(Ground)をも伴いつつ、ソレノイドを形成したものである。

写真3は、この完全クライン巻を用いて作った空飛ぶ円盤模型のパワー・コイルの発光である。前の図のように巻いてあることに御注意下さい。また以前には、807を用いた(807トライプレット)の高周波三相電流で駆動していたのであるが、これは、B電圧が千ボルトどまりであった。一方、金星の空飛ぶ円盤の写真(同乗記の巻頭にある物)を、十年以上も研究を続けているユーフォロジストが眺めれば、空飛ぶ円盤全体が巨大な発振器でもあることを感じるだろう。当方も、前四著の後の研究で、模型全体を発振器として用いて、直流電圧の一萬~二万ボルトをかけて、高い周波数の三相発振に成功したのである。全体の図は、図5として挙げたものであり、この図面は、松本和也氏(当方の機関誌宇宙艇の愛読者)の工面した回路である。直接発振のできることは、筆者が示したのであったが、松本氏は、いち早く追実験をされて、この図面を完成した。コンデンサー・コイルも「完全クライン巻」となっている。コンデンサー・コイルは、パワー・コイルから正のフード・バックがかけてある。写真3

は、この回路の模型である。

直接発振の前模型として、影山モデルがあつた。これは、やはり宇宙艇の愛読者である影山章君が考案したものであつて、Y接続のRとデルタ接続のC及び三個のネオン球の組み合わせであり、図6のごとき回路の品である。

実作模型としては、写真4のようであり、この場合、左回りにネオン球が順番に明滅する。つまり、まずは、金星の空飛ぶ円盤の電場の回転を教育模型的に示す格好の品である。更に、ネオン球を球型コンデンサーで置き変えれば、そのまま直接発振も可能である。それが例えば、図5の松本回路である。

この場合、次の注意が発振を起こすのに必要である。

(実験公理I) 実電流のアースは、導体で直接に接地するけれど、虚電流のアースは、或る容量を介して接地する(Capacitive Ground: ハンド・サーキット・アース)。

(実験公理II) 虚電源が実電源に変換されるのは、キャバシタンス(注:コンデンサー)または、インダクタンス(注:コイル)上においてのみである。Jの時放電が見られる。

虚電流を、

$$j = iK$$

とすれば(この場合、Kは実である)例えばインダクタンスは、

$$(U10) \quad j = i\omega L$$

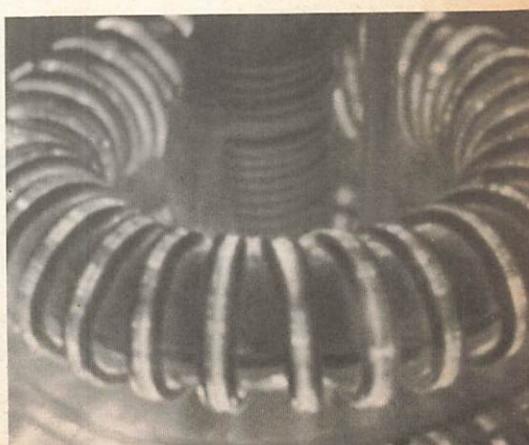
$$\begin{aligned} \psi &= (iK)(i\omega L) \\ &= -K\omega L \end{aligned} \quad (U11)$$

$$\text{であるから、コイルの上では、} \quad (U12)$$

の実電圧を示す。これは、実験公理IIの解説である。多くの実験では、コイルの上またはギャップ(Capacitor)の上で放電が見られている。このギャップでは、もちろん、実電流で、電子

となつてゐる。

なお、図5にて、整流しないで十五キロボルト(一万五千ボルト)をかけているが、もちろん、整流しても良い。交流のままでも、発振周波数は、この場合、百キロヘルツ内外であるから、商用交流の五十ヘルツとは区別できるので大丈夫というだけの話である。直接発振の場合は、真空管またはトランジ



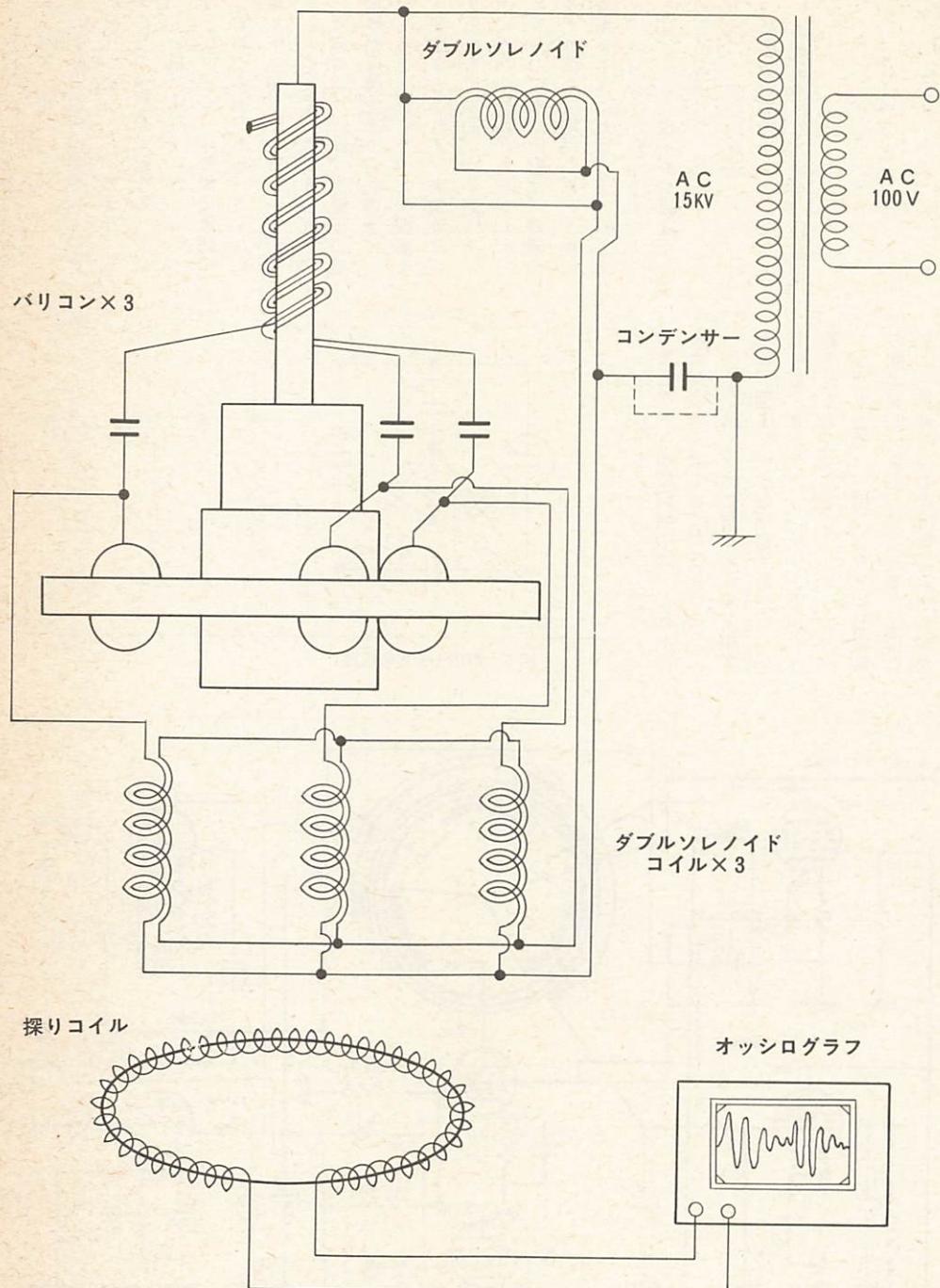


図5 完全クライン巻を使用した空飛ぶ円盤模型の回路

スター発振とは異なり、原理的には五万でも十万ボルトでも可能であるから、高電圧の空飛ぶ円盤の製作に一步近付いた次第である。

また、いずれの型式の場合でも、チタパリの直径が約十センチの時に、三千六百ボルトから発振が起きる。ただし、セットを机（木製）にびつたりつけたはならない。ビニール管で虚電的にも絶縁しておく必要がある。さもないと八千ボルト（DC）かけても無理である。ビニールの紐で、天井から吊すのが best である。これは、実電流の場合、木は絶縁体であり、机の上に、例えばスープー・テロダイン発振器をおいても発振するけれど、虚電流は、どんな物質をも原理的には透過するから、空中に浮かす必要があるからだ。

ウラニデスの空飛ぶ円盤は、着陸の時に、多くの場合、地面からわずかに浮いて着地する。これは、どつかり着地すると、エンジンがかかりにくくなるものと見られる。我々の実験はなぜそうであるかを示してくれた。

この方式で、十分に高圧として、十分に高い周波数を発振することにより浮上が可能と見られる。現在、鋭意努力中である。

エンジル・ヘアの発生

円盤からの降下部として、エンジル・ヘアがある。文字通り天使の髪の毛の如き物質である。偶然の機会に、

つまり空飛ぶ円盤開発中に、これが得られたので、報告しておこう。

直接発振でない初期の高周波三相電流は、図 7 のような回路であった。いわゆる、807 トリプレット方式と呼称されるものである。

この出力段の三相の合点と、B 電流の間に美しい放電が見られる。このことは、前著の『実験円盤浮上せり』(大蔵書房刊) に詳しい。この放電は、三相の合点では、電圧の和は、

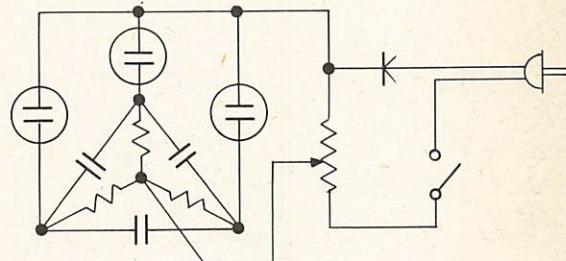


図 6 影山モデルの回路

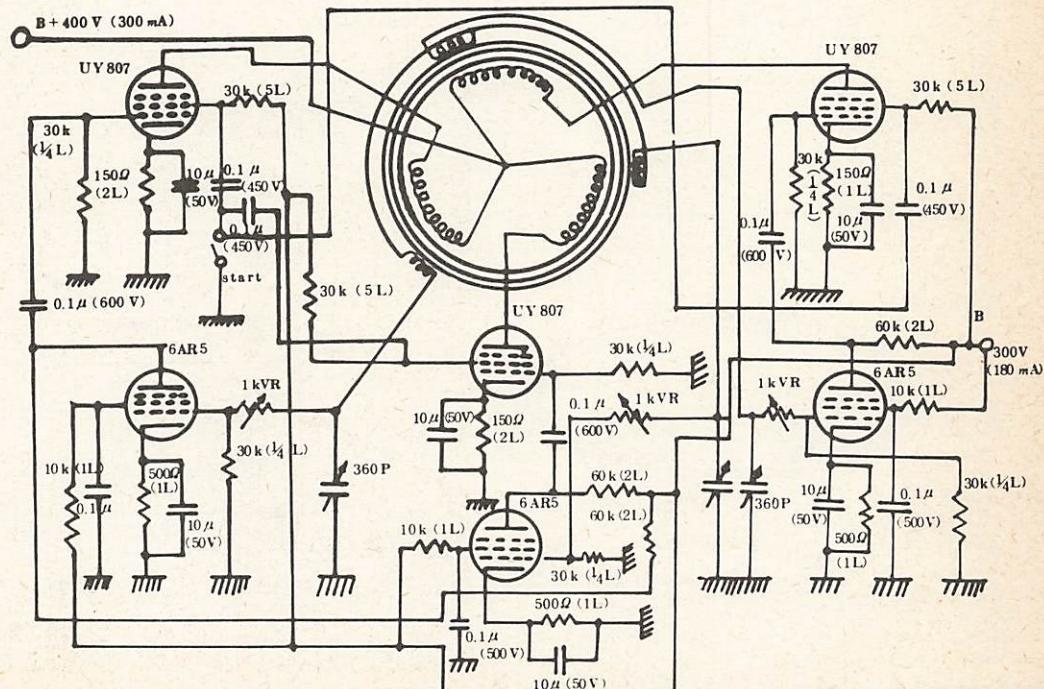


図 7 807 トリプレット方式の回路

$$\psi_0 \sin \omega t + \psi_0 \sin (\omega t + \frac{2\pi}{3})$$

$$+\psi_0 \sin (\omega t + \frac{4}{3}\pi) \equiv 0 \quad (U13)$$

という関係で零である。これは、高校生以上であれば、加法定理を用いて確かめることができる。つまり、高周波の成分は、その合点では存在しない。

にもかかわらず美しい放電が見られて、物質が溶解する。

石のような物でも、溶解するのである。周知の如く、商用の電気溶接機のアークでは石は溶解しない。石どころか、ほとんど鉄のみに限られていて、真鍛であっても溶接は不可能である。ところが、この三相の合点では、庭にあるどんな石でもどんどん溶けて、

ガラス状になる。もちろんコイルは、クライン巻にしてある。

これは、電子流ではなくて、タキオンの混入した高周波が発振されるので溶解すると考えられる。実電流は、(U13)式で示したように0であるから。

これが、クライン巻とタキオンの関係を示した最初の実験である。ところで、どんどんになった物を更に溶解し続けると、纖維状となる。これがエンジエル・ヘアに似ているのである。エンジエル・ヘアらしきものを発生させ得ることを、この研究の方向が、ウラニデスの科学体系に沿っていることの証左と思われる。

空飛ぶ円盤頂部の発光

故アダムスキー氏の『実見記』によれば、空飛ぶ円盤の頂部は、ダイアモンドのように輝いていたそうだ。我々

の模型の頂部に、単結晶の水晶を装着して、発光させたのが写真5である。

これは、旧型式ではあるが、807トリプレット高周波三相電流で駆動した模型のパワー・コイルの端を頂部に近づけたものである。

さて、紙数も次第に尽きて来たが、この論議にて、読者にお報らせしたかったのは、807トリプレット方式ではなく、直接発振方式で、一万ボルト以上を発振できること、空飛ぶ円盤と地球重力場の相互作用は複素数を用い

で、複素重力場機関と称すべきものである。

ミグと空飛ぶ円盤

少し以前に、ソ連のミグ25戦闘機が千歳空港に強行着陸して大騒動になってしまった。この航空機は、空飛ぶ円盤の力

学の一部を採用しているらしい。ソ連は、厳冬時にエンジンを作動させねばならぬので、どんなタイプのエンジンにも電気火花を重用する。例えば、三百馬力のディーゼル・エレクトリック機関というような物がある。電気火花のディーゼルという意味である。

さて、マッハ3が出て、どんな米国に戦闘機も追いつけるミグには、電

気火花ジェットが採用されているのではないか？

一步進んで、機体に高周波をかけていることも考えられる。意外にも、新鋭機と称されるミグの翼がさびていた。その原因は何だろうか？ 電気的なものである可能性を筆者は考える。その時、機体周辺の空気分子は、撓ねたり分解したりするだろう。真空中を航行するのに近い状態となり、速度が上るだろう。円盤もこのような状態にある。空飛ぶ円盤の空気力学の一部を採用ということが考えられるのである。

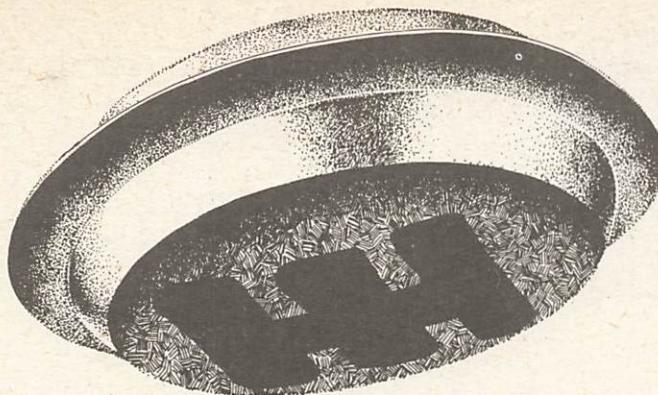
なお、実験に専念してご尽力いただき



写真5(上) 円盤模型頂部の発光
写真6(下) 西日本TVに出演した時の筆者

精密UFO大図鑑

これまで世界各地で目撃されたUFOは、オーソドックスな円盤状から奇妙としか言いようのないものまで、様々な形状をしています。これらのUFOの中から、有名あるいは興味深くて、しかも形状が比較的よく分かっているものを特集してみました。（イラスト 中川恵司／内山洋見／松岡吉樹）



王印UFO（上）

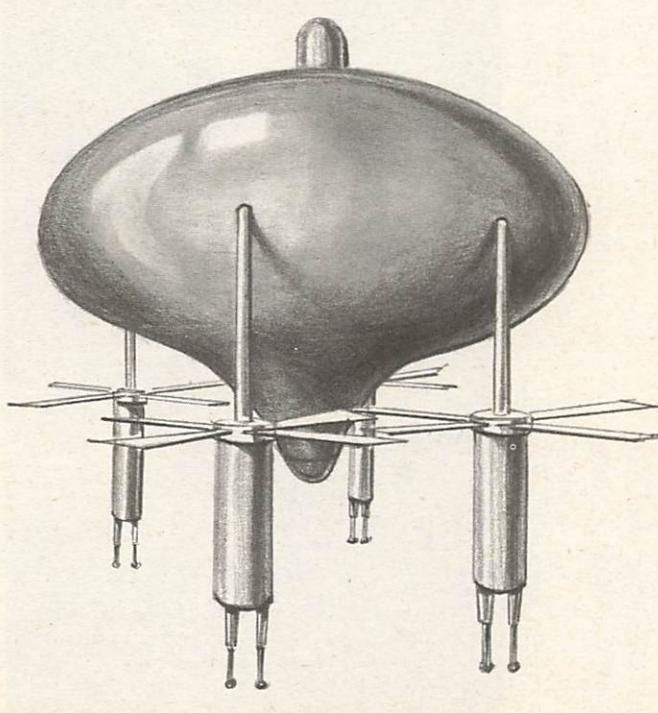
一九六七年六月一日、スペインに出現。目撃者二名が、違う角度から同時に撮影している。底部に王という字に似た奇妙なマークをついているのが珍しい点である。

王印UFO（上）

紀元前六百年ごろ、予言者エゼキエルが見たとされている。旧約聖書の記述をもとにNASAの科学者が再現。円錐形の本体に着陸用四脚のついている宇宙船であるとした。

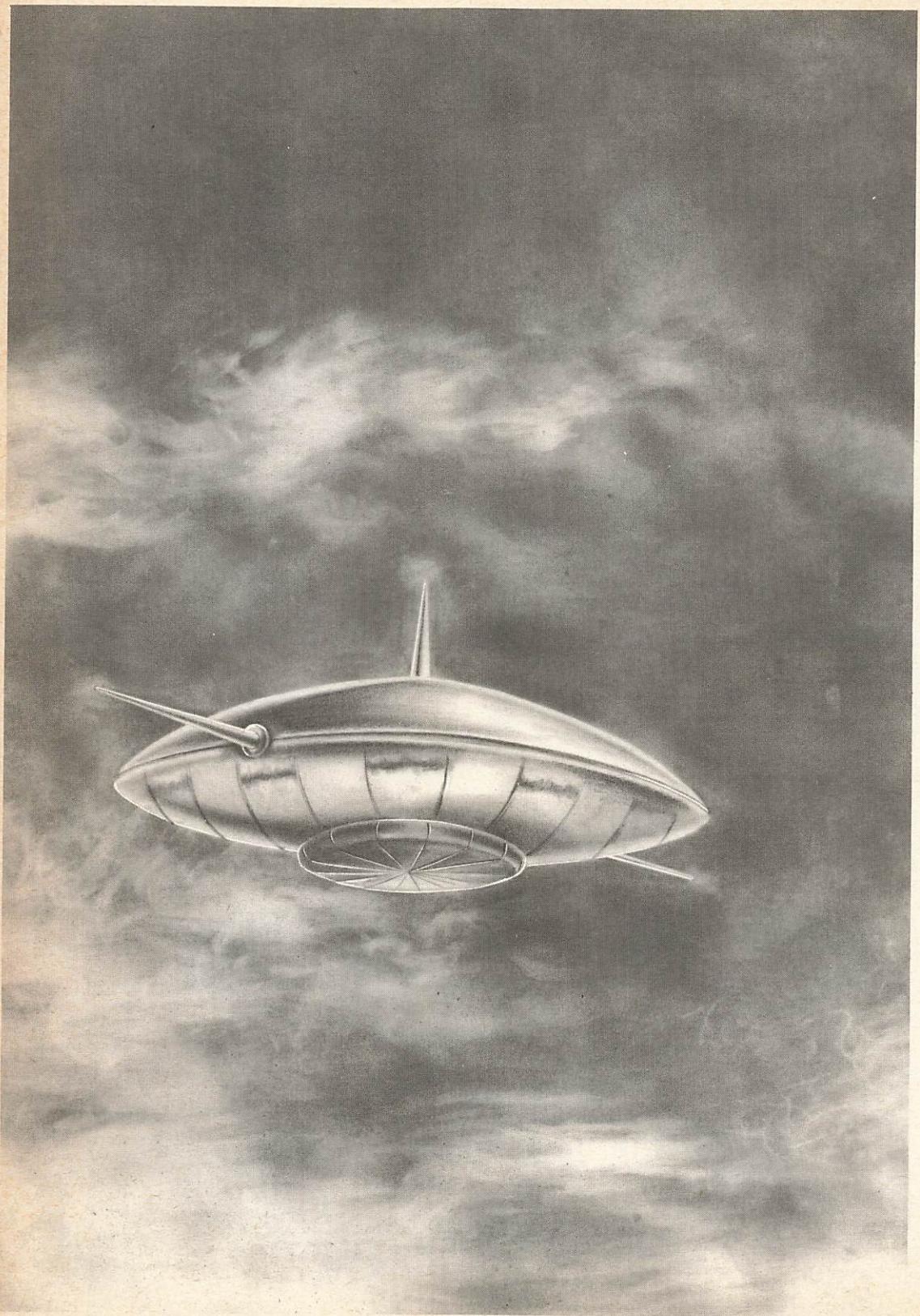
王印UFO（上）

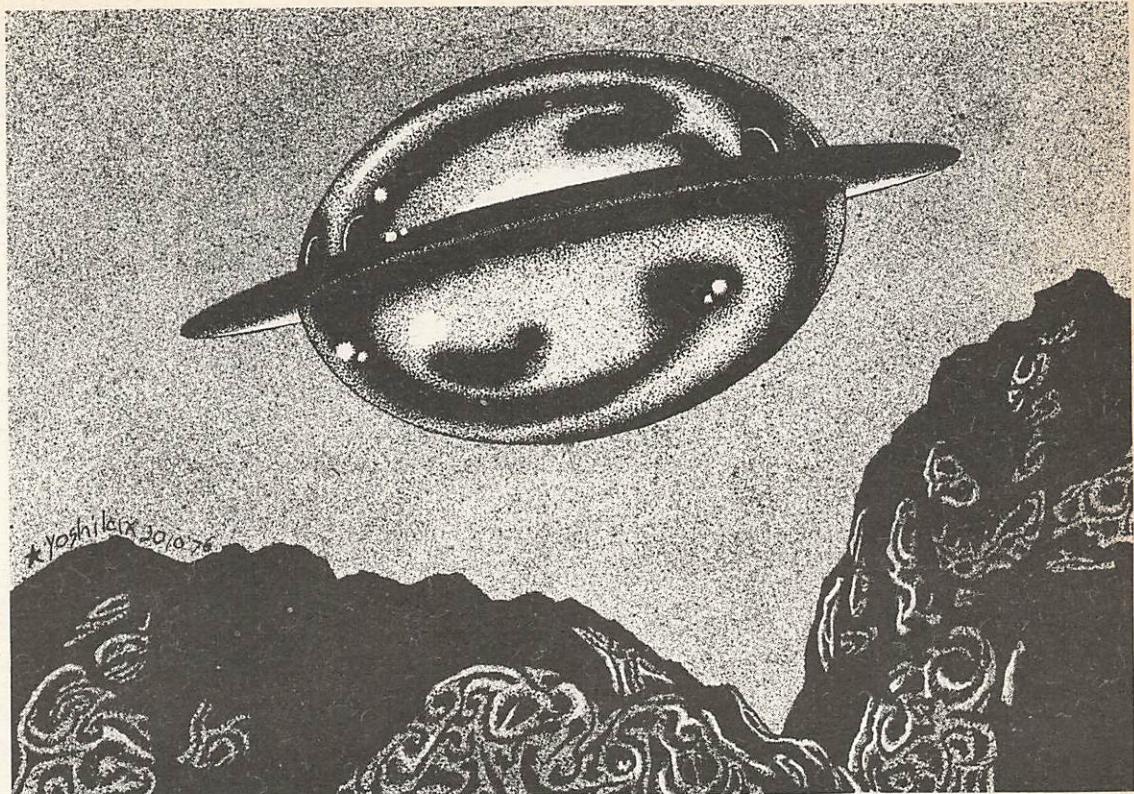
一九六八年十一月一日、フランス南東部の小さな町でX博士が目撃。最初は二つの物体だったが近づくにつれ合体して一つになつた。



三本アンテナUFO（左）

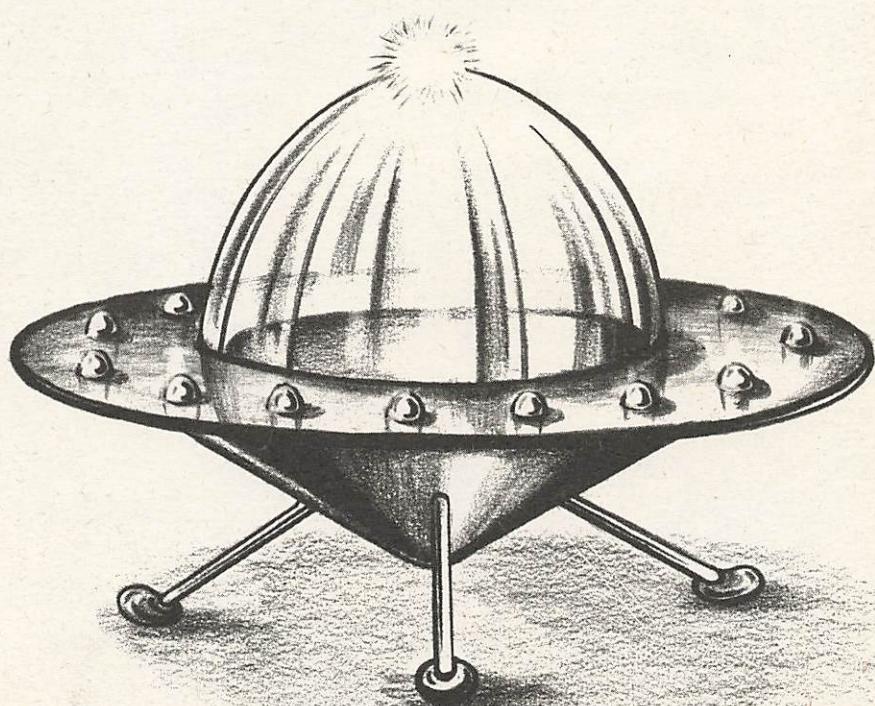
一九六八年十一月一日、フランス南東部の小さな町でX博士が目撃。最初は二つの物体だったが近づくにつれ合体して一つになつた。





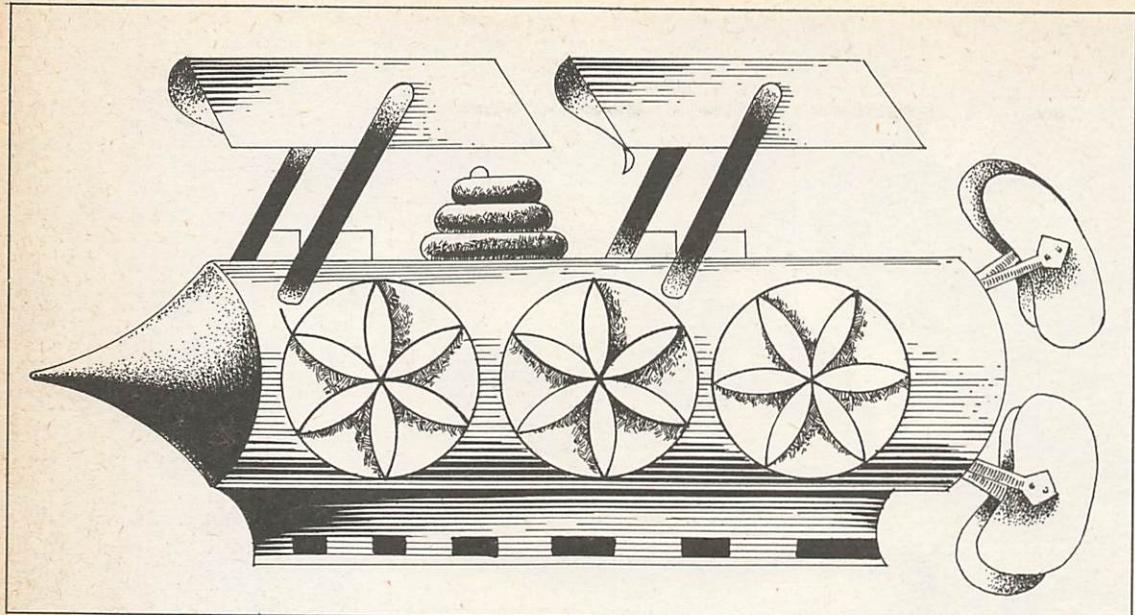
土星型UFO（上）

目撃の数が多い。なかでも一九五八年一月十六日、国際地球観測年で海上研究をしていたブラジル海軍が、南大西洋上で撮影したものが有名である。



イルミネーションUFO（左）

一九七〇年八月十六日、スペインの農婦が目撲。銀色の船体には白、紫、黄色などの光が並び、上部の透明ドーム頂部では青白い光が回転していた。

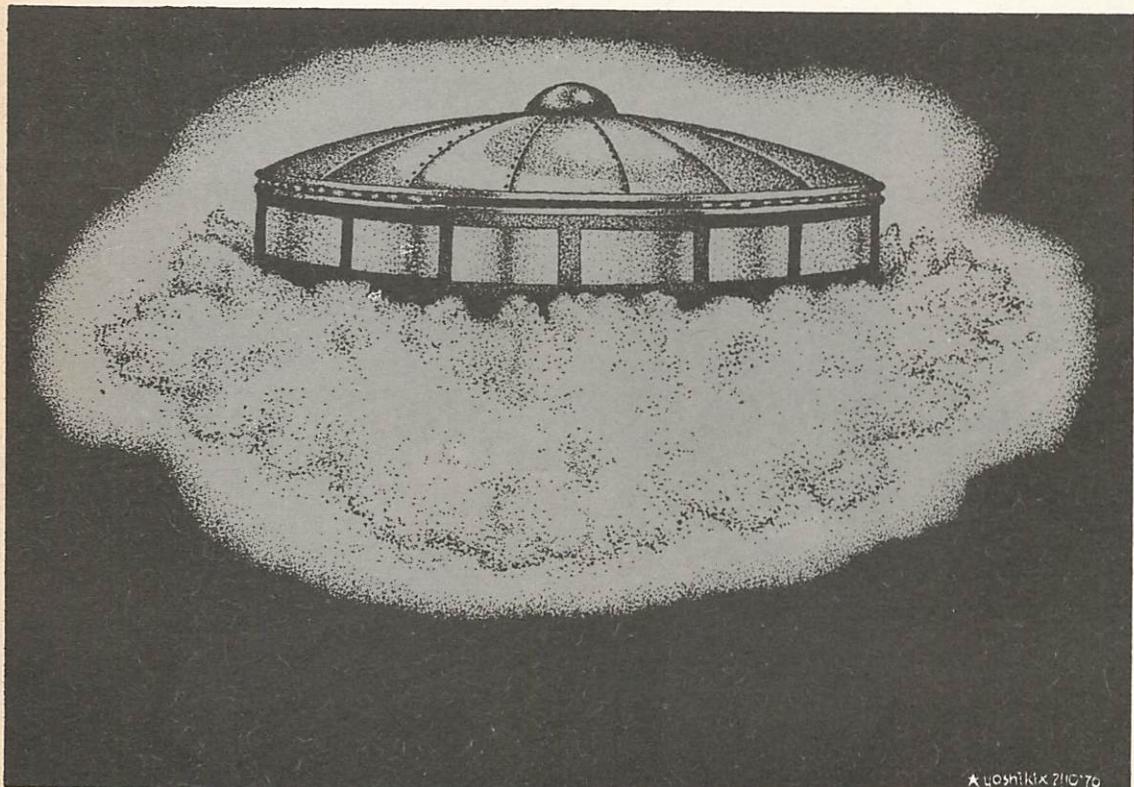


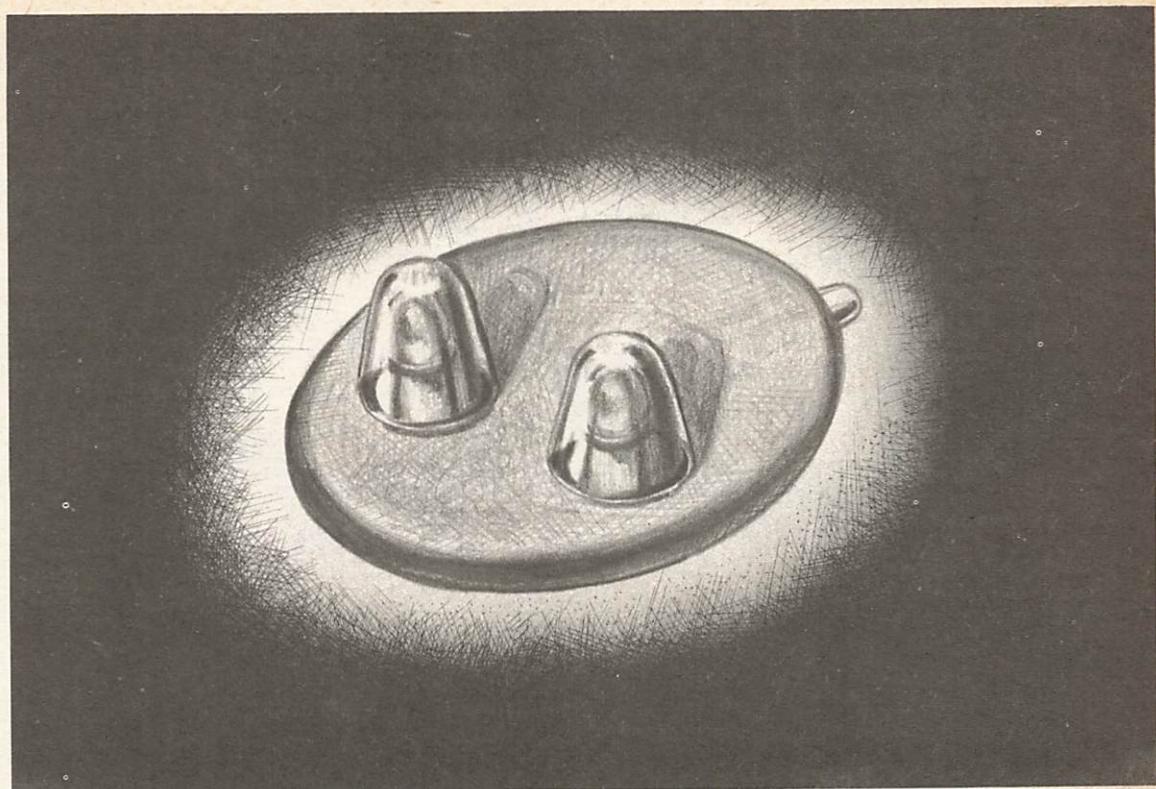
飛行船型UFO（上）

まだ飛行船が実用化されてない1897年頃、米国に出現。アーカンソー州ホーマンでジェームズ・フートンが目撲したものは、船体の両横に3つの大きな車、上部に翼、後部にカジがついていた。

トランカス型UFO（下）

1963年10月21日、アルゼンチンのトウクマン州トランカス一帯に停電が起きたとき、町の住宅地に出現。柔らかいブーンという音と白いモヤ、そして硫黄に似た悪臭を放った。



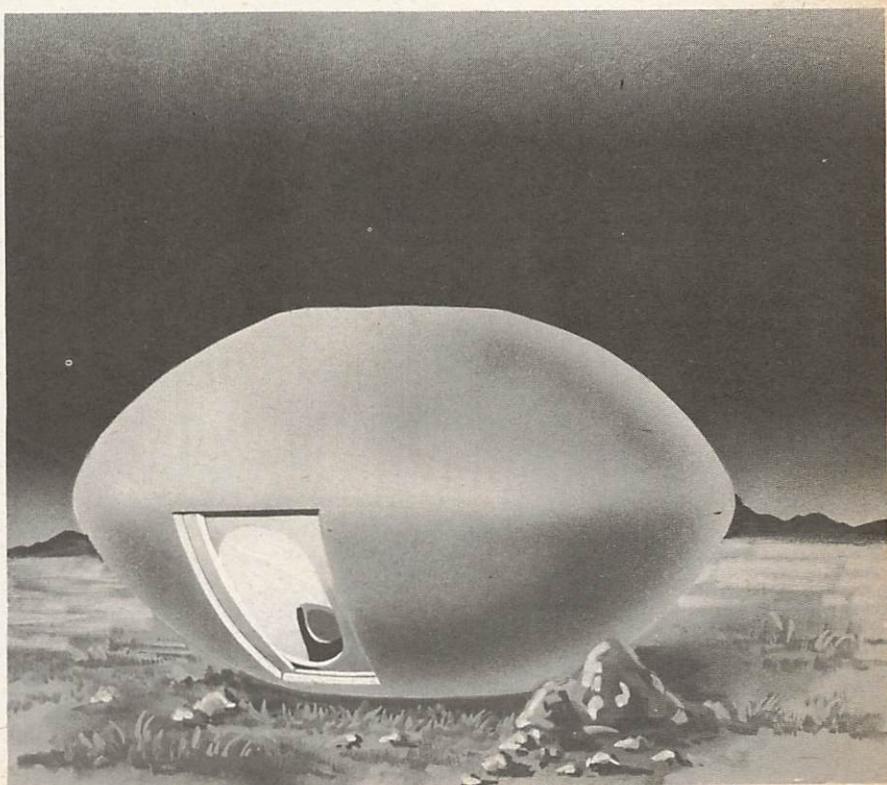


一人乗りUFO（上）

一九六七年一月九日、フランス・アルペロン県の農家の息子が目撃。UFOの上部右前と左後にあるドームには、それぞれ、白いふちどりのある緑色の服を着た人間らしいものが乗っていた。後部にはライトがついていた。

卵型UFO（右）

一九五〇年七月四日、ニューメキシコ州ホワイトサンズ・ロケット実験場でダニエル・フライが乗つたもの。彼はこのUFOに乗せられ、ニューヨークまで三十分で往復した。空中では濃紺、着陸中は銀色の金属状態だった。



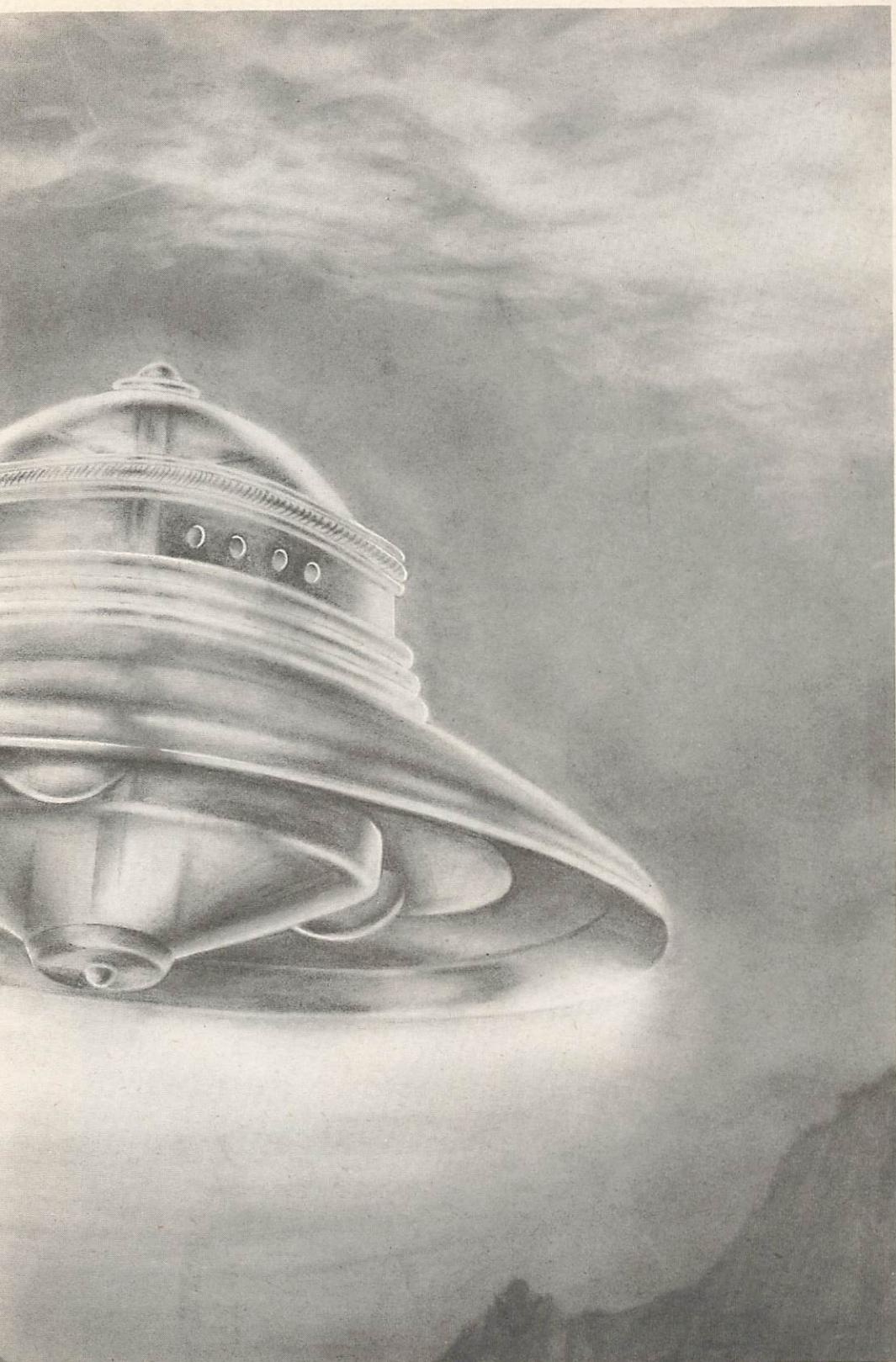
パプア型四脚UFO

1959年6月26～27日、パプア島のボイアイ上空に出現。目撃者のジル神父によると、上甲板に4人の人影が見え、彼が手を振るとそれに応えた。

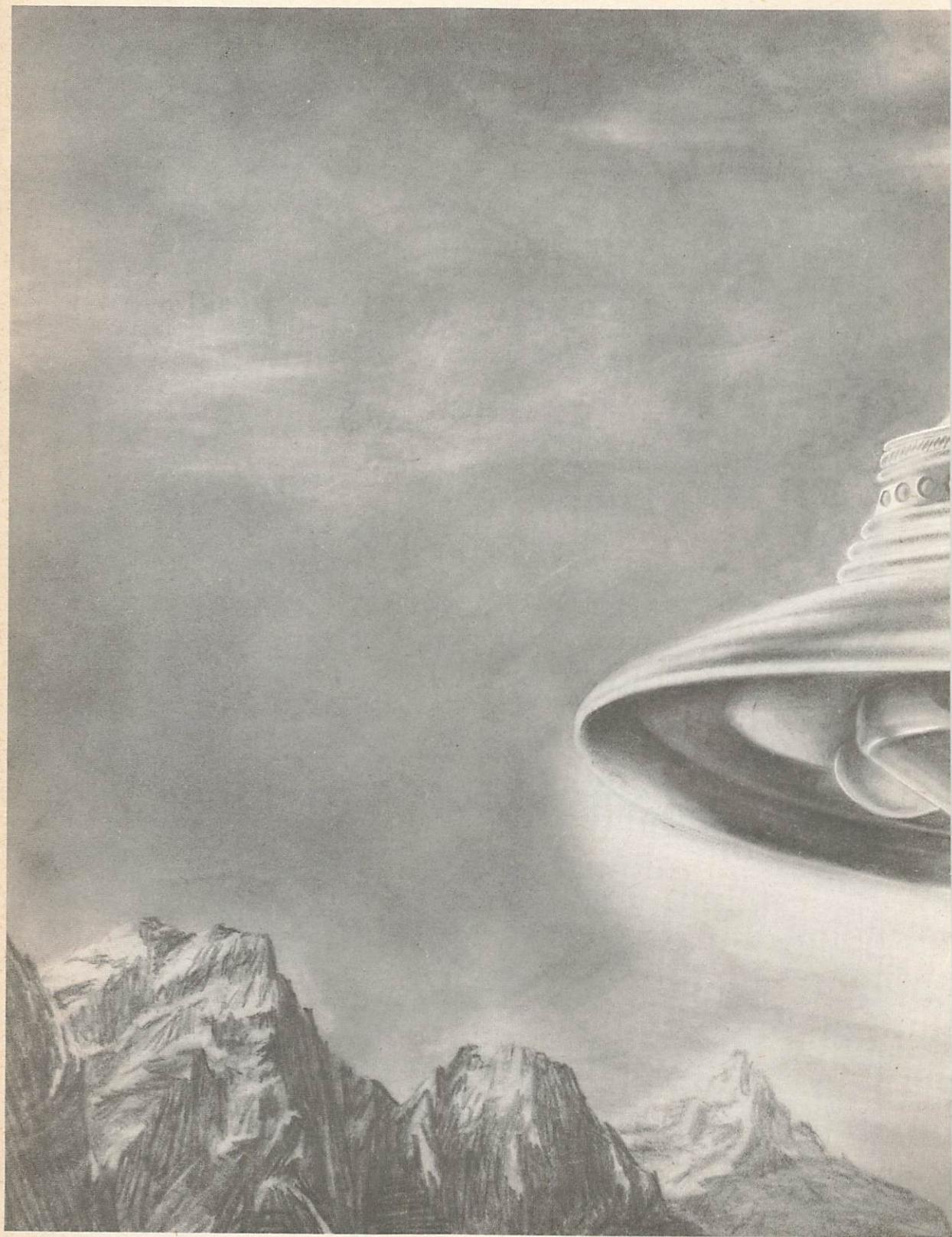


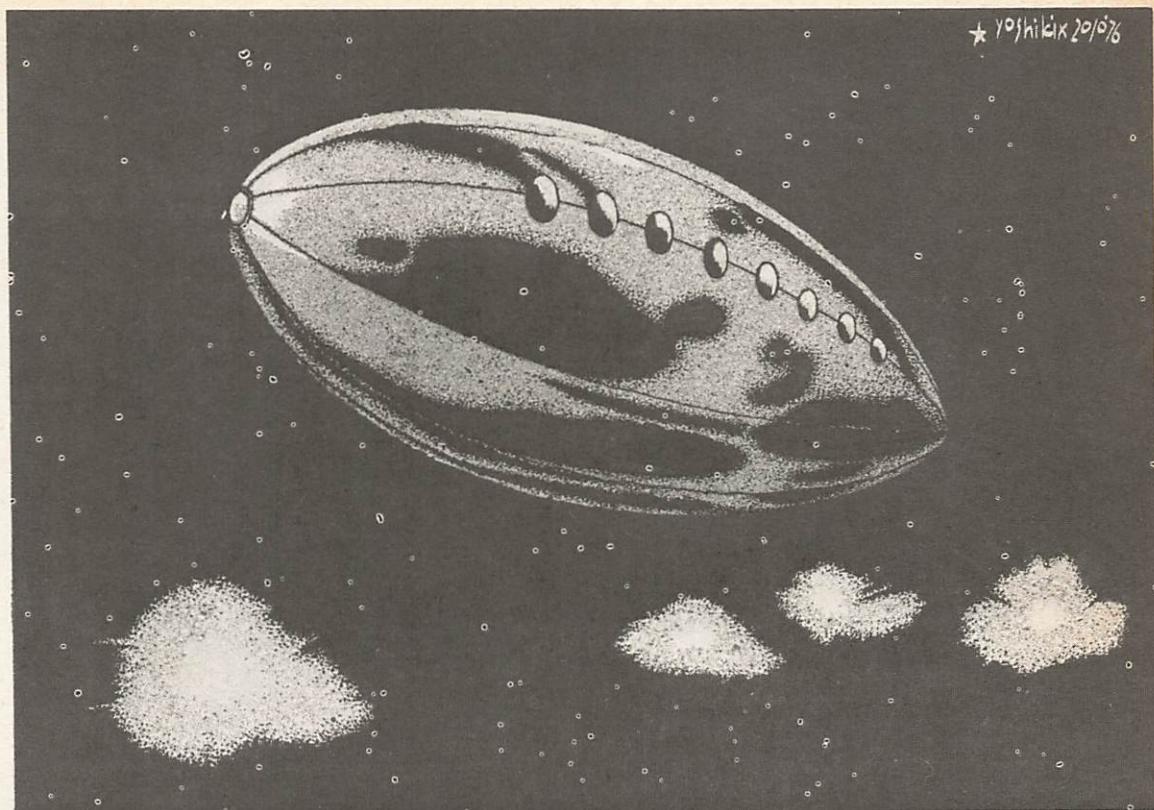
アダムスキー型円盤

アダムスキーが同乗した円盤として、あまりにも有名なもの。一九五二年十一月二十日、アダムスキーはモハーベ砂漠で宇宙人と会見したが、彼らが乗っていたのがこの金星円盤（偵察艇）である。翌年

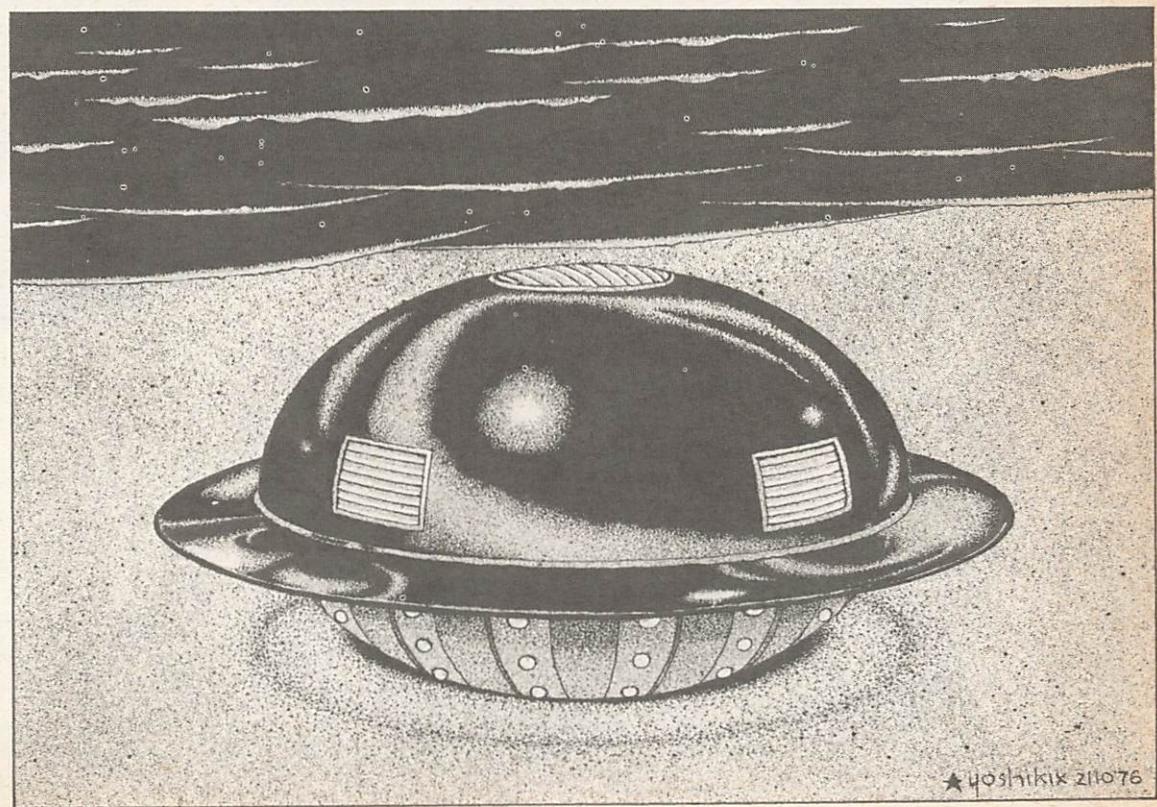


二月十八日、彼は招待されてこの円盤に乗り込み、葉巻型母船に案内された。アダムスキー型円盤は物体の重力や磁力をコントロールして飛ぶ。円盤の下部に見える三個の球型の物体は着陸ギアである。

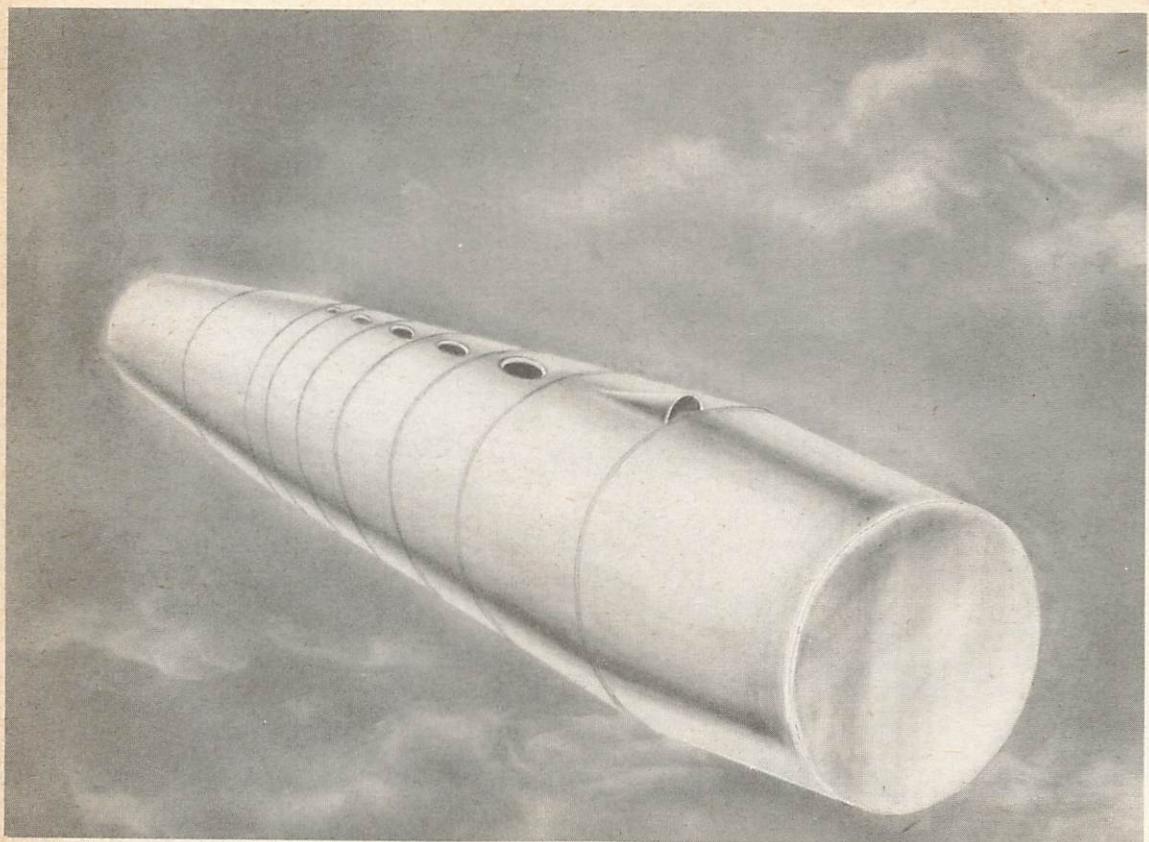




★ Yoshikik 20/076



★ Yoshikik 21/076



ラグビーボール型UFO（右上）

よく目撃されているUFO。小さなものはなく、非常に大きくて、上空を浮くように飛んでいく。船体中央に窓の並んでいるものもある。

釜型UFO（右下）

いまから170年前の江戸時代に、現在の原宿浜に漂着したUFO。^{はらとのはま}四方に窓があり、中には身長150センチ、長い黒髪の婦人が乗っていたと伝えられている。

葉巻型UFO（上）

1953年2月18日、アダムスキーが小型円盤で案内されたUFO。これは金星の母船で、直径50メートル、長さ700メートル。この母船で惑星間飛行を行う。

映画と解説の会のご案内

〒
115

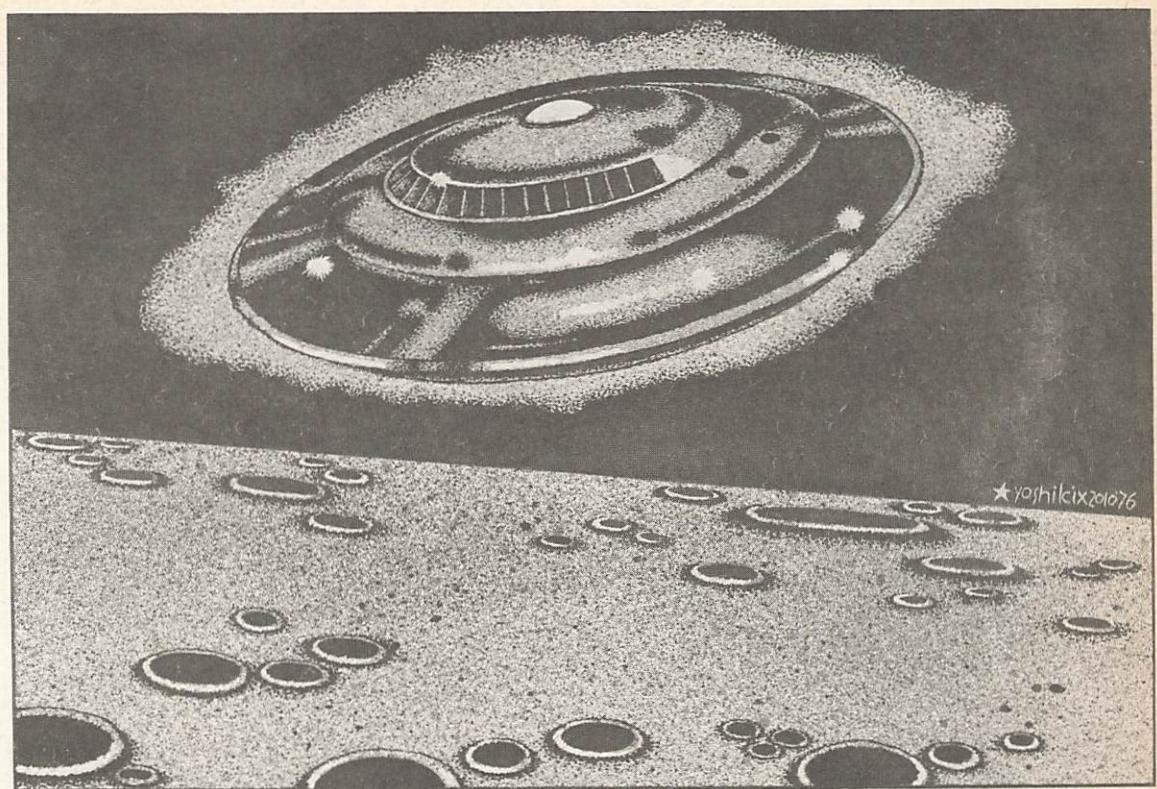
日時 每月一回第三曜
参加費 500円
参加申し込み 往復ハガキで必ず
見を記して下さい。あなたの意

参加要領

④ ③ ② ① 右記を解説するため
④ ③ ② ① 現代医学の約50年先を行く純粹に医学的な癌治療理論を多数の完全治癒実例をそえて発表し、この治療法を知らずに殺されて行く人々を一人でも多く救う為。

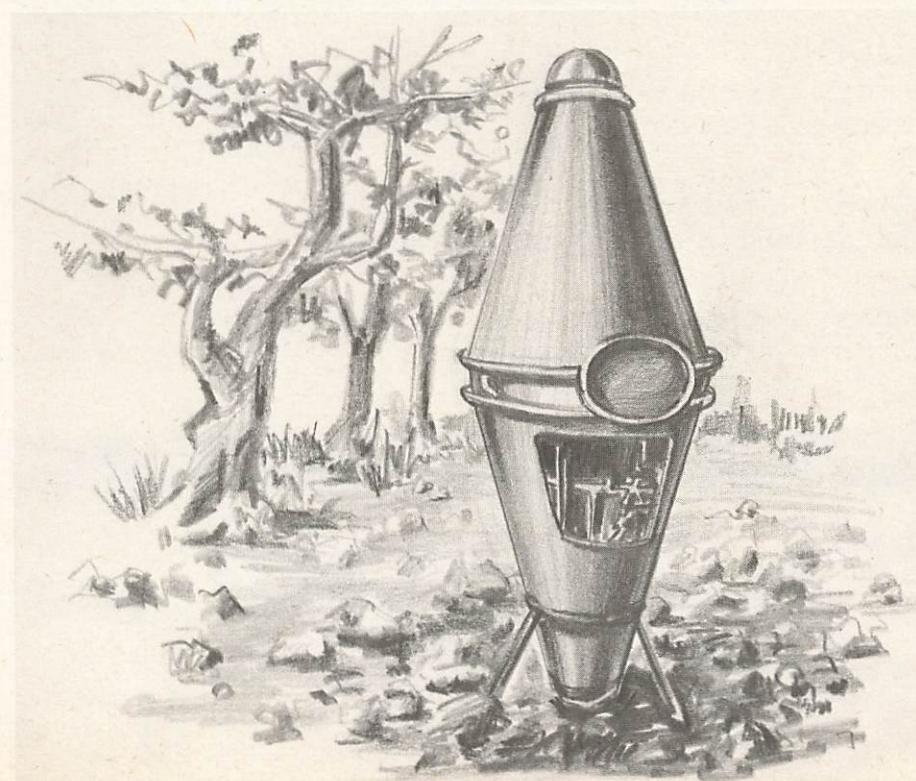
目的

② ① テーマ
癌は予防も治療も可能である。
採血後3日で発癌状況と部位が確定し治療に入る。
癌を治せる病院と指導する研究所。



四型UFO（上）

一九四七年六月二十四日、米国の実業家ケネス・アーノルドが目撃。彼の言葉から「ライング・ソーサー（空飛ぶ円盤）」という呼び名ができたほどで、現代の円盤騒ぎの発端となつた。



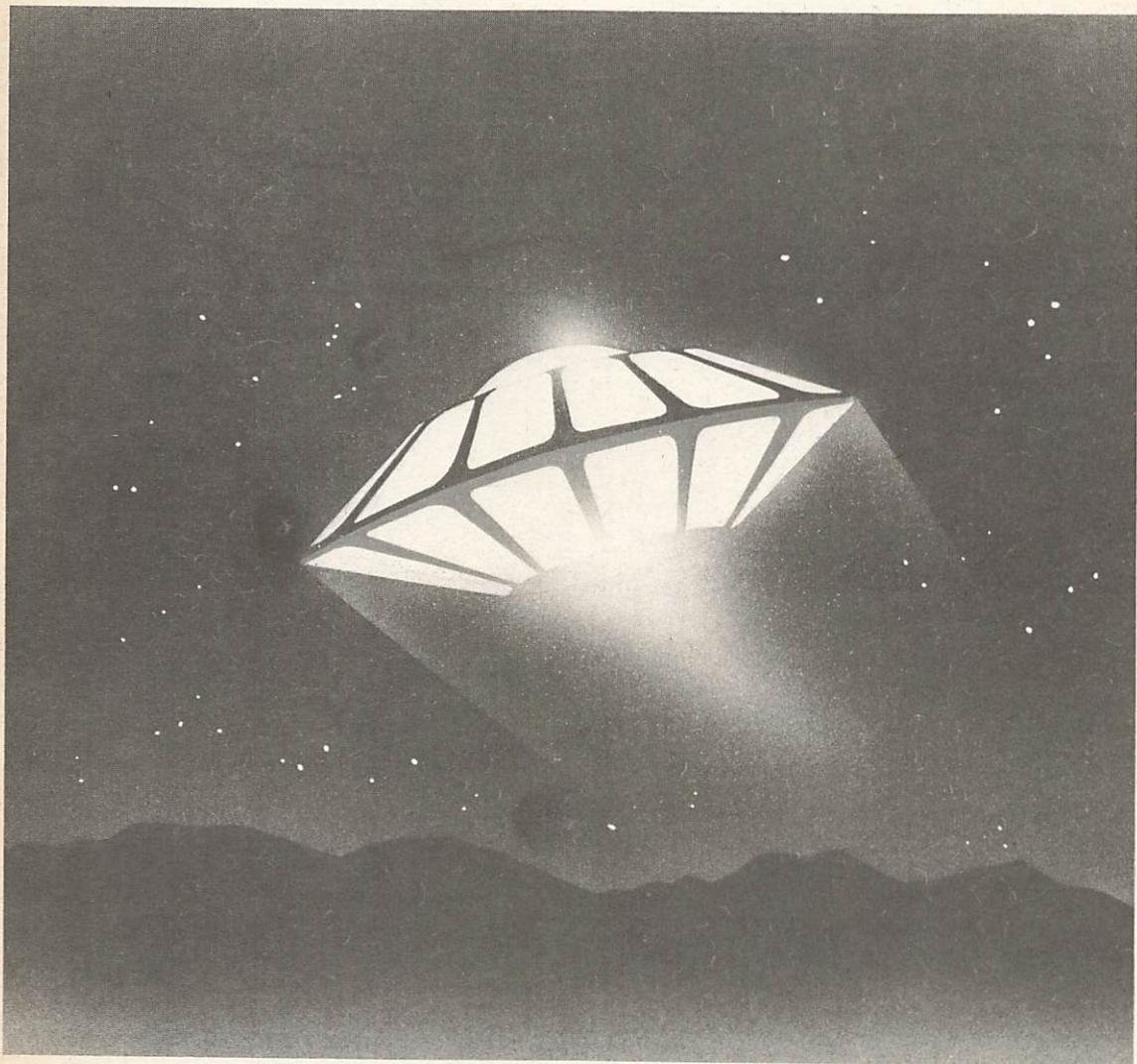
紡錘型UFO（左）

一九五四年十一月一日、イタリアのチエンニーナで農婦が目撲。彼女は、UFOから出てきた二人の小人に話しかけられ、手に持っていた花束などを奪われた。

パイ皿型発光UFO

1975年11月5日、アリゾナ州ヒーバーに現われ、怪光線でトラビス・ウォルトンを打ち倒したUFO。トラビス

はその後数日間、行方不明となり、姿を現してからUFOに誘拐されたと語ったので大騒ぎとなった。



日本超科学会

会員は、右記の品一割引、毎月
アルファトーン使用統一会実施

橋本電子研究所
鎌倉市小町一一一五一
☎ 0467 (25) 3035
あなたのの中に眠る超能力を引き
出しすばらしい人生を送るために
の会

ESPカード………￥500円
〒140円



¥二九、五〇〇円
〒500円

アルファトーンを使わない
精神統一は、鏡を使わない
でお化粧するようなもので
す。米国でヨガ、坐禪、超能力開
発に効果をあげています。
詳細は超科学七、八号（各
300円・送共）参照

新発売!!
アルファトーン
バイオフィード
バツク装置

UFO事件完全年譜

ここには一九四七年から今まで三十年間に世界各地から報告されたUFO事件のうち、比較的人々の関心を集めたものを中心て抜粋・集録した。いわゆる宇宙人とのコンタクト事件、UFO同乗事件については実証的観点か

ら判断の困難な事件も含まれている。
なお年譜の第一年目、一九四七年は、アメリカの実業家ケネス・アーノルドが自家用機で飛行中、空中に九つの光体を発見し、これをフライング・ソーサー（空飛ぶ円盤）と呼んだ年である。

年月日	事件
1948年 1月22日	 〔米〕プロジェクト・ソーサーを設立。
1月7日	 〔米〕ケンタッキー州ゴッドマン基地上空で訓練中のトマス・マンテル空軍大尉が、UFOを追跡中「中に人間がいる！」という言葉を残して墜落死。
7月23日	 〔米〕レイニア山上空を自家用機で飛行中の若い実業家ケネス・アーノルドが九つの光る物体を目撃、その物体に「フライング・ソーサー（空飛ぶ円盤）」と名づける。
8月14日	 〔米〕円盤からの落下物といわれる溶けた金属を調査するためその金属を輸送中の空軍情報部員二名が謎の墜落死。 〔米〕カリフォルニア州マロック空軍基地上空に二個のUFO出現。空軍資料局「空飛ぶ円盤要約報告」実例第一号となる。
1947年 6月24日	 〔米〕「アラバマ州モンゴメリー上空を飛行中のイースタンネス・アーノルドが九つの光る物体を目撃、その物体に「フライング・ソーサー（空飛ぶ円盤）」と名づける。
7月8日	 〔米〕「カリフォルニア州マロック空軍基地上空に二個のUFO出現。空軍資料局「空飛ぶ円盤要約報告」実例第一号となる。
1949年 8月20日	 〔米〕アラバマ州モンゴメリー上空を飛行中のイースタン航空機が葉巻型UFOとニアミス。
12月23日	 〔米〕冥王星の発見者クラайд・W・トンボー博士がニューメキシコ州の自宅付近で六・七個のUFOを目撃。
1950年 3月8日	 〔米〕ドナルド・キーホー少佐が『TRUE』誌にUFOは宇宙船であると発表、センセーションをまきおこす。
5月22日	 〔米〕空軍のスポーツマンが「プロジェクト・ソーサー」の中止を発表し、円盤の信者を狂人か山師と責めつける。
1951年 7月4日	 〔米〕コロラド州のデンバー大学で正体不明の一科学者が円盤問題に関する講演を行う。
8月31日	 〔米〕「カナダ」円盤調査機関「プロジェクト・マグネット」発足。（一九五四年十月に解散）
1952年 4月	 〔米〕テキサス州ラボックに住む当時十八歳のカール・ハート少年がオレンジ色に光る十数個の光体群を撮影。
10月27日	 〔米〕「プロジェクト・ソーサー」再開。（翌年三月二十五日「プロジェクト・ブルーブック」に改名）

- 例  ▲UFO 目撃事件
- ▲UFO 撮影事件  ▲宇宙人目撃・コンタクト・撮影事件他
- ▲UFO 同乗事件

7月20日

「米」ワシントン市の国際議事堂上空を飛ぶUFOの大編

7月23日

隊を多数の市民が目撃、数人が撮影する。

「米」ロスアンゼルスのオルフェオ・アンゲルツィが

「自家付近で無人円盤に乗った」と語る。

「米」ネバダ州に住むT・ベラムが「月の裏側にある

クラリオン星から来たという宇宙人に会った」と語る。

「イタリア」ローマ付近の山中でガンビエーレ・モンゴッ

チが着陸している円盤と外に出た乗員の姿を撮影。

「英」サール氏が逆重力機関宇宙機の飛行実験に成功。

「フランス」ピレネー山脈近くの住民が糸状の物質（エン

ジェル・ヘア）をはき出す多数のUFOを目撃。

「米」哲学者ジョージ・アダムスキーやが六人の友人の見て

いる中でカリフォルニア州デザートセンター付近の砂漠に

現れた美しい金星人と会見する。

「米」G・アダムスキーの頭上に飛来した円盤の窓からネ

ガホルダーが落とされる。このネガに写っていた奇妙な文

字と図形はフランスの考古学者マルセル・オム教授がブラ

ジル奥地を探検中に発見したものによく似ている。

「米」CIAが科学者を集めてUFOの査問会を開く。

「米」ノース・カロライナ州コーンウェイでロイド・ブース

がUFOにビストルを発射。

「米」火星人と土星人の二名の案内でG・アダムスキーが

金星人と再会し、金星の円盤と母船に同乗する。

「スペイン」少年が円盤から降りた身長六十センチの小人

三人を目撃、そのうちの一人が横面をなぐられる。

「米」サウス・ダコタ州エルズワース空軍基地で対空監視

員がUFOを発見し、空軍機がそれを追跡する。

「米」G・アダムスキー、D・レスリー共著の『FLYING SAUCERS HAVE LANDED』が出版され、全米にセンセーションをまきおこす。

10月

8月12日

7月1日

2月18日

1月14日
1月27日

12月13日

7月31日
8月17日

7月28日

1954年

2月15日

「フランス」国防省にUFO研究のため課が設立される。
「英」ランカシャー州コニストンに住むスティーヴン・ダビッド・クランプが正投影法で証明の円盤を撮影。

「アフリカ」ケニア近くのキリムク村がUFOの熱線で全滅する。

「ノルウェー」アスターとエディスの姉妹が野原で宇宙人を話しかけられる。

「イタリア」イタリア人ベルロが「円盤に乗せられて地球のまわりを飛行した」と語る。

「イタリア」四十歳の農婦ローザが紡錐型UFOから出て来たハンサムな二人の小人にストッキングをとられる。

「ブラジル」タクシー運転手モーリロ・B・ゴドイが「着陸している円盤の内部に入り込み、身長一・二メートルの乗員三人を見た」と語る。

「ドイツ」世界的なロケット学者ヘルマン・オーベルト博士がUFOの実在を認める声明を発表。

「スペイン」マドリード郊外でアルベルト・サンマルタンが髪の長いウェットスーツのものを身につけた男から文字の彫られている謎の石を受けとる。

「ブラジル」農夫が身長一・五メートルで茶色の上下つなぎ服を着た金髪の宇宙人二人を目撃。

「ペネズエラ」チコ付近の山中で二人の青年が身長一メートルぐらいの宇宙人をライフルでなぐる。

「日本」荒井欣一氏が「日本空飛ぶ円盤研究会」を設立。

「米」ケンタッキー州の農場の息子が両手をあげて近づく

11月28日

11月21日

11月1日

11月2日

9月

8月20日

6月

1955年

8月22日

7月1日

6月

1月

身長一メートルで巨大な頭の怪人に発砲する。

〔英〕『フライング・ソーサー・レビュー』誌創刊。

〔スペイン〕船員のホアン・アグラ・リベロが作業中に、ヘルメットをかぶったゴリラに似た小人に出合つ

〔米〕G・アダムスキー、D・レスリー共著の『FLYING SAUCERS HAVE LANDED』が出版

1959年 6月27日	1958年 2月12月20日	1957年 1月16日10月15日9月10月16日8月7月	1956年 4月7日11月
 <p>〔日本〕松村雄亮氏が「空飛ぶ円盤研究グループ」設立。 「米」ドナルド・キーホー少佐が民間UFO研究機関「N I C A P」を設立。</p> <p>〔南アフリカ〕女流音楽家エリザベス・クララが「金星人と名のる金髪の青年に円盤へ案内され、中で新鮮な水やおいしい食物をごちそうになった」と語る。</p> <p>〔日本〕高梨純一氏が「近代宇宙旅行協会」を設立。</p>	   <p>〔ドイツ〕M.C.I.A.が、西ドイツでとらえられたという身長數十センチの宇宙人の写真を発表。この宇宙人の死体は現在もアルコレールづけで保存されているという。</p> <p>〔米〕ブルックリンの理髪師が「火星人と名のる男に、テレパシーを強める機械の作り方を教わった」と語る。</p> <p>〔日本〕宇宙友好協会(CBA)「発足」。</p> <p>〔ブラジル〕爆発したUFOの破片を分析したUFO研究家フォンテス博士が「破片は地球上では製造不可能といわれている純度百分のマグネシウムでできている」と発表。</p> <p>〔米〕看護婦エラ・ルイス・フォーチュンがホロマン空軍基地付近でUFOを撮影、一躍有名になる。</p>	   <p>〔米〕「ドイツ」M.C.I.A.が、西ドイツでとらえられたという身長數十センチの宇宙人の写真を発表。この宇宙人の死体は現在もアルコレールづけで保存されているという。</p> <p>〔米〕ブルックリンの理髪師が「火星人と名のる男に、テレパシーを強める機械の作り方を教わった」と語る。</p> <p>〔日本〕「ソ連」レニングラードの八名からなる地球物理学調査隊〔南アフリカ〕女流音楽家エリザベス・クララが「金星人と名のる金髪の青年に円盤へ案内され、中で新鮮な水やおいしい食物をごちそうになった」と語る。</p> <p>〔日本〕高梨純一氏が「近代宇宙旅行協会」を設立。</p>	 <p>〔日本〕松村雄亮氏が「空飛ぶ円盤研究グループ」設立。 「米」ドナルド・キーホー少佐が民間UFO研究機関「N I C A P」を設立。</p> <p>〔南アフリカ〕女流音楽家エリザベス・クララが「金星人と名のる金髪の青年に円盤へ案内され、中で新鮮な水やおいしい食物をごちそうになった」と語る。</p> <p>〔日本〕高梨純一氏が「近代宇宙旅行協会」を設立。</p>

1963年 12月28日	1962年 8月28日5月15日10月18日8月20日	1961年 4月2月19日7月6月21日9月9月11日	1960年 4月8月16日
   <p>〔日本〕久保田八郎氏が「日本GAP」を設立。</p> <p>〔米〕UFOを目撃後意識を失ったペティ・ヒル夫妻が、逆行催眠をかけられた結果、自分たちがUFOの中で身体検査を受けたことなどを思い出す。</p> <p>〔ブラジル〕鉱夫が円盤に誘拐され行方不明になる。</p> <p>〔南アフリカ〕ヨハネスバーグのバシリル・バン・デン・ペレグが、アダムスキーが金星人から与えられたという宇宙文字を解読して反重力モーターを発明するが、それを発表した直後謎の失踪をとげる。</p> <p>〔ブラジル〕佐が宇宙空間で銀白色の物体を撮影。</p> <p>〔アルゼンチン〕タンクローリー運転手がロボット型宇宙人を銃で撃つが、その後UFOの光線を浴びて火傷。</p> <p>〔米〕衛星船マーキュリーに乗ったゴードン・クーパー少佐が宇宙空間で銀白色の物体を撮影。</p> <p>〔米〕マサチューセッツ州の電子工学校師ボブ・レナードが「宇宙人の案内でマサチューセッツ山岳地帯にある彼らたちに向かって手を振る数人の“人間”を目撃」。</p>	  <p>〔米〕衛星船マーキュリーに乗ったゴードン・クーパー少佐が宇宙空間で銀白色の物体を撮影。</p> <p>〔アルゼンチン〕タンクローリー運転手がロボット型宇宙人を銃で撃つが、その後UFOの光線を浴びて火傷。</p> <p>〔ブラジル〕身長二メートルで一つ目の宇宙人にレンガを投げようとした少年が宇宙人の光線を浴びる。</p> <p>〔米〕マサチューセッツ州の電子工学校師ボブ・レナードが「宇宙人の案内でマサチューセッツ山岳地帯にある彼らたちに向かって手を振る数人の“人間”を目撃」。</p>	   <p>〔米〕テキサス州で米副大統領専用機が「光体接近」の無電を最後に空中分解。</p> <p>〔米〕ウイスコンシン州の農夫が、鼻が高く無毛の宇宙人に水を与えて、お礼にパンケーキをもらう。</p> <p>〔ソ連〕モスクワ付近で円盤にミサイルが発射される。</p> <p>〔米〕新聞配達の少年が二機のUFOに新聞を吸い上げられる。</p>	  <p>〔ブラジル〕電気技師アキュメツが「大型円盤に乗り月まで行った」と語る。</p> <p>〔ソ連〕レニングラードの八名からなる地球物理学調査隊〔南アフリカ〕女流音楽家エリザベス・クララが「金星人と名のる金髪の青年に円盤へ案内され、中で新鮮な水やおいしい食物をごちそうになった」と語る。</p> <p>〔日本〕高梨純一氏が「近代宇宙旅行協会」を設立。</p>

の「地底基地」へ行き、翌年一月四日にはカリフォルニア州の「海底基地」へ行った」と語る。

		1964年			
12月	4月	10月	4月	6月	12月
12月4日	〔米〕ニューヨーク州にUFO墜落?	〔米〕ニューヨーク州の農場でUFO墜落?	〔米〕ニューヨーク州ソコロで警官が四本脚で着陸しているUFOと身長一・二メートルの宇宙人二人を目撃。	〔米〕ニューメキシコ州でチャーレズ・K・デービス少年が円盤の熱線を浴びて顔面に大火傷を負う。	〔米〕フロリダ州の森で元軍人のリーブス氏が宇宙人に写真を撮られる。
8月23日	〔米〕ワシントン市でマデリン・ロドファー夫人が自宅上空に現れたアダムスキーモード内盤を8ミリで収める。	〔米〕ワシントン市でマデリン・ロドファー夫人が自宅上空に現れたアダムスキーモード内盤を8ミリで収める。	〔ソ連〕故障のために緊急着陸をしたヴォスホート二号の飛行士二名が「故障の前に光る物体を見た」と語る。	〔ソ連〕UFOの接近で計器類の乱れたヴォスホート一号に対し、地上ステーションが緊急着陸指令を出す。	〔米〕メリーランド州シルバースプリングの病院でG・アダムスキーモード内盤を8ミリで収める。
6月4日	〔米〕ジエミニ四号のジェームズ・マクデヴィッド少佐がハイ上空を通過中にUFOを発見、撮影に成功する。	〔米〕ジエミニ四号のジェームズ・マクデヴィッド少佐がハイ上空を通過中にUFOを発見、撮影に成功する。	〔南極〕チリ、アルゼンチン、英國の隊員がレンズ状のUFOを目撃。(チリ空軍省、アルゼンチン海軍省発表)	〔米〕ジエミニ四号のジェームズ・マクデヴィッド少佐がハイ上空を通過中にUFOを発見、撮影に成功する。	〔米〕メリーランド州シルバースプリングの病院でG・アダムスキーモード内盤を8ミリで収める。
7月3日	〔米〕「アキシコ」三人の大学生が「金髪で青い目の宇宙人に案内されて彼らの人工衛星を見学した」と語る。	〔米〕「アキシコ」三人の大学生が「金髪で青い目の宇宙人に案内されて彼らの人工衛星を見学した」と語る。	〔米〕「アキシコ」三人の大学生が「金髪で青い目の宇宙人に案内されて彼らの人工衛星を見学した」と語る。	〔米〕「アキシコ」三人の大学生が「金髪で青い目の宇宙人に案内されて彼らの人工衛星を見学した」と語る。	〔米〕「アキシコ」三人の大学生が「金髪で青い目の宇宙人に案内されて彼らの人工衛星を見学した」と語る。
8月4日	〔米〕「ラジル」鉄道員ホアンが「ボルトガル語で話す小人宇宙人に会い、記念に金属片をもらった」と語る。	〔米〕「ラジル」鉄道員ホアンが「ボルトガル語で話す小人宇宙人に会い、記念に金属片をもらった」と語る。	〔米〕「ラジル」鉄道員ホアンが「ボルトガル語で話す小人宇宙人に会い、記念に金属片をもらった」と語る。	〔米〕「ラジル」鉄道員ホアンが「ボルトガル語で話す小人宇宙人に会い、記念に金属片をもらった」と語る。	〔米〕「ラジル」鉄道員ホアンが「ボルトガル語で話す小人宇宙人に会い、記念に金属片をもらった」と語る。
8月23日	〔米〕「ラジル」の乗るジェミニ七号が二個のUFOを自動撮影。	〔米〕「ラジル」の乗るジェミニ七号が二個のUFOを自動撮影。	〔米〕「ラジル」の乗るジェミニ七号が二個のUFOを自動撮影。	〔米〕「ラジル」の乗るジェミニ七号が二個のUFOを自動撮影。	〔米〕「ラジル」の乗るジェミニ七号が二個のUFOを自動撮影。

「米」ギャラップ世論調査所が「全米（十九歳以上）で五百万人がUFOを見ている」と発表。

		1966年			
8月	7月	10月	8月	7月	12月
8月20日	〔米〕ジエミニ十号のジョン・ヤング飛行士が二個のUFOを目撃。	〔米〕野球見物帰りのジョン・シーツ氏がアダムスキーモード内盤を8ミリで撮影。	〔米〕「ラジル」UFOの飛び去ったあとで、鉛の目かくしをつけた二人のテレビ技術者の死体が発見される。	〔米〕空軍の協力でコロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会（コンドン委員会）が発足。	〔米〕「ラジル」UFOの底部に「王」のマークをつけた円盤を二人の人が違う角度から撮影。
7月18日	〔米〕ジエミニ十号のジョン・ヤング飛行士が二個のUFOを目撃。	〔米〕野球見物帰りのジョン・シーツ氏がアダムスキーモード内盤を8ミリで撮影。	〔米〕「ラジル」UFOの飛び去ったあとで、鉛の目かくしをつけた二人のテレビ技術者の死体が発見される。	〔米〕空軍の協力でコロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会（コンドン委員会）が発足。	〔米〕「ラジル」UFOの底部に「王」のマークをつけた円盤を二人の人が違う角度から撮影。
10月6日	〔米〕空軍の協力でコロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会（コンドン委員会）が発足。	〔米〕空軍の協力でコロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会（コンドン委員会）が発足。	〔米〕空軍の協力でコロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会（コンドン委員会）が発足。	〔米〕空軍の協力でコロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会（コンドン委員会）が発足。	〔米〕空軍の協力でコロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会（コンドン委員会）が発足。
11月21日	〔米〕ジエミニ十二号のエドウイン・オルドリング飛行士が一列に並ぶ四機のUFOを目撃。	〔米〕ジエミニ十二号のエドウイン・オルドリング飛行士が一列に並ぶ四機のUFOを目撃。	〔米〕ジエミニ十二号のエドウイン・オルドリング飛行士が一列に並ぶ四機のUFOを目撃。	〔米〕ジエミニ十二号のエドウイン・オルドリング飛行士が一列に並ぶ四機のUFOを目撃。	〔米〕ジエミニ十二号のエドウイン・オルドリング飛行士が一列に並ぶ四機のUFOを目撃。
12月2日	〔米〕ドライブ中のセールスマンが青く光る服を着た宇宙人に道を尋ねられる。	〔米〕ドライブ中のセールスマンが青く光る服を着た宇宙人に道を尋ねられる。	〔米〕ドライブ中のセールスマンが青く光る服を着た宇宙人に道を尋ねられる。	〔米〕ドライブ中のセールスマンが青く光る服を着た宇宙人に道を尋ねられる。	〔米〕ドライブ中のセールスマンが青く光る服を着た宇宙人に道を尋ねられる。
2月	〔大西洋〕アゾレス諸島にあるNATO空軍基地へ着陸した円盤に近づいた一兵士が気絶する。	〔大西洋〕アゾレス諸島にあるNATO空軍基地へ着陸した円盤に近づいた一兵士が気絶する。	〔大西洋〕アゾレス諸島にあるNATO空軍基地へ着陸した円盤に近づいた一兵士が気絶する。	〔大西洋〕アゾレス諸島にあるNATO空軍基地へ着陸した円盤に近づいた一兵士が気絶する。	〔大西洋〕アゾレス諸島にあるNATO空軍基地へ着陸した円盤に近づいた一兵士が気絶する。
3月28日	〔米〕オハイオ州の国道をドライブ中の工員デビッド・モリスが身長一・二メートルの宇宙人を車ではねる。	〔米〕オハイオ州の国道をドライブ中の工員デビッド・モリスが身長一・二メートルの宇宙人を車ではねる。	〔米〕オハイオ州の国道をドライブ中の工員デビッド・モリスが身長一・二メートルの宇宙人を車ではねる。	〔米〕オハイオ州の国道をドライブ中の工員デビッド・モリスが身長一・二メートルの宇宙人を車ではねる。	〔米〕オハイオ州の国道をドライブ中の工員デビッド・モリスが身長一・二メートルの宇宙人を車ではねる。
4月	〔ボーランド〕UFOからまかれた黄色い粉で植物全滅。	〔ボーランド〕UFOからまかれた黄色い粉で植物全滅。	〔ボーランド〕UFOからまかれた黄色い粉で植物全滅。	〔ボーランド〕UFOからまかれた黄色い粉で植物全滅。	〔ボーランド〕UFOからまかれた黄色い粉で植物全滅。
5月21日	〔カナダ〕工業技師ステイヴン・ミカラックがUFOに触れて火傷を負う。	〔カナダ〕工業技師ステイヴン・ミカラックがUFOに触れて火傷を負う。	〔カナダ〕工業技師ステイヴン・ミカラックがUFOに触れて火傷を負う。	〔カナダ〕工業技師ステイヴン・ミカラックがUFOに触れて火傷を負う。	〔カナダ〕工業技師ステイヴン・ミカラックがUFOに触れて火傷を負う。
6月	〔スペイン〕底部に「王」のマークをつけた円盤を二人の人が違う角度から撮影。	〔スペイン〕底部に「王」のマークをつけた円盤を二人の人が違う角度から撮影。	〔スペイン〕底部に「王」のマークをつけた円盤を二人の人が違う角度から撮影。	〔スペイン〕底部に「王」のマークをつけた円盤を二人の人が違う角度から撮影。	〔スペイン〕底部に「王」のマークをつけた円盤を二人の人が違う角度から撮影。
8月13日	〔ブラジル〕農場監督が円盤から出て来た三人の小人をラジルでねらうが、緑色の光線を浴びて二ヶ月後に死亡。	〔ブラジル〕農場監督が円盤から出て来た三人の小人をラジルでねらうが、緑色の光線を浴びて二ヶ月後に死亡。	〔ブラジル〕農場監督が円盤から出て来た三人の小人をラジルでねらうが、緑色の光線を浴びて二ヶ月後に死亡。	〔ブラジル〕農場監督が円盤から出て来た三人の小人をラジルでねらうが、緑色の光線を浴びて二ヶ月後に死亡。	〔ブラジル〕農場監督が円盤から出て来た三人の小人をラジルでねらうが、緑色の光線を浴びて二ヶ月後に死亡。
8月26日	〔ブラジル〕病院の受付嬢が「ボーラ」という言葉を連発する銀色の服を着た宇宙人女性に水を手渡す。	〔ブラジル〕病院の受付嬢が「ボーラ」という言葉を連発する銀色の服を着た宇宙人女性に水を手渡す。	〔ブラジル〕病院の受付嬢が「ボーラ」という言葉を連発する銀色の服を着た宇宙人女性に水を手渡す。	〔ブラジル〕病院の受付嬢が「ボーラ」という言葉を連発する銀色の服を着た宇宙人女性に水を手渡す。	〔ブラジル〕病院の受付嬢が「ボーラ」という言葉を連発する銀色の服を着た宇宙人女性に水を手渡す。

1969年		1968年		12月3日
12月17日	11月15日	2月2日	3月19日	〔米〕警官ハーバート・シャーマンが逆行催眠実験を受け、自分が円盤に連れ込まれたことを語る。
7月	2月27日	7月29日	5月20日	〔ニュージーランド〕オークランド市郊外の牧場主エイモス・ミラーがUFOの光線を浴びて即死。
1月8日	1月8日	10月18日	12月	〔米〕十二歳のグレゴリー・ウェルズ少年がUFOから発射された赤い光線を浴びて火傷する。
〔米〕アボロ八号の三飛行士が、機体に大接近する、目がが燃え出す。	〔米〕「カナダ」円盤にさわったスティーヴ・ミヤラク老人の服	〔米〕下院で「UFOシンポジウム」が開かれる。	〔米〕アボロ十五号のスコット、アーウィン両飛行士が空	〔米〕「ボーランド」UFOから発射された光線で軍レーダー基
〔米〕アボロ八号の三飛行士が、機体に大接近する、目がつぶれるほど強力な光を放つUFOを目撃。	〔ソ連〕宇宙飛行士委員会でUFO特別委員会の発足が発表され、世界に大きな反響をまきおこす。	〔米〕「UFO」下院で、"UFOシンポジウム"が開かれる。	〔米〕アボロ十五号のスコット、アーウィン両飛行士が空	〔米〕「ボーランド」UFOから発射された光線で軍レーダー基
〔米〕精神病院の患者三千四百人に対してUFO調査を行った精神分析学者バーソルド・シュワルツ博士が「患者でUFOに関心を示すものは一人もいなかつた」と発表。	〔米〕「米」コンドン委員会がUFOに対する否定的な白書を発表して解散。	〔米〕「ソ連」宇宙飛行士委員会でUFO特別委員会の発足が発表され、世界に大きな反響をまきおこす。	〔米〕アボロ十五号のスコット、アーウィン両飛行士が空	〔米〕「ボーランド」UFOから発射された光線で軍レーダー基
〔米〕「ブラジル」一人の少年が身長一・六メートルの宇宙人二人の持っていた銃のようなものから光線を浴びせられる。〔ブラジル〕リス市郊外に住むテレオザ婦人が「夫の目の前で宇宙人にセックスを強要された」と語る。	〔米〕アボロ十一号が宇宙空間で巨大な一機のUFOに遭遇、地上の管制センターに不気味な音が伝わる。〔コロンビア〕着陸した円盤に接近した農夫が七日後に死亡する。	〔米〕「米」アボロ十二号のコントラクト、ゴードン、ビーン三飛行士が二機のUFOを撮影。	〔米〕「米」アボロ十二号のコントラクト、ブルーブック閉鎖。	〔米〕「米」警官ハーバート・シャーマンが逆行催眠実験を受け、自分が円盤に連れ込まれたことを語る。

1973年		1972年		1971年	1970年
2月3日	1月15日	11月	6月19日	9月25日	8月30日
〔米〕スカラップ世論調査所は全米成人（十九歳以上）の十一%約千五百万人がUFOを目撃、五十一%がUFOの実在を信じているという声明を発表。	〔米〕スカラップ三号がUFOを撮影。	〔米〕「米」ギヤラップ世論調査所は全米成人（十九歳以上）の十一%約千五百万人がUFOを目撃、五十一%がUFOの実在を信じているという声明を発表。	〔米〕「米」ギヤラップ世論調査所は全米成人（十九歳以上）の十一%約千五百万人がUFOを目撃、五十一%がUFOの実在を信じているという声明を発表。	〔米〕「米」ギヤラップ世論調査所は全米成人（十九歳以上）の十一%約千五百万人がUFOを目撃、五十一%がUFOの実在を信じているという声明を発表。	〔米〕「米」ギヤラップ世論調査所は全米成人（十九歳以上）の十一%約千五百万人がUFOを目撃、五十一%がUFOの実在を信じているという声明を発表。

10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日
10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日



「フランス」コンコルドでアフリカの皆既日食を調査中の科学者たちがUFOを撮影。

「米」空軍指揮官が「ベトナム戦争中何度も飛来したUFOのために敵対双方が大混乱をおこした」と発表。

「米」ミシシッピー州バスカグーラの漁師ヒクソンとバー

カーが身長一・七メートルのロボット状宇宙人三人に円盤

内へ連れ込まれて観察される。

「米」アラバマ州の警察署長グリーンハウが銀色の服を着た身長一・六メートルの宇宙人を撮影。

「米」オハイオ州近くで陸軍医学隊のヘリコプターが全長十八メートルの葉巻型UFOとニアミス。

「アルゼンチン」銀色の服を着た三人の宇宙人を見たトラ

ック運転手が、自白強制剤を投与されて、自分が彼らの円

盤に乗せられたことを語る。

「米」カリフォルニア州レモングローヴの二少年が着陸し

ている円盤に近寄り、懷中電燈で円盤の表面をたたく。

「米」パトリック・スラッシュ少年が光線を放つUFOを

撮影。そのすぐ後UFOから落ちた三つの金属をひろう。

「米」原子力委員会のフランク・B・ソールズベリー博士

がUFO否定論を発表。また、シカゴ大原子物理学のフリ

ードマン博士も十四年間の研究の結果「地球人以外の銀河

系生物が銀河系の国際連合を結成して地球に探検家を派遣

している」と発表。

「オーストラリア」シドニー郊外に住むアルゲーター夫妻が

無人のUFOに吸い上げられてテストをされる。

「ソ連」キエフ郊外で気象観測員が土星型UFOを撮影。

「日本」北海道の藤原由浩さんが「身長一メートルの生物

に会い、円盤に乗せてもらった」と語り、話題になる。

「ボーランド」降下したUFOに近づいた一人の兵士がU

F Oの光線を浴びて大火傷を負う。

「UFOと宇宙」「UFO写真集」「宇宙からの訪問者」「私は円盤に乗った」「バブア

島の円盤騒動」ニバース出版社

※参考資料・協力

「世界のUFO」二見書房/「UFO」角川文庫/「写真で見る空飛

ぶ円盤200集」平安書店/「UFO事典」徳間書店/「円盤と宇宙人」小学館/「円盤

写真大図鑑」黒崎出版/「世界の円盤」秋田書店/「文芸春秋テラックス」「古代遺跡とUFO

Oの謎」「空飛ぶ円盤の真相」「空飛ぶ円盤とアダムスキー」「高文社」「地球ロマン」

絵画社/「UFO大襲来」KKベストセラーズ/「日本GAP」

「UFO年表」日放/「国内・海外新聞切抜資料」アリス・ウェルズ/「アリス・ボーロイ/

「UFOと宇宙」「UFO写真集」「宇宙からの訪問者」「私は円盤に乗った」「バブア

島の円盤騒動」ニバース出版社

びて、乗っていた三人の親子がUFOに吸い上げられる。

「米」A・ハイネック博士がUFO研究センターを設立。

「米」知能指数百四十五以上の天才を会員とする「メンサ

・インター・ナショナル」のアンケートで、会員の九十三%

がUFOの実在を信じていると判明。

「日本」山梨県甲府の小学生二人が円盤から出て来た二人

の宇宙人に肩をたたかれる。

「日本」真言宗の大僧正・北野恵宝師が「宇宙人に謎の言

葉や地球の大変動のことなどを伝えられた」と語る。

「米」オレゴン州でUFOが、あなたを別世界に案内す

るとの誘いにのり二十人もの人が行方不明になる。

「米」アリゾナ州ヒーバーで森林伐採工トラビス・ウォル

トンのUFO誘拐事件が発生し、米UFO研究界に激しい

真偽論争を引き起こす。

「フランス」アレ市に「UFO空港」開設される。

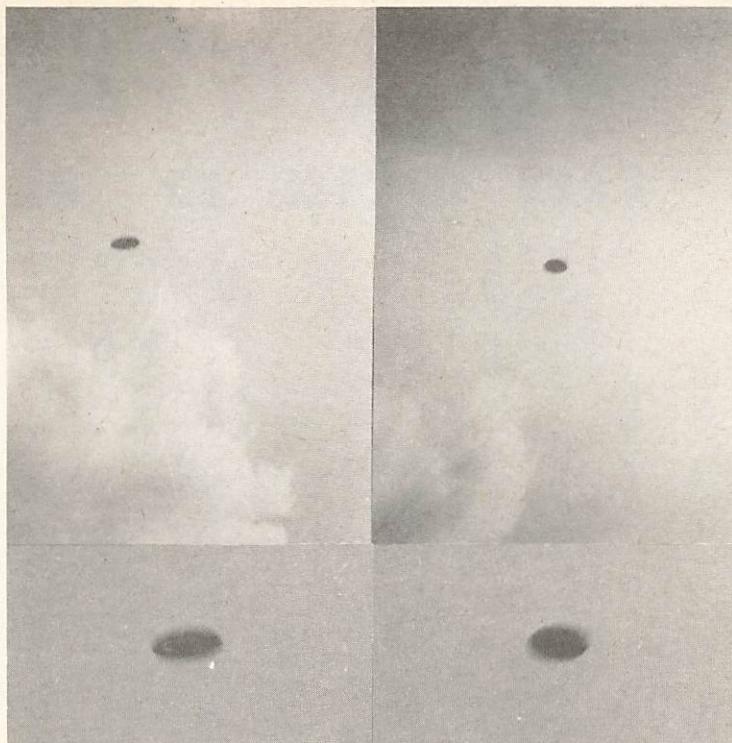
「米」国立公文書館で行われた米空軍「プロジェクト・ブ

ループック」計画（六年前に終了）資料集の公開で、約二

十年にわたる情報総数一万二千六百十八のうち五・五%に

あたる七百一件が説明できずに終わっていることが判明。

「日本」霞ヶ関ビルで「UFOフェスティバル」開催。



●右から左へ、順にとらえた。下はその拡大。



●佐久間 登君

千葉県館山市に現れたUFO

小学生がカメラでパチリ！

昨年、千葉市上空にアダムスキー型円盤が現れたが、今度は同じ千葉県内の房総半島突端にある館山市に凸レン

ズ状のUFOが出現、これを偶然カメラでとらえた地元の小学生が、UFOだといわれてビックリしている。

年生の佐久間登君（十歳）。

八月二十一日、佐久間君は甲子園で行われていた全国高校野球決勝戦をテレビで見ていた。決勝戦が終わつたとき、彼はふらつと外に遊びに出た。手にしたカメラで何かを写したくなつたのだ。

家の西側に広々とした空き地がある。佐久間君は、だれかが置き忘れたおもちゃの自動車の上に腰かけ、あたりを眺めていた。

すると、港の方に向、つまり彼の位置から見ると北西の空に黒い物体が見えた。はじめ、それは鳥の群れのように見えたという。

やがてその物体は、空き地の上空をゆっくりと通過し、南の空に消えていった。二~三分の間の出来事だった。

その間、佐久間君は物体に向けてカ



●あそこにUFOが……

この佐久間君、一年ほど前からUFOに興味はもっていたが、実際にUFOらしい物体を見たのは今回がはじめて。思わず出来事に本人も信じられないといった表情である。

また、このフィルムを現像したカメラ店の屋田さんは、こう話している。

「何か奇妙な物体が写っていることはたしかですね。それらしき物体を投げ上げといて、写真を撮ったとは思えません。ハーフ判のカメラで、ファインダーが狭いですから——」

メラのシャッターを二回きつておいた。そのときの彼にとつては、ただ、それだけのことだった。

十日ほどして現像に出していた市内の写真屋へ行くと、店員が「UFOが写っているよ」という。

驚いた彼が、自分の撮った二枚の写真を覗き込むと空飛ぶ円盤の形によく似た……レンズ状の黒い物体が写っていたのだ。

佐久間君は「あんな物、はじめて見た。とてもUFOとは思えなかつたよ。思い出してみると、木の葉運動やジグザグ飛行をしていたようだ。音もしなかつたし、窓も見えなかつたけれど」と話している。

この佐久間君、一



●マンテル大尉機の墜落現場写真



●イオンクラフトの公開浮上実験

●高梨純一氏の講演



●荒井欣一氏

日本で初めての本格的UFO祭典ともいえる「UFOフェスティバル」が九月十五日から十二日間にわたって東京・霞ヶ関ビルで開催された。

「UFOフェスティバル」の会場となつた霞ヶ関ビル三十六階は、展望台ともなつており、東京の中心街を一望に眺められることも手伝つてか、休日に家族づれでにぎわつた。

このフェスティバルは、「日本空飛ぶ円盤研究会」の荒井欣一氏の主催で開かれたもので、同研究会のほか「日本GAP」「日本宇宙現象研究会」など

のUFO研究グループも出展。展示された写真は、およそ三百点にも達し、一九四八年米国空軍マンテル大尉機の墜

落現場の写真をはじめ、第二次世界大戦中、米国ロサンゼルスの夜空に現れ、千四百三十発の高射砲弾を浴びたという珍しいUFO写真など、数多くの記録写真が入場者の関心をひいた。

開催期間中には講演会も開かれ、高梨純一氏、高坂剣魅氏などが、独自のUFO研究について講演したほか、イオンクラフトの公開浮上実験、UFO観測会、UFO同窓会などの催しもの

ますますエスカレートしていくUFOブーム。開催期間中の入場者が延べ一万五千人に達したところをみると、"UFO三十周年"を記念する来年は今年以上の成果が期待できそうである。そのため関係者はこの「UFOフェスティバル」を機に日本のUFO研究熱が一段と本格化することを一様に望んでいる。

日本初の「UFOフェスティバル」開催!

が行われた。

今回の「UFOフェスティバル」の主催者荒井欣一氏は「一般の人々に広くUFOというものを知つてもらおう」という主旨で、今までにない大がかりな展示会を試みたが、予想以上の大成功でした。来年はシンポジウムを設けてUFOを科学的に討論してみようと思っています」と話している。

月世界はUFOの中継基地か

完



月口ケット『アポロ十二号』の月面離陸装置が任務を終えて月に衝突したとき、月は実際に五十五分間も振動し続けた。これは月の内部が巨大な鐘のように空洞になつていていたためだ！

ウイ爾キンズ博士の月・空洞説

アボロ計画を見つめているうちに私は驚嘆した。この計画により次々と明るみに出た事実が、二人のソ連人科学者の『途方もない異端の説』を実証する証拠をもたらしたように思えたからである。

この信じがたい説を裏付ける何かがあるかもしれないという私の最初の気持は、アストロノーティックス誌（一九六二年七月号）に出た月の運動に関する十年も古い記事を読んだときに起つた。これは宇宙開発技術と航空の専門誌である。この記事でのトップクラス科学者ゴードン・マクドナルド博士は、月の運動を分析してみると、この天体は中空であることがわかると述べていた。

「天文学者上のデータを分析すると、月は均質の天体というよりもむしろ内部が空洞であることが判明する」

だがマクドナルド博士は必ずしも月の空洞説を確信しているのではない。この著名な科学者は、同僚の多数が完全にカラッボな天体または自然に内部が中空になつた天体などが宇宙に存在するとは思っていないことを知つてい

る。この信じがたい説を裏付ける何かがあるかもしれないという私の最初の気持は、アストロノーティックス誌（一九六二年七月号）に出た月の運動に関する十年も古い記事を読んだときに起つた。これは宇宙開発技術と航空の専門誌である。この記事でのトップクラス科学者ゴードン・マクドナルド博士は、月の運動を分析してみると、この天体は中空であることがわかると述べていた。

「天文学者上のデータを分析すると、月は均質の天体というよりもむしろ内部が空洞であることが判明する」

この信じがたい説を裏付ける何かがあるかもしれないという私の最初の気持は、アストロノーティックス誌（一九六二年七月号）に出た月の運動に関する十年も古い記事を読んだときに起つた。これは宇宙開発技術と航空の専門誌である。この記事でのトップクラス科学者ゴードン・マクドナルド博士は、月の運動を分析してみると、この天体は中空であることがわかると述べていた。

「天文学者上のデータを分析すると、月は均質の天体といふよりもむしろ内部が空洞であることが判明する」

この信じがたい説を裏付ける何かがあるかもしれないという私の最初の気持は、アストロノーティックス誌（一九六二年七月号）に出た月の運動に関する十年も古い記事を読んだときに起つた。これは宇宙開発技術と航空の専門誌である。この記事でのトップクラス科学者ゴードン・マクドナルド博士は、月の運動を分析してみると、この天体は中空であることがわかると述べていた。

ユーリー博士も裏づけた

この点で証拠をもたらしたもう一人の有名な月専門家は、ハロルド・ヨーリー博士である。ノーベル賞受賞の科学者で、次のような説をとなえた。

「月の内部には希薄な物質か空洞が存在するかも知れない。科学的なデータはこの考え方を裏づけているようだ。この結論に至る証拠は共同研究者のソグレン博士によって発見された。科学記者のジーン・センディーは言

たのだろうが、彼も存在するとは言つてない。

月の空洞は一千四百万立方マイルにも達するだろうとつけ加えている。

こんな大空洞が存在するという証拠があるだろうか？ NASAの指導的地位にある地質学者の一人、ファル・クリ・エル・バス博士によれば、米政府は空洞が存在するのではないかと考えて、そのための月に関する実験を行つたという。バス博士は言う。

月の地表下には多数の未発見の空洞がある。月へロケットを送つて、何度か実験をやつてたしかめたのだ

マクドナルドの研究はそれ自身の結論を拒否して終わつたが、我々は月の形成に関する別な面の研究があり、それがやはり月は空洞であるという同じ結論に達していることを知つたのである。英國の大天文学者H・P・ウイ爾キンズ博士はその立派な著者「われらの月」の中で、「月は空洞か？」と題する章において次のように述べている。「あらゆる点で月の表面から二十ないし三十マイル以内は、多少とも空洞の性質であることを示している。したがつて我々の眼に見えない所に大きな穴か地下トンネル、クレバースがあるようと思われる。これらはあちこちで裂け目、割れ目、噴気孔などで表面とつながつてゐるにちがいない」

だがこの結果はまだ公表されていない。それどころか実験そのものが秘密にされた。少なくともファル・クリ・バス博士がしゃべるまでは不明であった。なぜ極秘裏に行われたのか？ NASAが月の内部に異星人の基地が存在する可能性を考慮したためか？

この点で証拠をもたらしたもう一人の有名な月専門家は、ハロルド・ヨーリー博士である。ノーベル賞受賞の科学者で、次のような説をとなえた。

「月の内部には希薄な物質か空洞が存在するかも知れない。科学的なデータはこの考え方を裏づけているようだ。この結論に至る証拠は共同研究者のソグレン博士によって発見された。科学記者のジーン・センディーは言つたのだろうが、彼も存在するとは言つてない。

●アポロ計画で判明した驚異的事実 月は異星人が建造した空洞の天体？

ドン・ウィルソン

「月に地下基地があるとすれば、まさ
にそこだ。ルナ・オービターから送ら
れたデータに関するソグレン博士の研
究が、月の地表下の空洞発見につなが
るとすれば、そして私の説になる基地
がそこで発見されれば、私は正しか
った！と言えるだろう。偶然に正しか
つたのではない」

月が完全に空洞であることを示すも
つと荒っぽい研究は、月の密度と重力
場の研究から出た。国際的な月研究誌
ムーンの「月内部の密度と成分」と題
する記事の中で、マサチューセッツ工
科大学、地球・惑星科のセアン・C・
ソロモン博士も、月の内部が空洞であ
るという結論に達したのである！ 博
士は言う。

「ルナ・オービターによる実験は、月
の重力場に関する我々の知識を大きく
実証した……月が空洞であるかもしれない
といふ驚くべき可能性を示した
のである。

驚くべき事か？ そうだ。完全な空
洞の世界が自然に存在する筈はないと
科学者は確信していたからである。カ
ール・サガーン博士による有名な科学論
文「宇宙の知的生命」には「自然の衛
星は空洞の物体である筈はない」とぶ
つきらぼうに述べてあるのだ。

月は空洞の大宇宙船！

以上が真実だとすれば、月は空洞の
宇宙船だというソ連科学者の説は正し
いということになる！ つまり月は人
工的な空洞なのである！ それは人工
的にくり抜かれた宇宙船なのだ！

以上の権威ある研究すべては私の心
を燃え立たせ、入手し得る限りの最新
の証拠を徹底的に研究しようという好
奇心をわき立たせた。そして驚いたこ
とに、ソ連の宇宙船説が正しいという
多数の証明を発見したのである。

たとえば、この空洞説を提唱した例
の二人のソ連人科学者は、月は巨大な
金属のシールドでもって、数マイルに
及ぶ岩石や土の下部に補強を施した空
洞の世界であるという仮説を立てた。
もしこの衛星の内部がこうした金属性
の宇宙船シールドを持つとすれば、そ
こへ突入したアポロ宇宙船における地
震は、たんなる岩石や土から成る通常
の世界で予期されるものとは異なる振
動や地震となる筈である。胴体が本当
に金属であるのなら、撃突による振動
は極端に長引き、巨大な鐘のように響
かせることだろう。そしてこの振動は
遠距離にまで伝わって、おそらく月全
体に及ぶだろう。



類の信号を地球へ送信したのか？ ア
ポロ十二号の月面離陸装置が月へ衝突
したとき、月面に置かれた月震計はN
ASAの科学者団をびっくり仰天させ
たほどのショック波を記録した。この
人工月震は実に五十五分間も続いたの
である！ 加うるに月震計で記録され
る地震波とも全く異なっていた

ほぼ一時間も続いたこの月震波は、
七分後にピークに達する信号でもって
始まり、次にゆっくりと振幅が縮小
し、五十五分後にやっと消滅した。科
学者団の認めるところでは、この現象
は月の内部に“何か”があつて、それ
が振動の異常に効果的な導体となつて
おり、持続して次第に消えてゆくまで
に要した驚くべき長時間は、前代未聞
で全くの謎であるという。月は巨大な
中空の球体のことく反応したのだ！

奇怪な月の“地震”

アポロ宇宙飛行士の手で月面に置か
れた高感度月震計は、一体いかなる種

学者は言っている。

NASAの一科

アポロ激突の反応の謎

しかしあボロ十二号の体験だけがユニークなのではない。アボロ十三号の不運なサターンロケットのブースター第三段を月軌道に乗せたとき、それは TNT火薬十一トン分の爆発に等しい衝撃を月面に与えた。そしてアボロ十二号の宇宙飛行士が月震計を設置した場所から八十七マイルの位置に衝突したのである。キノコ型のチリの雲が月の上空高く舞い上がった。しかしこれはまさに比較にならぬ大反応を生じさせたのである。月全体が三時間二十分以上も振動したのだ！またも科学者は团はこの不思議な長時間の信号に啞然としたのである。だが例のソ連人科学者による月の空洞説と内部に金属のシールドを持つという説が正しいとすれば、この振動は当然期待どおりの結果である！

アボロ十四号のブースターI-S-4Bが月面に衝突したときも、結果は同様であった。これもTNT火薬十一トン分の爆発に匹敵する力で衝突した。NASAの刊行物『アボロ十四号』には

「月は鐘のように鳴り響いた」と述べてある。三時間も振動して、この振動は二十二ないし三十五マイルの深さに達したという。この長時間の振動は、

何がこの現象を引き起こそうとも月の内部にはきわめて良好に音響を伝える極端に固い物の層が存在することを示していると、科学者団は結論をくだした。これが例の二人が言うところの内部シールドなのか。金属の球体が音をよく伝えることはよく知られている。

もちろんNASAの科学者は極端に固い岩石だと考えた。しかし、わが地球も岩石のマントルを持つが、そんなに振動はしない。明らかに地球の内部は熱くて柔らかいが、月の内部は冷たいと考えられている。そのため月震波は消えないか、または地殻の構造のある層と別な層の間の密度の相違によって吸収されないのであろうが、それでもかかわらず月の振動の特徴はきわめて不思議である。

月震波の異常なスピード

ところが科学界は月の内部に関してある事実をすでに知っていたということは、更に興味をそそられる問題である。それは音響をかくもよく伝える内部の固い層を通じて振動が伝播するときの謎のスピードである。傑出した宇宙科学の専門家ワーナー・フォン・ブランは言っている。

「そのスピードは約十五マイルの深さに達するに従つて次第に増加するようだ——そして突然、増加する。この突然の増加は、層がより高密度の物質に変化するからだ」といふのがなまらしく伝わる。研究家のなかには、これこそ確定的なデータだと主張する人もあるだろう——月の内層は二人のソ連の科学者が言う

石が、秒速六マイルもの高速で振動波を伝えるとは考えられない」

金属ならば音響の振動をはるかに速く伝えるという事実は重要である。いよいでもなく、金属性岩石も同様である。宇宙船『月』号の表層地帯に多量に存在する鉄、クロム、ベリリウム、モリブデン、チタン等の各種金属を伝わる音響のスピードを調査すると、ある驚くべき事実が判明する。鉄と鋼を流れる音速は秒速約一万八千フィートで、ニッケルは一万九千、チタンが二万、モリブデンは二万一千、ベリリウムが四万二千フィートである。

地球の普通の金属を伝わるこれらの音速をざっとみると、これは月の謎の内層を伝わる振動速度とほぼ同じであることがわかる。つまり秒速約六マイルないし三万フィートである。これは堅固なために音響をよく伝えると思われる内層を伝わる音響の速度と大体同じなのである。そうなるとこれは内層が実際に何かの金属であるというのか、それとも異星人が作った合金なのであろうか？

たしかに、わが月は巨大な鐘のことくに「鳴り響く」のだ！

ところで、月の内部は「自然の」世界ではないと思われることを示す別の手がかりが数例ある。月が人工的な建築物であるという事実を示す系口だ。人間が月へ行くまでは、大抵の科学者はそこが死の世界だと確信していたが、アボロ宇宙飛行士の手で月面に設置された高感度月震計により（これは地球で用いられる地震計よりも百倍も高感度である）人工地震の百万分の一も微小な月震を測定できる装置を置いたことになる。地震測定実験を扱う科学チームとしては第一級の、コロンビア大学ラモント・ダーティー地質観測所のゲイリー・レーサム博士は、サヤエンドウほどの大ささの隕石による衝

撃を探知できたという。レーサム博士

は全く正しかったのである。その超高

感度月震計は、月面上を歩く宇宙飛行

士の足音までも記録しているのだ。

時計のように正確な現象

しかし彼らは別な現象も記録していく。月は地球に比べてかなり静かな世界に見えるけれども、群れをなして発生する月震やその他の活動が、その内部で起こっていることが発見される。月震で月表面下五百ないし六百マイル下部に集中して発生したのが探知されたことがある。地球の地震のいかなるものよりもはるかに深い位置である。奇妙なことに大抵の科学者が死の世界を考えた天体で発生したのだ！

加うるに、もっと奇妙な事が月の内部で発生した。つまり時計のように正確な月震現象が起こるのである。すなわち、月が地球に最接近したり最遠距離に行ったりしたときに起こるらしいのだ。それが発生する正確さには全く驚べきものがある。米航空宇宙局のあるトップクラス科学者は言う。

「この観測によって時計の時刻を合わせられるよ」

この月震が本来「自然のものではない」というシルクがある。この偶然の現象にもかかわらず、地殻または内部の岩石の移動は時計のように規則正しく発生しないのである。月震は宇宙船という人工の構造物の内部でこそ発生

するのだ！

謎の月の「悪寒」

さて、高感度の月震計でキャッチされた多数の奇妙な振動がある。科学者はこの月震群を「ミニ震」と呼んでいる。しかしこの内部活動は、すでに報告されているもう少し大きな「微震」とは別物である。レーサム博士は言っている。

「ミニ震の発生中に、二時間に一回の割で別な現象が起り、数日間続く。ミニ震の原因は今のところ不明だ」別な科学者は皮肉な言葉を出した。

「月は悪寒をもよおしているんだ」

計測装置は、一分間から九分間に及ぶ高周波の振動を記録している。これは月の外層の表面地帯における地すべりかもしれないという推測はあるが、それでも科学者たちは頭を悩ましているのである。この振動は次々と続いているので、地すべり説とは考えられない。

数千回にも及ぶこの微震は自然発生だと信じられているが、第一級の地震学者であるレーサムは、ある著しいバタンに気づいた。この振動のはんどすべては、毎月、月が地球に最接近したときに発生するのだ。当然、彼はこうした現象を記録してある。

「これらの現象（月震）について最近発見された著しい特徴は、どれも月を流れる複合体の、しかも一致した信号の連続であるという点である。交互に上下で発生する多数のこの現象を探知のようとしている。

「月は、月の外殻の移動をひき

震」は、月の外殻が地球のもろい外殻よりもはるかに固くて安定していること

と示した。

月こそ異星宇宙船！？

一体何がこの謎の振動を起こすのだ

ろうか？ 割れた外層の岩石層がバランスを失って宇宙船「月」号の固い金属シールドの外層でみずから調整しようとするとときに起こるのだろうか。月のすぐ内側には音響をよく伝える極端に固い物質があることが判明している。

また、それは少なくとも部分的に金属からできているという否定しがたい証拠があることもわかつていて。

地球の引力が月の外殻を移動させるようには内部の固い金属のシールド

に対してもそうさせるのだろうか。

NASAが月から受信した月震信号

があるが、それは謎を超えたものであつた！ 各種のアポロ宇宙飛行士によつて設置された數ヵ所の月震計により月震信号が受信されているが、それらは氣味わるいほど一致している。ニューヨーク・タイムズ紙の一記事には次

のように述べてある。

「これらの現象（月震）について最近発見された著しい特徴は、どれも月を流れる複合体の、しかも一致した信号の連続であるという点である。交互に上下で発生する多数のこの現象を探知の事実から次のように推論した。すなわち、地球の引力で生じる月面上の引張り現象は、月の外殻の移動をひき起すということである。この「ミニ震」が常に同じであるという事実は月学

者によれば異常なことだという

として我々は更に「謎だ！」とつけ加えてよいだろう！ どうしてこれが自然現象なのかを理解することは困難であるからだ。一体どうして岩石や土の偶然の移動が、同じ月震信号の一致に対する解答になるだろうか。ソ連の科学家の言う、月は人工的に建造された内部機構を持つ宇宙船だという説を認めるとならば、これは科学者が謎の天体の不可解な内部から期待してよいものである。

全体的に私が信じるのは、私が整理した証拠類は、地球を回るこの巨大な衛星は宇宙のこの位置における最大の未確認飛行物体であることを示している、という点である。それは地球人類のみが宇宙で唯一の人類ではなく、すぐ近くにある衛星の世界もまだその正体が正しく確認されていないことを示す最大の異星宇宙船なのだ。異星で創造され、知的に作られた天体！ これがこそが惑星へ飛来する多数の異星宇宙船に対する解決のカギになるかもしれない。そして人間そのものにまつわる謎に対するカギにもなるだろう！



楽しさバツグンのハム

『JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県は那覇シティに入感しております……お初にお耳にかかりますが、QSO(交信)よろしくおねがいいたします。どうぞ……』

ハムになるのはカンタン

『電話級ハム免許』は○×式(四者択一式)のやさしい試験で取れる国家資格で、小中学生の合格者もたくさんいます。ラジオ、模型、BCLなどの好きな方なら、短期間の準備でOK。▶ハムを目指す初心者のための通信講座『充実した指導と実績の普及会』で、あなたも今すぐ免許を取ろう。



ハムガイド集 無料贈呈中!!

◆今すぐ右のようにハガキ
に書いてお申込み下さい。
◆読むだけでも楽しい「最新ハム
資料集」贈送します。

——こんなふうに『電波の声』で仲間を呼び出して自由にラグチュー(おしゃべり)を楽しめるハム(アマチュア無線)が、いまヤングの間ですごい人気。マイクにむかって呼びかけるキミの声が大空をかけ一瞬のうちに世界各地の仲間(100万人以上!!)にとどいて、楽しい交信が始まります。

↑ クルマとハムを結びつけた『カー無線』は人気最高! 運転免許を取ったらキミもぜひやろう。

20円	〒158 東京玉川局
ハムガイド送れ	私書箱19号
氏名・年令	CQアマチュア無線
丁番・住所	普及会F77係

楽しみつきないハムの世界

●海外交信で外国の友達もたくさんできるし●オーカル(近辺)の仲間とのラグチューもゴキゲン●また学校その他のクラブ局や野外交信でも活躍できる●カラフルなQS L(交信)カードあつめの楽しさはBCLファンなら見逃せないところ●ハムコンテストやフォックスハンティング等各種の催しも盛ん●手がるで予算少々のハンディー局も急増中!



●ハム受験から開局までの
総合指導システム



CQアマチュア無線普及会

QTH、東京都世田谷区尾山台3-9-7

[CQハムサービス 03・704・4986]

お望みの機種が
お求めになれます
メーカーから
ユーザーへ！

サテライト 天体望遠鏡

★ヤマモトの天体望遠鏡は
海外(アメリカ、フランス、
イタリア、ベルギーetc.)
で絶賛を博しております。

★この他多機種とりそろえています。
詳しくは 250 円切手同封の上カタログを
係へご請求ください。

株式会社 山本製作所

〒174 東京都板橋区大原町5-3
☎(03)966-2408



AE-108

- 有効径 : 108mm
- 焦点距離 : 1600mm

■読者投稿 ■

デニケンの先史宇宙飛行士説考察

竹中 弦

●古いインドの宗教書の記録などを分析し、『先史地球上に宇宙人がやつてきていた』と大胆に主張するE・V・デニケンの仮説は、今や世界的な関心を呼んでいる。しかし、彼の主張は信頼するに足るのだろうか。筆者はデニケン説の論拠に光を当て、疑問を投げる。

(一)

デニケンは、その著書『星への帰還』において宇宙飛行士の記録として『リグ・ヴェーダ』の『宇宙開闢の歌』を引用している。

リグ・ヴェーダというは、インドの最古の宗教書でインドに紀元前千五百年前に侵入したアーリア人により作られた讃美歌集であり、初期は自然の構成要素（太陽とか水など）や、また抽象的概念（怒り、無垢など）が崇拜の対象であったが、後に神話的要素、神の人格化を除外して宇宙の本源を探求する傾向が生じてきた。すなわちウバニシャド哲学の萌芽である。（注1）

『宇宙開闢の歌』は、この時期に当たっているのである。つまり『リグ・ヴェーダ』の最高の思想的段階にあるといふことである。

この「宇宙開闢の歌」のデニケンの解釈——これが私には判然としない。そこで、これに私なりの考察を加えた『リグ・ヴェーダ』の『宇宙開闢の歌』を引用している。

(注直四郎氏訳による) デニケンの引用した部分に傍点を付することにする。

先ず初めに問題の詩句を以下に示し（注直四郎氏訳による）デニケンの引用した部分に傍点を付することにする。

なお、訳者の金森誠也氏は辻訳を使用されている。

四、最初に意欲はかの唯一物に現ぜり。こは意の第一の種子なりき。詩人らは熟慮して心に求め、有の親縁を無に発見せり。

五、彼らの網尺は横に張られたり。下方はありしや、上方はありしや。射精者ありき、能力ありき。自存力は下に、許容力は上に。

六、誰が正しく知る者ぞ、誰かこそに宣言し得る者ぞ。この創造はいづれより生じ、いづこより（来たれども）なかりき、有もなかりき。空界も無かりき。その上の天もなかりき。何ものか發動せし、いづこに、誰の庇護の下に。深くして測るべからざる水は存在せりや。

二、その時、死もなかりき、不死もなかりき。夜と昼との標識もなかり

きかの唯一物は、自力により風もなく呼吸せり。これにより他に何ものも存在せざりき。

三、太初において暗黒は暗黒に蔽われたりき。この一切は標識なき水波なりき。空虚に蔽われ発見しつつあるもの、かの唯一物は、熱の力により出世せり。

(二) は訳者の付したもの
(付記第二)

……さて、どうであろうか。傍点のみの場合とでは、詩句の示す意味に大分の違いがあると私は思う。

デニケンは、この詩に対しても次のように述べている――。

リグ・ヴェーダが伝える「創造の歌」はまたしても無限の宇宙空間を支配する無重力ならびに無音の状態に我々を運んでくれる。

つまりデニケンは、二節の「風もなぐ」を無音と解し、五節の「下方はあるしや、上方はありしや」を無重力状態としているのであろう。なるほど、この詩が真実、宇宙飛行の記録ならば二節は、納得がゆく。しかし、五節を無重力状態とするのは全くのナンセンスである。これは読めば明らかようになれる。神々はこの「世界の」創造よりも後なり。しかばば誰か「創造」いうことをより起こりしかを知る者ぞ。

七、この創造はいづこより起こりしや。そは「誰によりて」実行せられたりや、あるいはまたしからざりしや、——最高天にありてこの「世界からだ。

(2)

このように、デニケンの主張は、文獻的に見てゆくと納得しかねるものが多いと私は思うのである。また、彼は三冊の（『太古の宇宙人』を入れれば四冊）先史宇宙飛行士説関係の著書の他に『奇蹟』と云うキリスト教の顯現（注2）に関する著作があるのだが、その中にこんなことを書いている――

・・・宇宙生成学説も原物質ガス分子からはじまっている（略）。それ

が発生し、徐々に固体になっていったという。しかし、このガス状態があらゆる物質の確たる原状態であり、はじめは『精神』であつたものなら、すべての現存物質は原『精神』につらぬかれていくことになる。神智的、秘教的宗教にみられる主張だ。

（二百三十八頁）



ゾハールの場合は、宇宙創造説自体に触れているのではないようないで、（といつても私は箱崎総一氏によ

る抄訳しか読んでいないので偉そうなことはいえないが）問題はないかもしないが、『秘密教義』は、前半の宇宙發生論が宇宙飛行士の記録にされている。

(3)

私は『秘密教義』のデニケン流の解釈もまた、問題が多いと考えられているのである。

なにか変な感じがしないだろうか。その神智的、秘教的宗教というのことは、なんのことではない、ここでとり上げた『リグ・ヴェーダ』や、これもデニケンが自説に引用している『ゾハール』とか『秘密教義』が教養の根幹と

× × ×

そもそも神智學（Theosophy）の創設者がヘレーナ・ペトロヴァ・プラヴァッキー（一八三一—一八九一）である。

アトランティスを記しているのである。

り、神智学会は一八七五年十一月十七日に発足している。

その教義は西洋のカバラ学、インドの仏教思想の両者に共通点をもつてゐる。

プラヴァッキーは著書『神智学への鍵』においてカルマ（仏教でいう業）は、自然界に遍在するすべての法則の本源であると述べている。

したがつて『ドジャンの書』（これに解説を付したのが『秘密教義』）は、太陽系における我々の發展を記したものであるから、現在の世界の状態の原因が示されているといつてよいと思う。

西洋のオカルティズムは宇宙の諸々の存在を七つに分けるがドジャンも同様で、例えばプラネット（惑星）は輪廻において七つの形態をもち現在は四番（第四ラウンド）であり、人類も第七根元人種まで七つの形態をもつ。第一番目（第一根元人種）をエーテル体（物理学のエーテルではない）と称し、我々は四番目の物質体である。

以上の説明から分かるように、ドジヤンの宇宙論は、進化論などとはまったく別のものである。

前半の宇宙發生論は、第三根元人種の出現まで、これが物質的降下をなされると我々（第四根元人種）となるわけである。つまり、ドジャンにおける宇宙發生論は、人間誕生以前までを述べ、以後は我々の歴史（レムリア、

アトランティス）を記しているのである。

こことのところをよく頭に入れておいてもらいたい。すなわち、ドジャンは、宇宙發生の七つの段階を述べ、現在といふものを説明すると、その七番目（物質界）で、プラネットは四番目の地球、生命態（第一精靈～人間の七つ）が人間、第四根元人種、すなわち物質体というように整然たる秩序があるのである。

しかるにデニケンは、ドジャンの宇宙發生論を引用（抄出）した後に、このように書いている。

ドジャンの書のさらに先の部分には、一千八百万年前に、骨格がなくゴム状で、悟性も知性もなく暮していた生物がいたと書かれてあるという。（中略）長い進化の間には、何百万年前に、こうした方式で、平和で柔軟な生物が発生したことだろう。

これは神智學関係の文献から判断すると、第一根元人種かなにかを指しているらしく思われる。ここに至つて私は、デニケンはドジャンを自説に都合のよいように解釈しているようさえ、思われるのである。

私は『シークレット・ドクトリン』（秘密教義、人智學研究会刊。訳され

てているのは宇宙發生論のみ）を読んで

みたけれども宇宙飛行士などというものは、ついぞくわさなかつた。原文と抄出されたものとを比べると、やがて全文と抄出とを載せて読者と共にはり都合のよいように詩句を選んだような気がしてならない。どこといつて、はつきり指摘できないので、とにかく全文と抄出とを載せて読者と共に考えてゆきたい。

第一節

……時はなかつた。なぜなら時は眠りながら持続の無限のひざの上に横たわっていたからだ……
……暗闇だけが無限の全体を満たしている。……
……そして生命は無意識に宇宙のかで鼓動している。……
……七人の崇高なる支配者と七つの真理は存在することをやめた。

〔星への帰還〕二一〇頁
地球へ向かう宇宙船内の状態である。仮とデニケンは解しているのだろう。仮死状態の宇宙人である。

第一章 世界の夜

一、永遠に不可視の衣に包まれて、永遠なる本源（空間）は、七つの永遠の間、今一度まどろんでいた。
二、時はなかつた。何故ならば、それは、継続期間の無窮のふところの中で眠つていたからである。

三、宇宙心(UNIVERSAL MIND)

……時はなかつたからである。
五、闇のみが、無窮の一切物に広がった。なぜならば、父、母そして子は、今一度なるものであり、そしてその子は新しい輪と、それに引き続ぐ巡礼に未だ目覚めていなかつたからである。

六、七人の崇高なる主達と七つの真理は、在ることをやめていた。そして反省、必然の子はバラニシュバンナ(PARANISHPANNA)（絶対的完成、バラニルヴァーナ、YONG GRÜB）にひたつていた。在るが、しかしながらのものによって、呼氣ではき出されんが為である。無があつた。

カバラでは、神といふものは人智を超えたものであるから何者であるとはいえない。しかし、この世界（物質界、靈界など）はすべて神の属性の流出できるから、何ではないといえるとすらは、永遠なる非一存在・一なるものは、永遠なる本源（空間）である。生命の樹でいえば十個のセフィロイト（神の属性）の上に乗ついているアイン

はなかつた。何故ならば、それをもつ（したがってそれを顕現する）A H—HI（天人達）は全くいなかつたからである。

四、天国（MOKSHA）あるいはニルヴァーナへの七つの道はなかつた。苦惱《NIDANAとマーヤ》の偉大なる諸原因はなかつた。何故ならば、それを生み出す者も、それらに誘惑される者もいなかつたからである。

五、闇のみが、無窮の一切物に広がった。なぜならば、父、母そして子は、今一度なるものであり、そしてその子は新しい輪と、それに引き続ぐ巡礼に未だ目覚めていなかつたからである。

六、七人の崇高なる主達と七つの真理は、在ることをやめていた。そして反省、必然の子はバラニシュバンナ(PARANISHPANNA)（絶対的完成、バラニルヴァーナ、YONG GRÜB）にひたつていた。在るが、しかしながらのものによって、呼氣ではき出されんが為である。無があつた。

以上がドジャンの第一章、世界の夜である。語句の説明なしに理解するの是不可能かと思うが、ここでは次のことを確認したい。

先ず、これは未分化の宇宙について述べているのである。いなくなれば『天地の初發の時』以前なのである（〔竹内文書〕には天御中主以前の神が五柱記されている）。全ての淵源、絶対者、神といつてよい。

カバラでは、神といふものは人智を超えたものであるから何者であるとはいえない。しかし、この世界（物質界、靈界など）はすべて神の属性の流出できるから、何ではないといえるとする、すなわち否定的実在である。生命の樹でいえば十個のセフィロイト（神の属性）の上に乗つっているアイン

は第四（根源人種）に生まれ、苦痛の至る所で、無意識に鼓動した。

九、しかし、万有のアーラヤ（すべてのものの根元としての魂・アニマムンディ）が、パラマールタ(PARA MARTHA)：絶対的非一存在と無意識であるところの絶対存在と意識）の内にあり、偉大なる輪がアヌバダカであった時、ダングマは何処にあつたのか？

以上がドジャンの第一章、世界の夜である。語句の説明なしに理解するの不可能かと思うが、ここでは次のことを確認したい。

先ず、これは未分化の宇宙について述べているのである。いなくなれば『天地の初發の時』以前なのである（〔竹内文書〕には天御中主以前の神が五柱記されている）。全ての淵源、絶対者、神といつてよい。

第四（の世界）において、息子たちはおのれの似姿をつくるべく命ぜられた。彼らのうちの三分の一は拒み、三分の二は服従した。呪いが生じた。……古い車輪は上へ下へと回転した。母の卵はすべてを満たした。創造者と破壊者の間に戦いが起つた。精子が、それも常に新しく出現した。ラノーよ、お前がおのれの車輪の真の年代を知りたいのなら計算してみるがよい……

〔宇宙人の謎〕六十七頁

第六章 我々の世界、その成長と発達

五、四番目（のラウンドまたは「七つの小さな輪」）のまわりを生命や存在が一巡すること）で、子達は彼らのイメージを創造するよう命ぜられる。三分の一は拒絶する。（三分の二は従う。呪詛が発せられる、彼らは第四（根源人種）に生まれ、苦痛

を受け、苦痛を引き起こすであらう。これが最初の戦いである。六、より古い輪は上下に回転した。創造者達と破壊者達の間に諸々の戦いがあつた。そして空間を得ようとする戦いがあつた。種子は間断なく現れてはまた再び現れた。

七、……略

(傍点、筆者)

デニケンは五、六、七を一緒にして宇宙戦争が何かを暗示しているわけである。しかし、前文の中の傍点で示した部分をみれば明らかのようにこれは人間の開拓の中の一段階なのである。

(三) さて、デニケンの説について『リグ・エーダ』と『ドジャーン』の側面から長々と述べてきた。ドジャーンの書が文章の目的的なではなく、そこにおけるデニケンの姿勢が問題であるので、すべてはとりあげなかつたが、以上の引用で実際と解釈(曲解)の違いは充分に納得されたと思う。デニケンの先史宇宙飛行士説、文献的な根拠は薄弱である。

ところで、私はデニケンの先史宇宙飛行士説考察、という題でこれを書いたのだが、エーダ、ドジャーン以外の文献、特に(デニケン学説中、最重要と思われる)聖書についてとりあげなかつた。これは私の不勉強のために、これらの著書を読み、検討してみる

ある程度の研究の期間をとるべきであったが、私の中にさし迫ったものがあった。そうもしていられなかつた。

理由はもう一つある。ドジャーンは余り一般に読まれてないようなので、ここに紹介する価値はあるだろうが、聖書は大抵の人が多少なりとも読まれていることと思う。だから私が生半可に書きたてるよりも、もっと優れた研究を発表される方を待ちたい。

(四) 最後に先史宇宙飛行士説に対する私の態度を明らかにしておこう。

1 古代には、アカデミックな史学で考えられているよりも遙かに高度の文明があつた。

2 それをもたらしたのは宇宙人で、古代建築物の多くは彼らの残したものである。

3 我々の発生と宇宙人とは何らかの関りがある。

以上の命題について私の読んだのは、デニケンの他にはリチャード・ムニーの『失われた古代文明』、厳密に云うと、この二冊である。類似の文献では、トレント、コロシモ、トマスなどを読んだ。(付記第三)

と、私は、2と3は首肯し難い。宇宙人が古代に飛来して、地球の人類と何らかの接触をしたということは事実かもしれない。その可能性は大きいと思う。だが、そのまま、これが全然紹介する価値はあるだろうが、聖書は大抵の人が多少なりとも読まれていることと思う。だから私が生半可に書きたてるよりも、もっと優れた研究を発表される方を待ちたい。

(五) 文献の扱い方に問題があるので述べた通りである。他にどんな証拠があるかというと古代壁画に宇宙遊泳の絵や宇宙飛行士が描いてあるといふ。これだけでは、奇怪な連中がいたにか、宇宙人と古代遺跡さえ出てくれば、そういういい方をするようではあるが、私なりに、先史宇宙飛行士説はこういうものだと考えている。

1、古代の超文明の存在——これは最も疑う余地はないと思う。殆んど疑う余地はないと思う。これまで述べた通りである。他にどんな証拠があるかというと古代壁画に宇宙遊泳の絵や宇宙飛行士が描いてあるといふ。これだけでは、奇怪な連中がいたらしいとしかわからない。(付記第四)

1、古代の超文明の存在——これは必ずしももたらしたのは宇宙人である。それも彼らの残したものである。

古文献による推定、ピラミッド、ナスカの地上絵に関する諸説、これらは問題が複雑であるが、決定的と思われる

ことでは古代ペルシアのウォルタ式電池(これは日本でもバビロニア展示された。前宣伝には、一言も電池があるなんて書いてなくて、行って初めて気づいた。どうして、宣伝に電池があることを入れなかつたのだろう?)、ピリ・レイス提督の南極地図、ニヴェンの古代都市の支那人などは文献のつけようのない立派なものだ。もう一つ、日本を例にとると、『竹内文書』に所収の世界地図がある。およそ千五百年前の文書だそうだが、その地図をみると一見して、アジア、日本、アフリカ、南北アメリカ、オース

本格的UFO研究団体 日本宇宙現象研究会

この度発行の当会会誌「未確認飛行物体」No.7は、通常号のほぼ2倍、単行本一冊分をボリュームを持った者に数特大号です。内容もボリュームで充実させます。

UFO研究上のみがすこしできないことはあります。

豊田市のUFO写真はトリックか?

(現地調査報告)丹羽正二郎

甲府UFO着陸事件の真相

(現地調査第二報)林英洋

甲府UFO着陸事件と放射能

土偶宇宙人の説の探究

マンテル事件とCIAの秘密

UFO写真鑑定法

誰も書かなかつたUFOの証拠

UFOの落し物

地球空洞説とUFO

ライティングライツ最後の秘密

B5判・120~130ページ以上・高級オフセット印刷・写真、国版多数掲載1500部限定・非売品(会員にのみ送呈)

当会はUFOに興味関心をおもちら男女年齢等の別なくどなたでも入会でき、会員には会誌送呈のほか研究会・講演会等へのご招待など多数の特典があります。

○会員費 500円(マーク入り会員証交付)

○会員費 1年間2,000円(通常会誌4号分)

入会ご希望の方は、住所氏名を明記の上、入会金および

会員費を添えて、振替、書留等でお申し込みください。

西150 東京都渋谷区神山町5-2

日本宇宙現象研究会

振替: 東京6-128740 (当会は非営利団体です)

トリアなどの諸大陸を見分けることができる。ムーやアトランティスらしいものまであって、事実とすれば正に日本までの古文書が世界史を変えるといえるのである。

古代の超文明について、外国の学者の説ばかりを受け入れまい。このよう

に日本にも不可思議な証拠が多い。

(付記第五)

以上で本稿は終る。最後に筆者として以下の事をお断わりしておく必要がある。

この小文の中で私は、リグ・ヴェー

ダと殆んど同様のものであることに注目して

したことを書かせていただいた。だから、もしかすると大変な間違いがあるかも知れない。だが、それでもよいの

だと思つてゐる。いわば、これは問題提起なのである。これを読んで、何か疑問を感じてくれば、私の目的は半ば達せられたことになる。

■付記■

付記第一

若干、「星への帰還」と表現が異なっている。私の使用したのは岩波文庫版であるが、金森氏は筑摩書房のものを使用されたのだろう。文意に違いの生ずることはないのでご容赦されたい。それから、デニケンはパウル・フリッシャウアーの「かく書かれていた」から引用したところが、いかなる書物がご存知の方、お教え

いただきたい。

辻直四郎氏によると宇宙開闢の歌に現れた宇宙論は次のようである。

唯一物（と原水）——意（思考力）——意欲（展開への欲求）——熱力——現象界。

未分化の宇宙顯現という点で同一であるだけなく、表現にも同様のものがあり、ドジアンのダイジエストのような印象さえ受けれる。今、比較のために例を引くと、このよう

である。

リグ、自力により風もなく呼吸せり

ドジアン、それ自体を知ることのない果て

リグ、天則と真実とは燃えたタバコより

生じたり。それ（タバコ）より夜は

生じたり。それより浪だつ大海は

〔生じたり〕。（タバコ（熱力）の歌）

ドジアン、光は冷たい炎である。そして炎は火である。そして火は熱を生み出す。熱は水、偉大なる母（カオス）

の中の生命の水を生じる。

付記第二

「ドジアンの書」は本編の最重要のものであ

るから、その概観と宇宙論の解説（補遺）を

しておこう。

第一章 世界の夜

顕現以前、諸属性をもたぬ宇宙。○

第二章 分化の理念的原型

未だ宇宙は未分化の状態。

第三章 宇宙の目め

世界が形成される最も初期の状態。○

第四章 七つのハイアラーキー

七つの顕現せる世界のすべての創造へ

の、宇宙の分化。

第五章 フォハット、七つの

ハイアラーキーの子供

第六章 世界形成の過程、宇宙の誕生。○

第七章 この世の人間の始祖たち

第三根源人種までの人の開拓。○

第四根源人種の誕生。+

第五章 我々の世界、その成長と発達

第六章 ここでチャーチワードの著書を読んでいる

人には思ひ出していたいただきたい。

「ムード大陸の子孫たち」の二四九頁に、この詩句の批判がある。すなわち「聖なる靈感の書」によれば火は元素としては扱われていない。炎は過熱元素なので同一のははずはない。生命は熱からでなく一個の元素体に働きかけられる二つの力の結合によって作り出される。また、熱は力、水は二つの元素からなつてお

ることで、ドジアンの宇宙論はリグ・ヴェー

ダ・ドジアン、神智学、カバダなどの説明をしたが、決して私はこれらに造詣の深いものではない。リグ・ヴェー

ダの解説はすべて辻直四郎氏の書かれたものを適宜、参考にし、ドジアン

神智学、カバラなどについて幾冊か

その関係の本を読んで自分なりに把握

り、力は元素を生まぬというわけである。

つまり大佐はドジアンの詩句を言葉通りに

とっているのだが、実はこれらの言葉は象徴として用いられているのである。だから

火は創造者、保存者、破壊者。光は我々の精神なる祖先たちの本質。炎は諸々のもの魂。水は物質的実在の基礎。

それにしても、ドジアンと靈感の書はよく似ている。知恵の七つの龍などは正にナラヤナである。

第一、繩文土器の荒らしさはどうだろう。それでも宇宙人に支配された者が創ったとは思えない。火焰土器には、これっぽちの從順さも影を落としてはいない。人間との友人、あるいは先輩としての宇宙人は想定できる気がするのだが、ここでもデニケンの解釈は独断だとしか思えない。

付記第二

これは余計なことかもしれないが一言、いわれさせていただく。よく、先史宇宙飛行士説などといふものでは多少、誇張がないと面白くないという人がある。一見、もつともない分

かし、事実を曲げねば面白くないといふ

のは、世界を愛し肯定する健康さのない説

ではないのか。私はムーーイやデニケンにはその健康を見出さざるが故に、おれない。

トレンチとか山根キクなども実証的である

とはいがたい。

しかし、なにか違う。なにか決定的に違

う。それはなかに。私は狂気の質であると思

うのだ。無論、本氣違いでない。激しい情

念が一つの世界像（ヴィジョン）を創造した

ところについていつてゐるのである。ここでは宇宙と外宇宙が渾然としている。眞美に非

ずとも真実なのである。

付記第五

例えれば日本にピラミッドがあるという説がある。これは酒井勝軍（一八七四～一九四〇）

という人が昭和九年に広島のアシタケ山をピラミッドとしたのが始めた。この人は、竹内文書の宣伝者で、山根キクも竹内文書をもと

に日本はかつて世界の中心で偉大な文化が栄えたといつてゐる。他に島山幡山。

また超古代文明でなく、超古代史になるが日本人リシュメール説の三島教夫著「天孫人種六千年史の研究」が八切止夫編で「天皇アラブ渡來說」として刊行されている（現在絶版）。その他、日本人ユダヤ説、エジプト説など面白いのが沢山ある。超古代史、超古代文明を裏付ける古文書の名称を参考までに挙げておく。

上記・秀真伝、カタカムナのウタヒ・三笠紀・九鬼文書・物部秘史・富士古文書・但馬古事記・東日流外三郡誌……その他

デニケンは繩文の遮光土偶を宇宙人だとして、宇宙飛行士の特徴を指摘している。

私は、これはあまり説得力のある説だとは思わない。繩文の土偶は他にも沢山あるが、

* 私の参考したデニケンの著書は、「未来の記憶」、「星への帰還」、「宇宙人の謎」、「奇蹟」が角川文庫版、「太古の宇宙人」は「野生物時代」所収のものである。

大宇宙（自然界）の本体であるプラフマンと小宇宙（個人）の本体であるアートマンは同一であり、この真理を悟ることにより、生死の束縛（輪廻）を離れて解脱することができるという教えた。梵我一如。

一見、一個人と宇宙の根本原理が同一といふのは妙な感じがないでない。しかし、

■ 参考文献 ■

- ・『リグ・ヴェーダ讃歌』
辻直四郎訳（岩波文庫版）
 - ・『インド文明の曙』
辻直四郎著（岩波新書版）
 - ・『シークレット・ドクトリン』
H・P・ブラヴァッキー著
(人智学研究会)
 - ・『現代神秘学』創刊号
箱崎総一著
(新人物往来社)
 - ・『神智学会について』
栗山奉行著
(東大出版会)
 - ・『ユダヤの神秘思想カバラ』
(さすら)誌所収
 - ・『講座東洋思想』
J・チャーチワード著
(大陸書房)
 - ・『ムー大陸の子孫たち』
(角川文庫版)
 - ・『魔法入門』
W・E・バトラー
 - ・『アーユルヴェーダ』
A・P・シネット
(大蔵書房)
 - ・『魔術』
W・Q・ジャッジ
W・ブラヴァッキーの協力者（創設当初）
 - ・『ムー大陸の子孫たち』
J・チャーチワード著
(大陸書房)
 - ・『魔術』
A・P・シネット
A・カルト・ワールド
ブレイズム
 - ・『魔術』
A・P・シネットへの書簡他に『オーラ・ソーラウス
デ・ソーザの弟子に当たる人。UFO
は地下世界（アガルタ）より飛来する
事を最初に公けに発表した。』
 - ・『魔術』
アンニ・ベザント
(八四七一九三三)
- （図版参考資料）
- ・竹内文書の万国図・『地球ロマン』
細文士偶の写真 毎日新聞
51・7・8・復刊号
付録
75・7・?
 - ・繩文土偶の写真 每日新聞
51・7・8・復刊号
付録
75・7・?
 - ・『古代の観智』
W・スコット・エリオット
『失われたレムリア大陸』『アトランティス物語』
『古代の観智』
 - ・『レーナ・ペトロヴァ・ブラヴァッキー』
神智學協会創設（一八七五）
『フェールをぬいだインス』『秘密主義』
『人智学研究会刊』『神智学への鍵』
（現代神秘学）『沈黙の声』（龍王文庫）
（現代神秘学）『沈黙の声』（龍王文庫）
（現代神秘学）『沈黙の声』（龍王文庫）
（現代神秘学）『沈黙の声』（龍王文庫）
 - ・『ヘンリー・スチール・オルコット』
『古い日記の断片』
（オルコットがベルツと云見した模様が『ベルツの日記』（岩波文庫）に述べられており興味深い）
 - ・『J・クリンシュナマルティ』
後に入智学会と関係を断ち、独自の哲学思想を展開（『インド思想』東大出版会による）。
 - ・『自己変革の方法』（霞ヶ関書房刊）
『阿羅漢道』（今武平訳 大正14）
 - ・『M・ドウリル』
『エメラルド・タブレット』（龍王文庫）『秘教真義』『聖書の真義』（ともに霞ヶ関書房刊）『シャスタ山の秘密』
（聖シャンバラ）他多数。
 - ・『三浦 関造』
M・ドウリルと共にセオソフィーを研究。
『自伝』（人智学研究会刊）『神智学』
（現代神秘学）（アカシア年次記より）
（アカシア年次記より）
『後に入智学会と関係を断ち、独自の哲學思想を展開（『インド思想』東大出版会による）。
 - ・『H・シャーマン』
『モダン・セオソフィー』
アンリ・ケ・デ・ソーザ
ブラジル神智學協会会長。
『シャングリラは実在するや』
(八六九一)
 - ・『H・シャーマン』
『モダン・セオソフィー』
アンリ・ケ・デ・ソーザの弟子に当たる人。UFO
は地下世界（アガルタ）より飛来する
事を最初に公けに発表した。

これは対立的な世界に在るもの感覚で、絶対と合一（相対的世界を超越）したものにては自己も他もないであろう。

従来の多神教を脱して、宇宙の本源を探求する傾向が現れてきたことは、ウニニシャドの萌芽ではあるが、ウニニシャドそのものではない。

2 キリスト教の顯現

本文の他の箇所にも顯現という言葉が使われているが、いさか意味が違うので混同されぬよう。キリスト教の顯現とは、神様を使い（天使・マリヤ）とかキリストや神様とでくわすことと、そうすると色々と人間に要求をしたり、奇蹟を（もつとも）出でて来るだけ

印度国民會議派の有力者として印度独立に尽した。森本達雄著『印度独立史』に紹介されている。

トマス・エディソン
（一八七八年）入会。なお、彼は電灯を明発明したりしている。靈界と交信するラジオのようなものを想定していたそ

うだが神智学会の影響だらうか。

トマス・エディソン
（一八七八年）入会。なお、彼は電灯を明発明したりしている。靈界と交信するラジオのようなものを想定していたそ

ラジルの小説家と同一人物。デソーラ教授の説をまとめた『地下から空へ飛立つ円盤』を著している。

でも、かなり奇蹟だが）起こしたりする。ルードの泉などがそれだ。

以上はカトリック用語の顯現で、普通には、はつきりわからなかつたものが姿を現すことをいうのである。

（一八七八年）入会。なお、彼は電灯を明発明したりしている。靈界と交信するラジオのようなものを想定していたそ

ラジルの小説家と同一人物。デソーラ教授の説をまとめた『地下から空へ飛立つ円盤』を著している。

（一八七八年）入会。なお、彼は電灯を明発明したりしている。靈界と交信するラジオのようなものを想定していたそ

ラジルの小説家と同一人物。デソーラ教授の説をまとめた『地下から空へ飛立つ円盤』を著している。

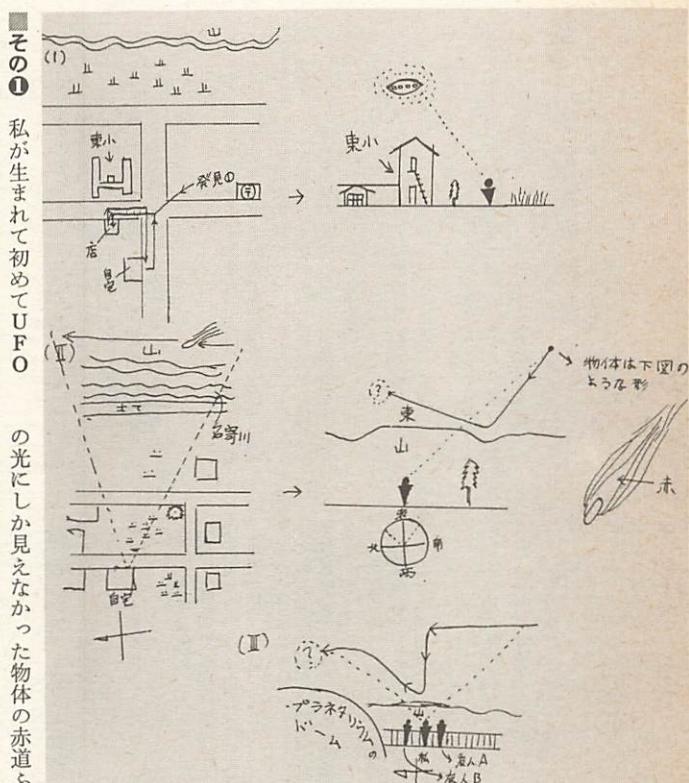
■…南東高度60度ペガサス座ち
かくを赤い尾をひいて落下し,
上昇した物体

●北海道立名寄高校3年(18歳)

前川 和幸



■私が生まれて初めてUFO
いや円盤型宇宙機を目撃したのは一九
六八年七月一〇日でした。その日は私
の誕生日の2日前でした。午前11時ご
ろ、家のまえの道を十字路まで來たと
き、東小学校の真上の晴れた空に、白
銀色の物体が浮いていました。私は飛
行機かヘリコプターであらうと思ひ買
物のため店に入り、10分~15分して店
を出ました。そして東上空を見ると、
まだその白銀色の物体が浮いていま
た。そのとき初めて恐ろしさと不気味
さに襲われました。今までただ白銀色



■その①

私が生まれて初めてUFO

いや円盤型宇宙機を目撃したのは一九
六八年七月一〇日でした。その日は私
の誕生日の2日前でした。午前11時ご
ろ、家のまえの道を十字路まで來たと
き、東小学校の真上の晴れた空に、白
銀色の物体が浮いていました。私は飛
行機かヘリコプターであらうと思ひ買
物のため店に入り、10分~15分して店
を出ました。そして東上空を見ると、
まだその白銀色の物体が浮いていま
た。そのとき初めて恐ろしさと不気味
さに襲われました。今までただ白銀色

の光にしか見えなかつた物体の赤道ふ
きんに丸窓が一列に並んで回転してい
るよう見えました。5秒ぐらいいして
無音のまま東山上空に向かい消滅しま
した。

■その②

一九七一年九月二〇日、午
後8時30分頃。前回目撃した家から現
在の家に移り、こんどは叔父たちと複
数で目撃しました。星が美しかつたの
で天体望遠鏡で東の空を見ていたとこ

どき出るのです。一度は農家の周囲を
怪音とともにコーキー・カップのような
UFOが飛んだり、東小学校の教師と
児童が集団で目撃したり、学芸会で宇
宙劇をやっているときに、会場である
体育馆上空にUFOが現れたり、とい

の東京・高橋兄弟撮影のものと酷似)。
物体はそのまま落下し東の方向につら
なる山頂あたりに達したと思うとアッ
といまに落下から上昇へと変わり、
北東の雲のなかに消えました。スピ
ードが早く、望遠鏡で見ることは不可能
でした。無音で、赤い流星状のもので
した。なお私は日本天文学会一般会員
ですので、この流星状物体のことを学
会に問い合わせたところ、流星は落下
しながら90度に近い角度で落下方向を
変えることはなく、おそらくUFOで
あろうという結果をえました。

■その③

一九七三年七月二十八日、

午後8時頃、名寄市立図書館の屋上で
天文サークル例会の仲間と目撃。北か
ら南へ飛ぶ人工衛星を追っていると、
飛び去ろうとする衛星にとつてかわる
ようオレンジ色の物体が高度60度ぐ
らいで東山上空へ飛来した。それは真
東あたりかと思われる所までくると直
角に高度を落とし、東方の山頂で高度
をあげ北の方へ飛び去った。

以上のはかも目撃記録はあります
が、名寄市はいぜんからUFOがとき
どき出るのです。一度は農家の周囲を
怪音とともにコーキー・カップのような
UFOが飛んだり、東小学校の教師と
児童が集団で目撃したり、学芸会で宇
宙劇をやっているときに、会場である
体育馆上空にUFOが現れたり、とい

■…夕暮れの養老山脈の上空に
黒くてまるい先端をもつ物体を
数十名で目撃！

●岐阜県立大垣東高校2年(16歳)

加野 恵理子

UFO 目撃 レポート

○研究者のかたがたに知つてもらいたい

くて、一筆ペンをとりました。

(北海道名寄市東四条北3丁目)

■その①

☆目撃日時 昭和49年9月20日、午後
2時40分頃(当時中学3年生)。

☆天候 快晴。

☆目撃地点 岐阜県安八郡東安中学校
グラウンドの東すみ。

☆目撃継続時間 ほんの一瞬。

☆同時目撃者 なし。

☆観測方法 肉眼。

☆物体について 図①に描いたような形
で、本誌20号の和地裕子さんが言つて
いるような銀色で、ガラスに太陽光線
があたつて反射したときのような感じ
でした。

☆飛行状態 太陽の、すぐ横にとまつ
ていました(だからあんなに光つてい
たのかも)。

☆その他 必修クラブの時間で、グラ
ウンドでソフトボールをしていたとき
のことです。バッターのうしろで、カ
ウントをとつていました。なにげなし
にふと空を見たときに、太陽のよこで
光ついていました。「あッ」と言おう
としたとき、友だちが「つぎ、きみの
打順だよ」と言つたので、そつちに気
をとられていて、バッターボックスに
入つて、もう一度見上げました。その
間、ほんの10秒か20秒のことでした。
しかし、その姿はもはやどこにも見え
なかつたんです。飛行機であったとい

うなら、10秒や20秒で見えなくなるほ
ど、遠くまで飛ぶわけないし……。そ

日の放課後、同じクラブの友だちが
そんなようなものを見たとも、言つて
いました。だから、もしかすると、そ

れは同一物体だったかも。

■その②

☆目撃日時 昭和49年11月15日、午後
4時50分頃(当時中学3年生)。

☆天候 夕方で、山のあたりの雲は夕
陽で、灰色に見えた。だいたい晴れ。

☆目撃地点 同じく東安中学校より200
メートルほど離れた道路上で、飛んで
いました。

☆飛行状態 最初は、ちょっと気がつ
かないくらいゆっくりで、そのうちだ
んだん加速していきました(物凄い加
速度だった)。そして、やがて少しづつ
ゆっくりになりはじめたと思ったたら、
だんだん空にとけこむように、消えて
いきました(直接、お話しできたら、
聞いてもらえたなら、わかりやすいと思
うんですけど)。

☆その他 学校帰りで、やはりそのこ
ろもUFOに興味をもつていて、よく
空をながめていました。そのとき、養
老山脈の上空には雲がたなびいて、雲
の色は、夕焼け空のために灰色のよう
な紫色のような色でした。そのなかに
一つだけ、図のような形で、まつ白な
ものがありました。最初は冗談で、大
江さんと種田さんに「あれ、なんや」と
か「あれ、UFOかもしけんよ」と

いたのは養老山脈上。

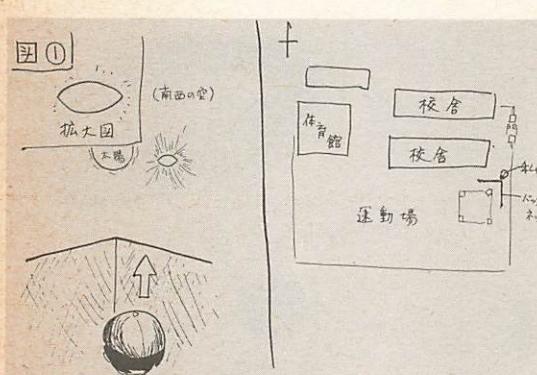
☆目撃継続時間 10数分(15分弱)
☆同時目撃者 大江明美、種田澄子、
そのほか、あとからきた下級生や同級
生数10名。

☆観測方法 肉眼。

☆物体について 図②(次頁)のよう
な形で、全体的に白(飛行跡のような
もの)が基調になつており、先端に黒く
て丸いようなものが、回転しているよ
うだつた。

☆飛行状態 最初は、ちょっと気がつ
かないくらいゆっくりで、そのうちだ
んだん加速していきました(物凄い加
速度だった)。そして、やがて少しづつ
ゆっくりになりはじめたと思ったたら、
だんだん空にとけこむように、消えて
いきました(直接、お話しできたら、
聞いてもらえたなら、わかりやすいと思
うんですけど)。

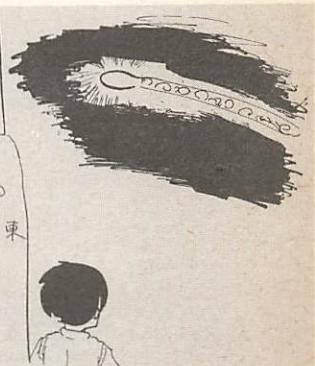
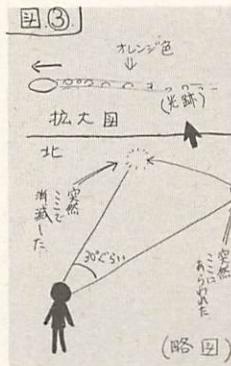
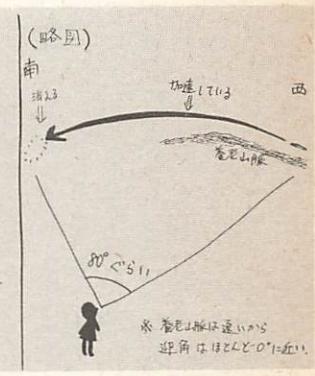
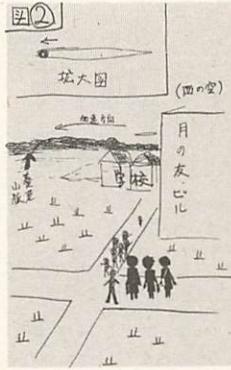
☆その他 学校帰りで、やはりそのこ
ろもUFOに興味をもつていて、よく
空をながめていました。そのとき、養
老山脈の上空には雲がたなびいて、雲
の色は、夕焼け空のために灰色のよう
な紫色のような色でした。そのなかに
一つだけ、図のような形で、まつ白な
ものがありました。最初は冗談で、大
江さんと種田さんに「あれ、なんや」と
か「あれ、UFOかもしけんよ」と



■…快晴の美しい星空のなかを突然、北東の空に姿をみせ水平に飛んで消えたオレンジ色の光

物体は、だんだん速く進みはじめました。そこから養老山脈までは少なくとも20キロメートル以上（遠いことはたしか）あります。その山のうえを、ここから見て、頭上をとぶ飛行機ぐらの速度でとんだとしたら、実際のスピードがどんなものになるか、おわかりでしょう。雲だってそんなに速く動かないでしょう。第一、ほかの、まわりの雲はぜんぜん変化していなかった

言っていました。見つめながらそんなことを言っているうちに、それが、だんだん速く動いていることに気がつきました。そのときはもう、あとから帰ってきた同級生や下級生たちが、私たちにつられて立ちどまって、注目していました。



帰つて行く子も数人、このことを目撃していたのです。

■その④

☆目撃日時 昭和51年9月29日、午後7時5分頃。

☆天候 快晴で星がでていた。

☆目撃地点 自宅（病院）の屋上（四階）の北の窓から。

☆目撃継続時間 2~3秒のこと。

☆同時目撃者 なし。

☆観測方法 肉眼。

☆物体について みんながよく見るようなオレンジ色の光る物体で、形は図③のようなもの。

☆飛行状態 突然、北東にあらわれ、水平に飛び、2~3秒とんだかと思うとき、いつもと違って、なんともいえない不思議なそうちな気分でした。ま

えの日に「UFO同乗記」の残り100ページぐらいを読んで、つくづく感心したせいかもしれません。そして夜、

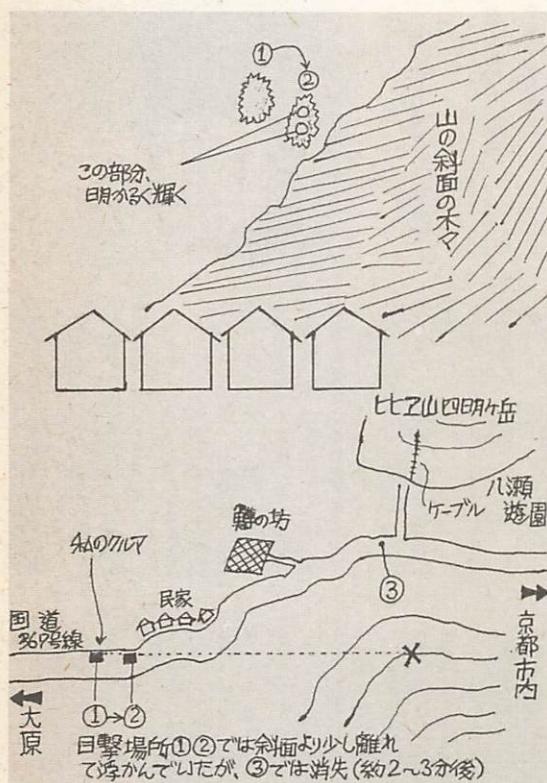
犬のようすを見にいこうと屋上にむかつたわけです。そのとき、階段を昇つていったところにある窓があいていたのです。「円盤こないかなあ」（円盤がくるような気がするな」と妙な気持ちで、窓をのぞきました。そして、ゆっくりと西から順に東のほうへと視線をめぐらしたときでした。突然、暗い

背後の生徒たちは口々に「あれは、UFOや！」とか「カメラ、持つてこい」とか叫んでいましたが、なにしろ田んぼのなかの一本道のようなものなので、何もできず、みすみす10分間の目撃をカメラにおさめることもできませんでした。しかし、同じ日、学校より反対方向（私の帰る道と反対）に

■…山の斜面にふわりと
浮いていた黄色い発光体
はなに？

●亀山 美知子（29歳）

**UFO
目撃
レポート**



以上のような次第ですが、私はUFOには興味を抱き、その存在も信じていましたが、自分の目で見たときにはやはり半信半疑になるものだと思いました。なお助手席で同時目撃していたS氏は、京都市内に入る手前で停車しさい、頭上に黒い、鳥ではない何物かが飛んで行ったと告げました。目撃後18分ほどあとでした。

（京都市東山区山科御陵岡の西町）

☆目撃日時 昭和51年7月24日、午後7時25分頃。
☆目撃地点 京都市左京区八瀬遊園北
約1キロメートルの国道三六七号線の
路上にて。
☆目撃継続時間 約10秒間（クルマを運
転中のため）
☆同時目撃者 K・S氏（某短期大学

空（黒い空）の一部だけを、光がよぎつたのです。物体の光跡（やはりオレンジ色）は、図③のようによく見えました。そのときの私の驚きようといつたらありません。あくる日、テストがあるというのに、興奮してろくに勉強

強できませんでした。

私はUFOを目撃したつど、母や父に話すのですが、彼らは、いったいUFOを信じているのか、そうでないのか態度がはつきりしません。ただ「そ

んなものに夢中になつとつて、勉強し

学生、21歳）

☆飛行状態 クルマで国道を大原から八瀬方面へ向かつて進行中、鶴の坊の手前にさしかかったとき、右手前方の山の斜面に、地上高およそ50～60メートルのところに、黄色の街灯のような発光体が浮かんでいるのを見た。後続のクルマの位置をバックミラーで確認

のうえ、ふたたび見上げると、先刻よりや下方にふわりと浮いている。

全体が楕円形であるが、なかに強烈に光る二つの円が見えた。クルマが続いているので停車して確認することができず、斜面の下にあたる道路まで走って行って見上げたが、すでに消えていた。しかし、その高度のあたりには民家も街灯もなかった。

数日後、ふたたび同時刻、後続車のある同じ条件で、同じその場所で確認をしたが、やはりその場所に発光体は見られなかつた。大きさは、約2～3メートルか？

「ないかん」……このひとことに尽きました。友だちは、信じている子も多いのに。

（〒503-101 岐阜県安八郡墨俣町 四四九）



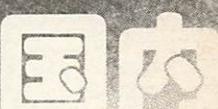
開

東北

私のあだ名は「宇宙人」

〔福島〕＝福島県白河市、白河女子高教論・徳永光男（47）＝

UFO、宇宙人に強い関心を持っている。



16年前に教え子が宇宙人とあつたという話を聞き、事情聴取を行った結果、極めて真びよう性が高かった。その話を中心に資料を読み、学校のホームページなどで講師に招かれ熱弁をふるつた。私の耳にはあまり入ってこないが、生徒がその話を信じたのか信じなかつたのか宇宙人にされてしまった。

田口さんの話によると、円盤は茶か色で、北の方角から上空100メートルくらいのところまで来て消えたという。「はじめ鳥だと思ったが、近づくにつれ円盤のように見え、手元にあつたカメラで夢中で写した。およそ1分間ぐらいた見えていたようだ」と田口さん。はじめの2枚は1つだったが、あと2枚には2つ写っている。田口さんは以前からUFOに興味を持っており、湯沢北中時代にも教室から同級生らと一緒にUFOを目撃したことがあるといふ。「こんなにはつきり見えるが、他の目撃者がいるのでは――」と話題を呼んでいる。

（一九七六年七月二八日付、毎日新聞福島版）

北海道

あれがUFO？

●青白い光、眼の前を横切る

〔網走〕「あれがUFO？だつたのは……」と9月6日朝、地元の報道機関に市民から電話があつた。この未確認飛行物体らしき物を見たのは網走市車止内、主婦・夏見信子さん。5日午後8時20分ころに気なく窓外を眺めたら青白く光る物が視界を流れよう横切り、驚いて、ランダムに出て見るとそれはガス溶接の火花のような明るさで天都山方面へ飛んで行つたといふ。

同日夜、網走地方気象台に斜里郡斜里町の女性から「午後8時25分ごろ南東の空に青白く光るものを見た」との連絡があつたが、同気象台は確認していない。

網走市内のアマチュア天文学者平田千秋さんは「流星雨や火球ではないよう。人工衛星の末期にはそのような現象があると聞いてい

る」といつている。

（一九七六年九月九日付、釧路新聞）

北見でも同じ「光」

●高校生らが目撃

〔北見〕網走、斜里などで青白い光を放つUFO＝未確認飛行物体を、9月5日夜相次いで目撃した情報が報じられているが、北見市内でも同じ情報が市内の報道機関に届いている。

一人は市内三住町、学園ハイツに住むOさん。5日夜8時頃、部屋を横切る青白い光を見た。「不吉な前ぶれでは――と、主人ともども気になりましたが、今朝の新聞をみて、やっぱりそうだったのか」とO夫人。もう一人は春光町、中高層住宅に住む高校生Fさん。時刻は5日午前1時頃と早い時間。

勉強に熱中していたFさんは窓に青白く光る現象に驚き、家人を起してその光を追跡したが一瞬のこと。両親は半信半疑である。

（一九七六年九月九日付、釧路新聞）

祭りの夜空にフワリ

●オレンジ色の飛行物体

〔宮城〕＝石巻市、主婦・高橋情報を報じられているが、北見市内でも同じ情報が市内の報道機関に届いている。

8月1日夜、UFOを見たんだ

す。石巻は川開き祭りの夜で、花火を見物していら北の空に周り

がはっきりしないオレンジ色で真

ん中が異様に明るい飛行物体が浮

いていました。午後8時3分か5

分ごろ、7分から10分間ぐらい浮

いていて、すこしと高い上の方に

消えちゃいました。川開き祭りの夜で、もつとたくさん見た人がいると思います。

（一九七六年八月二一日付、秋田魁新報）

関東

UFOとったよ

●中学生が名乗り出る

〔横浜〕「UFOをとりました」

（一九七六年八月二日付、河北新報）

港のUFO

〔横浜・横須賀〕9月11日の昼と12日未明に、横浜市内と横須賀で2件のUFO（未確認飛行物体）発見――横浜では居休みのオフィス街を騒がせた。銀色の、10円玉ほどの大きさに見えた物体。正午少し前、中区・関内の市役所から横浜寄りの上空にフワフワしているのを、だれともなく発見、人だかりができた。市役所をのぞむビルでアルバイト中の大学生Tさんは、かなり速いスピードで横へ

（一九七六年八月二日付、読売新聞社横浜支局に写真を届けた。この少年は、同区六浦町四一三八、ローズマンショナーネックス6階、自衛官・柿沼清治さん（44）の長男信哉君（12）（六浦中年）。信哉君の話によると、8月13日

（秋田）秋田県湯沢市、無職・田

（夢中でパチリ）

（秋田）秋田県湯沢市、無職・田

ユーッと走つてビル陰へ見えなくなった」と興奮気味に、本社へフイルム提供、早速、現像してみたものの、それらしき物体は写つておらず、建物と秋の雲だけがパック。文字通り「未確認」に終わった。プロのカメラマンは「そんな小さいモノ、普通のカメラじゃ写らないヨ」

横須賀市内では「長井方面の上空に緑色の光点が3つユラユラ。ときたま先端からオレンジ色の光が出で、しばらくついていた」と公務員のKさん(26)。

飛び方は、ラジコンの模型飛行機のよう、距離は2キロほど。光はマッチの先ぐらいの大きさ。音もなく、約10分後に手前の岬の陰に隠れて見えなくなつた、という。時刻はうしろみ時に近い午前1時40分。なにやら怪談めいでいる。

(一九七六年9月14日付、神奈川新聞)

"UFOフェスティバル"

大盛況

●予連れパパも熱心に見学

〔東京〕9月16日発「信じる人は

信じるし、信じない人にはソッポ

を向かれるUFO、その「UFO

フェスティバル」が9月15日から

12日間の予定で、霞が関ビル36階

の展望台で始まった。このところ

「目撃」の報告が相次いで、中、

高校生を中心に強い関心を持つ人

が増えているとかで、会場は大変

な盛況ぶりだ。

フェスティバルは民間のUFO

研究家の集まりである「日本空飛

ぶ内盤研究会」(荒井欣一代表)

の主催で、約100枚のUFOや宇宙人、古代遺跡の写真解説のバネル展示。UFO相談(26日)、UFO観測会(18日夕)、映画会(19日午後)、講演会(23日)など催しは盛りだくさん。23日午後5時半からは同ビル内で研究者や愛好者が集まって情報を交換する「UFO同窓会」も開かれる。

空飛ぶ円盤研究会長の荒井さんは「わが国初めての大がかりなUFO展。仲間が一番楽しみにしているのがこの同窓会での情報交換だ」と目を生き生きと輝かす。

会場にはノートを片手の高校生や中学生、そして小さい子供がパパに手をひかれてやつてきて熱心にペナルをのぞきこむ。大人たちも大真面目。昭和49年に北海道北見市で小さい宇宙人の訪問を受け空飛ぶ円盤で地球を一周したといふ解説(ニコロ事件)や、47年に高知市で中学生が小型飛行物体を捕まえそこなつたという解説(介良村小型UFO捕獲未遂事件)を

「まんざらウソではない」といつた表情で見守つた。

横浜市から小学校5年生の子供を連れて見学に来た会社員、Eさんは「夢があつていいじゃないですか。頭からウソだと決めこんだりはしていません。趣味で

瞬間、周りの雲がボーッと明るくなつた」という。家に帰つてこの話をしたら、息子の妻も同じようなものを見たといい、また近所の人

は8月15日夜、やはり金沢市南部の上空で同様のものが飛んだのを見たという。

小松空港と航空自衛隊の話では

今までこの時刻に金沢上空で飛行機が飛んだことはなく、飛行機の場合には標識灯がほとんど点にしか見えず、色も違うといつている。

（一九七六年9月14日付、神奈川新聞）

3割が東京人だという。そして昨年は1年間で、約500件の「目撃報告」が全国から寄せられた。

(一九七六年9月16日付、毎日新聞)

北陸

金沢の夜空に緑色のUFO

●飛行機ではない。と自衛隊

〔金沢〕金沢上空にUFO(未確認飛行物体)?か—9月5日午後7時ごろ、石川県松任市長竹町、農業・車外喜雄さん(50)が自宅近くの田で農作業をしていたところ、金沢市の上空を南から東へ、鮮やかな緑色をした円形のものが飛ぶのを見たと、北陸中日新聞へ同夜知らせてきた。

車さんによると、この物体はほぼ円形で満月くらいの大きさ。色は交通標識の青信号にやや黄色がかった感じで、3~4秒ゆっくりと飛んだあと雲に入ったが、その後

円形で満月くらいの大きさ。色

は交通標識の青信号にやや黄色が

かった感じで、3~4秒ゆっくりと飛んだあと雲に入ったが、その後

私は撮つた! UFOを

中部

●連続18枚クッキリ

〔愛知〕私は、ナゾの飛行物体(UFO)を近くに住む町民4人

らと共に自擊、自分のカメラでそ

の物体をパツチリ捕えた」と、

8月20日夜愛知県宝飯郡小坂井町に住む会社社長が本社に対し連続撮影したネガ18枚と現像写真を提供してきた。

このところ全国各地でUFOを見たという情報が再び

もうあがつていて折り話題になつ

ている。

ナゾの飛行物体をカメラに納め

た人は、同町伊奈新屋一七七、イシダ興業の取締役社長・石田幸雄さん(39)。石田さんは、さる15日、会社が休みのため事務所に置いてある花や植木鉢に水をやろうとして午前10時45分ごろ出社したところ、会社近くの住民ら4人が「あれは何だ! 空とぶ円盤ではないのか」と上空を見あげて騒いでいた。石田さんは指さす方を見たといふが、外に出ていたら、丸い形の物体が後部から火を噴いているように見え、一直線に同町福井の山中に消えたというもの。この間約30秒ほどで、物好きな人が消えたと見られる地点まで出掛けたみたが、わからなかつたという。

よう見えて、一直線に同町福井の山中に消えたといふもの。この間約30秒ほどで、物好きな人が消えたと見られる地点まで出掛けたみたが、わからなかつたといふ。

時間は午後7時少し前で、夕涼みがて外に出ていたら、丸い形の物体が後部から火を噴いている

ように見え、一直線に同町福井の山中に消えたといふもの。この間約30秒ほどで、物好きな人が消えたと見られる地点まで出掛けたみたが、わからなかつたといふ。

時間が午後7時少し前で、夕涼みがて外に出ていたら、丸い形の物体が後部から火を噴いている

ように見え、一直線に同町福井の山中に消えたといふもの。この間約30秒ほどで、物好きな人が消えたと見られる地点まで出掛けたみたが、わからなかつたといふ。

わかり二度びっくり。

フィルムを現像したというフジ

カラーサービスや杉浦カメラ店で

も「あまりにも鮮明に写つており

おどりいた。ネガを調べたが、二

重写しや、ほかし、修正したもの

ではない」といつており、また4

人の目撃者らは「背筋がゾックと

して足がガタガタした」と、当時

の模様を語っていた。

石田幸雄社長の話 初めは上空

で遠心運動していた物体が、スヌ

ッと停止したり、ゆらゆら降下し

たり、こんどは急に上昇するとい

う変な飛び方をしていた。あのと

きは無我夢中でハチハチ写した。

信じられず不思議でならない。

(一九七六年八月二二日付、東愛知

新聞)

尾を引く青白い物体

●天文台に報告殺到

〔岐阜〕UFOか、いん石——「と

にかく秋の夜空を南から北へ青白

い物体が尾を引いて飛んだ」と

9月5日、岐阜県大垣市のサービ

ス業・宇野昭二さん(30)が岐阜

日日新聞へ電話して来た。

宇野さんの話では、同日午後6

時50分ごろ、散歩途中に東の空を

南から北へ50メートルほど青白い

物体が15~20秒飛んで消えた。大

きさはドッジボールほどで肉眼で

もはつきり見え、宇野さんは「近

所の2人私の声に気づいて『見

える』『見える』と声を上げて目

でも「青白い物体を見た」という

電話が大垣市や揖斐郡揖斐川町、

美濃市、武儀郡芸川町などからも殺到したという。正村天文台長は「おそらく大きな流れ星か、人工衛星の破片ではないかと見ているが、どこかに物体が落下していれば見当がつく」。西濃地方では、最近、やはり空から物体が不破郡垂井町の民家の庭に落ちて、いん石ではないかと話題になつており、また一つ話題が増えそうだ。(一九七六年九月6日付、岐阜日日新聞)

近畿

西独旅行でUFO? 写す

●思わぬ土産に家族大騒ぎ

〔大阪〕「あれ、未確認飛行物体(UFO)では!」。大阪府池田市内の会社社長がさる6日、商用でヨーロッパ旅行をしたさい、西ドイツで撮影した8ミリフィルムで円盤のような黄色い物体が写っていた。わずか3秒余で画面から消えるが、思いもかけぬヨーロッパ土産に家族や知人は大騒ぎ。

〔岐阜〕UFOか、いん石——「と

にかく秋の夜空を南から北へ青白

い物体が尾を引いて飛んだ」と

9月5日、岐阜県大垣市のサービ

ス業・宇野昭二さん(30)が岐阜

日日新聞へ電話して来た。

宇野さんの話では、同日午後6

時50分ごろ、散歩途中に東の空を

南から北へ50メートルほど青白い

物体が15~20秒飛んで消えた。大

きさはドッジボールほどで肉眼で

もはつきり見え、宇野さんは「近

所の2人私の声に気づいて『見

える』『見える』と声を上げて目

でも「青白い物体を見た」という

電話が大垣市や揖斐郡揖斐川町、

市内のカメラ店で現像、8月25日

できあがつたので自宅で試写会を開いた。

ところが、数本目の映写にかか

つたところ、画面をくい入るよう

に見つめていた長男の市立浜谷中

一年、一彦君(12)が突然「UFOだ」と叫び、家族はびっくり。

「そんなバカな」と、赤木さんは半信半疑で何度もフィルムを回し

続けた。

赤木さんの話によるところのフィ

ルムは帰国前日の6月22日朝、西

ドイツの小都市マインツで撮影し

たもの。フランクフルトから車で約30分、ライン川下りの起点の船

着き場で観光客の乗船風景や周辺

の景色を写していた。そこへ「リ

コブタ」が飛来。「飛行機好きな

息子が喜ぶだろう」と上空を横切

るリコブタに焦点を合わせ続

けたという。

問題の映像は画面左下に観光船

のマストヘッドが写り、中央部に

ヘルコブタが来たところ突然左

上空に逆三角形をした黄色に輝く

物体が現れる。(リコブタより少しきらいで映像は3秒余続く。

赤木さんのカメラ歴は古く、海

外旅行の記録など8ミリフィルム

では」とナゾの物体をめぐって論

議が続いている。

〔岐阜〕UFOだ「いや何かの反射光

では」とナゾの物体をめぐって論

議が続いている。

8ミリを撮影したのは池田市五

月丘三の三、医学雑誌社長赤木信

彦さん(45)。医療機器の展示会

などの観察のため、6月10日から

23日まで西ドイツやイギリス、フ

ランスを旅行。仕事の合間に愛用

のカメラを駆使して各地の名所や

風景を撮りまくった。カラーフィ

ルムで11本。帰國後さっそく大阪

市内のカメラ店で現像、8月25日

〔兵庫〕○加古川、主婦(35) 8月31日の夜、10時に2~3分前やつたんです。南西の空に、夕日が沈むときどきの大きさの、丸いもん見たんです。鮮やかな夕日色に輝いてたんです。そのうちに雲の中に消えたんですけ

ど、あれがUFOやないかと思うんです。おんじじ刻に加古川市で同じようなのを見たという人、お電話できません?

(一九七六年九月2日付、神戸新

聞夕刊)

夜明け前に皿型円盤

●主人起きて一緒に見ました

〔神戸〕○兵庫区、主婦(28) 9月7日の夜明け前、3時45分ごろやつたんです。子供のオムツ換えてベランダへ出て、ひょっと西北の空見たら、雲の間から薄いオレンジ色のものが出て来まして。子供のオムツも出でて来まして。じつと見てたら、すごく濃いオレンジ色に光ってきたんです。

主人起きて一緒に見ましたけれど、そのうちに、西の方の鉢伏山の展望台に向こうへ消えました。おサラを横から見たみたいで、は

じめは厚みもありましたけど、強

く光り出してからは薄くなりまし

た。あれが空飛ぶ円盤というんで

しょうか。

(一九七六年九月8日付、神戸新

聞夕刊)

私たちも見たよ

●その1 〔神戸〕○8月31日のUFOの記

事、あれ本当ですよ。うちは31日と翌1日と2日続けて、夫婦で見

たんですもの。夜の11時ごろ、南

向きのベランダから南西の方で電

球ぐらの大きさの光、そうです

ねえ、オレンジのピンクがかった

色いのから、光るもののが水平

線ぐらのことを飛んでるんで

す。それがだんだん大きくなつ

て、また小さくなりましたけど、

よう見るあのUFO形の下半分み

たいなんです。淡路島でもない

し、漁船の火でもないとすると、

やっぱりUFOですかねえ。

〔神戸〕○須磨区・主婦(36) 8月31日

夜明け前に皿型円盤

●その2 〔神戸〕○北区、主婦(35) 8月31日

主人に頼まれて電話してるので

すけど、このごろ、UFOという

の、空飛ぶ円盤の話がよく載つ

ますねえ。うちの主人、みんなが

いつてるようなちいぢいんじゃなくて、大きいのを見たんですねつ

て。9月1日の真夜中、正しくい

うと2日午前零時45分ごろ、明石

の変電所のところで、テーブルぐら

UFO情報

国内UFO情報 国内UFO情報 国内UFO情報 国内UFO情報

いいうか、脳一枚ぐらの逆三角のハート型のUFOが低いところを音もなく東の方へ飛び去ったのを見たといいます。ハート型の周りに同じ間隔で電気のようなものが付いていたいうん。うちの主人、あんまり空飛ぶ円盤なんか信用しない方なんですが、『そんなわしがいうのやから間違いない』いふんですけどねえ。

(一九七六年九月13日付、神戸新聞)

中国

岡山市に毎夜UFO

●自動車での追跡は失敗

〔岡山〕岡山市西大寺北、電気工事請負業・上田熟さん(28)方を中心とした数軒は、8月初めごろから毎晩のようにUFO(未確認飛行物体)見物を楽しんでいる。時間は午後7時半ころから8時にかけて。2つないし3つが一定の間隔を保って西南にある金山学園高校裏の森あたりから垂直に上がり、東へゆっくり進む。豆粒ほど大きさで赤、オレンジ、白に刻々と色変わりし、UFO独特の飛び方をするという。

上田さんは諭より証拠と、親類から望遠レンズ付きのカメラを借りて写してみたが、さっぱり正体はつかめずしま。自動車にエンジンをかけておいてあとを追つたこともあるが跡跡にも失敗し、いざんなぞは解けぬまま。

(一九七六年九月2日付、山陽新聞)

九州

UFOに追っかけられた

●タクシー運転手まつ青

〔福岡〕午前2時。福岡市も都心に近い派出所に、1人のタクシー運転手が駆け込んだ。顔色はまつ青。「UFOに追っかけられた」と、しぶり出すような声で訴え。受けたお巡りさん、少しも騒がらない返事。「じょううだんのこつ。わたしやあ車を運転しようとすればいい。なんが、酔つとうはずあるまいもん」との抗議もむなしく、お巡りさんは冷たい顔で、運転手を「べつしただけ」。

「ほんなこつ見たとばい。お客様を送って帰り、ゴーッちゅう音が後ろでするもんであと振り向くと、オレンジ色の光を放つ物がついてくる。もう夢中で、スピードをあげて逃げただけど、あら絶対UFOに違ひなか」と、くだんの運転手タクシー仲間で、『UFO博士』と

言われるAさんに訴え、真相究明に乗り出すと意気込んでいる。

(一九七六年7月30日付、西日本新聞)

小学生ビデオでキャッチ

●ラグビーボール型の白いヤツ

〔長崎〕「あつ、ナゾの飛行物体だ」7月31日、長崎県南松浦郡奈留町夏井で小学3年生の子供がテレビのビデオカメラをいたずらしているうち、島の上空を飛ぶU

F O ? をとらえた。大人たちも肉眼でUFOをはつきり確認しておられた」といっているのだが…。

長崎県大村市原口町、フリーのカメラマン、城谷隆一さん(49)は同28日、釣り場紹介の写真取材のために島へ渡り、友人の同町夏井、明生水産社長、江口卓志さん(38)方に宿泊、「ハマチ養殖場の監視は、テレビでやつたらどうか」と話しているうち、城谷さんのカメラをいじっていた江口社長の長男、俊也君(小学三年生)ら

「もししかしたらUFOでは」と、

外に飛び出してみると、二等星ぐらの明るさで、チカチカ。確かに色の変わってるナゾの光。さ

つく航空自衛隊新田原基地に問

い合わせると、「レーダー反応は

ありません」

証拠写真をと、望遠レンズを構えたときには、音もなく消えていた。この間、30分。気象条件で星の光が変化することはあるそうだが原因不明。夏の夜の珍事だけ

「どれ、本当だ」と、城谷さんも

UFOを確認し、俊也君からカメ

ラをとり上げたとき、空のかなたに消えていったという。

ビデオをテレビにセットしてみ

ると風船のような白い飛行物体が見え、間もなく画面から消える。

映像だけでは型などがいまひとつよくわからないが、画面の電線の間を飛ぶ白い飛行物体ははつきり

確認できる。

城谷さんは「撮影したのは午後

5時ごろだ。地図でみると奈留瀬戸を突つ切るよう北から南の方

に向へ飛んでいた、高度はわから

ないが、それほど上空ではない

。飛行機の光の反射とは考えら

れない」と話し、「なにしろ子供

がカメラを回したので、ぱちり

撮影できなかつたのが残念だが、

私もナゾの物体を確認した」とい

つている。

(一九七六年8月4日付、長崎新聞)

聞)

「チカチカ」とナゾの光

●レーダーには反応なし

〔宮崎〕「モシンモシン、いま宮崎市の東北東の上空に赤、青、黄と変化する発光体が見えるけど、なん

でしょうね」。8月13日午前1時半ごろ、興奮した読者から宮崎

日日新聞本社に電話。

「もししかしたらUFOでは」と、

外に飛び出してみると、二等星ぐらの明るさで、チカチカ。確

かに色の変わってるナゾの光。さ

つく航空自衛隊新田原基地に問

い合わせると、「レーダー反応は

ありません」

証拠写真をと、望遠レンズを構えたときには、音もなく消えていた。この間、30分。気象条件で星の光が変化することはあるそうだが原因不明。夏の夜の珍事だけ

「どれ、本当だ」と、城谷さんも

UFOを確認し、俊也君からカメ

ラをとり上げたとき、空のかなたに消えていったという。

ビデオをテレビにセットしてみ

ると風船のような白い飛行物体が見え、間もなく画面から消える。

映像だけでは型などがいまひとつよくわからないが、画面の電線の間を飛ぶ白い飛行物体ははつきり

確認できる。

城谷さんは「撮影したのは午後

5時ごろだ。地図でみると奈留瀬戸を突つ切るよう北から南の方

に向へ飛んでいた、高度はわから

ないが、それほど上空ではない

。飛行機の光の反射とは考えら

れない」と話し、「なにしろ子供

がカメラを回したので、ぱちり

撮影できなかつたのが残念だが、

私もナゾの物体を確認した」とい

つている。

(一九七六年8月4日付、長崎新聞)

聞)

私も見たのです

●フォグラムでぐらの光るもの

〔大分〕大分県宇佐市上拝田、

公務員・井上治広(25)。

先日、別府の上空でUFOを見

たといことが出ていましたが、

9月2日の夜私も見たのです。時

間は午後8時20分ごろから約10分間ぐら。場所は大分県宇佐市の法鏡寺から院内町の白岩橋までの間の上空です。車で走っていたの

ですが、最初、法鏡寺のところで車のフォグラムでぐらの光るもののが2つウインドー越しに見えました。なにか山の方で仕事でも

いる灯かと思っていましたとこ

ろ、私の行く方向へ車の前を右に

行つたり左に行つたりしてついてくるのです。はじめのうちはかな

り高いところでしたが、だんだん

低くおりてきて、電柱の高さぐら

いまでになりました。よく見ると

円盤の形をしているのがはつきり

見えました。たいへん気味悪くな

つて、途中で車を止めたら、その

円盤も止まるのです。そのうち白

岩橋のところまできましたら、円

盤は妙見山の方にだんだん高度を

上げて行き姿を消しました。わた

しのほかにもかなり車が通つてい

たので見た人がいるかもしませ

ん。なんだかたいへん恐ろしい思

いでしたよ。

(一九七六年9月7日付、大分合

撃しており、雲や光の屈折でないこととは確かでした。だれか同じよう

うなのを見た人はいませんか。

(一九七六年9月2日付、大分合

同新聞)

「それは、私が今までに見たものの中でも、最もとんでもない代物でした。大きくて非常に明るく、色が変化しました。大きさは、ほぼ月と同じでした。私たちは、10秒ぐらいの間、それをじっと見つめていますが、誰にも正体はわかりませんでした。

●全く奇妙で常軌を逸した代物
アメリカの民主党大統領候補の
ミー・カーターは、ジョージア
トンプソンで夕方遅く行われた
地のライオンズ・クラブでの演
の帰りに、空中に静止して
FOを目撃した。

“正直ジミー”といふ愛称を持つカーターなので、彼の非の打ちどころのない誠実さを疑うわけにはいかない。彼が奇妙な物体を見たと言うからには、まさにその通りなのである。

(一九七六年7月22日付、ヘラルド・エクスプレス紙)

レインボーとギャンペー4人
よると、銀色をした物体はお皿
逆さまにしたような形状で、自
車ほどの大ささをしていて、ラ
ドスピーカーのフィードバック
のような雑音を出していたという。
(一九七六年7月30日付、スタ
ン・アイランド・アドバンス紙)
二コ一ヨーレークの公園に
UFOが着陸

が、窓からの強烈な光があたり地面を照らしていた。テウの動くや恐怖を感じながら、オバスキーサンが車をゆっくり進めないと、空中に停止している物の片側からハシゴに似たものがされた。そして縦長のドアが開いて、ユニフォームを着た人影が上に降りはじめた。彼らは少なくとも9名、おそらく11名はいて

の生えていない個所が15ほどあつた。公園管理人に尋ねたところ、夏の初めに小穴を修復した覚えがあると言う。犬のしわざと思ったのである。

さらに調査を続けたところ、UFO目撃を裏付ける証人がもう一人登場した。彼の名はウイリアム・バウロウスキー、事件当時、現場近くの高層ビルのドアマンとして働く。

●ハイキングの一団14名が目撃
コネチカット州ウインステッドの警察当局は、ブルーベリー山でハイキング中の14名から、7月29日に小型の空飛ぶ円盤を目撲したという報告を受けとった。
警察は、この目撲について調べは行わなかつたが、UFO目撲情報報の収集機関、イリノイ州エバンストンの「UFO研究センター」に報告を伝えた旨を発表した。

● 宇宙人が土壌サンプルを採取
一九七五年一月の半ば、ニューヨークのノースハドソン・パークに宇宙船が静かに着陸。3分間に土壌サンプルの採取らしきことを行っているのが、車で通りかかる人に目撃された。
目撲者はマンハッタンで酒屋経営するジョージ・オバースキさん(72)で、いつものように、仕事を終えて帰宅途中の午前3時この事件に出会ったもの。
近道なのでノースハドソン・パークを横切っていると、急にカラジオに雑音があり、そのうち

カバー一オールで身体をつつみ、ルメットのようなものをかぶついたので顔は見えなかつた。
彼らはオバースキーさんは意を払わなかつた。各自が大きめのスプレー状の道具と把手のついた小さな袋を持ち、すばやく地面に降り立つと泥をすくって袋に入れた。彼らが数分後、船内に戻る。UFOは高度を上げ、北に向かって飛び去つた。この出来事すべて4分とかからなかつた。

翌朝、オバースキーさんは再現場におもむき、UFOの着陸した地点を歩いてみた。そこには

夜、不思議な光を目撃したと語った。その光は公園のある丘の方からさし込み、非常な明るさであつた。しかも光は10～15条ほどに分かれていて、横一線に等間隔で並んでいた。最初はびざつと駐車した自動車のヘッドライトかと思つたが、地面から3メートルも上に見えることに気づいた。

彼がビルの居住者に知らせようと電話に手を伸ばしたとき、ハイピッチの振動が伝わり、ロビーのウインドーが彼の足元あたりで割れこんだ。その割れた場所を見て再び眼を上げると、しばらくして

海外

指導員1名とキャンパー13名による報告書である。

こえなくなってしまった。スピーチを落としてラジオのダイヤレコード

深さ13~15センチの小さな穴が15

キャンプ指導員のアイラ・レイ
ファーは、UFOを目撃したのは

いじつていると、左手の方からブレンという音が聞こえてきた。それを見て、左の手の指先をじられず、その穴の1つに手を入れてみたという。

午後3時45分、彼と13名のギャング
ペー（14～16歳）がキャンプ地の
後方にあるブルーベリー山（約4
45メートル）頂上へハイキング
の途口立つて、二日目當に居た。

して西から明るく輝く大きな飛行物体が出現、車の進行方向へと移動し、数秒後に地上3メートルの空中に停止した。

「とにかく本音は东部だ」と、二郎曰く。

この記事の筆者ハドー・ホブキンスは、彼から話を聞くと、UFO研究家の助けを借りて事実の裏付けを乗りだした。

その物体は底面が平たく側面は垂直、上部はドーム形をしていて、直徑9メートル、高さは最大のところで約2.5メートル。側面には縦長の窓が規則的な間隔で並んでいて、窓の幅も間隔も45センチであった。物体自体は暗かつたのが特徴で、窓からの強烈な光があたりの地面を照らしていた。

やや恐怖を感じながら、オバ・スキーさんが車をゆっくり進めていると、空中に停止している物体の片側からハシゴに似たものが現れた。そして縦長のドアが開いて、ユニフォームを着た人影が地上に降りはじめた。彼らは少なくとも9名、おそらく11名はいて、身長1メートル、みんな薄い色のカバーオールで身体をつつみ、ヘルメットのようなものをかぶっていたので顔は見えなかつた。

彼らはオバ・スキーさんには注意を払わなかつた。各自が大きなスプレー状の道具と把手のついた小さな袋を持ち、すばやく地面に降り立つと泥をすくって袋に入れられた。彼らが数分後に船内に戻ると、UFOは高度を上げ、北に向けて飛び去つた。この出来事すべては4分とかからなかつた。

翌朝、オバ・スキーさんは再び現場におもむき、UFOの着陸した地点を歩いてみた。そこには、

11月23日、MUFON（相互UFOネットワーク）のティッド・ブロード・チャーチ、ジエリー・ステーラーと共に、ノースヘッドソン・パークの現場におもむいた。小穴は見つからなかつたが、周囲と異なり草の生えていない個所が15ほどあつた。公園管理人に尋ねたところ夏の初めに小穴を修復した覚えがあると言う。犬のしわざと思つたのである。

さらに調査を続けたところ、UFO目撃を裏付ける証人がもう一人登場した。彼の名はウイリアム・パウロウスキイ、事件当時、現場近くの高層ビルのドアマンとして勤務していた。彼は1月のある夜、不思議な光を目撃したと語った。その光は公園のある丘の方からあらし込み、非常な明るさであつた。しかも光は10～15条ほどに分かれていて、横一線に等間隔で並んでいた。最初ははずらつと駐車した自動車のヘッドライトかと思つたが、地面から3メートルも上に見えることに気づいた。

彼がビルの居住者に知らせようと電話に手を伸ばしたとき、ハイビットの振動が伝わり、ロビーのウインドーが彼の足元あたりで割れこんだ。その割れた場所を見て再び眼を上げると、しばらくして

UFO情報

海外UFO情報 海外UFO情報 海外UFO情報 海外UFO情報 海外UFO情報

光が消えてしまった。

パウロウスキーは直ちに警察に電話したが、謎の光については話さなかつた。しかし同じビルに住んでいた知人の警官には打ち明けており、その警官は彼から話を聞いたことを肯定した。

オバースキーとパウロウスキーの話は、場所、時間など細部にわかつて一致していた。

このUFO着陸事件は、現段階で可能な限り完全な調査が行われたものとして注目に値する。また、ニューヨークに接近した事件としては最初であり、しかも大都市近辺の事件としても2番目のものである。UFO行動の変化を示すものかもしれない。

(一九七六年七月号、コズモボリタン誌)

個人でUFO追跡ステーションを運営

● 宇宙人とのコンタクトが夢

ミシガン北部のベルエアーに住むジョン・シェーバードさん(24)は、彼が独力で作ったUFO追跡交信ステーションの制御パネルでほとんどのすべての時間を過ごしている。いつの日か、別の世界からの旅行者と接触を持てるだろう、というものが彼の希望である。

彼がUFOに関心を持ったのは12歳のとき、デトロイトの夜空に奇妙な発光体を目撃してからである。彼は宇宙には生命体がいて、その中には我々よりも進歩したものがいると信じている。18歳のとき、彼は電子部品を取り寄せてUFO追跡ステーションの製作にとりかかった。さらに、

家の外には6メートルの塔を建設した。この塔には回転式レーダーアンテナが取り付けられ、32万キロの宇宙空間まで電気インパルスの送受信を行うことができる。また、接近してきたUFOと電子コードで交信できるよう、低周波音を発信する垂直アンテナを備えた別の塔も建設してある。

残念ながら、シェーバードさんはこれまでのところ外宇宙の生物との接触に成功していないが、個人ステーションを開設した後に、ミシガン州北部で奇妙な出来事が起きている。

それは、一九七三年の秋、その地方のビジネスマンが目撃した事件である。彼がトラックで道路を走っていると、突然動かなくなりライトが消えてしまった。そして彼は、直径9~12メートルの円筒形をしたUFOが、電力線の上に停止しているのを目撃した。その夜、原因不明の電力ロスがあつたというので、彼は電力会社から事情を聞かれたそうである。

● 宇宙人とのコンタクトが夢

ミシガン北部のベルエアーに住むジョン・シェーバードさん(24)は、彼が独力で作ったUFO追跡交信ステーションの制御パネルでほとんどのすべての時間を過ごしている。いつの日か、別の世界からの旅行者と接触を持てるだろう、というものが彼の希望である。

彼がUFOに関心を持ったのは12歳のとき、デトロイトの夜空に奇妙な発光体を目撃してからである。彼は宇宙には生命体がいて、その中には我々よりも進歩したものがいると信じている。18歳のとき、彼は電子部品を取り寄せてUFO追跡ステーションの製作にとりかかった。さらに、

アメリカ・ミシガン州ボンチアックにUFOが出現、目撃者のベス・ハンブリン夫人(18)はそれを発信する垂直アンテナを備えた別の塔も建設してある。

事件が起きたのは8月17日の午後10時半。ハンブリン夫人がボンチアック市西部の住宅地区を一人でドライブしていたところ、大きな金属製の物体が車のフードのすぐ前に出現したのである。

「とても恐ろしくて、もう少しで逃げだすところでした。幅が9メートル、高さは7.6メートルあまり、道いっぱいに広がっていました。UFOの周囲は明るく輝いていて、目がくらみそうでした」

そのUFOは約5分間空中に停止していた。音はしなかつた。それから急に上昇をはじめ、明るい光が消え赤い点滅するテールライトとともに消えた。そしてUFOは姿を消した。

ボンチアック州警察のウイリアム・チャットフィールド巡査部長によると、8月17日の午後9時半ごろから、UFOを目撃したといふ市民の通報が多い次第だ。彼らの目撃場所はすべてボンチアック市内で、UFOの形状はハンブリン夫人の説明と類似していた。ただ、彼女ほど間近で目撃した人はいない。

警察では彼女の話を聞くと、ヘンリコブターや飛行機が飛んでいたという。この事件以後、彼は外出中も記録できるように装置をつけ加えている。

現在、UFO追跡のための総合的施設を建設しようと、資金調達に努力しています。これは私の究極的な夢です」

(一九七六年8月12日付、サン・タイムズ紙)

● 他の人に少なくとも5人が目撃

アメリカ・ミシガン州ボンチアックにUFOが出現、目撲者のベス・ハンブリン夫人(18)はそれを発信する垂直アンテナを備えた別の塔も建設してある。

事件が起きたのは8月17日の午後10時半。ハンブリン夫人がボンチアック市西部の住宅地区を一人でドライブしていたところ、大きな金属製の物体が車のフードのすぐ前に出現したのである。

「とても恐ろしくて、もう少しで逃げだすところでした。幅が9メートル、高さは7.6メートルあまり、道いっぱいに広がっていました。UFOの周囲は明るく輝いていて、目がくらみそうでした」

そのUFOは約5分間空中に停止していた。音はしなかつた。それから急に上昇をはじめ、明るい光が消え赤い点滅するテールライトとともに消えた。そしてUFOは姿を消した。

ボンチアック州警察のウイリアム・チャットフィールド巡査部長によると、8月17日の午後9時半ごろから、UFOを目撲したといふ市民の通報が多い次第だ。彼らの目撲場所はすべてボンチアック市内で、UFOの形状はハンブリン夫人の説明と類似していた。ただ、彼女ほど間近で目撲した人はいない。

警察では彼女の話を聞くと、ヘンリコブターや飛行機が飛んでいたという。この事件以後、彼は外出中も記録できるように装置をつけ加えている。

直ちに別の警官が、調査のため派遣された。彼は最初の警官が、バトルルカーのフロントシートに気を失つて倒れているのを見た。車のライトは消え、モーターも停止していた。気絶した警官は車からはこび出され、病院にはこぼれた。

数日後の4月27日に退院した警官は、彼の体験を次のように語った。車のライトは消え、モーターも停止していた。気絶した警官は車からはこび出され、病院にはこぼれた。

目の前にUFOが！

は「信用できるようと思える」と語っている。

(一九七六年8月16日付、デトロイト・ニューズ紙)

701件が未解決

ブルーブック計画の資料公開

米公文書館は、最近、米空軍のブルーブック計画のファイルを一般公開した。この計画はUFOの存否を調べるために20年間にわたって実施されたもので、地球外の宇宙船の存在を示す事実は見あたらぬとして一九六九年に計画は打ち切られている。

この資料は、一九四七年から一九六九年までの12618件のUFOに関する記録からなり、全部で1.2立方メートル近くに達する。

資料提供者の名前はまつ消されてゐるが、その他の点はなんら省略されてしまう。希望者はアラバマ州マックスウェル・フィールドの公文書館で自由に閲覧することができる。

資料の大部分は科学者によつて解説されている。例えば、UFOの遺留品と称されているものは、すべて地球製であると判明した。

また、UFO写真のほとんどニセモノや自然現象などを写したものであつた。しかし記録され、それが解説されている。例えば、UFOの説明がつかないままである。

記録によると、UFO目撃が一番多かったのは一九五二年で、1501件が報告されている。一九五七年と一九六六年にも1000件以上が目撃されている。それが

告がなく、未確認のままの物体は1件しかない。

なお、これらの資料は目撃、時間、場所などのタイプ別には分類されてなくて、年代順にファイルされているだけなので、新しい角度からこの現象に取り組もうとする研究者にとっては努力を要するであろう。

(一九七六年8月20日付、サイエンス誌)

閃光で警官が氣絶

ブルーブック計画のファイルをアレン・ハイネット博士のUFO研究センターには、各地から情報が寄せられているが、一九七六年4月22日にウイスコンシン州エルムウッドで起きた事件は、その中でも特に奇妙なもの一つである。

当地のある警官は、勤務中に近くの丘の頂上で光っているものを発見した。彼は警察本部に、それを調査しにくく無線連絡してき

た。次の無線連絡は、彼が丘の上に着いたときであり、その物体がUFOであると報告された。そして彼がUFOの説明を始めたようとしたとたん、無線はパッタリとだえてしまつた。

直ちに別の警官が、調査のため派遣された。彼は最初の警官が、バトルルカーのフロントシートに気を失つて倒れているのを見

た。車のライトは消え、モーターも停止していた。気絶した警官は車からはこび出され、病院にはこぼれた。

ている。

「私がタトル・ビルの頂上に着くと追跡してくる空飛ぶ円盤を避けた。そこには巨大な物体がありました。2階建ての家ほどの高さがあり、さわわたし76メートルほどでした。私から1~52メートルぐらいい離れていて、地上から30メートルほど空中に浮かんだまま静止していました。

その頂部には白みがかつたオレンジ色のライトが、そして側面には6つの青みがかつたライトがついていました。影が見えましたが、まるで内部で何か、もしくは誰かが動いているようでした。

脚が着陸装置のようなものがそこの物体の底部から部分的に伸びていました。突然、その物体はものすごい速さで上昇し、閃光が輝いたかと思うと自動車のライトが消え、モーターも停止してしまいました。その他のことについては誰かが安否を気づかっている声が聞こえるまで、全く記憶がありません

(一九七六年9月16日付、クロス
カウンティ・ニュース紙)

UFOが米空軍ジェット機に敵対行動

●米空軍の元軍曹が語る

アメリカの有人宇宙計画に関する空軍ジェット機が敵対的なUFOに追いかけられ、悩まされており、ジェット機の乗組員は、UFOが戦闘をしかけようとしているのだと確信している。こう語るのは、米空軍の元軍曹であるデュアン・ピキニアである。彼によると、

「突然、機の後尾に現れて、そつ

と追跡してくる空飛ぶ円盤を避けねばならなかつたことが、しばしばあった。その円盤の一つは、宇宙船にしかできないような動きをしていました。

その頂部には白みがかつたオレンジ色のライトが、そして側面には6つの青みがかつたライトがついていました。影が見えましたが、まるで内部で何か、もしくは誰かが動いているようでした。

脚が着陸装置のようなものがそこの物体の底部から部分的に伸びていました。突然、その物体はものすごい速さで上昇し、閃光が輝いたかと思うと自動車のライトが消え、モーターも停止してしまいました。その他のことについては誰かが安否を気づかっている声が聞こえるまで、全く記憶がありません

(一九七六年9月16日付、クロス
カウンティ・ニュース紙)

と追跡してくる空飛ぶ円盤を避けねばならなかつたことが、しばしばあった。その円盤の一つは、宇宙船にしかできないような動きをしていました。機の後尾に現れて、そつと追跡してくる空飛ぶ円盤を避けねばならなかつたことが、しばしばあった。その円盤の一つは、宇宙船にしかできないような動きをしていました。

その頂部には白みがかつたオレンジ色のライトが、そして側面には6つの青みがかつたライトがついていました。影が見えましたが、まるで内部で何か、もしくは誰かが動いているようでした。

脚が着陸装置のようなものがそこの物体の底部から部分的に伸びていました。突然、その物体はものすごい速さで上昇し、閃光が輝いたかと思うと自動車のライトが消え、モーターも停止してしまいました。その他のことについては誰かが安否を気づかっている声が聞こえるまで、全く記憶がありません

(一九七六年9月16日付、クロス
カウンティ・ニュース紙)

うとしていると思ったのだ」

ピキニアと共に飛行したマイケル・ロビンソン等軍曹は、彼らが見たものについて公表を禁じられたと語っている。また、現在同僚の他の乗組員たちによって裏付けられたと語っている。

空軍システム司令部の情報将校ジェームズ・B・フィリップス大尉は、ジェット機が数回のフライトで「未知の空中現象」に遭遇したことの確言した。

ピキニアは最近、空軍を退役したが、彼によるとUFOとの接触が始まったのは一九七一年7月20日からである。

その日、アボロ計画用の超感知度電子機器を搭載してバトリング

空軍基地から飛び立ったジェット機の乗組員は、はじめて挑戦的な空飛ぶ円盤をはつきりと認めた。

「円盤状の機体が、我々の機の翼のすぐそばまで近づいてきた。それは丸く平たい形で、直径は12メートル程度。中央部は乗組員の居住部分にあるのか、高くなつていた。周縁には、窓のような小さい四角のくぼみが認められた」

また別のフライで、「3機のUFOが45分間にわたりてジェットの翼端や尾部のまわりにつきまとつた」とピキニアは語る。

「他にも、1機のUFOが1時間近くも我々の飛行進路に平行して飛び、ジェット機の前方に突っ込みました。その光は海岸ぞいに近づくにつれ急角度で視野をよぎつたので、飛行機ではないことがわかりました。どんな飛行機よりも大きく、丸い形をしていてオレンジ色の光をはなつてしましました」

(一九七六年8月2日付、スコティッシュ・ディリリー・エクスプレス紙)

UFOがナンシーに現れる

●奇妙な発光現象の目撃者たち

フランスのナンシーは宇宙人にとって戦略的要所になつたのだろうか。ナンシーから30キロメートルの範囲で、信頼できる複数の人々が不思議な発光現象を目

れに全く無音でした。風向きのせいでではありません。風は吹いていなかったのですから。ほんとうに不思議な体験でした」

夫妻と子供たちは、その奇妙な物体を2分間見つめていた。飛行物体は山を越えて、不思議な溝の位置にしてほしいと語っている。

「突然なことが起きている。恐ろしい。南墓地の上空に発光体が停止している」

バットさんはたちの悪い冗談と笑って電話を切つたが、好奇心にかられ、庭に出て空を見上げた。何も見えないので帰ろうとしたとき、ハマーブルの方向にオレンジ色の奇妙な月のようなものを

謎の溝については、フランス警察が調査し、写真撮影をしている。

警官によると、2本の溝はそれ

ぞれ幅18センチ、深さ25センチで正確に1.8メートルの間隔を保つて平行に続いているという。しかもその溝のある谷間に行くには、歩くか、ヘリコプターを使わないと

無理なのである。

また、警察の調査は、さらに謎をもたらした。この溝の中の丸石や岩石、小石は「ほとんど粉々になっていた」のである。フランスの科学者たちは、この問題に頭を悩ませているという。

(一九七六年8月2日付、スコティッシュ・ディリリー・エクスプレス紙)

UFOがナンシーに現れる

●奇妙な発光現象の目撃者たち

フランスのナンシーは宇宙人にとって戦略的要所になつたのだろうか。ナンシーから30キロメートルの範囲で、信頼できる複数の人々が不思議な発光現象を目

撃したのである。

事件の発端は、7月22日の午前3時すぎ、ナンシーF.R局の夜警バットさんが受けた電話だった。

「異常なことが起きている。恐ろしい。南墓地の上空に発光体が停止している」

バットさんはたちの悪い冗談と思つて電話を切つたが、好奇心にかられ、庭に出て空を見上げた。何も見えないので帰ろうとしたとき、ハマーブルの方向にオレンジ色の奇妙な月のようなものを

謎の溝については、フランス警察が調査し、写真撮影をしている。

警官によると、2本の溝はそれ

ぞれ幅18センチ、深さ25センチで正確に1.8メートルの間隔を保つて平行に続いているという。しかもその溝のある谷間に行くには、歩くか、ヘリコプターを使わないと

無理なのである。

また、警察の調査は、さらに謎をもたらした。この溝の中の丸石や岩石、小石は「ほとんど粉々になっていた」のである。フランスの科学者たちは、この問題に頭を悩ませているという。

(一九七六年8月2日付、スコティッシュ・ディリリー・エクスプレス紙)

UFOがナンシーに現れる

●奇妙な発光現象の目撃者たち

フランスのナンシーは宇宙人にとって戦略的要所になつたのだろうか。ナンシーから30キロメートルの範囲で、信頼できる複数の人々が不思議な発光現象を目

撃したのである。

事件の発端は、7月22日の午前3時すぎ、ナンシーF.R局の夜警バットさんが受けた電話だった。

「異常なことが起きている。恐ろしい。南墓地の上空に発光体が停止している」

バットさんはたちの悪い冗談と思つて電話を切つたが、好奇心にかられ、庭に出て空を見上げた。何も見えないので帰ろうとしたとき、ハマーブルの方向にオレンジ色の奇妙な月のようなものを

謎の溝については、フランス警察が調査し、写真撮影をしている。

警官によると、2本の溝はそれ

ぞれ幅18センチ、深さ25センチで正確に1.8メートルの間隔を保つて平行に続いているという。しかもその溝のある谷間に行くには、歩くか、ヘリコプターを使わないと

無理なのである。

また、警察の調査は、さらに謎をもたらした。この溝の中の丸石や岩石、小石は「ほとんど粉々になっていた」のである。フランスの科学者たちは、この問題に頭を悩ませているという。

(一九七六年8月2日付、スコティッシュ・ディリリー・エクスプレス紙)

UFOがナンシーに現れる

●奇妙な発光現象の目撃者たち

フランスのナンシーは宇宙人にとって戦略的要所になつたのだろうか。ナンシーから30キロメートルの範囲で、信頼できる複数の人々が不思議な発光現象を目

手ベルナール・グウトさんは、道を歩いている謎の物体に気づき、あわてて急ブレーキを踏んだ。

「目の前に、2つの巨大なオレンジ色の円盤が無音で静止していた。やや橢円形で、自動車2~3台ぐらいの大きさだった」

数分後、赤い色をした第3の円盤がイナズマのような速さで姿を現した。

3つの円盤を目撃して、グウトさんは無線で他のタクシー運転手に呼びかけた。彼自身もしだいに不安となつたが、乗客はパニック状態になり、これ以上タクシーに乗るのを拒否した。

1時間後、グウトさんが車庫に帰り、同僚に不思議な体験を話しているところに、ダニエル・キリシさんが全速力で戻ってきた。彼も少し前に奇妙な物体を見たというのである。

「客を降ろしてナンシーへ帰る途中、密集地域をぬけて広い野原に出たとき、突然、2つの火の球が現れ私の目をくらました。オレンジ色で、その周囲を白っぽい光がとりまいていた」

近くにいたベルギー人のトラック運転手とドイツ人観光客もこの現象を目撃した。みんな押し黙つて火球を見つめていた。

2×1.5メートルの大きさの2つの火の球は「全然動かないで、突然、火が消えるようになってしまった」

この事件が起きたのは、グウトさんの目撃した事件の10分後、7月28日午前0時25分ごろである。2つの事件の場所は30キロメートル離れていた。

グウトさんとキリンさんの2人が、彼らの見た物体を詳しく説明することはできなかつた。「ぼう然と立ちすくみ、夢を見ているものと思った」のである。

しかし、タクシー運転手2名は夢を見たのではないと言う。また30キロメートル離れているので、集団幻覚でもない。

7月27~28日の夜中、オシェイ基地のレーダーは夜間飛行がないので作動していないかった。また、気象台も異常な観測を行つておらず、気象条件は遠くの光の反射をひき起こすものではなかつた。

フランスで、これほど短期間のうちに詳しく述べられたのは、絶えてなかつたことである。

(一九七六年八月11日付、ノストラ紙)

香港に出現したUFO

香港の王立天文台は8月30日の夜にUFOを目撃したという報告を40人以上から受け取つた。

目撃されたUFOは、「後向きに飛ぶサーキュレーション」とか「月の「ジョーズ」で世界の大ヒットをとぼした青年監督スティーブン・スピルバーグは、現在UFOをテーマにした新作に取り組んでいます。第三人類との密接な出会い」というこの映画は、空中現象の観察・調査を行つてゐる研究者の用語をタイトルにしたものである。

撮影が秘密裏に行われてゐるので詳しい内

容はつかめないが、スピルバーグによると、

「現代の地球を舞台にした物語で、未来的な

ものではない。また、地外生物との接触の

影響を追求するものではない」という。

スピルバーグは、この映画のコンサルタントであるUFO研究家アレン・ハイネックの著書を読み、また地外生物と接触をし

片などが大気圏に再突入して然たといものである。しかし自擊者一人は、UFOが最後に急上昇していったと語つており、この説明も満足できるものではない。

結局、8月30日のUFOは、いまどころ未確認のままである。(一九七六年九月1日付、サウスチャイナ・モーニング・ポスト紙)

怪光線で左脚がマビ

28日の午後7時半ごろ、友人の家が怪光線を発射し、クレインさん

● ブラジルでUFOが青年を襲撃

● ブラジルのサンタ・カタリーナ州ブルネナウに住むジョン・ロメウ・クレインさん(17)は、8月28日の午後7時半ごろ、友人の家

● ジョーズの監督がUFO映画に取り組む

「僕が宇宙現象に不可知論の立場をとるのではなく、まず自分の目でそれを見たいと思うからです。でも、今度の映画がヒットすれば、人々はこれまでよりずっと頻繁に空を眺めるようになるでしょう」

「ジョーズ」で世界的大ヒットをとぼした青年監督スティーブン・スピルバーグは、現在UFOをテーマにした新作に取り組んでいます。

第三人類との密接な出会い」というこの映画は、空中現象の観察・調査を行つてゐる研究者の用語をタイトルにしたものである。

撮影が秘密裏に行われてゐるので詳しい内

容はつかめないが、スピルバーグによると、

「現代の地球を舞台にした物語で、未来的な

ものではない。また、地外生物との接触の

影響を追求するものではない」という。

スピルバーグは、この映画のコンサルタントであるUFO研究家アレン・ハイネックの著書を読み、また地外生物と接触をし

を訪ねるといって外出した後、友人の家の近くで倒れているところを発見された。クレインさんは病院で

「友だちの家に行く途中、明るく光線を当てられたクレインさんの左脚はすっかり固くなつていて、看護婦や友人がヒザを曲げようと/or>でも曲がらない。左脚は全く感覚を失い、神経がマヒしていて、何も感じない」という。

最初にかぎこまれたブルースケ

病院では原因がわからず、クレインさんは9月2日にフロリアノボリス市の病院に移された。

クレインさんは「とにかく、この男がとび出してきた。マスクの

ようなものをかぶっていたので顔は見えず、全く理解できない言葉を話していた

この3人の乗組員のうちの1人が怪光線を発射し、クレインさん

が怪光線を発射した。彼の映画は、もし接触が行われたら何が起こるかを追求してはいません。この映画は現実的なもので、アメリカ国内及び国外のこの種の現象をカバーした、現代科学による推測です。

「こういったことを信じる人もいれば、信じない人もいます。米空軍はUFOを、従来の物体及び自然現象を誤って解釈したもの」と分類しています。でも、この映画についてこれ以上詳しく話すことはできません。映画と同じ時間がかかるでしょうから。ともかく、「ジョーズ」のある部分は一種のSF映画でしたが、この映画は違います」

第三人類との密接な出会いには、リチャード・ドレフュス、メリンド・ディロンのほかに、フランスの有名な映画監督フランソワ・トリュフォーも俳優として出演している。

この70映画は来春公開の予定で、公開と同時に同題の本も出版が予定されている。

(一九七六年八月15日付、ヘラルド・エグザミナー)

は左足がマヒしてしまつた。光線を当てられたクレインさんの左脚はすっかり固くなつていて、看護婦や友人がヒザを曲げようと/or>でも曲がらない。左脚は全く感覚を失い、神経がマヒしていて、何も感じない」という。

最初にかぎこまれたブルースケ

病院では原因がわからず、クレインさんは9月2日にフロリアノボリス市の病院に移された。

クレインさんは「とにかく、この男がとび出してきた。マスクの

ようなものをかぶっていたので顔は見えず、全く理解できない言葉を話していた

この3人の乗組員のうちの1人が怪光線を発射し、クレインさん

が怪光線を発射した。彼の映画は、もし接触が行われたら何が起こるかを追求してはいません。この映画は現実的なもので、アメリカ国内及び国外のこの種の現象をカバーした、現代科学による推測です。

「こういったことを信じる人もいれば、信じない人もいます。米空軍はUFOを、従来の物体及び自然現象を誤って解釈したもの」と分類しています。でも、この映画についてこれ以上詳しく話すことはできません。映画と同じ時間がかかるでしょうから。ともかく、「ジョーズ」のある部分は一種のSF映画でしたが、この映画は違います」

第三人類との密接な出会いには、リチャード・ドレフュス、メリンド・ディロンのほかに、フランスの有名な映画監督フランソワ・トリュフォーも俳優として出演している。

この70映画は来春公開の予定で、公開と同時に同題の本も出版が予定されている。

(一九七六年八月15日付、ヘラルド・エグザミナー)

科学ニュース



世界的異常気象は

地軸の揺れが原因

最近、世界各地で異常気象が目立っているが、気候変動の世界的権威 R·A·ブライソン博士（米国ウィスコンシン大学環境科学研究所長）が、このたび

「最近の異常気象は、地球の自転軸の揺れに伴う大気の変動によるものだ」と、「異常気象と食糧危機国際シンポジウム」で発表した。

これまで異常気象の原因については、太陽活動の変化によるものとする説をはじめ、大気中の二酸化炭素、火山灰、チリなどの量が増えたから、あるいは太陽系が現在、宇宙のなかでも

星間物質の濃いところを通過しつつあるからだとする説など、数々の考え方があった。今回発表された同博士の理論は、異常気象を地球物理学的に説明したものとして新しいもの。

地球は北極と南極を結んだ地軸を中心自転している。地軸は不動ではなく、倒れる前のコ

マのように、わずかだが、頭を振っている。この「揺れ」はチャンドラー・モーションと呼ばれ、中心になる軸から、角度にして〇・三秒（一秒は一分の六十分の二）、距離にして約十倍。四百日から四百五十日かかるてひと

この地軸の揺れに伴って大気が大きく振り動かされ、その後

チャンドラー・モーションは五種類の小さな揺れが合成されたものと考えられているが、その五つの揺れと、ペーナ地方の降雨量の変化の周期などが、ぴたり一致することがわかったという。

これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。そこで、降雨量の多いことで知られるインドのペーナ地方の、ここ十数年間の七月の降雨量と、地軸の揺れとの関連を調べた。

これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。これで、降雨量の多いことで知られるインドのペーナ地方の、ここ十数年間の七月の降雨量と、地軸の揺れとの関連を調べた。

これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。

トピックス

魔の三角海域バーミューダで また貨物船が消えた！

●米ニューヨーク・タイムズが十月十八日、伝

えたところによると、大西洋バーミューダ沖の魔の三角海域Ⅱバーミューダ・トライアングルで、またもや乗組員三十七人とともに全長百七十七尺の貨物船がこつ然と姿を消してしまった。

これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索

願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索

願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索

願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。

これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索

願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索

願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。これまでにもこの海域は百件を超える船や飛行機が姿を消し、過去二十六年間に千人以上が消息を絶っている、いわくつきのところ。捜索

願を受けた米沿岸警備隊は、二日後の同十五日三機の飛行機を使って同海域をくまなく探した。

ソ連のルナ24号

月の岩石を持って帰る！

同十八日、月の表面「危機の海」に軟着陸したソ連の自動宇宙ステーション「ルナ24号」は、そ

の後、機器が正常に機能して、計画どおり、同地点の深さ約二尺の岩石のサンプルを採取。同二十三日、ソ連領内の予定地

米国では、この海域の変動の激しい気象状態が原因ではないかと公式に見解を出しているが、米連邦航空局（F A A）の調査でも、過去に四件も原因のはつきりしない飛行機の行方不明、墜落事故がある。

貨物船が消えたと思われる同十三日朝の天気

点、西シベリアに無事着陸した。

ソ連はこれまで二回、月の岩

石標本持ち帰りに成功してい

る。一九七〇年九月にルナ16号

が「豊かの海」から百グラムの

標本を持ち帰り、一九七二年二

月にはルナ20号が山岳地帯から

持ち帰った。「危機の海」の表

面下二・五層のところまで掘り

返して岩石を持ち帰ることをね

らったルナ23号は、一九七四年

八月二十五日、ソ連カザフ共和

国コクチエタフに着陸。ボル

イノフ、ツォロボフ両飛行士も

無事だった。

七月六日に打ち上げられて以

ソユーズ22号打ち上げ！

このところ宇宙開発研究の活
発化しているソ連で、八月のソ
ユーズ21号に続き、22号が九月
十五日打ち上げられた。

タス通信の発表によると、今
度のソユーズ22号は、宇宙開発

とその平和目的への利用を目指
す社会主義国との協力プログラ
ムに沿って行われたもので、東
独製の写真機器が積み込まれ
いる宇宙空間から行う地球表
面の地質学的研究の諸方法を改

良することが飛行目的の主なも
のとされている。

また、今回同乗したのはウラ
ジミール・アクショーノフ、バ
レリー・ビコフスキの両宇宙飛
行士である。

十月六日に軟着陸したが採取に
は失敗していた。

ソユーズ21号帰還

宇宙滞在記録の更新ならず

ソ連の宇宙船ソユーズ21号は

八月二十五日、ソ連カザフ共和

国コクチエタフに着陸。ボル

イノフ、ツォロボフ両飛行士も

無事だった。

七月六日に打ち上げられて以

今回の宇宙飛行士には、無重

力状態が人体におよぼす影響や
宇宙空間と地球表面、とくにソ

宇宙船見慣れない、それも怪獣らしきものが

ゆうゆうと浮いて（？）いるのを、四十人以上

人が目撃、「スイス産のネッシーだ」と大

騒ぎになった。

目撃者はそれぞれ、怪獣は水面から頭を突き

出し、背中にはひだも見えたと証言。撮影され

た写真は外電を通じて全世界に流された。

ところが、ジュネーブのラ・スイス紙が後日

伝えたところによると、「怪獣」の正体はなん

とテレビ撮影用の張りぼてだった。つまりスイ

ステレビ局のロケ隊が、一ヶ月余り前から湖で

撮影作業を続けており、当日は「怪獣」の迫真

性を一般向けにテストしたというのだ。

ウルニーという名前のこの「怪獣」は、浮き
をつけたプラスチック製。番組のプロデューサー
は、思ぬ成果にオドオド。「いつ放送する
のか」と問い合わせが殺到したという。

来、二人は軌道科学ステーション

、サリュート5号に乗り移り、

実験・観測を続けていたが、四

十九日ぶりに帰還したもので、

米国の宇宙ステーション、スカ

イラブでたてた八十四日間の宇

宙滞在記録には、およばなかつ

た。

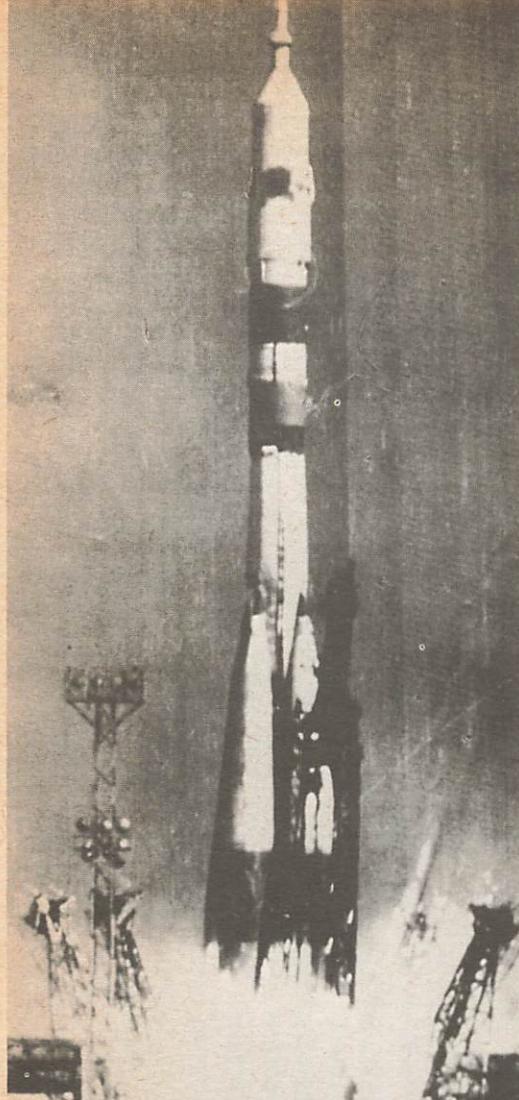
風についての報告は全くない。バミューダ島

の気象台からも、同十三日朝付近を通った三隻

の船からも報告はなかつた。つまり熱帯低気圧

はごく狭い海域で暴れたことになる。

スイス産「ネッシー」だと大騒ぎ！ — テレビ撮影用の「怪獣」に —



(タス=共同)

TOPICS

●長寿国といわれる南太平洋のトンガ王国を訪

美食は長生きの大敵！

長寿国トンガ調査隊が報告

火星生物探査のため、火星へ二度目の軟着陸を試みた NASA のバイキング 2 号は、九月四日、火星のエトピア平原東部に着陸。その後、撮影した二枚の写真を送信し始めた。一枚目は着陸機の足元を写した極めて鮮明なもの。一枚目は超広角のパノラマ写真で、受信に四十分を要した。地平線はなだらかな左下がりだが、これは着陸地点が傾斜地なのか、着陸機自体が傾斜しているためか不明。三十五センチの岩石が見渡す限り散らばっている。また地表の砂の層が浅そなことがさらにはっきりし、NASA の予測した深い砂丘だということが完全に外れた。

バイキング 2 号が撮影した火星のパノラマ写真

(UPI サン)

連領土の観察と写真撮影が行われた。

ついに人工遺伝子成功！

生きた細胞に移植

「遺伝子を人工的に作り出し、これを生きた細胞の中に植え付

け、実際の遺伝子と同様に働き、実際の遺伝子と同様に働き、これを生きた細胞の中に植え付けられたら」と、米マサチューセッツ工科大学の生物学教授でノーベル賞受賞者である H・G・コラナ博士を中心とする研究グループが、九年間にわたる研究成果を発表した。

同グループは小さな化学物質

コラーナ博士は一九六七年に「ある種の遺伝子を人工的に作ることができる」と発表している。そのなかで、同博士は構造のわかつてゐるリボ核酸(RNA)を見本にして、その作製の命令を出す遺伝子(DNA)を作成する計画を明らかにしてい

た。フルコスは九月下旬、NET の招きで日本を訪問したので、行方不明者の捜索を一般から募集し、およそ四件を対象に透視を試みた。この「超能力者」は、一九二一年五月二十一日オランダ、ドルドレヒトの生まれ。超能力を発揮したのは三十歳のときで、ベンキ職人だった彼はハーフの四階建てビルの壁を塗装中、誤つて道路に転落した結果、この能力が出てきたという。その後、未解決の事件を次々と解決。現在は世界十九カ国の警察で、行方不明者、犯罪の解明などに協力しているという。

フルコスのほか、いわゆる「超能力捜査官」

南アフリカで
二百万年前の人骨を発見！

これまで最古の猿人であると

の遺伝子の正確な複製をつくり出し、これを生きた細胞の中に移植、バクテリアの生命活動を助けるを確かめた。

また、次の段階として、なぜ遺伝子が生命の発達の過程で正確に必要とされる瞬間だけに機能するのか、を見極めるため遺伝子の内部化學的な研究に着手すると語っている。

今回の成果は、生命活動の基本をよりよく理解するうえで重要な一步となるもの。将来、人類の利益になるよう遺伝子を操作する可能性を広げるうえにも一步進めるものである。たとえば遺伝性の病気の場合など、欠陥のある遺伝子を正常な人工遺伝子に入れ替えれば、治療が可能になるかもしれない。

オランダの超能力者、ピーター・フルコス来日！

● 「超能力捜査官」と呼ばれ、家出や犯罪にかかる行方不明者透視の「名人」として知られるオランダの超能力者ピーター・フルコスが、テレビ出演のために来日、その超能力ぶりを全国の視聴者に紹介した。

フルコスは九月下旬、NET の招きで日本を訪問したので、行方不明者の捜索を一般から募集し、およそ四件を対象に透視を試みた。

この「超能力者」は、一九二一年五月二十一日オランダ、ドルドレヒトの生まれ。超能力を発揮したのは三十歳のときで、ベンキ職人だった彼はハーフの四階建てビルの壁を塗装中、誤つて道路に転落した結果、この能力が出てきた

トピックス

れ、調査をした「トンガ王国老人医学調査隊」が現地報告をまとめたところによると、女性に肥満体が多く、体重は八十八～九十キロ、男性は身長が高く、筋肉質で肥満型はそれほど目立たなかった。血压は六十歳以上の老人二十人を調べたが、高血圧は皆無。

また、食べているのはイモ類ばかり。海に閉まれているのに、魚貝類はあまり採れないせいもあるってほとんど食べてない。塩分はとつて高いが、砂糖、たばこ、酒、コーヒーなどはほとんど口にしていない、という。同調査隊によると、その最大の原因是食生活にあると推測された。

考えられていた『アウストラロビテクス・アフリカヌス』よりも人間の特徴をもつた二百万年前の人類のものと思われる頭がない骨が発見された。

が明らかにされた。

これを発表したのは、南ア共和国・ヨハネスブルグのウィットウォーターズラン大学のアラン・ヒューズ教授。同教授はヨハネスブルグの北西約八十キロのステルクファンティン洞穴の中で、この化石を発見したと

これはストックホルム国際平和研究所が「核時代における軍備と軍縮」と題する報告書を公表したもので、核大国の所有する核兵器製造工場は、政治的、軍事的必要をはるかに上回っていることを指摘している。

とにかく私たちは、TNT火薬十五トン相当の核爆弾を背負つて生きることになる。ぶつそうな話である。

同洞穴では一九三〇年代にレ

イモンド・ダート教授が「アウストラロビテクス・アフリカヌス」の骨を発見している。この

洞穴は下部が石灰石であるため、古い遺骨を保存するには、格好の場所というわけ。

また、ヒューズ教授は、以前この洞穴で発見された「アウストラロビテクス・アフリカヌス」の手になる極めて単純な道具は、実はこの頭がい骨をもつた人間が作った可能性があるのでないか、と語った。

地球上の核兵器

一人当たり15トンに相当

TNTに換算

全世界の核兵器貯蔵量は人間

ひとり当たり、TNT火薬換算十五トン相當に達していること

としては、ジユラルド・クロワゼット（オランダ）、ワーナー・トーレン（オランダ）、オル

フ・ジョンソン（スウェーデン）などがいるが、フルコスの透視方法の特徴は、事件にかかわりのあるものに“触れる”ことである。

南極に地上最大のクレーター

●南極の極地点近くに月面最大級のクレーターに匹敵すると思われる直径三百四十五キロ、深さ八百メートルにおよぶ巨大なクレーターがあるとの学

説がこのほど、米国の学者から発表された。

これはハーディー大学のジョン・G・ウェイ

ホーブト理学部長が、第二十五回国際地質学会

で発表したもので、同博士は、このクレーターの存在は厚さ一・六キロの氷の下にあるため観察はすべて間接的だが、地上最大のクレーター

て、ソングスの爆発の規模、白熱のエネルギー爆発体の速度と大きさ、爆発の性格が核爆発と一致すること。またゾロトフ氏

が現地の古木の科学分析を行つたところ、一九〇八年の年輪には放射性炭素の量がわずかながら多いことから核爆発の裏付けとなるのではという。

だが、どうして核爆発が起きたかについては全くわからなくなつた。また、いん石なら世界中の天文台で事前に観測されているはずだといふ

そのものはもちろん、落ちた穴も見つからなかつた。また、いん石なら世界中の天文台で事前に観測されているはずだといふ

ことからいん石の定説はくずれています。これまで、この謎の大爆発の原因については“いん石説”から“ブラックホール説”など、数々の説が流れたが、ソ連ではこれまで、この謎の大爆発の原因については“いん石説”から“ブラックホール説”など、数々の説が流れたが、ソ連では今年三度目の総合調査団が現地に派遣された。ソ連科学アカデ

ミー・シベリア支部、全ソ連大

通信特派員は、核爆発について

（この事件は本誌12号既報）



(UPI サン)

スペース・シャトルの オービター実験用1号機公開!

宇宙開発に新時代を告げる米航空宇宙局(NASA)の宇宙連絡船オービターが9月17日カリフォルニア州バードモードで公開された。白、グレー、黒の三色に塗り分けられたオービターはプラスバンドの奏でるマーチにのって組み立て工場から引き出され、初めてその全容を現した。

ス、騒音などの自動車公害防止のため、"未来都市の足"電気自動車の開発を進めていたが、このたび世界最高性能の電動車の試作に成功、九月二十九日、東京・東村山市の工業技術院機械技術研究所で公開した。

試作車は乗用車、トラックのそれぞれ軽・小型の計4種。電動車の電池に高性能なもの導入、一回の充電で走れる距離が大きく伸びたのが最大の特色

で、とくに小型トラックは一充電で四百九十六キロ、小型乗用車は同四百五十五キロの走行が可能となつた。またスピードの最高は、軽乗用車の百一キロ。試作車は鉛電池、ハイブリッド電池とも当初の目標を大幅に突破し、とくに小型乗用車、トラックの走行距離は、世界の常識を破る最高水準を達成。また軽乗用車がマークした最高速度百一キロは、目標値の八十キロを軽くオーバーしたのをはじめ、各車種が七八八十七キロを記録し、いずれも目標を上回った。

このほか騒音も、小型乗用車が六十・六十一ホーン。これは同型ガソリン車の六十五・七十分にくらべてはるかに低い数値であり、各車種が低騒音を裏付けた。

試作車の一充電走行距離			
(単位km、時速40kmの定速走行)			
	目標距離	試験車のデータ	第一次試作車
軽乗用車	180	260	259(175)
小型乗用車	250	455	243(180)
軽トラック	160	—	205(150)
小型トラック	230	496	302(220)

電気自動車は、ガソリン車のような排ガス、騒音公害がないうえ、電力を使用するため水力や石炭、天然ガス、原子力が利用でき、一次エネルギーの多様化にも役立つという多くのメリットがある。このため牛乳や新聞配達などのように時間と場所が限定されしかも低騒音を要求される集配車や遊園地、ホテル、病院の構内運搬車などとして機械化による需要先へ向けて、これまで約四千台が市販されている。

しかし①ガソリン車に比べてコストが三倍近い③民間が開発した電動車の一充電走行距離は五十五・八十八キロしかない。③一回あたりの充電に約八時間かかる——など多くのデメリットがあつた。

通産省では今後は電動車にかかる物品税、自動車取得税などの免除を要求するほか、モデル地区を選定して普及を図る方針を立てている。

この優遇措置によって月千台程度の量産ができるれば価格はガソリン車の一・五倍、月産五千台でほぼ同額になるとしており、九年後の昭和六十年には、二十万台前後普及するものと見ている。

同博士の推定では、このクレーターは六十万年から七十万年前に直径四ないし六キロ、重さ百三十億トンを超すいん石が時速七万四千キロで激突した際にできたものという。ものになる。

である証拠は十分そろっているという。もしこのクレーターが確認されれば、これまで発見されたといん石孔の最大のものより四倍も大きなものになる。

トピックス

伝説の"モンテスマの財宝"発見か?
メキシコ湾に大量の黄金製品

●メキシコ中部のメキシコ湾に面したベラクルス近くの入り江で最近、金製の胸当てなど大量の金製品や宝石類が発見された。同地方の学者は、これが古代アステカ帝国の伝説にある"モンテスマの財宝"ではないか、と言明したのである。

大騒ぎになつていて、発見したのは近くに住む漁夫ラウル・フルタドさん。入り江の水深二尺弱の浅瀬の砂の中から、五十個から六十個にのぼる金の延べ棒や宝石類を見つけ出したという。

メキシコには一五一九年スペインの侵略をうけた古代アステカ帝国の皇帝がその財宝類をどこかに隠したとの伝説があり、これまでにも何度も度となく、探索が行われたが、発見できなかつた。この騒ぎで盗掘を恐れた政府は軍のパトロール隊まで派遣して警戒にあたつているといふ。

また、この発見についてメデリン・ベラクルス大学人類学・歴史研究所長は、伝説の財宝であるかどうかは確認なかつたが、これらの大部分が七百年前に作られたもので、特に金の胸

ユニバースUFOシリーズ

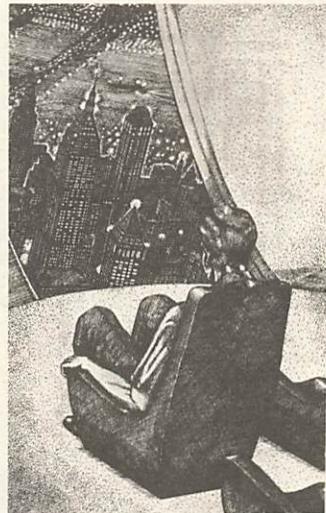
驚異のホワイトサンズ事件 ダニエル・フライ著／久保田八郎訳

私は円盤に乗った！

1950年7月4日夜、米ニューメキシコ州ホワイトサンズのロケット実験場に突如一機の円盤が着陸し、内部から響く不思議な声に誘われて乗り込んだ科学者フライは、ニューヨーク上空までを30分間で往復する！その間、円盤の推進法や宇宙人の故郷と超絶した科学、哀れな地球の現状等を知らされるというこの驚異的事実物語は、本誌第2号に掲載されて当時の読者を熱狂せしめたが、いま新装なった単行本として同著者によるすばらしい関連記事三篇をあわせ収録しあらためて読者に贈る！UFO研究者必読の書。

付・宇宙人アランのメッセージ／
進歩の曲がり道／原子・銀河系・理解

B6判
272頁
¥ 750
丁 160



UFOs & SPACE

No. 21 November—December, 1976

Price ¥ 430

Published by Universe Publishing Co., Ltd.

© 1976 All rights reserved

Captions for Color Photographs

Page 1

Above the Pyrenees running along the border of France and Spain hovers a white, oval object. This was taken on a fine, cold day in winter.

Page 2

These photographs showing a flying object with unusual clarity, were taken in the suburbs of Zurich, Switzerland, in 1975. Though no one knows what the object flying low above the rural scene is, but the metallic surface and even an antenna-like structure protruding from the dome are considerably recognizable.

Page 4-5

The picture (right) was photographed by Leonard Evans of New Orleans, Louisiana, on December 29th, 1967. A certain structure on the upper part of the object is indistinctly evident. The picture (above) was also taken in the United States. While

making an astro observation at 8:50 p.m. on July 18th, 1973, David Baker of Jannet, Penn., found a luminous object in his telescope and caught with his camera.

Page 5

This photograph was taken by Augusto Aranda of Yongey, Peru, in March, 1967. At around 5:30 in the afternoon, he found a UFO ascending into the sky at a sharp angle from a neighbouring woods.

FIFTH INTERNATIONAL AEROSPACE SHOW

Page 6-8

October 17th marked the beginning of the week long Fifth International Aerospace Show at Iruma Air Base, Saitama Prefecture. First held in 1966, this show is now one of the four biggest air shows in the world. Eight participating nations, including the United States, Great Britain, France, West Germany and Japan, exhibited about eighty aircrafts of the latest models. The two most popular models viewed by over 240,000 visitors on the opening day were the Grumman F-14 "Tomcat" and the McDonnell-Douglas F-15 "Eagle" that are both competing to replace F4J "Phantom" as the main airfighter of Japanese Air Self Defense Force.

アルゼンチンのバタゴニア海岸沖の海底にUFO基地があるというのは事実であろうか。これを裏付ける出来事はますます増加してきているのだが。

一九六〇年二月、米・アルゼンチン海軍合同部隊が二週間にわたって大量の爆薬を使いゴルフォ・ヌエヴァの海中を動き回っていた二つの未確認物体をとり出そうとして以来、この地域からUFO目撃報告は現在まで続いている。

一九五〇年六月末の夜中十一時頃、ロメロ・スマレス氏がリオ・グランデとサン・セバスチヤン市を結ぶ海岸沿いの道路を歩いていると、突然、荒い波の音を聞いた。風も潮流もなかつたので彼は不思議に思い、恐怖を感じた。暗闇の中で、音の方向へ眼をこらすと、海岸から五〇〇メートルばかりのところで、大きく光る卵形の物体が海中から出てきた。その物体はまっすぐ上昇し、急に直角に曲がつてリオ・ガレホスの西へ消えていった。

その十五日後、彼は夜半リオ・ガレホスとサンタクルスの間にあるプエルト・コイレの山からふたたび同じような現象を見た。今度は半円球の小型円盤が四機、海岸上空をしばらく飛行してから左に曲がり、アンドレスの方へ飛んで行った。さらに、その十二年後、円盤はまた海中からの出入りを始めた。一九六二

年八月にマル・デル・プラタのトラック運転手ビンセンテ・ボルドリは息子のヒューゴと南大西洋に面した第三高速国道を走っている時に、リオ・ネグロ州のゴルフォ・サン・マティアスの海に入つていく光体を目撃した。何分か後に、その光体は海から出てきて空中に消えた。このサン・マティアスは深い湾で、場所によつては五〇〇フィートの水深がある。

ンチン沖合の海底に

基地？

内容に共通性が一 ウェンデル・ステイブンス



時十分頃、空中より落する物体を見たと証言。この物体は突然海面中、発光する四つのレンズ状物体を見たと証言。

また、一九六六年三月十八日の午後四時頃、ゴルフォ・サン・ホルヘで、カルロス・コロサン氏はブエルト・デセヤドより十五キロばかり北の海岸を歩いていて地鳴り音を聞いた。見上げると、葉巻型をした長さ十八~二十メートルの物体が、彼の頭上三十メートルばかりのところを、後部から灰色の煙を吐きながら飛行した。

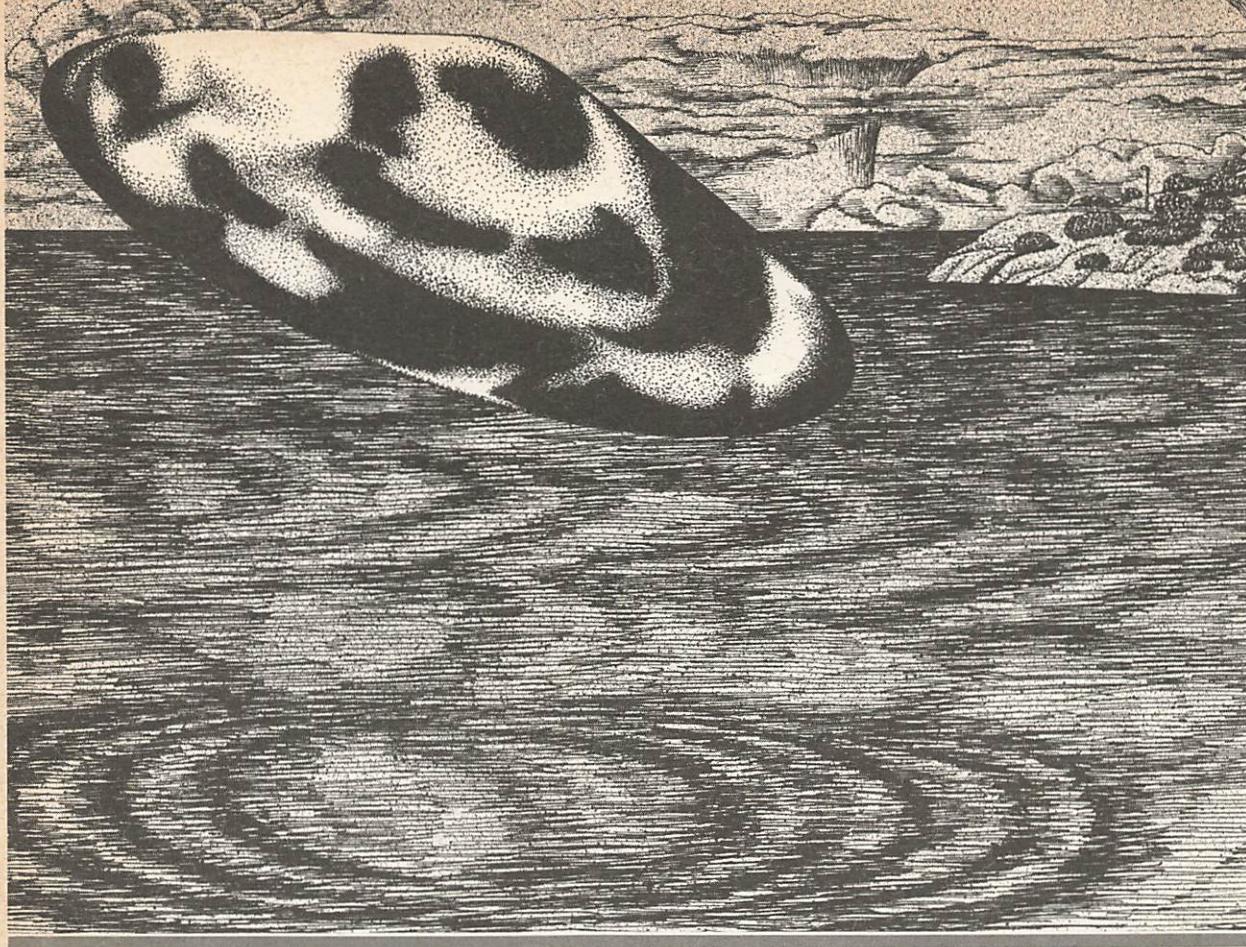
物体は濃い灰色で表面の塗装が金属的に輝いていた。翼も窓もなく、模様もなかつた。物体は、海面上十メートルほどの空中で突如停止すると振動し始め、地鳴りのような音は徐々に大きくなつた。彼は爆発の音を聞き、煙はいよいよ濃くなつた。まもなく機首が上を向いたかと思うと北北東の方向へ動き出した。

彼はふたたび爆発音を聞いた。地鳴り音は小さくなり、物体は海中に入つて波の下に消えた。

一九七一年五月三十一日には、もつと北のブエノス・アイレスに近いヒナル地区で女性心理学者ズレマ・ブルノさんが海岸沿いの道路を車で歩行中、レンズ状の発光物体が海中から出

中に飛びこんで消えた。車を止めて外に出たが、何も見えなかつたという。

しばらく時間が経ち、先刻の場所から北へ行くと、またも四つの光体が海面を転じて急角度で上昇し、大変な速



アルゼ UFO

多数の目撃

撮影フィルムが
真黒に

一九七一年十二月二日の午後三時、ノバルデス半島のブソタノルテのゴルフォ・サン・マティアスで、リカルド・エスピソードラ氏は友人たちとオットセイ狩りをしていた。彼は友人二人の写真を撮ろうとしていた。カメラにはカラーフィルムが入っていた。

突如、波が荒くなり、海から丸形の物体が現れ、彼らの方に向かって曲線を描きながら飛行したあと、急に海の方に向きを変え、そして消滅した。彼は写真を写し、驚きのあまり棒立ちになっていた。落ち着きをとり戻したときには物体はすでにあまりに離れていた。

その十カ月後、ゴルフォ・サン・マティアスの北海岸のサン・アントニオでフランシスコ・モレノ氏はこれとまったく同じような写真を写した。一九七一年一月三日、九時十五分だった。その七五日は曇天で時々雨が降つて寒く、彼は自宅の二階で本を読んでいた。すると番組終了後にテレビから出るようなシューイットという音が聞こえた。初めはあまり気にならなかったが、音はだんだん大きくなり、彼の興味を誘つた。

掃除機の音かと思ったが、その音は外から聞こえてきていた。大きな音ではないが、彼はイラ立つた。彼は窓のそばへ行き、その音がどこから来ているのか確認しようとして外を見た。黒い

てくるところを目撃した。物体は垂直軸を中心に回転し、オレンジ色の光を放っていた。そして、彼女の車を三〇メートルばかり追いかけたあと、おそろしいスピードで上空に消えていった。

これまでの証言には写真がまったくなかつた。しかし、待っていたきたい。

てそれ以上、撮影はできなかつた。物体の形状は丸く暗い色を帯びていた。このバルデス半島から二百六十マイル離れた場所で、別の事件が発生した。セサル・エロルダ氏は、一九七四年三月十三日午後七時四十分に第三高速国道の近くで東の方から飛んでくる銀色の半球型円盤を目撃した。低い高度で直ぐ進んで来たのではつきり見ることができた。

彼はエクタクロームフィルムでカラーワ写真を一枚撮影した。物体は左右対称で滑らかな円錐形をしており、円盤のふちから最上部までゆるやかな曲線を描いていた。撮影時には銀色に光つて見えたが、でき上がったスライドは真黒になっていた。

その十カ月後、ゴルフォ・サン・マティアスの北海岸のサン・アントニオでフランシスコ・モレノ氏はこれとまったく同じような写真を写した。一九七一年一月三日、九時十五分だった。その七五日は曇天で時々雨が降つて寒く、彼は自宅の二階で本を読んでいた。すると番組終了後にテレビから出るよう

物体が空中に浮いていた。その物体は彼の方へ向かって来た。さきほどの音はその物体から出でたのだ。

彼は最初、からだが動かなくなるほど驚いたが、一階の部屋に置いてあるカメラを思い出し、妻と娘に取つて来るよう頼んだ。彼女たちにもそれを見せたかったのだ。彼女たちはカメラを持って慌てて二階へかけ上がって来た。「カメラを持って来た時にはもう落ち着いていましたが、写真を撮る前にその物体が消えてしまうのではないかと心配でした。カメラを物体に向けて露出計を見ると明るさが足りないので、絞りを開けました。物体はゆっくり動いていたのですが、私はひどく震えていて思うようにピントが合わせられませんでした」

彼はシャッターを押し一枚目の写真を撮った。そして物体を見つめたままフィルムを巻き上げた。物体はまだ静止したままバランスをとりながら空中に浮いていた。

カメラを上げて二枚目を撮った。物体はスピードを出し、ふたたび音を発した。三枚目の写真を撮らうとしたが彼の場所からはもはや無理だった。そのうちに、物体は南の方へ飛び去つて行った。しかし、見えなくなつてもまだ音が大きくなつたり小さくなつたりするものが聞こえた。階段を降りて道路に出たが、すでに何も見えなくなつていた。

物体を目撃した人々は大きさや高度を判断することはできなかつたが、モレノ氏は高度およそ一五〇～二〇〇メートルで、物体までの距離は三〇〇メートル位だったと言つてゐる。三人共照明とか反射体その他の部分は認識できなかつたが、上部が下部より明るかつたのは確認された。目撃時間は約二時間。音が聞こえた時間は窓のそばに行く前の一分ばかりと一枚目の写真を撮るまでの一分半。一枚目と二枚目の写真を撮影した間隔は十五～二十秒であった。物体の表面は、ふちから頂上部まで滑らかな曲線を描いていたが、現像した写真は奇妙に暗く、何の特徴もとらえてはいなかつた。

使用したカメラはアサヒベンタックスでレンズは標準五〇ミリ、撮影データはシャッター速度二五〇分の一、絞り五・六、フィルムはコダック・リバーサル A S A 64 であった。ボジ写真を顕微鏡で三〇〇倍に拡大して検査したが、感光乳剤に異常はなかつた。

十一月初め、O N I F E (ブエノスアイレスのUFO研究グループ) の事務所に一通の手紙が舞い込み、それにON I F E のギレルモ・カルロス氏はその写真を調べ、円盤が銀色で光を反射していたのに、なぜ写真では黒く写っているのかを明らかにしようとしたが、この現象の説明はできなかつた。つまり、強い逆光でもないし、表面に何かあったわけでもない。また、ほか

に、今年二月にペルト・マドリンの郊外で撮った写真を送ります。貴誌の読者として、またUFOファンとしてこの情報をお送りします。きっと興味を示されると思います。

日時・一九七五年二月十八日、時刻午後三時二十分、観察時間・約一分、場所・ペルト・マドリン郊外のプンタ・クエヴァス。

全部で写真は五枚撮りましたが二枚盤は西から来て東海岸の方へ向きを変えました。音は聞こえませんでした。私は言えることはこれだけですが、私が慎重になる気持を理解して下さると思います。敬具 R · E · S 追伸・ブルクチカ・ベンタコンのカメラとコダックのスライドフィルムを使用しました。写真には青空に向かう黒い物体がはつきり写っています。下に写っているのは乾燥したバタゴニヤの土地です。」

この事件の十二日後、右の事件と関係があると思われる事件が発生した。その夜、何人かの漁師がバタゴニヤ台地から低高度で水平に移動して行く光を見た。彼らはバルデス半島より何キロか北で船に乗っていた。ブザーのよな音を発する光体は、不意に海上で止まつて波の下にとび込んで消えて行つた。目撃者は、これは決して流星でも飛行機でもないと主張している。

多数のUFO研究者や、この種の現象に興味をもつ人々が、これらの事例から、付近の海底にUFO基地があると考えている。この辺の海域は場所によつては水深が五〇〇フィート以上もあり、付近の住民は少なく、人間にとつては非常に住みにくいくらいである。文明による侵害から自然によつて守られているのである。

連載科学記事



(続) 宇宙・引力・空飛ぶ円盤④
レナード・クランプ

- 空気力学的にみた重力場(承前)
- クレーター及び地表付近の効果

空気力学的にみた重力場（承前）

円盤の落葉効果

既にみた通り（本誌第十九号・重力揚の浮揚効果の章参照）、円盤が空中で停止するためには、垂直上向きの分力が正常な重力より小さくなければならぬことがほぼ確実である。もし円盤が全く無重量になれば、空気力学的效果により、円盤はやや上昇することになる。だからバイロットは空中停止を行うため、上昇ベクトルが $-g$ をやや下まわるように調節して、この空気動力的效果による揚力を補正するものと考えられる。同様に、重力場が引き起こした上昇気流により、円盤はわずかながら動搖することも考えられる。事実、もし補正が（むろん自動的に）行われないと、円盤はほんのわずかの風にも動かされるであろう。

他のもつと科学的な方法については後ほど考察するが、ここでは、それらに劣らず興味のある円盤降下法に注目してみよう。それは、円盤を降下させたいと思ったら、バイロットは宇宙船が非常にゆっくり落下しはじめるまで

揚力を減少させねばならないというものである。その場合でも、円盤は空気力学的な揚力を受けるので、あらかじめこれを補正する必要がある。もし何らかの理由で、ひょっとすると単調さをまぎらわすためにでも（このような宇宙船では乗組員が運動を知覚しないことを思いだしはしい）、バイロットが揚力をかなり減少させたとしても、すると円盤は、パラシュートとは同じように落下するであろう。さら

に、もしバイロットがすべての機関を一時的に停止させれば、円盤は安定性を失い、ほぼ確実に一連の失速状態に陥るであろう。

図1については、特に説明する必要はないであろう。ここで興味をひくのは、この落葉のように行動するUFOについて私が見つけた事例で、それらは、この落葉のように行動するUFOについて私が見つけた事例で、それらはよく考えれば簡単に理解できるのくると回るであろう。

非常に不思議なことに、もつともこれはよく考えれば簡単に理解できるのだが、宇宙船が空中停止していくバイロットが上昇ベクトルを $-g$ あるいは 0 を上げるということを繰り返していたが、スピードを増すたびに高度を上げていった。

次に述べるのは、逆さまの落葉運動に関する最も信じ難い記録の一つである。この事件の目撃者は、着陸した円盤の乗組員と会話をしたと主張している。單に疑わしいというだけでこの事

よりやや傾けるようにして持ち、高い所から落とせばよい。そうすれば、落葉の特性を見ることができる。

このスケッチに円盤の断面図が示してあるが、対称的な形状をしているため、どの方向に落下しても翼前縁となるものと考へられる。もしそれが左の方向へ滑降すると、圧力の中心が変位して重心まわりのモーメントが働き、従来の航空機の翼と同じように失速する。しかし失速の位置に達すると、円盤は今度は右方向に落ち込み、同じ過程が繰り返される。もしこれに、さらに軽い回転運動がつけ加えられると、円盤はまさに「落葉」のように、下降のときに振子のようにはねながらくる

一九五七年二月九日の午前一時、ペンシルバニア州フィラデルフィアで、ロジャー・スタンダードバンは頂部に赤いライトを点した白い橢円形のUFOを目撲した。その物体は停止して「木の葉のように落下」しては、再びスピードを上げるということを繰り返していたが、スピードを増すたびに高度を上げていった。

次に述べるのは、逆さまの落葉運動に関する最も信じ難い記録の一つである。この事件の目撃者は、着陸した円盤の乗組員と会話をしたと主張している。单に疑わしいというだけでこの事

要因のほぼすべてが逆になる。すなわち、上方へ「落ちる」木の葉である。なぜ円盤がこのように行動するのか、もっと特別な理由がないかどうか後ほど検討するが、しかし単にバイロットの気まぐれと解するのも一興である。ともかく、円盤が落下などの際に木の葉のように行動するのを目撃したと人々が主張するとき、彼らは少なくとも工学的センスの片りんを示しているのだという事実は残る。

件を省略すれば、筆者は間違いを犯すことになろう。このような事例で、技術的な事柄の証拠となる証言が得られるものは、筆者の分析に意識的に含めようとした。

一九五三年八月のことである。サルバドール・ビラヌエバ（三十七歳）はメキシコンティで個人タクシー業を営んでいた。その日、彼は二人のテキサス人の客を乗せてテキサス国境へ向かったが、六十マイルほど走つてちょうどカイダル・バーを過ぎたところで車が故障してしまった。

客は別の車で去り、彼はそこで一晩を過ごすほしかつた。彼が車の下にもぐりこんで故障箇所を調べているとき、二人の人間が車のそばにいることに気づいた。身長は四フィート六インチそこそこの、首すじから足先までつ

ながった灰色の服を着こみ、光沢のある幅広い穴あきベルトをしめていた。

首すじに金属製のカラーを巻き、首のうしろには「光沢のある、黒い小箱」があつた。

二人ともヘルメットを小わきにかかえていたので、サルバドールは付近に着陸した飛行士たちだらうと考えた。

彼らのうちの一人が話しかけてきた。雨が降りはじめたので、三人は車の中に入つて会話を続けた。しかし話をす

るのは二人のうちの片方だけでもう一人は話の内容を理解しているという

表情こそ示すが、一言もしゃべらなかつた。

サルバドールは、会話を続けているうちになんとなく落ちかなくななり、夜が白みはじめたころ、思いきって疑問を口にしてみた。すると「私たちは

れていなかつた。彼の足が泥沼に触れたかと思うと、目に見えない力ではね返されたかのように泥は飛び散つた。サルバドールは、泥が飛び散るたびに彼らの穴あきベルトが輝いたと言つてゐる。

突然、前方が開け、直径三十五〜四十フィートの巨大な輝く機体が目に入った。「二枚の大きなステップを合わせた形をしていて、その上には丸窓のついた浅いドームがあつた」

二人の男は、その不思議な物体に乗り込みながら、一緒にこないかとサルバドールを招いた。彼は首を振ると、その場を逃げ出した。やつとのことで元の道に戻った彼は、いま来た方を振り返つた。すると「白く輝くものがゆっくりと上昇するのが見えた。その物体は、しばらく空中で停止していた。それからスピードを上げると、振子の

この惑星のものではありません。はあるか遠いところからやつて来ましたが、あなたがたの世界については多くのことを知っています」という答えがかえってきた。サルバドールは冗談だらうと思ったが、彼らがそろそろ立ち去る

と聞いたときには、ほつとした。彼らは自分たちの乗り物を見にこないかと勧め、やぶの茂つた沼地のあたりを五百メートルほど導いた。道は進むに従つて悪くなる一方で、サルバドールの足はくるぶしまで泥に沈んだ。しかし、前を歩く男はすこしも泥で汚れていた。

サルバドールは、会話を続けているうちになんとなく落ちかなくななり、夜が白みはじめたころ、思いきって疑問を口にしてみた。すると「私たちは

れていなかつた。彼の足が泥沼に触れたかと思うと、目に見えない力ではね返されたかのように泥は飛び散つた。サルバドールは、泥が飛び散るたびに彼らの穴あきベルトが輝いたと言つてゐる。

読者の皆さんには、こうした目撲報告をナンセンスだと無視するのではなく、その報告に含まれている技術的手

がかりを考慮して評価を行つていただきたい。

もう一つ、逆さまの落葉現象を目撲した例をあげておこう。これは空中現象の目撃に訓練を積んだ人々によるものである。

一九五一年十月十一日の午前六時三十分、J・J・カリチエフスキー（当時、ゼネラル・ミルズ社気球製造部門の監督者だつた）とディック・ライリーは、気球観測のためミネソタ州ミネアポリスの上空を飛行していた。彼らは頭上に、東から西へ高速度で移動している明るく輝く物体を発見した。そのUFOはスピードを落とすと、「落葉運動を逆にしたようなバターンを描き」ながら上昇していったといふ。

のような運動を始め、前後に弧を描いて動いた。まるで、落下するかわりに上昇していく落葉のようだつた」

円盤はこのようにして数百フィートの高度に達すると、輝きを強め、信じ難いスピードで垂直に上昇していく

た。

この事件の調査のためメキシコを訪れたデズモンド・レスリーは、サルバドールの話をすっかり信じこんだ。

「でもそれは私だけではない。サルバドールを調査した者は、全員同じ結論に達している」

この事件の調査のためメキシコを訪れたデズモンド・レスリーは、サルバドールの話をすっかり信じこんだ。

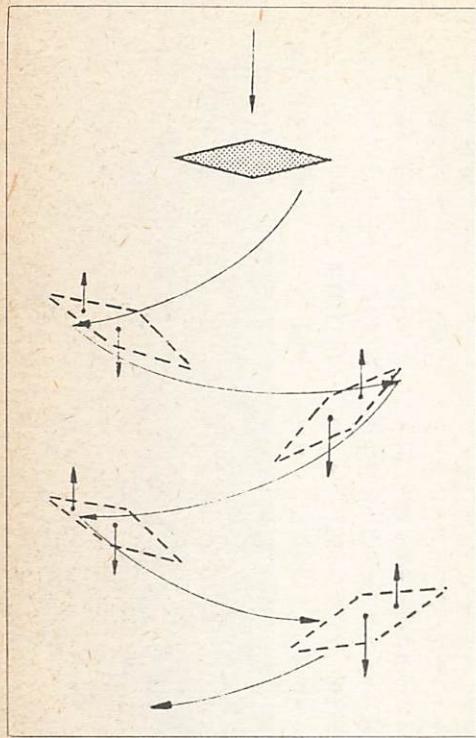


図1 降下する円盤模型の空気力学による振子効果

クレーター及び地表付近の効果

急激な離陸に伴なうクレーター現象をいかに予測できるかは、既に第三章で検討した。（本誌第十九号を参照）これらの地面効果は必ずしも常に同じではなく、植物の生育している土壌の性質、水分含有量、宇宙船のタイプ、重力場の焦点距離など、種々の要因に依存する。

負の重力が植物と土壤に及ぼすと思われる効果を確かめるため、筆者はいくつかの遠心分離機を作製した。そのうちの一つが写真1である。このアイデアは、土壤サンプルを逆さまにした土壤及び植物は重力によって下向きに引っぱられ、円盤の二分の一の重力場（言い換えれば一gの有効な力で）上向きに引っ張られる（と全く同じ）ことによるという事実に基づいている。

土壤サンプルを箱の中に上下させながら、宇宙船の重心を通る半径 R_1 までも保持したら（その固定は正常な土地条件にできるだけ類似させる）、遠心分離機に設置して、より高いレベルのgをかけることができる。特定のgで写真撮影ができるよう、加速度計を取りつけ、フランジュライトを連動させ

るよう配線を行つた。写真2は、クレーターに関するかぎり、重力場理論に合致する結果を示している。写真2 aは、正常な地球重力の下でのイチゴツナギとキンボウゲである。bは負の重力向上への（有効な）一gに対する即時の反応を示す。cは負の三gでの効果を示している。この直後に土壤サンプルはひき裂け、「上方へ」はねとんだ。ギザギザになつた土壤の残りが、土壤固定の有効性を示している（写真2 d）。この効果は、ちょうど三gを越えた時点で起きた。

それでは、脚で地上に着陸している宇宙船について考察してみよう。重心は地面から五フィート上方にある。（図2 a）。ボイントソースの焦点距離 R_1 は十五フィートで、ボイントソースから地面までの距離 R_2 は二十フィートとなる。

宇宙船が静かに離陸するには、当然ながら、宇宙船の重心を通る半径 R_1 まで、重力場の強度を徐々に高めていかなければならない。重力場が宇宙船のなければならぬ。これは、重量の四・五倍から地球での重量一を引いたものを意味する。し

$$G_2 = \frac{R_1^2}{R_2^2} G_1$$

それぞれ数値を代入すると

$$G_2 = \frac{15 \times 15 \times 1}{20 \times 20} = 0.56 g$$

言い換えると、地表で土壤はその重量の約半分を失うということであり、これによつて何らかの影響が見とめられるとは到底考えられない。しかし、図2 bのよう、同じ焦点距離の宇宙船が八gの重力場を受けるということになると、話は全く違つてくる。この場合、垂直加速度は次のようになる。

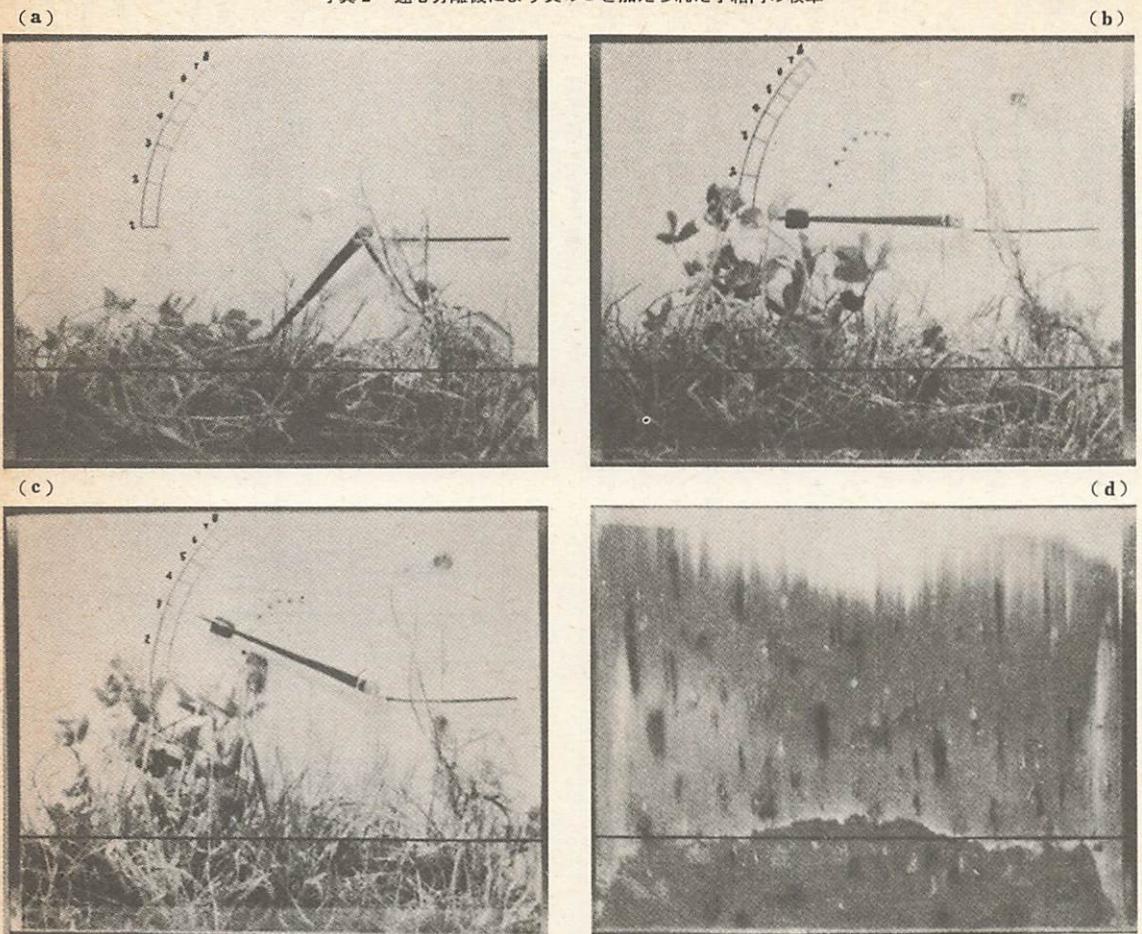
$$G_2 = \frac{15 \times 15 \times 8}{20 \times 20} = 4.5 g$$



▲写真1

筆者が製作した遠心分離機の外観。実験用の小箱と力メータが見える。

写真2 遠心分離機により負のgを加えられた小箱内の牧草



たがって、土壤は全体でそれ自体の重量の三・五倍の揚力を受けることになる。この場合、土壤の一部が空中へ浮き上がり、その原因をもたらした宇宙船の後を追いかけることは、ほぼ確実である。しかし、それは長くは続かない。というのには、宇宙船自体は八gから一gを引いた加速度を受けることを思いだしていただけばよい。つまり、宇宙船と土壤粒子としては三・五のg差がある。したがって、碎片は最初上向きに「落下」するが、宇宙船がそれを急速に置き去りにして、進んでいってしまうので、碎片は最後には地面に再び落下する。

ボイントソースと宇宙船の間の距離が比較的近接しているため、重力場の強度が高いとかなり大き

たがって、土壤は全体でそれ自体の重量の三・五倍の揚力を受けることになる。この場合、土壤の一部が空中へ浮き上がり、その原因をもたらした宇宙船の後を追いかけることは、ほぼ確実である。しかし、それは長くは続かない。というのには、宇宙船自体は八gから一gを引いた加速度を受けることを思いだしていただけばよい。つまり、宇宙船と土壤粒子としては三・五のg差がある。したがって、碎片は最初上向きに「落下」するが、宇宙船がそれを急速に置き去りにして、進んでいってしまうので、碎片は最後には地面に再び落下する。

なg差がもたらされることになる。これで避ける一つの方法は、既に考察したことである。この極端な場合に何が起きたか検討してみよう。図2cのように焦点距離 R_1 を二百十五フィートに伸ばし、 R_2 を二百十フィートに伸ばすと、 R_2 を二百十五フィートにするとき

$$G_2 = \frac{210 \times 210 \times 8}{215 \times 215} = 7.65 g$$

これが粒子に加わり、もとの八gが宇宙船にかかる。これは宇宙船と土壤粒子とでは、g差が〇・三五しかないことを意味する。宇宙船自体の構造内でのg差はもっと小さくなり、〇・〇八gという単位になる。工学的に見て、この数値は十分に許容範囲に入るものであり、もちろん、宇宙船を軽量材で建造することを可能にする。

いまや全体の構図は若干変わってきただ。というのは、初期速度の極度に高い土壤粒子は、〇・三五gでしか宇宙船から離れていないからである。たとえそうでも、粒子はまもなく重力場の有効範囲から離脱し、再び地上に戻るであろう。しかし全体の構図としてはまだ完全ではなく、もう一つ考察すべき要素が残っている。それは、以前に論じた乗組員のg差成分である。このことは図3から明らかになろう。

この図で主フィールドからパイロットの重心までの距離 R_3 は二百七十五

トで、パイロットはボイントソースに

近いため八・二九の垂直g成分をうけることがわかる。この結果として生じるg差は、宇宙船内の小さな内部重力場によって中和されるであろう。しかし、いまや、この垂直上向きの分力が宇宙船の下にある粒子にも作用することは明らかである。というのは、粒子は、バイロットと同じ意味で、自由運動体と考えねばならないからである。したがって、バイロットに要求される一・二九の下向き加速度を、粒子も副次ポイントソースの方向へ垂直に受けことになる。つまり、粒子は全体で、七・六五九ではなく、八・八五九の垂直加速度を受けるのである。これは宇宙船自体の加速度を上回る。したがって、粒子は宇宙船に追いつき、その底部に「くつついでいる」ように見えるであろう。

のことから、副次フィールド発生装置が作動しているかぎり、たとえ離陸に比例して、重力場の焦点距離を小さく保っていても、宇宙船の地面に固定されている新しい物体が、宇宙船より大きな推力を経験することは明らかである。この迷惑な浮揚物体を避ける唯一の方法は、一九ちょうどそれ以上でのゆっくりした離陸である。こうした代案を考える際に、さらにもう一つ留意すべき要因がある。もし長い焦点距離を用いたとする、宇宙船の周囲の大気の局地的な擾乱範囲が比較的大きくなるのである。大気圏外では焦点距離

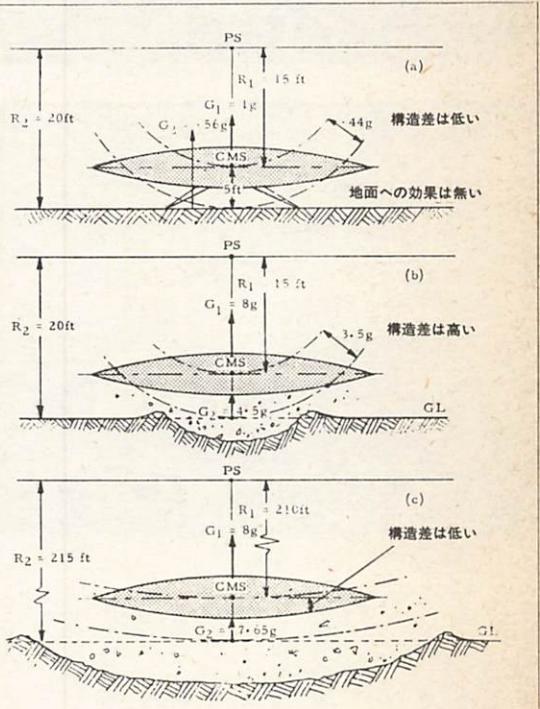


図2 焦点距離、重力場強度の違いによる構造上のg差と地面効果

のロビゴから興味あるUFO着陸事件が伝えられた。ボー・ディ・ノックの農夫数人が、空中をゆっくりと漂っている円形の物体を目撃したのである。これまで、重力場理論を用いた宇宙船がいかにしてクレーターをひき起こすか、説明を試みてきた。読者の皆さんにはこのうんざりする登り道に辛抱されてこられた。ここでちょっと一息いれよう。クレーターは、多くの点で、人々に異なっていると共に奇妙でもある。それらのいくつかについて検討を続けよう。

一九五四年十月。フランス全土に渡ってUFOが活躍したこの歴史的な年に、ボーリーの河口にほど近いイタリア

十九号を参照)と同様に、強力な真空掃除機で吸い上げられたようになつていて、すくいとられた土は穴の周囲に散乱していた。その上、付近にあつたボブ・ラ・六本が黒焦げになつていた。

一九六三年七月には、イギリスの各

地で非常に多くのクレーターが発見された。なかでもシャーレトン・クレータは新聞、テレビで何週間にもわたり報道され、広く知られている。ここでは、その主要な事実についてだけ触ることにしよう。

一九六三年七月。ドーセットのシャーレリーに近いシャーレトンのマナームで、直径八フィート、深さ一フィートのクレーターが発見された。クレーター中央は、深さ三フィートの穴になっていた。クレーターからは四つの溝が放射状に走り、そのうち三本は大麦畑に達していた(写真3)。また、ほぼ半径十二フィートの範囲にわたって、ジャガイモ畑が消えうせていた。陸軍の爆弾処理班は、原因と思われた爆弾を見つけてはなかった。

これと同じころイギリスで見つかったクレーターを、ほぼ日付順に列記してみよう。当時、クレーター出現とは関係なく、UFO目撃事件も同時に発生していたことに注目してほしい。

一九六三年七月七日。ウエストモンド州ダフトン・フェル、メルドン・ヒルの斜面で二つ巨大なクレーターが見つかった。

同年七月十日。スコットランドのミドル・マニナットにある畑で、直径数

一のフランボロー・ヘッド。二十九年七月二十日。場所はヨークシャーのランボロードのクレーターがいくつか発見された。

ターの烟の中に直径十フィートのクレターが見つかり、周囲の草は黒焦げになっていた。土は二十フィート以上にわたり散乱していた。

同年七月二十七日、ダンフリーズ州のサンケールで二つのクレーターが発見された。直径約六フィートで十二フィートほど離れていたが、二つのクレーターは深さ一フィートの溝でつながっていた。

同年十月七日、ウエストサセックス州フィトルワースの大麦烟で、深さ二十フィートの穴が見つかった。

これらのクレーターについては、一

般に「古い爆弾によるもの」と説明されている。しかし、それなら、どうしてすべて同じ時期に出現したのか？

それでは、幸か不幸か宇宙からの訪問者と接触した、あるいはそれに近い状況に出会ったと主張している人たちの供述によって、これらのg効果のいかつかをさらに詳しく調べてみよう。

空中停止している円盤の近くに立っていた目撃者が、別に目に見えるような悪影響はなかったと、主張している事例を時々耳にする。これに異議を唱える人がいるかもしれない。もし円盤が固定されていないあらゆる種類の物

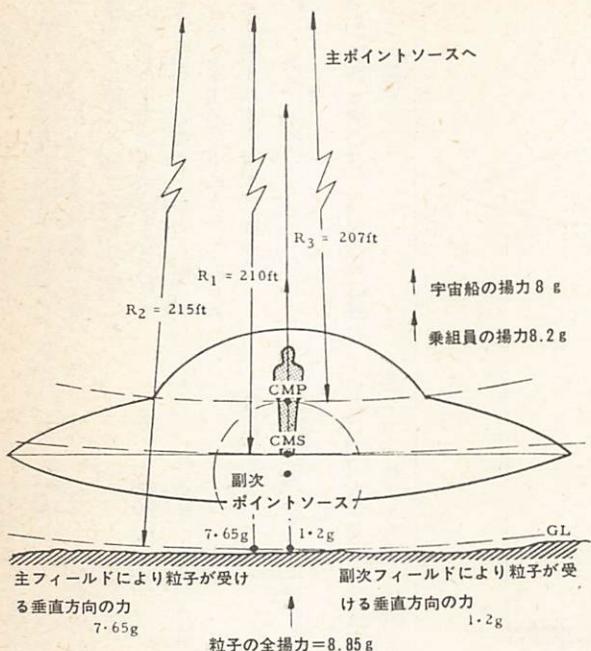


図3 主及び副次フィールドが地面と乗組員に及ぼす総合効果

体を浮揚させ、時には円盤の下の地面すら浮揚させるというのなら、その目撃者の主張はまさに技術的に矛盾するのではないかと。実際はそうではなく、

目撃者の話は理論にきわめてよく適合すると思われる。仮想の事例によつて考察しみよう。

図4は、人の真上二十フィートに宇宙船が空中停止しているという極端な事例である。ポイントソースは宇宙船の重心から七フィート上方にあり、(R₁)、ポイントソースと人の重心の間の距離は二十七フィートである。R₁での揚力は一g加速度と仮定して逆二乗法則を適用すると、次のように書ける。

$$G_{m1} = \frac{R_1^2}{R_2^2} G_s$$

G_{m1} = 人の重心における主フィールドの反重力加速度

G_s = 宇宙船の重心における主フィールドの反重力加速度

R_1 = ポイントソースから宇宙船の重心までの距離

(フィート)

R_2 = ポイントソースから人の重心までの距離 (フィート)

$$G_{m1} = \frac{7 \times 7 \times 1}{27 \times 27}$$

バイロットの重心はポイントソースの五フィートほど下にある (R_3) ので、このことから

$$G_{p1} = \frac{R_1^2}{R_3^2} G_s$$

反重力加速度

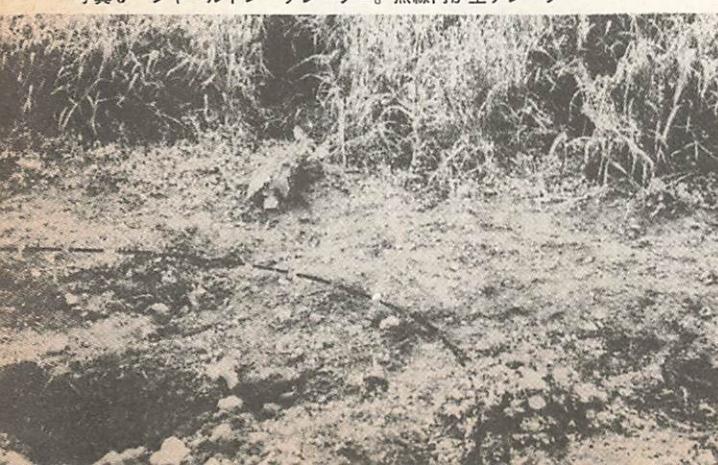
R_3 = ポイントソースからバイロットの重心までの距離

同じく数値を代入する。

$$G_{p1} = \frac{7 \times 7 \times 1}{5 \times 5}$$

言い換えると、バイロットは一・九六gの垂直加速度を経験するということであり、これから地球の重力場による一gを引くと、バイロットへの反加速度と

写真3 シャールトン・クレーター。点線内が主クレーター



して〇・九六gが残る。そこで副次ポイントソースをバイロットの重心の下方四フィート(R_4)に設け、バイロットが一gの正常な「重量」を得られるようにするには全体で一・九六gの上方効果(G_p)を及ぼさねばならない。このことから、副次フィールドが宇宙船の下に立っている人に及ぼす効果は次のようになる。

$$G_{m2} = \frac{R_4^2}{R_5^2} G_{p2}$$

$$G_{m2} = \text{人の重心における反重力加速度}$$

$$G_{m2} = \frac{4 \times 4 \times 1.96}{18 \times 18} = 0.09 g$$

ここで、人が受ける反重力効果は、主ハイールドから〇・〇六七g、副次

数値を代入して

$G_{p2} = \text{バイロットの重心における副次的重力加速度}$
 $R_4 = \text{副次ハイールドからハイールドの重心までの距離 (フィート)}$
 $R_5 = \text{副次ハイールドから人間の重心までの距離}$

(フィート)

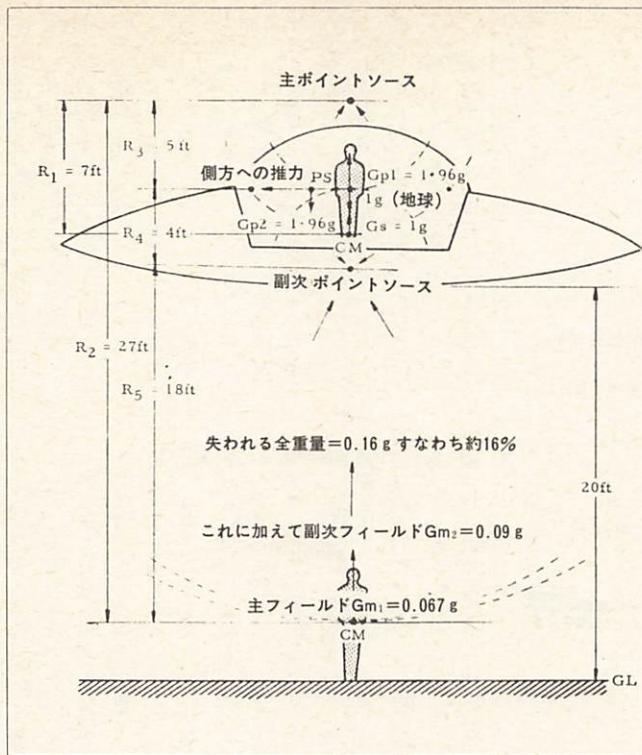


図4 主及び副次フィールドが円盤直下の人間に及ぼす総合効果

フィールドから〇・〇九gとなる。したがって、主及び副次フィールドが人に及ぼす総合効果は〇・一六gである。言い換えると、人は十六%の重量損失を経験することになり、体重百七十磅の人なら二十七磅の損失となる。これは人がポイントソースの真下にいるという極端な例である。片側に寄つていれば、変化に気づくことは全くないと考えられる。

前に「重力場の浮揚効果」の章で、ブラジルでの事件を例として取り上げた。これは、ブラジル北東部のサウナで、巨大な円盤が水面上に停止していたというものである。円盤の下では水が沸騰し、吸い上げられているよう

見え、また、円盤の底部から皮ヒモのようないわしがついていたと報告されている。図5はこの事件を再現したもので、「ぶらさがっている皮ヒモ」の長さとポイントソースの焦点距離については仮定の数値をあてはめてある。また、宇宙船が一gで空中停止していく、局所的上昇気流が起きているということも仮定した。

宇宙船の真下の水は重量が若干減少し、周囲の膨大な水重量により「押し上げられる」という傾向がある(写真4の実験を参照)。これと宇宙船の下の気圧の局所的低下とが相まって、目撃者が述べたような効果が生じたのであらう。また、この事件の場合、宇宙船

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機！

現在230台が全国で活躍中!!

既にUFO探知成功18件!!

左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型……¥9,000
 T-3a型……¥18,000
 T-3b型……¥19,000

＊＊＊＊＊

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

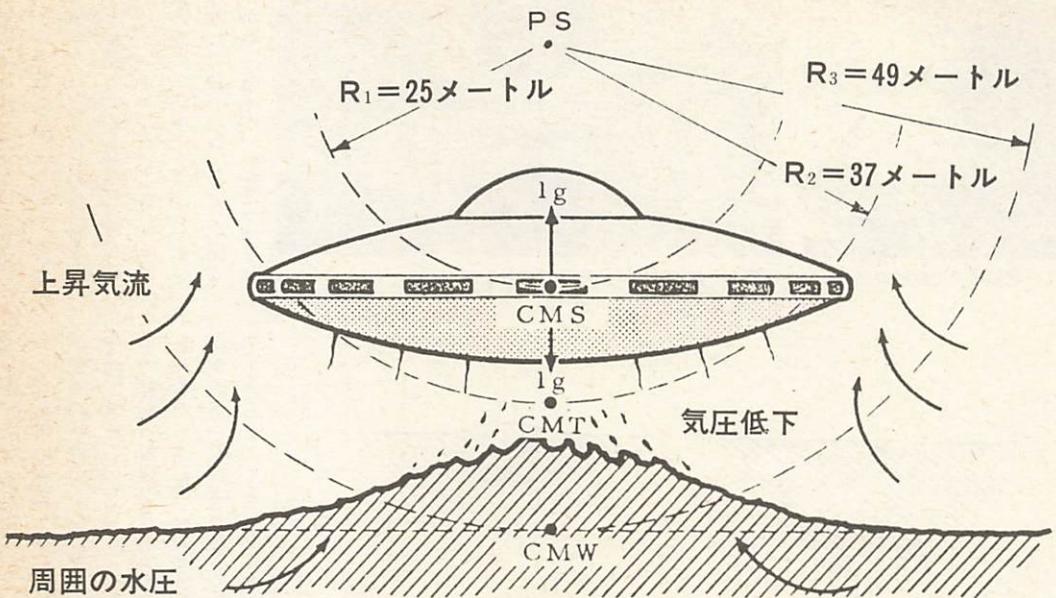


図5 ブラジルで目撲された海面上の円盤の重力場理論による分析。(CMS, CMT, CMWはそれぞれ宇宙船, 皮ヒモ, 海水の重心)

乗組員が何かトラブルをかかえていたように見えたことにも注意する必要がある。このため過度の輻射が生じ、それが海水中で生じた高周波渦電流と共に、盛り上がった海水を激しく擾乱させたので、海水が「沸騰しているよう」に見えたのであろう。写真5は高周波の交流電磁場で、鉄粉を用いて同様の効果を示したものである。

しかししながら、目撲者は、「ぶらさがった」「皮ヒモ」のような形の付属物を見たと主張している。UFO研究者なら、この効果は「クラゲ型」UFOの範囲に入るものと認めるであろう。

「クラゲ型」UFOの目撲者は、しばしばリボン状の付属物が円盤の下にぶらさがっているように見えたと語っている。読者は「もし宇宙船が空中停止して『無重量』状態にあるのなら、どうして皮ヒモがだらんとぶらさがっていられるのだろうか。これは矛盾していないのか?」と問われるかもしれないが、そうではない。それは簡単な検討で明らかになる。まず第一に、目撲者が円盤中央の帯状部分の「丸窓」に言及していることに注目してほしい。したがって、この場合、もし乗組員が宇宙船の中心にいたなら、彼らの重心と宇宙船の重心とは一致する。しかしも

し、垂直力を受けることになろう。そこたよう見えたことにも注意する必要がある。このため過度の輻射が生じ、それが海水中で生じた高周波渦電流と共に、盛り上がった海水を激しく擾乱させたので、海水が「沸騰しているよう」に見えたのであろう。写真5は高周波の交流電磁場で、鉄粉を用いて同様の効果を示したものである。

しかししながら、目撲者は、「ぶらさがった」「皮ヒモ」のような形の付属物を見たと主張している。UFO研究者なら、この効果は「クラゲ型」UFOの範囲に入るものと認めるであろう。

「クラゲ型」UFOの目撲者は、しばしばリボン状の付属物が円盤の下にぶらさがっているように見えたと語っている。読者は「もし宇宙船が空中停止して『無重量』状態にあるのなら、どうして皮ヒモがだらんとぶらさがっていられるのだろうか。これは矛盾していないのか?」と問われるかもしれないが、そうではない。それは簡単な検討で明らかになる。まず第一に、目撲者が円盤中央の帯状部分の「丸窓」に言及していることに注目してほしい。したがって、この場合、もし乗組員が宇宙船の中心にいたなら、彼らの重心と宇宙船の重心とは一致する。しかしも

さて、宇宙船の直下の水面における重力場効果は次の通りである。

$$G_w = \frac{25 \times 25 \times 1}{49 \times 49} = 0.269$$

これは水が、一ポンドにつきその1/4の重量を失うことを意味する。水は膨大に広がっているので、失われる重量はきわめて大きな数字になり、サウド事件の目撲者が述べた効果をひき起こすに十分である。

これに関連して、バルチック海のレバで起きた奇妙な事件についても考察してみよう。この事件は前に述べたが（本誌第十八号参照）、そこでカウエツキー氏は「海岸から三百メートルのところ、水面の一部が盛り上がった。丸い丘のようだった」と語っていた。

（図6a, b）これまで述べてきこと

乗組員が「窓」のそばにいたら——もちろんそれが窓としての話で、ここでは都合よく解釈しておくが——乗組員は、要求されるように、 $1g$ を下回

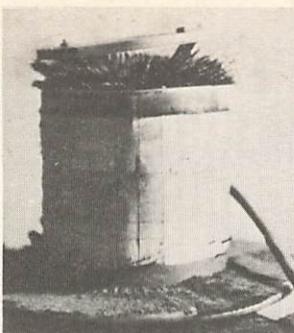


写真5 電磁場での鉄粉の運動

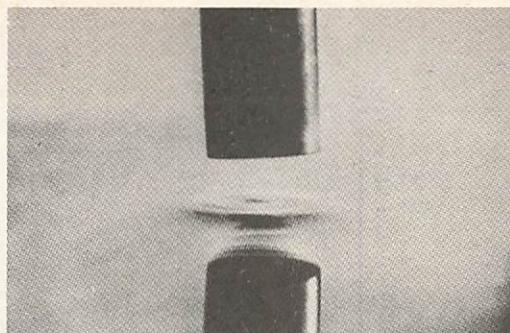


写真4 空気動力学的降下で盛り上がった水

上に投影されたポイントソースが、宇宙船の上昇に合わせて水を「ひき上げている」と想像することができる。目撃者がこれを「下から押し上げられた」と解釈したのも無理はない。その後、ポイントソースが上昇するにつれて重力効果が減少するので、水は頂点から崩れて押しのけられ(図6c)、それから「噴流が、波間に残され

た穴に噴水のように落ち込む」のである(図6d, e)。

ここで再度注意してほしいのは、この両方の事件とも重力場理論によって予測できるということである。それと他の同様の報告からも多くの情報が得られるだろうし、もっと多数のUFO研究者がいればさらに多くの情報が利用できるだろうということである。

レバの事件を例にとれば、重力場のポイントソース理論から、サウド事件と同様に、水は空中停止している宇宙船に向かって高く盛り上がり、そのまま予測できる。この事件の目撃者もと詳しく述べた質問を行つていれば、はたしてどうであつたかどうか判明したであろう。

訳／中村省三

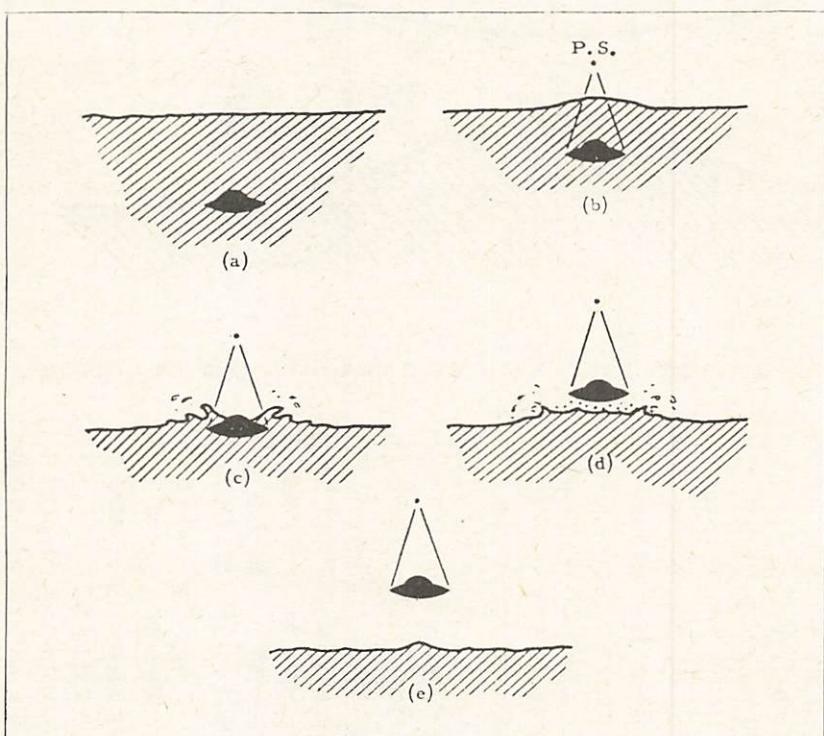


図6 重力場で推進する円盤が水中から浮上する順序

会員 募集

日本 GAP

UFOと宇宙哲学
研究グループ

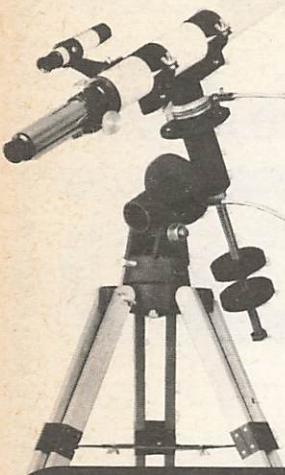
わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキーリー研究家としても著名であるが、1961年よりアダムスキーリー主宰の世界GAP（知らせる運動）組織網の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーリーの特異な体験と宇宙的哲学の促進活動を展開してきた。機関紙「GAPニュースレター」はすでに59号まで発行。テレパシーの講義と練習、研究発表などをを行い、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。月例会終了後は夕食会を開催して会員の親睦を図る等、個人的奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期刊機関誌
「GAPニュースレター」
 第58号残部僅少 第59号発行中
 ●本格的活版印刷・B5版・横上アート紙40頁●UFOに関する連絡窓口
 感想における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌
 主要記事 ■烈日／進歩した思索家のための（未公開遺稿）（完）G・アダムスキーリー／透視力開発と宇宙観田一弘／連載米国GAP訪問記「さらばニュースレターランド」久保田八郎／他

入会希望者は50円切手と宛名記入返信用封筒を同封の上「UFOと宇宙」21号で見たと書きそえてます案内書をお申し込み下さい。入会は高校生以上に限ります。非会員に機関誌の一冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区一色町365-818 日本GAP（主宰）久保田八郎

High S型赤道儀シリーズ Low



グレートビクトリー 700MD

60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
接眼鏡 D 60% F 700%
フルコート 同焦点
HM 6% HM 12.5%
倍率 117× 56×
接眼部 24.5% 36%兼用
天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥47,800 送料¥1,500

モータードライブ ナシ

¥35,800 送料¥1,500



No. ST1000MD

60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
接眼鏡 D 60% F 1000%
フルコート
HM 6% HM 12.5% K 25%
倍率 167× 80× 40×
接眼部 24.5% 36%兼用
天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥52,500 送料¥1,500

モータードライブ ナシ

¥40,500 送料¥1,500

安定性の低い小型赤道儀の時代は終った。そしてガバナー制御のモータードライブ付大型赤道儀の時代が始った!!

グレートビクトリー100 MD

100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D 100% F 800%
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM 6% HM 12.5%
倍率 133× 64×
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥49,800 送料¥1,500

モータードライブ ナシ

¥37,800 送料¥1,500

(モータードライブは後日購入も出来ます。)



No. SH900MD

100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D 114% F 900%
接眼鏡 フルコート
HM 5% HM 8% K 25%
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥54,800 送料¥1,500

モータードライブ ナシ

¥42,800 送料¥1,500



S型赤道儀は一クラス上の大型赤道儀……小型赤道儀は微振動が多い為、観測しにくく写真撮影も思う様に出来ません。従来の赤道儀の欠点を補って新設計されたS型赤道儀は微振動が少くて安心です。

S型赤道儀は上下角微調節ネジ付……今迄は10万円クラスの高級品にしか採用されていませんでした。

S型赤道儀は移動するロールバランスウェート軸……今迄は15万円以上の高級機専用でした。

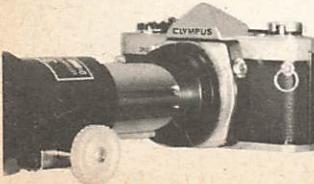
S型赤道儀のモータードライブは二電源方式のガバナー（電圧安定装置）制御のDCサーボマイクロギヤードモーターですので精度の良い回転が得られ、単3乾電池4本(6V)又家庭用100V電源の両方が使用出来ます。

S型赤道儀シリーズはコストパフォーマンス(価格に比べた品質と性能)が最高で他の及ぶ所では有りません。

●写真撮影用カメラアダプター (35%一眼レフ専用 屈折望遠鏡接眼筒36%専用)

天体写真、地上写真のどちらにも使用出来ます。直接撮影方式で望遠鏡が超望遠カメラ用交換レンズと同じ事になりますので、他の方式に比べてもっとも鮮明に写せます。

¥3,000 送料¥300

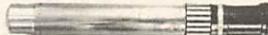


〈使用出来る35%一眼レフカメラ〉 ベンタックス(S&Kシリーズ)

フジカ、ミヤ、リコー、ヤシカ、ニコン、キャノン、ミノルタ、オリンパスOM、

コニカ(新)、ミランダ (注文時カメラ名をお知らせ下さい。接眼筒24.5%径は使用不可)

正立像 6%~15%ズーム
天体望遠鏡がズーム式地上望遠鏡に使えます。¥4,500



ご注文は代金、送料を送金下されば送品致します。又ご来社下さい。

株式会社

スリービーチ 光学部UFO係

T 121 東京都足立区平野3丁目7番17号

光学部TEL 東京03
(850) 6110

振替口座 東京7-103033

総合カタログ・切手300円同封の上お申込み下さい。

(広告有効期間・本誌号月の月末迄)

吉 OPINIONS

投稿歓迎！ 編集部「声」係宛
匿名可（但し、住所・本名明記のこと）



●版上 清久（画）茨城県土浦市

はじめてお便りします。中国北東部の
連続大地震は予想外に大きめ、列車

と病院が地割れに呑み込まれた、と報道され
ました。さすがは大陸的と感心する前に、他

人事とは思われぬ恐怖感を覚えます。一回な
らず何回も大激震が襲っている現況に……、
では日本も、と心配になります。本誌19号の
磯久美子さんのご指摘で、私も早速16号を再
読してピックリ！ なんと見事に予言が当つ
ているではありませんか。いろいろな本も沢
山ありますが、記事の予言が当っているのは
初めてです。「外側地震帯が伸びていて、
四国と九州の間を通り、山口県から日本海に
抜けて頭を上げる。それが第一の変動だ」
……第二以下の変動については宇宙人は予言
していないようですが、フィリピン大地震や
伊豆半島連続微小地震など気になる事です。

宇宙人から予言を聞いたと伝えられる北野
大僧正の経歴がこれまで驚き！ 各種の本に
よれば宇宙人との接触の多いチベットで修行
され、その上、ラマ僧の靈感の不思議を語
る本に「第三の眼」として、額の中心に石
を埋め込むことがありました。が、北野師はま
さに宝石を額に埋め込んでいるそうです。こ
れなら宇宙人とのテレビ・会話も当然と考
えられるし、師は八十歳の高齢で大僧正とい
うこともあって、ただただこの事件には驚か
うこともあって、ただただこの事件には驚か

されるばかりです。

私は、信仰をもっていませんし、宗教を余
り信じません。ただし、UFOの存在は信じ
ていますが、かといってUFO目撃例の全
部を信じているわけではありません。ですか
ら毎号本誌を買って、千にひとつ万にひとつ
の真実を捜すため、各記事を読んでいるので
す。迷信的な宗教はいけませんが、修行して
普通に出せない超能力を引き出して、宇宙
の神秘な力と結合させ、予知能力などを発
達させる、これはあり得ることでしょう。こ
の修行に耐えるのも若さです。おのれの発達
段階に合わせてこそ成功するのでしょうか。た
とえば大昔、仙人になるため、手引書通り松
葉だけ食べ続けたところ、最後は栄養失調の
ため死んでしまった人が実在したそうです。

チベットで修行した北野師の先生が四百歳と
いうことで、しかもテレポートができるとの
こと。うらやましいと思うまえに、そうなる
までの修行に耐えた長い年月がいかに苦しい
ものであったかを考えねばならないでしょ
う。まあ現代人は修行するよりは、お金を払
って飛行機で飛んだ方が安易で、よいのかも
しません。

また、私などはマヤ、インカなどの古代遺
跡の写真を見るたびに、UFOとの関連性を
考えさせられる次第です。

藤川 清（東京都港区）

キリスト 宇宙人の使者とは思いません。キリスト
は、G・アダムスキーと同じように宇宙人と
コンタクトしたと思われます。キリストが円
盤に乗っている絵があるといいますが、キリ
ストが宇宙だからでしょうか。アダムスキー
も円盤に乗りました。でもアダムスキーは
宇宙人ではありません。アダムスキーは宇宙
人とコンタクトして円盤に乗せてもらったの
です、その結果、アダムスキーは宇宙人か
ら、いろいろなメッセージを受け取りまし
た。キリストもまた宇宙人とコンタクトしま
した。そして宇宙人からメッセージを受け取
ったと思われるのです。

キリストの言葉は二千年近くたった今でも
理解しているものはほとんどないと思います。
私は本当のところ解していません。そ
して今から二十四年前、第二次のキリストア
ダムスキーが宇宙人とコンタクトしました。
カッカリ。着陸機写真班のアラン・バインダー
博士によると、これは岩石のはがザラザラ
して粗いために起つた『影のいたずら』
すぎず、地球でもよくある現象のことでした。
た……残念！ これで人類期待の「火星人
説」は消えてしまったのでしょうか。『人間
の目は、どうしても見慣れないものには、そ
ういうことが見えやすいものですから……』
と同博士は言っています。地球上の目による

す。わずかな進歩はあったかもしれません。
でも進歩したのは文明だけです。キリストが
出でからすでに二千年、私たちは（先祖も）
いつたい何をしてきたのでしょうか。事実、少
しもよくはなっていないのでは……。むしろ
悪くなる一方です。過去を問うたところでし
ょうがあります。UFOを追いかけるのも
よいですが、私のように考えるのもどうです
か。そこで私は、UFOを研究する人々がひと
つになるときが来たと思います。なぜなら、
私は、もうじき地球に重大な事が起こるよう
な気がするのです。それが何かはわかりませ
んが、何かが起こるよう……。私と同じよ
うな考え方をもっている人も多数いると思いま
す。とにかくUFOファンは考えてください。
……少々オーバーに書いてるので恥ずかしく
らい。あまり気にしないでね。

安鶴信夫（茨城県西茨城郡）

UFOファンのみなさん、こんにち

は！ みなさんは宇宙人の存在を信
じますか。世界中の人々の注目を浴びたアメ
リカの火星探査機バイキング1号が送信して
きたあの一枚の写真。七月二十六日付の新聞
を見て、『ピックリ』なんと火星に「2B G」
と書かれた岩が写っているではないですか。
……火星人が書いたのかなあ……、これは、
いつたい何を意味しているのでしょうか。科
学者や報道陣はカンカンガクガクだったよう
です。みなさんは、これをどうお考えになり
ましたか？

しかし、その後の科学者の説明を読んでガ
ッカリ。着陸機写真班のアラン・バインダー
博士によると、これは岩石のはがザラザラ
して粗いために起つた『影のいたずら』
すぎず、地球でもよくある現象のことでした。
た……残念！ これで人類期待の「火星人
説」は消えてしまったのでしょうか。『人間
の目は、どうしても見慣れないものには、そ
ういうことが見えやすいものですから……』
と同博士は言っています。地球上の目による

★世界のミステリーと驚異

「エニグマ」創刊号発売中!!



●西元 朗(画) 大阪府豊中市

コロナの正体はタキオンのコロナ放電で、それが燃えているように見えるのではないでしょか。

それならば、なぜ太陽光線は暖かいのか、と思うでしょが、これに對してジョージ・H・ウリアムソン博士は次のように言っています。「太陽光線が暖かいのは、太陽から発せられるある種の力線が地球磁場との摩擦により、はじめて熱に変換するのである」と。その場合、ある種の力線とは何か、といふことが問題になりますが、私はそれなりに考へをめぐらした結果、やはりエーテル波動、つまり虚質量の超光速粒子タキオンの流れであろうという結論に達しました。

そこで、ある仮定をしますと、それは「太陽のエーテル波動と地球のエーテル波動とは複素共軛である」ということです。複素共軛とは、ある複素数 $a+bi$ ($a, b \in \mathbb{R}$) と $\bar{a}+bi$ の関係をいいます。この仮定の根拠は、エーテル波動(タキオン流体)は複素数であるということによります。そして、互いに複素共軛である二つの複素数の和は実数になります。

現代の地球天文学では、太陽は内部で千三百万度、表面で六千度あります。しかし、それが認められています。あの六千度もの超高温ガス体がなぜ磁気作用をおこすのか説明できることです。この点からみて太陽は冷たい天体であると仮定できますし、太陽の磁気作用も理解できるわけです。また、一五四三年と一八八二年に巨大な彗星がかつてないほど太陽の近くを通りましたがこれらの彗星は絶対温度百万度にも達するという太陽コロナの中を百万キロメートルも通過して、外觀にも速度にも何の変化もなかったのです。超高温である太陽コロナの中で、なぜ蒸発してしまわなかつたのでしょうか。それは太陽が熱を放射しないからです。ぼくが思うには、太陽

本誌16号の「三原市におけるコンタクト事件」に関連して氣のついたことを皆さんにお知らせしたいと思います。

北野恵宝師が宇宙人から聞いたという言葉の中には「太陽は冷たい天体だ」という部分がありましたね。私はとってもそんなことを信じられませんでした。とはいっても完全に否定しきれないまま、心にひっかかっていたのです。ところがある日、書店で「宇宙連合の飛来」(大陸書房刊)という本を読んでいたときに、心のやもやが完全に消え去りました。天文学者のハーシェル博士(天王星の発見者)とアメリカの有名なUFO研究家ジョン・H・ウリアムソン博士の言葉が決定的な解答をしてくれたのです。

二

んにちわ。もうすでに氣のついている人もいると思いますが、私が最近見る人がいると思いますが、私が最近見をお聞かせください。また文通しまよう。男女は問いません。

高橋 誠(高1)

(毎248 神奈川県鎌倉市極楽寺三一七一一)

最後に、全国のUFOファンの方々、ご意見をお聞かせください。また文通しまよう。男女は問いません。

コロナの正体はタキオンのコロナ放電で、それが燃えているように見えるのではないでしょか。

そうならば、なぜ太陽光線は暖かいのか、と思うでしょが、これに對してジョージ・H・ウリアムソン博士は次のように言っています。「太陽光線が暖かいのは、太陽から

それが、これを太陽のエーテル波動と地球のエーテル波動とが一緒にになって熱に変換されたものと考えられるのです。このように考えると、タキオンは熱とは違って距離によらず、燃えているように見えるのではないでしょか。

最後に、本誌19号の内田博士が書いた記事により、ますます一九八二年の惑星直列にとまらう大異変が動かしがたい事実となってきた。しかしながら、少しだけ多くの人にこの事実を知らせて、宇宙からのプラザーズたちの真意を理解させ、地球の精神的革命を一刻も早く実現させる方向にもつっていくのが我々の唯一の使命であると思いません。

みんな、お互いにがん張りましょう。

斎藤 真(18 学生)(北海道室蘭市)
「この間の関係をいいます。この仮定の根拠は、エーテル波動(タキオン流体)は複素数である」ということによります。そして、互いに複素共軛である二つの複素数の和は実数になります。しかし、少しでも多くの人にこの事実を紹介していました。その中で、この「UFOと宇宙」の16号に掲載されました田中博人君が撮影した写真。番組のレポーターによれば、田中君がこれまで百回以上も目撃するのは多すぎます。また撮影はいつも家中であることを理解させ、地球の精神的革命を一刻も早く実現させる方向にもつていくのが我々の唯一の使命であると思いません。

理由は何にせよ、真剣にUFOを研究している人たちにとっては非常に迷惑なのです。せっかくUFOの存在をみとめてきた人たちも、これまでまた逆もどり……「UFOなんているわけない」。

どうかUFOファンなら、トリック写真を撮って新聞などにのせるのはやめてください。UFOを信する心と熱意があれば、本物のUFO写真がとれるのです。

鷲尾智子(中2)(新潟県白根市)
「私はよくおもひます。しかし地図の方

に準備ができていなければどうにもならないことがあります。そして、その準備をするのは私たちであること

に参加して地球上から水爆を排除しなければならないのです。なぜなら今の地球の状態では、いつ大戦争が起るかも知れないからです。今、小・中学生の読者は、大人になれば、戦争をくい止める力とならねばならないと思います。本誌読者の方、私も含めて人間の本当の使命を、見失わないようにしま

渡辺浩二(15)(神奈川県川崎市)
「くると思いませんか? この話題についてお聞きたいのです。なぜなら、この

中で、

中山かほる(14)(東京都三鷹市)
「私は二十六歳になる調理師です。多少空想じみていますが、今、私が考えます宇宙論を聞いて下さい。

無限とは、どこまで行っても壁などにぶつかることなく、広いのではないかと。そこには太陽系が無数にあって、地球のようには生物が存在する星もたくさんあるのではないかでしょうか。地球よりも文明のすぐれた星もあれば、劣っている星もあるはずです。すぐれている星では、もちろん円盤などがあり、そして、その準備をするのは私たちであ

れています。そして、その準備をするのは私たちであ

しようか。

そこで考えなくてはならない事は自分の星を他の星から、すなわち外敵から防衛しなくてはならないのです。円盤を使って防衛線を張っているのではないでしょか。文明の運れている星などはもちろん円盤などがなく、自分の星を防衛できないのです。

地球などは他の星より文明が劣っていて、もちろん円盤などはありません。地球をだれが守るのでしょうか。おそらく他の星の円盤



●阪上清久画 茨城県土浦市

が来て地球に防衛線を張って、悪からの侵略を防いでいるのではないでしょか。

話は変わりますが、私はなぜ円盤がある形をしているのかを考えました。それは中で何かが回っているのではないか、などと

考へているのですが、皆さんどう思っていますか？

深堀文夫 (山形県村山市)

私はは中学一年生の女の子です。UFOを見たすら信じ、そのくせ一度もUFOを見たことがありません。

Fの誕生日プレゼントに「UFO実見記」を買いました。友達がとても欲しがっていたからです。そしてある本屋に行つたところ、S Fはこちらなんだけど……と言ったので

ます。何がノ、何がS Fですか。これはどうじょく的言葉はあるのでしょうか。私自身、本当にやしかったのですが、なぜかどなれませんでした……この本はS Fではない」と。私はいくじなしだと反省しています。

森岡貴子 (中1) (北海道札幌市)

私はじめまして、私は高三の女の子で

あります。私のUFO論について聞いて下さい。

さい。

私の友人たち、だれもUFOの存在を信じてくれません。たとえ信じてくれたと思われる人でも最後には「また、UFOは夢があつていね。昔の月にいるうさぎのようなものだよね」というのです。私はUFOは夢ではないと信じています。中学校のころから

UFOに興味をもつてあらゆる本を読んだの

で、たいていのUFOのエビソードは知つてゐるつもりです。

UFO写真やお話を、あんなにたくさんあるのに、UFOの存在を信じない人がいるは

うが、私は信じられません。大人たちはすぐトリックだとニヤニヤだと否定したがります。何万ものUFO資料のうちそのほとんどがトリックだったと仮定しても、残りの

一枚がほんものであつたら、それでUFOの存在が立証できるのです。

むかしはみんなにUFOの存在を信じても

らいたくて、いつしょうけんめい。UFOについて説いてまわったのですが、人は絶対自

分の意見を曲げることを知らないようで、信

じようとしているのです。私は近頃、信じない

人は信じなくてもいいと思うようになりまし

た。少しまえ、私が熱心にUFOの本を読ん

でいたら、ある友人が「またUFOの本?

よくまア、あきないね?」そんなのはウ

ソに決まつているのに……私はまたかと思

う腹を立てず、笑いながら「その人自身の世

界があつて、信じられるものがあることは幸

福よ」とまじめにかつ冗談っぽく言つたので

す。さてそれからしばらくたつて、その友人

が私のところにUFOの本を借りにきたので

す。私はおかしくって、おかしくって……。

人間つて信じられるものが欲しいんだなアと

思ったのです。

私は田舎に住んでいますので、空を見上げれば毎晩、星が見られます。ときどき飛行機の光を見てドキッとしていますが、いまだにUFOといえるものは見ていません。……とても悲しいことですが。でも、まだまだ先は長いのです!

授業中でもよく空を見ています。私の教室

は4階ですので、外はもう空みたいためで

す。晴れている日は「UFOびより」と呼び

昼休みはマメ單開いて、空をチラリチラリと

見てています。

私はUFOの存在を信じていることで、い

ろんな面で救われています。UFOのこと

を考えていると、生きていることが、嬉しく思

えるのです。少しヘンですが!

友人たちはUFOを信じないといふくせに

夜なかに変な光を見た、などと私のところに

知らせにきてくれます。そんなとき、心のど

こかで信じているんだなアと、確信していま

す。

私のUFO論について、などと言いました

が、結局は、私の日常生活のスケッチに終わ

ります。

致します。

そこで、遅れましたが、ご返事を差し上げ

とを知つてもらいたくてベンをとりました。あなたのUFOに対する考え方、教えてください。

後藤美恵子 (17) (巻879-66) 大分県大野郡緒方町小宛尾崎)

(神奈川県横浜市瀬谷区阿久和町三六八〇) 246

は、去る本誌17号に会員募集と掲載されました。されましたが、手紙が多数届いたため処理しきれず、やむなく抽選させてもらいました。返事が届かず「もうつぶれたのか」「だまされた」などと怒つておられる方がいましたが、すいませんでした。お詫び

私

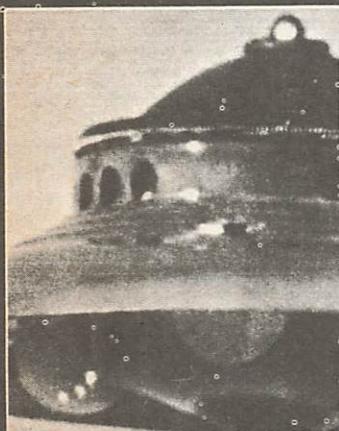
は、去る本誌17号に会員募集と掲載されました。されましたが、手紙が多数届いたため処理しきれず、やむなく抽選させてもらいました。返事が届かず「もうつぶれたのか」「だまされた」などと怒つておられる方がいましたが、すいませんでした。お詫び

私

は、去る本誌17号に会員募集と掲載されました。されましたが、手紙が多数届いたため処理しきれず、やむなく抽選させてもらいました。返事が届かず「もうつぶれたのか」「だまされた」などと怒つておられる方がいましたが、すいませんでした。お詫び

絶賛発売中!
定価 1300円(税込)

● 空飛ぶ円盤は実在する! 遠い惑星から、偉大な進化をとげた人類が、大宇宙船を駆つて地球の救援に飛来……壮大な宇宙事実をつたえた本書は、まさに20世紀最大のドキュメントだ!



宇宙からの訪問者

■米ジョージ・アダムスキーフ財団より翻訳合本出版権獲得!

ジョージ・アダムスキーフ著
久保田 八郎訳

●「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」として名高い「空飛ぶ円盤」記録書をアダムスキーフ研究家として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「実見記」のうちアダムスキーフの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表写真を含め50点以上の写真・図解を一挙掲載した決定版である!

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
☎832-1341~44 振替・東京4-119478

●書店がない場合は直接小社営業部までご注文ください。

詳しいことはあなたからの手紙がつきしだい、ご返事します。北海道の人を求む。
太田千秋(中3) UFO研究会芦別支部
(番65) 北海道芦別市本町七四〇)

近県の皆様、何を活動するにも調和と团结が必要です。本会は毎月第二日曜日午後一時より講習会を開いております。内容はUFOコンタクト(野外活動)、怪奇現象調査、超能力者テレパシー実演、宇宙考古学等です。

迎! 友達をさそってどうぞ。絶対に信じないという人も、ぜひ一度お電話を!
松岡毅
(番69) 兵庫県芦屋市茶屋之町一〇一四一四〇一 電0797-31-5675

(研究内容)
(1) UFOに対して友好的に、しかも研究においてよんでは客観的に考察する
(2) アダムスキーフ問題を重視して研究し、アンチ的な人々に対しても友好的な態度で臨む
(3) 日本各地に支部を結成する
(4) 会員による宇宙人コンタクトを計画する
(5) 機関誌の発行
(6) 超古代文明研究及び宇宙考古研究
(7) その他(会員の希望によって研究する)
☆半年会費千円(現金)

くたちは、このたびUES研究会を結成いたしました。UESという意味は、UFOのU、エスパーのE、サイエンスのSからとりました。

皆さんどうぞ多数お入り下さい。

詳しいことは、案内書をお送りいたします。

☆申し込みは、電話またはハガキでお願いします。

細堀一夫
(番34) 群馬県館林市日向一〇四六 電0267-2-5036の本多一之まで)

二 のたび県内の同好者に呼びかけて五
月十五日、静岡UFO実体調査会を結成しました。ぜひ入会下さい。会長は中川新一先生です。

ほ くはUFOならびに心霊現象などの研究をする会を作りたいと思いま
た。現在のところ機関誌発行、会員の親密性を強くるために論文交換、文通などをいたしております。

三(番77-47) 徳島県三好郡三加茂町加茂三九
六のたび県内の同好者に呼びかけて五
月十五日、静岡UFO実体調査会を結成しました。ぜひ入会下さい。会長は中川新一先生です。

宇 宙研究会よりお知らせ……
研究会を結成して三周年になります。現在のところ機関誌発行、会員の親密性を強くるために論文交換、文通などをいたしております。

○ 入会希望者は、まず右記の記入事項を書いて下さい。次のところまでお手紙を下さい。
電話番号 当会に対する希望 本人がこれまで研究した内容

高塚達也(代表)
(番24) 岩手県北上市上野町一ー三一六

* 入会希望者の記入事項

住所 職業 年齢(生年月日) 氏名 電話番号

○ 入会希望者は、まず右記の記入事項を書いて下さい。次のところまでお手紙を下さい。

特に岩手県の方を歓迎いたします。

高塚達也(代表)
(番24) 岩手県北上市上野町一ー三一六

世界のミステリーと驚異「エニグマ」 創刊号発売中!!

★ 著者 南 忍 (〒655 兵庫県加古川市加古川町南備後字
向五反田二二一一四楠木平 TEL 0794-12
4-3695)

◎本誌No.9、10を廻りで…。キズなし、美品。「恐怖の心靈写真集」「ヨリ・ラル」「テレバ・シー入門」「タナ・ロギー入門」「狐狽理さんの秘密」「謎のバ・ミューダ海域」を各200円。「UFO」「宇宙人の謎」を各150円で売りたし。すべて送料別、美品です。近畿で手渡可能な方。先着5名様におまけを。

前川英明 (〒143 東京都大田区中馬込二一四一六) 次の本を2000円位で譲ります。「世界の円盤ミスティリー」「世界の怪奇ミスリラー」「空飛ぶ円盤」を各200円。「UFO」「宇宙人の謎」を各150円で売りたし。すべて送料別、美品です。近畿で手渡可能な方。先着5名様におまけを。

岩下幸広 (〒233 神奈川県横須賀市望洋台一四一) ◎本誌No.4~11の全8冊を譲ります。希望値段を書いて連絡して下さい。送料別、バラ売り可。連絡は往復ハガキで。

小野沢昭司 (〒341-04 長野県南佐久郡田町三反田) ◎本誌No.4~11の全8冊を譲ります。希望値段を書いて連絡して下さい。送料別、バラ売り可。連絡は往復ハガキで。

岩下幸広 (〒233 神奈川県横須賀市望洋台一四一) ◎本誌No.4~11の全8冊を譲ります。希望値段を書いて連絡して下さい。送料別、バラ売り可。連絡は往復ハガキで。

岩下幸広 (〒233 神奈川県横須賀市望洋台一四一)



●阪上清久 (画) 茨城県土浦市

○「四次元99の謎」「統一私は宇宙人を見た」「心靈世界の不思議」「魔の川アマゾン」「最後の魔境」「吸血鬼のふるさと」の以上6冊を無料で譲ります。希望者多数の場合は抽せんして一人に1冊送りますので、希望の書名を記入の上、往復ハガキで連絡を。送料は負担できませんのでよろしく。

森下豊子 (〒816 福岡県春日市春日一六〇五一一二九) ○「四次元99の謎」「統一私は宇宙人を見た」「心靈世界の不思議」「魔の川アマゾン」「最後の魔境」「吸血鬼のふるさと」の以上6冊を無料で譲ります。希望者多数の場合は抽せんして一人に1冊送りますので、希望の書名を記入の上、往復ハガキで連絡を。送料は負担できませんのでよろしく。

前川英明 (〒143 東京都大田区中馬込二一四一)

○次の本を2000円位で譲ります。「世界の円盤ミスティリー」「世界の怪奇ミスリラー」「空飛ぶ円盤」を各200円。「UFO」「宇宙人の謎」を各150円で売りたし。すべて送料別、美品です。近畿で手渡可能な方。先着5名様におまけを。

前川英明 (〒143 東京都大田区中馬込二一四一六) ○次の本を2000円位で譲ります。「世界の円盤ミスティリー」「世界の怪奇ミスリラー」「空飛ぶ円盤」を各200円。「UFO」「宇宙人の謎」を各150円で売りたし。すべて送料別、美品です。近畿で手渡可能な方。先着5名様におまけを。

前川英明 (〒143 東京都大田区中馬込二一四一六) ○次の本を2000円位で譲ります。「世界の円盤ミスティリー」「世界の怪奇ミスリラー」「空飛ぶ円盤」を各200円。「UFO」「宇宙人の謎」を各150円で売りたし。すべて送料別、美品です。近畿で手渡可能な方。先着5名様におまけを。

前川英明 (〒143 東京都大田区中馬込二一四一六)

大襲来」を900円でそれぞれ譲ります。すべて送料別です。連絡は往復ハガキでお願いします。

西野弘明 (〒624 京都府舞鶴市京橋二五二 TE L7-731-761-5920)

○UFOの写真(トリック不可)や資料がありまし

たら譲って下さい。また、不思議な体験をされた方

がいたら教えて下さい。お願ひします。

○本誌創刊号をばくのもつて「ビラミッドの謎」(エコーブックス・600円)と、あなたの希望する値段とで譲って下さい。ハガキ、または夜間のみTE

して下さい。

西野弘明 (〒624 京都府舞鶴市京橋二五二 TE

L7-731-761-5920)

林 鉄弥 (〒230 神奈川県横浜市鶴見区矢向二一七八)

七一八) 「空飛ぶ円盤2000集」を800円。「タナトロギー入門」「狐狽理さんの秘密」「謎のバ・ミューダ海域」を各200円。「UFO」「宇宙人の謎」を各150円で売りたし。すべて送料別、美品です。近畿で手渡可能な方。先着5名様におまけを。

前川英明 (〒143 東京都大田区中馬込二一四一六)

六) 「空飛ぶ円盤2000集」を800円。「タナトロギー入門」「狐狽理さんの秘密」「謎のバ・ミューダ海域」を各200円。「UFO」「宇宙人の謎」を各150円で売りたし。すべて送料別、美品です。近畿で手渡可能な方。先着5名様におまけを。

前川英明 (〒143 東京都大田区中馬込二一四一六)

大襲来」を900円でそれぞれ譲ります。すべて送料別です。連絡は往復ハガキでお願いします。

上田民生 (〒565 大阪府吹田市桃山台一七一)

○本誌「F・Sリラー」「念力」「新品、キズ、落書きなし」。また本誌創刊号(No.5までと交換して下さい。ハガキで連絡を。

上田民生 (〒565 大阪府吹田市桃山台一七一)

○本誌「F・Sリラー」「念力」「新品、キズ、落書きなし」。また本誌創刊号(No.5までと交換して下さい。ハガキで連絡を。

大口喜代美 (〒109-04 東京都清瀬市中里四一三〇)

本誌1~6号のいずれか1冊を1000円以下の値段で譲って下さい。からだす1冊でお願いいたしま

す。またUFO写真を貰った方、トリックでもいい

すから譲って下さい。なお、トリックの場合はトリックであることを書きそえて下さい。連絡はハ

ガキで……

大口喜代美 (〒109-04 東京都清瀬市中里四一三〇)

し下さい。責任をもってお返しします。また、UFOを目撃された方も連絡して下さい。

○本誌No.10～13まで1600円位で譲って下さい。

（ただし切り抜きのないものを）

小池素子（〒661-02 熊本県鹿児島郡木町大字米塚五〇一）

○高橋製作所製のT-S式65ミリ屈折赤道儀P型がS型かD型のいずれをおもちの方、御希望の値段でお譲り下さい。連絡は往復ハガキでお願いします。

鈴木 薫（〒49 愛知県海部郡弥富町大谷四五五七九）

○本誌No.10～13まで1600円位で譲って下さい。

（ただし切り抜きのないものを）

門原哲夫（〒657 神戸市灘区天城通三一四一六六）

○GAPニューズレターのバックナンバー（57号からを1冊200円で譲って下さい。料金は当方負担）

また、UFOや宇宙人の写真を撮影された方は簡単でもいいですからデータをつけてプリントまたはネガ（ネガは責任をもってお返しします）をお送り下さい。

（お願いします）。それから「日本神代文庫」か

「古事記以前の書」いずれも大陸書の上巻下巻

物ですが、半額で譲って下さる方は連絡して下さい。

上田 隆（〒59 大阪府三島郡島本町東大寺三一三一）

○「写真で見る空飛ぶ円盤・宇宙人2000集」を譲って下さい。キズがついていてもかまいません。送料は当方が負担します。

石田 太一郎（〒591-21 北海道札幌市南区石山一区）

○本誌No.10を500円で譲って下さい。（手わたし希望）それから、ノクトビジョンなどで売っている方知っている人は教えて下さい。また、もっている方はハガキを下さい。

牛腸英昭（〒155 東京都中野区江古田三一一一）

○本誌No.10を500円で譲って下さい。（手わたし希望）それから、ノクトビジョンなどで売っている方知っている人は教えて下さい。また、もっている方はハガキを下さい。

三四）牛腸英昭（〒155 東京都中野区江古田三一一一）

○本誌No.10を500円で譲って下さい。（手わたし希望）それから、ノクトビジョンなどで売っている方知っている人は教えて下さい。また、もっている方はハガキを下さい。

牛腸英昭（〒155 東京都中野区江古田三一一一）

君への
メッセージだ！

UFOに関する本、写真
その他の資料をタダでください。
どんな物でも結構ですからお願いします。
トリックはタダで貰うをやあかしを忘れないで下さい。

財津省三（〒827 福岡県田川郡川崎町田原321）



○UFOの写真を写された方はプリントをお譲り下さい。

藤原勝博（〒761-41 香川県小豆郡土庄町肥土山）

○UFO写真、心靈写真（またはそれらしい）という写真をおもの方へどうぞネガがプリントを譲って下さい。お礼はいたします（ホントよ）でてきた

（二二）

小林洋光 (〒504) 岐阜県各務原市蘇原旭町四一
一

一五七)

○本誌N₁₄を無料で譲って下さい。頼む、頼む、お願ひです!! それからUFO写真を撮影した方、焼き増しを何枚でもいらしゃうと下さい。またUFOに関係する資料でも大歓迎!

中條 卓 (〒256) 神奈川県小田原市国府津二〇六

○本誌N₁₂を無料で譲って下さい。そこで、どうしてO新聞というのを作っています。そこで、どうしても12号が必要なのです。どんなボロでもいい。頼むちょうだい!!

前田 晃 (〒256) 神奈川県小田原市国府津二〇三

○本誌創刊号N₉までを、どなたか私にください。切り抜きがなければ、どんでも結構です。

○本誌創刊号N₆までを、どなたか私にください。どうかよろしくお願ひします。また、先着二名様に「これが空飛ぶ円盤だ!」、「UFOの正体」を差し上げます。

加藤宏一 (〒181) 東京都東村山市本町一一一六一

○本誌創刊号N₆を譲って下さい。値段は全部まとめて2000円以下で。また相談に応ずる。美品希望。送料当方負担。まずは往復ハガキで…。

滋賀県彦根市

秀典 (〒307) 長野県上伊那郡箕輪町松島北一

○本誌創刊号N₆のうちどれでも1冊400円前後で譲って下さい。6冊まとめてなら3000円で譲ります。まずは往復ハガキに希望の値段を書いて連絡して下さい。美品であること。

小林康浩 (〒912) 福井県大野市元町五一五

○本誌創刊号を700円で。N₂から12までをどれでも3000円で譲って下さい。詳しいことはTELで。

深作 実 (〒310) 茨城県水戸市一一大一四

○TEL 0299-2125-17076

○本誌創刊号N₁₅までを無料で譲って下さい。このうち何冊でも結構です。ハガキで連絡を下さい。

高橋正裕 (〒675) 兵庫県加古川市中津二九一八

○本誌創刊号N₄までを送料共400円で譲つて下さい。ただし、美品を。ハガキで連絡下さい。

百瀬直也 (〒104) 東京都中央区勝どき五一三

○本誌創刊号N₆を譲って下さい。このうち何冊でも結構です。ハガキで連絡を下さい。

西村昭彦 (〒103) 愛知県一宮市大字光明寺千馬一九一八

○本誌創刊号N₄までを送料共400円で譲つて下さい。ただし、美品を。ハガキで連絡下さい。

佐藤和朗 (〒930) 宮城県仙台市荒巻字北鶴ヶ森九

○本誌創刊号N₃のいすわかー冊とばくのつている小松左京著「日本沈没・上」150円(サイズあり)と交換して下さい。なるべくなら創刊号との交換を望む。まずはハガキで連絡を…。

阿部義春 (〒711-14) 徳島県板野郡吉野町西条字大

○本誌創刊号N₄までを送料共400円で譲つて下さい。ただし、美品を。ハガキで連絡下さい。

長島真一 (〒533) 兵庫県神戸市東灘区住吉町野崎一七二六一二

○どなたかUFO写真(カラー、白黒)のキャビネット版で一枚五枚1000円から1200円で売つて下さい。何枚でも結構です。

時弘修 (〒707) 山梨県甲斐市南町一ー三九

○UFO写真や心電図(ネガ券)を送つて下さい。ネガは責任をもつて返します。また、つのだじう

著「うしろの百太郎恐怖新聞なども送つて下さい。なるべく安価でお願いします。」

丸山敏彦 (〒391-46) 長野県上伊那郡那大字中策輪二八九三三五

○本誌N₆を、ぼくのもつてゐるN₁₅(切り抜き無し)と交換してください。

前田晃 (〒256) 神奈川県小田原市国府津二〇六

○本誌創刊号N₉までを、どなたか私にください。切り抜きがなければ、どんでも結構です。

○本誌N₁₂を、どなたか私にください。切り抜きがなければ、どんでも結構です。

○本誌N₆を、ぼくのもつてゐるN₁₅(切り抜き無し)と交換してください。

青木隆次郎 (〒42) 静岡県清水市見町二〇八

○UFOや心電写真(トリック可)と交換してUFOを宇宙人、心霊関係の本をお貸しします。ただし最高1ヶ月、現像料、送料共当方半分負担。まずは写真の説明の希望の本を書いてハガキで連絡して下さい。待って下さい。

杉山恵子 (〒675) 兵庫県加古川市加古川町平野二二一四

○どなたか双眼鏡(8倍~16倍位の物)を私のブルーカークー2で交換して下さい。レンズ以外のギズ

可。まずはハガキで連絡を。

百瀬直也 (〒104) 東京都中央区勝どき五一三

○日本空飛ぶ円盤研究会が発行した会誌「宇宙機」を譲つて下さい。コピーモード構いません。詳しくはお便りにて。お願ひします。

山田祐弥 (〒45) 愛知県安城市桜町五一七 T

○日本空飛ぶ円盤研究会が発行した会誌「宇宙機」を譲つて下さい。コピーモード構いません。詳しくはお便りにて。お願ひします。

逢坂輝夫 (〒101) 北海道札幌市北区新琴似一〇一

○日本空飛ぶ円盤研究会が発行した会誌「宇宙機」を譲つて下さい。コピーモード構いません。詳しくはお便りにて。お願ひします。

小川直也 (〒373) 群馬県太田市本町五一一二 T

○日本空飛ぶ円盤研究会が発行した会誌「宇宙機」を譲つて下さい。コピーモード構いません。詳しくはお便りにて。お願ひします。

西村昭彦 (〒103) 愛知県一宮市大字光明寺千馬一九一八

○日本空飛ぶ円盤研究会が発行した会誌「宇宙機」を譲つて下さい。コピーモード構いません。詳しくはお便りにて。お願ひします。

阿部義春 (〒711-14) 徳島県板野郡吉野町西条字大

○日本空飛ぶ円盤研究会が発行した会誌「宇宙機」を譲つて下さい。コピーモード構いません。詳しくはお便りにて。お願ひします。

佐藤和朗 (〒930) 宮城県仙台市荒巻字北鶴ヶ森九

○日本空飛ぶ円盤研究会が発行した会誌「宇宙機」を譲つて下さい。コピーモード構いません。詳しくはお便りにて。お願ひします。

長島真一 (〒533) 兵庫県神戸市東灘区住吉町野崎一七二六一二

○どなたかUFO写真(カラー、白黒)のキャビネット版で一枚五枚1000円から1200円で売つて下さい。何枚でも結構です。

○UFO写真や心電図(ネガ券)を送つて下さい。ネガは責任をもつて返します。また、つのだじう

★ 交換して下さい

スターワークス (美品、折り目なし)、単行本「ロミオとジュリエット」「家庭論」をさしあげます。ろくなものがないのですが、ぜひ欲しいので、無料奉仕だと思いますが、ぜひ交換ができるので、手渡しができる電話はP.M.8時までに。ボスターがあるので、手渡しができるので、希望に応じてお預け下さい。

伊藤輝男 (〒512) 三重県四日市市茂福町二二一四

○本誌創刊号N₄がありません。となるが、譲る方には、少く汚れ、キズい小さなもので、どちらかがUFOで、なるべく早く。それからほかのUFOに応じて本も買いますので、希望がある人は連絡してください。

伊藤原のり子 (〒955) 福島県会津若松市新町六一四七 TEL 024-221-1627

○本誌創刊号を、1000円分の図書券と交換して下さい。

森川のり子 (〒391-46) 長野県上伊那郡那大字中策輪二八九三三五

○本誌創刊号N₆を、3冊あります。N₁~4の

どれか1冊ずつ交換。謎のハミュー・ダニエル(『心霊写真集』)、『UFO大襲撃』

1ヵ月、現像料、送料共当方半分負担。まずは写真の説明の希望の本を書いてハガキで連絡して下さい。

青木隆次郎 (〒42) 静岡県清水市見町二〇八

○UFOや心電写真(トリック可)と交換してUFOを宇宙人、心霊関係の本をお貸しします。ただし最高

1ヵ月、現像料、送料共当方半分負担。まずは写真の説明の希望の本を書いてハガキで連絡して下さい。

伊藤輝男 (〒512) 三重県四日市市茂福町二二一四

○本誌創刊号N₄がありません。となるが、譲る方には、少く汚れ、キズい小さなもので、どちらかがUFOで、なるべく早く。それからほかのUFOに応じて本も買いますので、希望がある人は連絡してください。

伊藤輝男 (〒512) 三重県四日市市茂福町二二一四

○本誌創刊号N₆を、3冊あります。N₁~4の

どれか1冊ずつ交換。謎のハミュー・ダニエル(『心霊写真集』)、『UFO大襲撃』

1ヵ月、現像料、送料共当方半分負担。まずは写真の説明の希望の本を書いてハガキで連絡して下さい。

青木隆次郎 (〒42) 静岡県清水市見町二〇八

○UFOや心電写真(トリック可)と交換してUFOを宇宙人、心霊関係の本をお貸しします。ただし最高

1ヵ月、現像料、送料共当方半分負担。まずは写真の説明の希望の本を書いてハガキで連絡して下さい。

伊藤輝男 (〒512) 三重県四日市市茂福町二二一四

○本誌創刊号N₆を、3冊あります。N₁~4の

どれか1冊ずつ交換。謎のハミュー・ダニエル(『心霊写真集』)、『UFO大襲撃』

1ヵ月、現像料、送料共当方半分負担。まずは写真の説明の希望の本を書いてハガキで連絡して下さい。

伊藤輝男 (〒512) 三重県四日市市茂福町二二一四

○本誌創刊号N₆を、3冊あります。N₁~4の

いま、この瞬間にも、宇宙では想像を絶する何かが起っています。あなたもその謎を探ってみませんか？

ライフ/ネーチュアライブラリー

宇宙

第1回
配本

デビッド・バーガミニ著／畠中武夫訳

10日間＝全く無料で
ご試読できるチャンス!!

= いそぐ、右のハガキ(切手不要)でお申込みください =

いまだ多くの謎につつまれた、神秘と想像の世界=宇宙。あなたもこれまでに数多くの疑問をもたれた経験があおりでしょう。たとえば—★宇宙は、どれほどの大きさで、そこには一体どれほどの星があるのでしょうか？★地球と他の星との間には、どんな因果関係があるのでしょうか？

★火星の数々の謎ははたして解けるのでしょうか？★宇宙にある他の星には、生物が住んでいる可能性があるのでしょうか？★太陽の寿命はどれくらいか？

★太陽が死滅したら、地球はどうなるのか？★宇宙は膨張しているのか、また、それがわかるには、どんな研究が必要なのでしょうか？

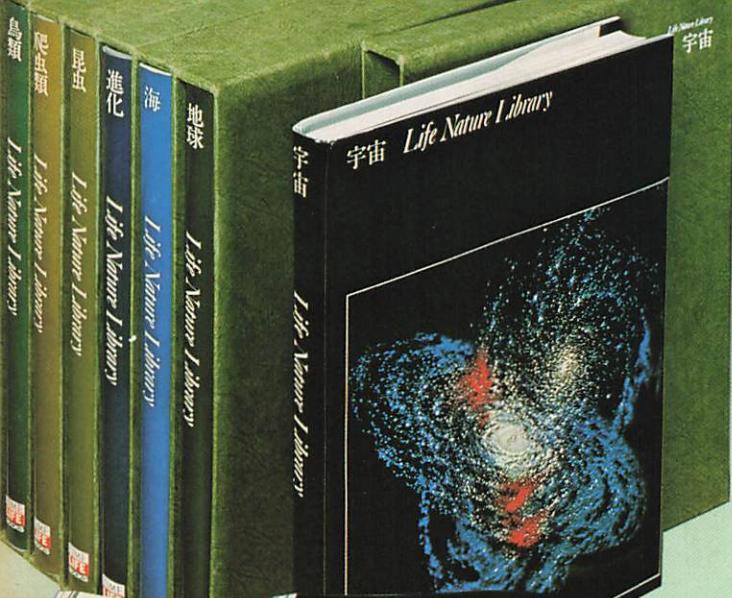
ライフ/ネーチュアライブラリー第1回配本「宇宙」は、定評のあるライフの美しいカラー写真と図版を縦横に駆使して、かならずや、あなたの疑問にお答えするでしょう。自然に関心をおもちのあなたにおすすめしたい座右必携の決定版です。

今こそ、自然を見つめ考えるとき
本シリーズは、「宇宙」「地球」「海」「進化」「昆虫」…と興味あふれる各巻がつづきます。

遠く宇宙の果ての世界では、何が起きているのか。地球の起源と未来は……。人間と他の生物との関係は、共存か闘争か……。など我々人類をとりこむ大自然の世界は、不思議な数々の現象にあふれ、これらは我々の探求心を誘わざるにはないことはばかりです。

10日間、ご自宅でゆっくりご試読できます

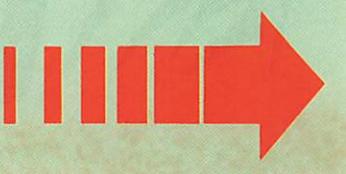
今、右のハガキでお申込みになると、ライフ/ネーチュアライブラリー 第1回配本「宇宙」が無料で10日間、ご自宅でゆっくり手にとってご覧になります。もちろん、第2巻以降の各巻についても、その都度無料で試読できます。ご購入になるかどうかは、その後でお決め下さい。“試読無料”ですから、もしお気に召さなかった場合は、ご返却ください。お気軽に申込み下さい。



TIME
LIFE
BOOKS

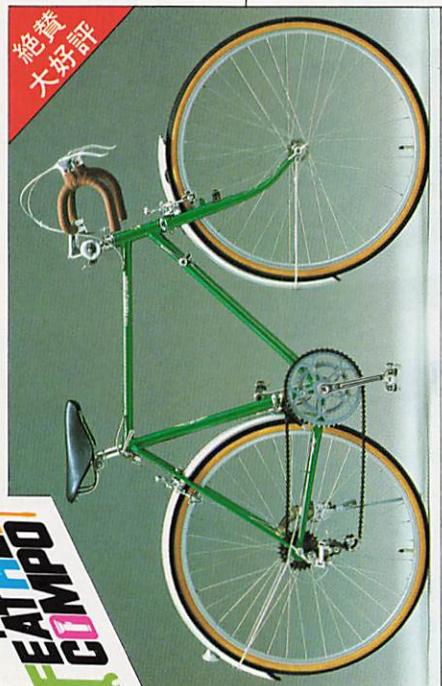
タイム/ライフ ブックス
東京・千代田・大手町タイムライビル
業務部：東京都文京区小石川5-6-9ドミ小石川ビル
(T112) 電話(03)947-4151

いそぐ、右の
ハガキをポストへ!!



個性の疾走“富士フェザーコンボT”

FUJI FER
FEATAMP
O

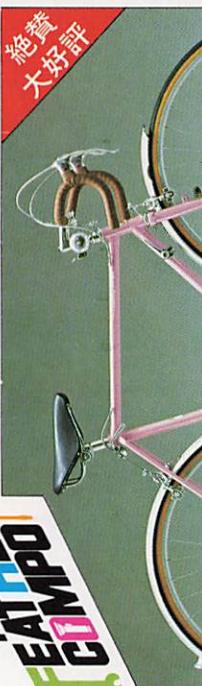


- 色調／青・緑・オレンジ
- 富士フェザーコンボT FCT 現金価格 45,900円
- フレームサイズは487mm/528mm/552mmがあります。

その日の気分

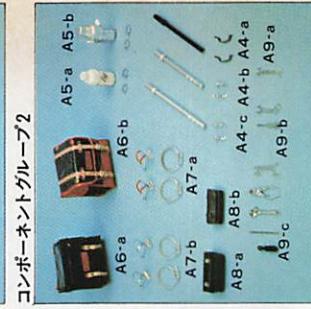
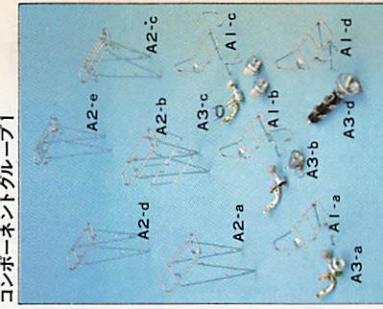
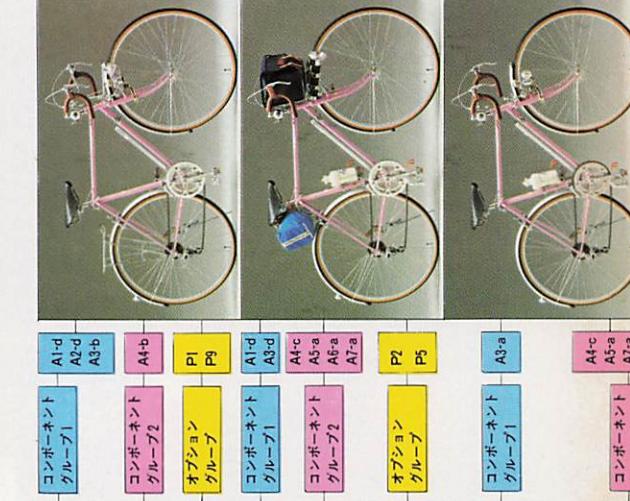
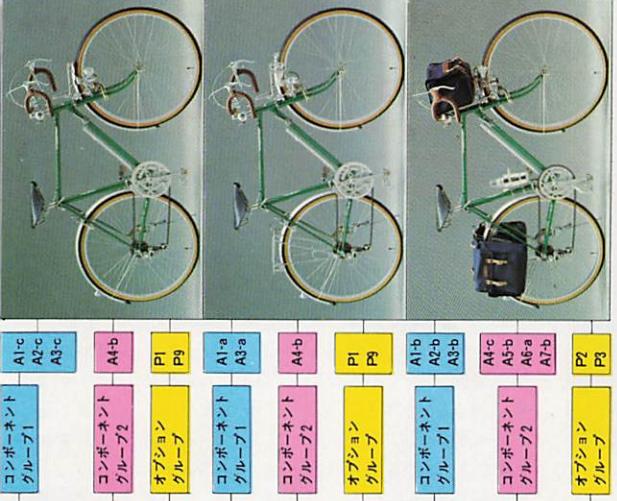
目的によつて

個性の疾走“富士フェザーコンボS”



変えられるメカ

ガリバリ



本社 東京都町田市森野2丁目2番36号
東京支店 ☎03(385)1603代
名古屋支店 ☎052(852)7411代
大阪支店 ☎06(309)4051代
九州支店 ☎092(551)1520代

- 色調／緑・ピンク・オレンジ
- 富士フェザーコンボS FCS 現金価格 45,900円
- フレームサイズは487mm/532mm/552mmがあります。

数々の部品を自分の好みに合わせて組み立てられるツーリングタイプ(26型)のスポーツ車。車体とメカは軽合金部品をふんだんに使用しました。

ガリバリ

ガリバリ

ガリバリ

ガリバリ

新発売

ニコルス

R シリーズ

初心者にも、見やすく使
いやすい/天体地上
両用望遠鏡/高倍率
250倍の偉力

二段ドロー
チューブ使用
上下微動装置付



初回金5,800円+1,500円
分割払金(月)2,500円×9回
分割払価格28,300円
現金払価格24,600円

天体の連続観測が可能
高級赤道儀式/赤経
赤緯目盛環付赤道儀
兼経緯台式マウント

二段ドロー・チューブ使用
モータードライブ
取付可能

*コリメーター
ストレート
レンズ



初回金10,800円+1,500円
分割払金(月)5,000円×9回
分割払価格55,800円
現金払価格50,000円

●カメラアタッチメントF型



現金払価格4,000円
送料300円

どのカメラでもどの
望遠鏡でも使用可能。
間接撮影、直接撮影、
拡大撮影、星野写真
等いずれも可能です。

カタログ及び注文方法は
次のページにあります……

初回金でお手もとへ

お求めやすい クレジット 分割払

高性能
精密器 ニコルス望遠鏡

●たしかな品質
合理的良心価格

●ご不満のときは…
交換/解約/返金自由



ニコルスRJ-6010
注文番号81-051

[定 格]

対物レンズ60mmアクロマート、
焦点距離1,000mm、集光力73倍、
分解能1.93秒、極限等級10.7
等星、鏡筒径63mm、全長1,000
mm

mm

[附属品]

接眼レンズ S R -4mm(250倍), HM -9mm(111倍), HM -20mm(50倍), ファインダー 5×24mm, 天頂プリズム、地上用正立プリズム、サングラス、木脚(2段式)、上下微動棒

初心者向きの決定版

天体地上両用望遠鏡

経緯台式の最高級機



ニコルスRS-6010
注文番号81-052

[定 格]

対物レンズ60mmアクロマート、
焦点距離1,000mm、集光力73倍、
分解能1.93秒、極限等級10.7
等星、鏡筒径63mm、全長1,000
mm

mm

[附属品]

接眼レンズ S R -4mm(250倍), HM -9mm(111倍), HM -20mm(50倍), ファインダー 5×24mm, 天頂プリズム、地上用正立プリズム、サングラス、木脚(2段式)、上下微動棒

二段ドロー・チューブ使用

上下水平微動装置付

*コリメーター・テ
スト 済対物レ
ンズ

初回金6,800円+1,500円

分割払金(月)2,800円×9回
分割払価格32,000円
現金払価格28,800円

マニア向け屈折/赤道
儀の決定版/キビシ

イ製品基準の超精
密機 *コリメーター・テ
スト 済対物レンズ

口径76.2mm

焦点距離
1,250mm

※コリメーター・テ
スト 済対物レンズ

ニコルスRK-7612
注文番号81-055

[定 格]

対物レンズ76.2mm(有効径)ア
クロマート、焦点距離1,250mm
集光能118倍、分解能1.5秒、極
限等級11.2等星、鏡筒径76mm
アルミ使用、全長1,270mm、齒
数114枚

[附属品]

接眼レンズ O R -4mm(312倍),
HM -6mm(208倍), HM -20mm
(62倍), ファインダー 6×30mm,
天頂プリズム、2×バローレン
ズ、地上用正立プリズム、太陽
投影板、サングラス、ムーング
ラス、フレキシブルハンドル(2
個)、ウェイト(1個)、二段式木
脚、カメラ雲台、木製格納箱

初回金16,200円+2,000円

分割払金(月)7,200円×9回
分割払価格81,000円
現金払価格73,000円

●ガイドィングスコープセット
(カメラ雲台付)

本体及び
取付脚(2個)付

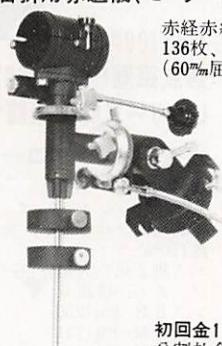
口径	焦点距離	現金払価格	送 料
60mm	420mm	10,000円	800円
60mm	700mm	12,000円	1,000円

●2倍バローレンズ(アクロマート)

簡単に使用倍率を2倍にすることができます。
特に短焦点の望遠鏡には便利です。



現金払価格1,900円
送料150円

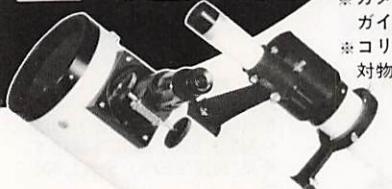


初回金1,950円
分割払金(月)1,950円×9回
分割払価格19,500円
現金払価格17,000円
送料800円

お手もとへ

クレジット 分割払

精密器 望遠鏡



ニコルスLKG-1149
注文番号81-004

口径114%

焦点距離F=900%

Lシリーズ反射赤道儀
ガイディングスコープ付

赤経赤緯目盛環付

赤道儀兼経緯台式

附属品)

ガイディングスコープ(有効径60mm)
アクリマート、焦点距離420mm、ガイディング脚2組),
天頂プリズム、接眼レンズS R-4mm(225倍), H M-9mm(100倍), H M-20mm(45倍), ファインダー6×30mm,
サングラス、直脚式木脚、ガイディングスコープ取付ネジ、バランスクエイト(5個)、フレキシブルハンドル2本)

初回金15,500円+2,500円
分割払金(用6,500円)×9回
分割払価格74,000円
現金払価格68,000円

たしかな品質・合理的の良心価格

●ご不満のときは・交換・解約・返金自由

ニコルスL-1149
注文番号81-001

※上下・水平微動装置付

※コリメーターテスト
ト済対物主鏡

口径114%

焦点距離F=900%

Lシリーズ反射經緯台

[附属品]

接眼レンズ S R-4mm(225倍)
H M-9mm(100倍), H M-20mm(45倍), ファインダー 6×30mm,
サングラス、直脚式木脚、
ガイディングスコープ取付ネジ

初回金8,700円+1,500円

分割払金(用3,700円)×9回

分割払価格42,000円

現金払価格38,000円

ニコルスL-1010
注文番号81-005

※上下・水平微動装置付

※コリメーターテスト
ト済対物主鏡

口径100%

焦点距離F=1,000%

Lシリーズ反射經緯台

[附属品]

接眼レンズ S R-4mm(250倍)
H M-9mm(111倍), H M-20mm(50倍), ファインダー 6×20mm,
サングラス、直脚式木脚、
ガイディングスコープ取付ネジ

初回金8,500円+1,500円

分割払金(用3,500円)×9回

分割払価格40,000円

現金払価格36,000円

ニコルスLK-1149
注文番号81-003

※上下・水平微動装置付
※コリメーターテスト
ト済対物主鏡

口径100%

焦点距離F=1,000%

Lシリーズ反射經緯台

ガイディングスコープ付

[附属品]

ガイディングスコープ(有効
径60mm)アクリマート、焦点距
離420mm、ガイディ
ング脚2組), 天頂
プリズム、接眼レン
ズ S R-4mm(250
倍), H M-9mm(111
倍), H M-20mm(50
倍), ファインダー
6×30mm, サン
グラス、直脚式木脚、
ガイディングスコ

初回金10,400円+2,000円
分割払金(用4,400円)×9回
分割払価格50,000円
現金払価格46,000円

※カメラ雲
台付ガイ
ディング
スコープ

口径114%

焦点距離F=900%

Lシリーズ反射赤道儀

赤経赤緯目盛環付

赤道儀兼経緯台式

附属品)

接眼レンズ S R-4mm(225倍),
H M-9mm(100倍), H M-20mm(45
倍), ファインダー 6×30mm, サ
ングラス、直脚式木脚、ガイディ
ングスコープ取付ネジ、バラン
スクエイト(2個)、フレキシブ
ルハンドル(2本)

初回金12,300円+2,000円
分割払金(用5,300円)×9回
分割払価格60,000円
現金払価格55,000円

新発売
ニコルス



反射望遠鏡
シリーズ

初回金で
お求めやすい

高性能
ニコルス

ニコルスLシリーズ

10大特長

1. 大口径、明かるい像
 - 口径114mm、焦点距離 900mm、集光力265倍
 - 口径100mm、焦点距離1,000mm、集光力204倍
2. 大型接眼部
 - 24.5倍、36倍ネジ込式兼用、ラックピニオング式
3. 大型ファインダー
 - 6×30mmアクロマート十字線入、接眼部ケルナー使用
4. 上下・水平微動装置付
 - 水平微動装置は高級ウォーム式
5. ガツシリしたマウント
 - 薄いところで8mm以上の厚いヨーク式
6. ピクともしない太く丈夫な直脚式木脚(石突つき)
7. ガイディングスコープ取付ネジ付
8. 太陽観測用絞穴付キャップ
9. ダイヤル式主鏡光軸修正ネジ付、斜鏡光軸修正ネジ付
10. オール金属製
 - 鏡筒、枠、接眼部、ファインダー、微動装置、マウント

(ニコルスLシリーズ定格)

1. 口径114mm、焦点距離900mm

対物主鏡114mmアルミナ化粧、焦点距離F-900mm、斜鏡短径23mm、集光力265倍、分解能1.00秒、極限等級12.0等星、全長880mm

2. 口径100mm、焦点距離1,000mm

対物主鏡100mmアルミナ化粧、焦点距離F-1.000mm、斜鏡短径23mm、集光力204倍、分解能1.20秒、極限等級11.8等星、全長980mm

口径114mm

焦点距離F

= 900mm

Lシリーズ反射経緯台
ガイディング
スコープ付

ニコルスLG-1149

注文番号 81-002

[附属品]

ガイディングスコープ(有効径60mm)アクリマート、焦点距離420mm、ガイディング脚2組、天頂ブリズム、接眼レンズSR-4mm(225倍)HM-9mm(100倍)、HM-20mm(45倍)、ファインダー6×30mm、サングラス、直脚式木脚、ガイディングスコープ取付ネジ

初回金10,600円+2,000円

分割払金(月)4,600円×9回

分割払価格52,000円

現金払価格48,000円

★上下・水平微動装置付

★コリメーターテスト済対物主鏡

★カメラ雲台付ガイディングスコープ

二光カタログハウスチェーン **ビバ店**
営業時間 AM10:00~PM7:00



<苦情相談>

この広告についての商品未着や商品苦情はご遠慮なくお申出ください。
ニコルス消費者相談室 03(672)8558 東京都千代田区外神田3-2-3森ロビル2F

今すぐのご注文は

- ご注文番号か品名を紙に書いて、月賦は初回金と送料を現金書留封筒でお送り下さい。
- 一時払いは同じ方法で現金価格と送料をお送り下さい。



〒133・東京小岩局48号
二光通販(株)
技研事業部
74係

カタログのお申込は

新カタログ只今無料進呈中

商品をよりくわしく知りたい方は、
カタログをお申込み下さい。下記の
カタログ進呈券をハガキのうらには
ってお送り下さい。無料でお送りいた
します。

新製品40点

以上掲載

カラー版

新カタログ

カタログ進呈券74係



TEL

03(673)2101

(内線33)

Enigma

●ノンフィクション

世界のミステリーと驚異

創刊号

430円



金を生みだす「生きた原子炉」
火星人はどこへ行つた／火星へ行つてきた中学生

恐怖の動物と怪物

ヒマラヤの雪男・イエティを訪ねて

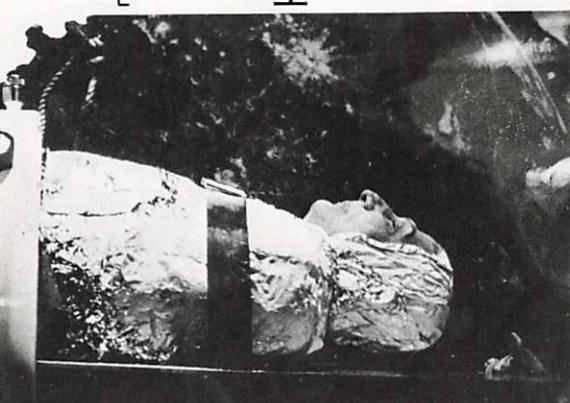
よみがえれ冷凍人間

宇宙動物大図鑑



●超能力世界の展望
●日本にも「アーミット」「があつた!」
●「生体エネルギーとは何か」

●矢追純一不思議考
●ナスカの巨大地上絵



◆カラー◆バイキングがとらえた火星人!? / ヒマラヤの雪男
・イエティを訪ねて / 有名人はがきアンケート / 棕平虹とは
なにか / ナスカ、この神祕の大地 / 重力を征服した男

特集

①中国式：10数万人が予知観測に参加
②宇宙電磁波：6年後、惑星直列で大異変！
③棕平虹：唐山地震は9分差で予知

巨大地震予知最前線

●有名人はがきアンケート
「私にとつての現代のナゾ」

清水馨八郎 矢野健太郎 飯沢 匡 斎藤茂
太田中小実昌 扇谷正造 戸川幸夫 遠藤
周作星新一 永六輔 井上ひさし 他

●謎の世界へデビューした魅力あふれる1冊。ユニバース出版社が
あなたに贈る「UFOと宇宙」の兄弟誌です。ぜひお読みください！

新発売!!

●無料でご覧になれます

温度計+湿度計+気圧
天気予報計●サテライト・3

●ドイツ製、直輸入

●湿度計
(20%~100%)

●気圧計
(700mb~1060mb)

●温度計
(-15°C ~ +55°C)



球体直径
高さ
重量

晴れ、のち曇り、一時雨

天気予測に最も大きな関係があるのは、気圧の高さではなく、気圧が上昇中(快方に向う)なのか、下降中(下り坂)なのかということです。欧洲ではウェザーバロメーター(天気子報計)が一般の会社や家庭に広く普及しています。しかし、我が国ではあまり普及しておりません。公害や天気不順の折から現代人は、毎日の天候…温度や湿度、気圧に適応する、健康管理を、ひいては生活設計をしなくてはなりません。このドイツ生まれの“サテライト・3”は、気圧計・温度計・湿度計の3つの精密機器が、コンパクトに収まり、そのうえ、洋風にも和風にも調和する豪華で美しい室内装飾品にもなります。また、お子様の科学的勉強に、興味をひく面白い天気観測器は、机や書斎の上に飾るインテリア、アクセサリーに最適です。なお、ご結婚や新築のお祝い、ご入学・卒業などの贈り物に実生活に役立つ天気子報計“サテライト・3”はぴったりです。

申込先 社団法人 日本割賦協会 事業会員
フェーマスアート・ギャラリー 企画部

●手にとって無料でご覧になれます!!

「天気子報計“サテライト・3”」を手にとって無料でご覧になれます。もし、ご満足できないようでしたら、現品受取後、5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありません。お気に入りましたら、そのままご購入ください。

●月づき3,000円×6回払いOK

いま、お申込みの方は奉仕価格→月づき3,000円×6回払いでお求めいただけます。(一括払いの場合は16,800円) しかも現品先送り、代金は後払いで結構です。ご希望の方は右記の申込書を切り取り、住所・氏名・支払方法を明記し、印を押して当社(東京か大阪)へお送りください。なお現品をご覧になってご不満の場合は、現品受取後5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありませんので安心してお申込みください。

〈〒556〉 大阪市浪速区大國町1の121の8 ☎(06)649-5508
〈〒170〉 東京都豊島区駒込1の34の8 ☎(03)945-2810

“サテライト・3”価格表

●現品価格 16,800円	●割賦価格 18,000円
(一括払いの場合のみ)	分割払込 3,000円
●梱包送料当社負担・商品保証	支払回数 6回 支払期間 6ヶ月

今、スグ切り取ってポストへ!

●下記の申込書に記入し捺印の上、封筒に入れてお送りください。

“サテライト・3”購入申込書

■天気子報計“サテライト・3”を購入申込みます。
品到着後は下記の方法で必ず送金します。

- 支払方法 (○印をしてください)
 - 1.月づき 3,000円×6回払い
 - 2.一括払い 16,800円

●現品に不満の場合は現品受取後5日間以内に返送してください。この場合、購入義務は一切負いません。

おなまえ	捺印	年令	TEL
おところ (郵便番号)	○印	才	

おところ (郵便番号)

(様)

保護者名 (18才未満の方は保護者の印が必要)

捺印

UFO-11

発売元(『INTEL』)株式会社インテル

製造元 武藏光学株式会社

◆MOP高性能天体望遠鏡

(通産省光学検査合格品)

◆MOP本格派双眼鏡

(通産省光学検査合格品)

全商品大特価セール 5年間品質保証書付

UFOをとらえるのはこれだ!

観測用高級機 100%反射型赤道儀式

MOP M109型

規格・性能 焦点距離
900mm 主鏡レンズ有効径100mm(主鏡アルミニウムメッキ) 分解能
1.16秒 極限等級11.8等星 集光力204倍

装置 直進ヘリコイド
式鏡筒(接眼レンズ口
径24.5mm用) 赤道儀兼
用三脚台 微動装置ウォ
ームギヤー使用 赤経
度目盛環付

付属品付き

ピックリ価格35,000円
(送料2,000円)



チャンス!

MOP 610型

規格・性能 焦点距離
1,000mm 有効径60mm
(アクロマートレンズ
使用) 分解能1.9秒 極
限等級10.7等星 集光
力73倍

付属品 サングラス
6×30mmファインダー
天頂プリズム HM 6mm
HM 12.5mm K 20mm
バランスウェイト2 フ
レキシブルハンドル2
木製2段伸縮三脚



チャンス!

ピックリ価格
34,000円
(送料2,000円)

MOP双眼鏡8×30

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径30mm
射出瞳径3.8mm 明るさ
14.1 実視界7.5度 1000
m先の視野131m 高さ
11.5cm 重さ550g



チャンス!

付属品
保証書
ソフトケース
使用説明書

ピックリ価格7,500円
(送料800円)

●ミクロンシリーズ

MOPミクロン10×40

規格・性能 倍率10倍
対物レンズ有効径40mm
射出瞳径4mm 明るさ
16 実視界7度 1000m
先の視野123m 高さ12
.3cm 重さ490g

10×40

付属品ハードケース



チャンス!

ピックリ価格
13,000円
(送料800円)

MOP双眼鏡20×50

規格・性能 倍率20倍
対物レンズ有効径50mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
3% 実視界3度
1000m先の視界52m
高さ17cm

全機種特価

×30	8,700円
×30	9,000円
×35	9,500円
×50	10,700円
×50	11,200円
×50	11,500円
×50	11,700円
×50	12,800円

(送料800円)



チャンス!

付属品
ハードケース
保証書
使用説明書

ピックリ価格 9,800円
(送料800円)

●ミクロンシリーズ

MOPミクロン8×20

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径20mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
6.3 実視界5度 1000m
先の視野88m 高さ7.1
cm 重さ185g



チャンス!

ポケットにピッタリ!

8×20
付属品ソフトケース

ピックリ価格
10,500円
(送料800円)

ご注文方法 広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所・

電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426-25-7941(代表)

(株)インテル 光学事業部UFO係

カタログ無料進呈

当社全製品満載のカタ

ログを差し上げます。郵

送料切手100円を同封し

下の請求券をはって

お申し込み下さい。

あて先

当社製品の販売代理店を募集します。当社まで資料をご請求下さい。またこの広告についてのお問い合わせは当社調査室(TEL 0426-25-7941)までお電話でお問い合わせ下さい。

カタログ請求券
UFO20

スリコール交換レンズ

200mm
¥14,000

135mm
¥13,000

35mm
¥12,000

500mm
¥24,000

400mm
¥21,000

300mm
¥18,000

カメラの有力専門誌「日本カメラ」51年6月号

特集 常用交換レンズ総点検より

スリコール LP 135・135mm F2.8

中心部はコントラストもほぼ良好で、シャープさもじゅうぶんである。周辺部はわずかに画質が低下するが目立つほどではない。全般的に見て各収差がバランスよく補正され画質のよいレンズである。しかも13,000円という普及価格は魅力がある（原文のまま）

High 高品質 技術力を結集した
信頼の交換レンズ **Low** 低価格

スリコール交換レンズ<sup>(LP300)
(LP400)
(LP500)</sup>は一台三役!!

(1)35mm一眼レフ用望遠レンズが (2)天体望遠鏡に [別売アイピースアダプター、アイピース ¥1,500各倍率] ● LP 300の倍率 24X・50X・60X・75X ● LP 400の倍率 32X・50X・80X・100X ● LP 500の倍率 40X・62X・100X・125X (3)ズーム式地上望遠鏡に [別売アイピースアダプター ¥1,500 ズーム式地上アイピース ¥4,500]

スリコールPマウントの種類 (附属品) 35mm一眼レフ用

アサヒペンタックス用(Sシリーズ、フジカ、ミヤ、リコー、ヤシカに使用) ペンタックスK用、ニコン用、キャノン用、ペトリ用、ミノルタ用、オリンパスOM用、コニカ用(FP, FS, FMは不可)、ミランダ用

スリコールPシリーズはカメラを買替えた場合あるいは2台以上メーカーの異なるカメラをお使いの場合でもマウントのみ別に購入すればどのカメラでも使用出来ます。 スリコールPマウント 別売価格¥1,500

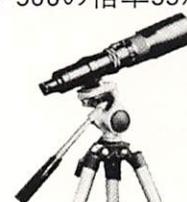
●スリコール交換レンズ仕様(プリセット絞り、絞込み測光、マウント交換式)

品番	LP135	LP200	LP300	LP400	LP500	WP35
焦点距離	135mm	200mm	300mm	400mm	500mm	35mm
明るさ	F:2.8	F:4.5	F:5.6	F:6.3	F:8	F:2.8
レンズ構成(群/枚)	4/4	3/4	3/4	3/4	5/6	
レンズ口径	47mm	44mm	53mm	62mm	62mm	30mm
全長mm・重量g	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価格	¥13,000	¥14,000	¥18,000	¥21,000	¥24,000	¥12,000
附属品	フード、Pマウント、ケース				マウント、ケース	

価格は附属品を含んだ価格です。

(35mm一眼レフ用)

写真はLP400に
アイピースアダプター、
天体用アイピース付



2×テレコンバーター(カタログ参照下さい)
標準レンズが2倍の望遠レンズに、望遠レンズが2倍の超望遠レンズになります。

電話照会・受付時間

(平日) 午前10時~12時、午後1時~5時

(日曜、祝日休業)

東京 (03)859-1331 振替口座 東京7-103033

〒121 東京都足立区平野3丁目7番17号

株式会社 スリービーチ UFK係

● 詳細及購入方法はお持ちのカメラ名明記の上ハガキでカタログをお申込下さい。



現代思想界の鬼才コリン・ウィルソンはじめ世界の作家、科学者がオカルトの謎に挑戦

超常世界への挑戦シリーズ 全12巻

A New Library of the Supernatural

監修=コリン・ウィルソン クリストファー・エバンズ

11月下旬3冊新発売

続刊12月発売

1 驚異の超能力者たち

コリン・ウィルソン著 木村一郎訳

2 戰慄の怪奇人間

ダニエル・ファーソン著 三好章六・三上善永訳

3 ネッシーと雪男

アンガス・ホール著 桐谷四郎訳

4 幽靈とポルターガイスト

●以降順次刊行

5 心霊の世界

6 大予言と謎

各巻 定価980円

判型・体裁 ● 四六倍判 ● オールカラー版 ● 並製

● 各巻144ページ

学研 学習研究社 販売局 〒145 東京都大田区上池台4の40の5 TEL東京(03)720-1111大代表

雑誌8945-12